



プラスG エントランス シンメトリー・タイプ

このたびは、当社製品をお買いあげいただきましてまことにありがとうございます。

製品を安全に正しく施工していただき、施主様等の危害や損害を未然に防止するためにも、各種表示記号の内容を良く理解したうえで、本書の内容および指示にしたがってください。

■本書の見かた

この取付説明書では、以下のような記号、記載、アイコンを使用しています。

■安全に関する記号と説明

- ⚠ 警告** ・ 取付けを誤った場合、使用者などが死亡または重傷を負う危険が想定されます。
- ⚠ 注意** ・ 取付けを誤った場合、使用者などが中程度の損傷・軽傷を負う危険または物的損害の発生が想定されます。

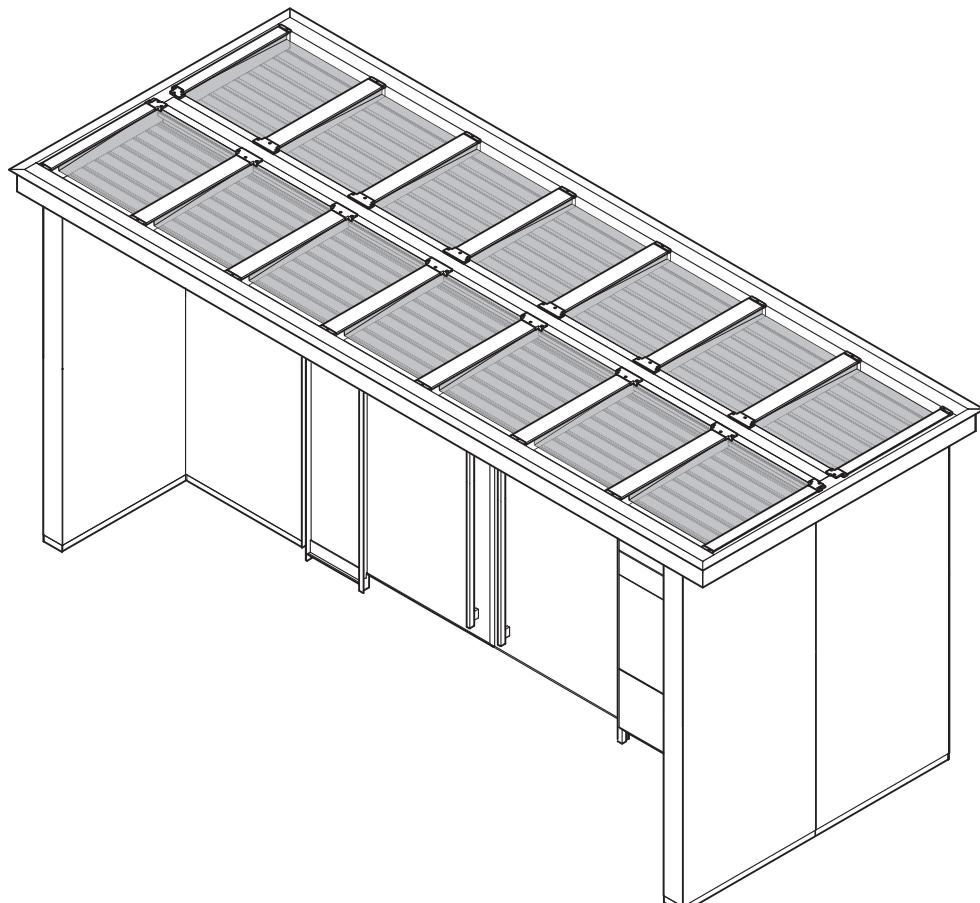
■情報に関する記号と説明

- 施工上のお願い** ・ 取付手順で、特に注意して作業をしていただきたいことを示しています。
- ・ 守っていただかないと組付けができない内容、または製品全体に後々不具合が発生するおそれのある内容を示しています。

■ねじ等の締結部品の記号

ねじやナット等の締結部品を記号で示します。(例: 1a、1b、2a等)

締結部品の種類は「**■梱包明細表**」を参照してください。



目次

施工上のご注意	3
施工の前に	3
施工上のご注意	3
基礎工事について	4
電気配線工事について	4
施工の後に	4
 チェックリスト	4
1 施工前の重要確認事項	5
1-1 シンメトリーの商品構成	5
1-2 シンメトリーの商品の組み合わせ	6
1-3 取付け制限	7
2 各部名称と基本寸法	8
2-1 各部名称	8
2-2 基本寸法	11
3 基礎と配線工事	12
3-1 基礎工事	12
3-2 配線工事	13
4 施工の流れ	14
5 柱、フレームの取付け	18
5-1 柱 中間用とフレームの取付け	18
5-2 門扉枠の取付け	23
5-3 門袖パネル柱の取付け	29
6 門袖の取付け	30
6-1 ガラスパネルの取付け	30
6-2 KNパネルの取付け	30
6-3 鑄物パネルの取付け	30
7 基礎の打設	31
7-1 基礎の打設	31
8 エントランスルーフの取付け	32
8-1 中間フレーム用スリーブの取付け	32
8-2 横樋の取付け	33
8-3 中間フレームの取付け	36
8-4 屋根材受けの取付け	39
8-5 屋根材の取付け準備	40
8-6 屋根材の取付け	42
8-7 雪下ろしシールの取付け	49
8-8 雨樋ネットの取付け	49
9 天井材の取付け	50
9-1 壁樋の取付け準備(取付け位置の確認)	50
9-2 壁樋の取付け準備(部品の取付け)	51
9-3 フレームカバー取付枠の取付け	52
9-4 天井横枠の取付け	53
9-5 天井縦枠の取付け	54
9-6 ダウンライト用配線穴加工	57
9-7 天井材の取付け	58
10 壁樋の取付け	61
10-1 Gウォール内蔵樋の取付け	61
11 フレームサイドカバー、フレーム意匠部材の取付け	62
11-1 フレームサイドカバー、フレーム意匠部材の取付け	62
12 水抜き穴の加工	62
12-1 水抜き穴の加工	62
13 フレームカバーの取付け	63
13-1 フレームカバーの取付け	63
14 Gウォールの取付け	64
14-1 Gウォール各部納まりの確認	64
14-2 Gウォール下地部材の取付け	65
15 門扉の取付け	75
15-1 ピボットヒンジ(下用)の取付け	75
15-2 配線の引き込み	76
15-3 ヒンジおよびオートクローザーの取付け	77
15-4 落し棒の操作方法	78
15-5 戸当たり、合掌框カバーの取付け	79
15-6 錠部品の取付け	80
15-7 門扉の吊り込み	81
15-8 門扉の調整	82
15-9 ハンドルの取付け	83
15-10 吊元背面隙間ふさぎカバーの取付け	84
15-11 下部落し棒受けの施工	85
15-12 扉ストッパーの施工	86
15-13 上部落し棒受けの施工	87
15-14 システムイメージ	88
15-15 電気錠ユニットの扉への組付け	89
15-16 電気錠の登録および設定	93
15-17 門扉のブザー音と表示について	98
15-18 コントローラユニットのブザー音とLED表示について	99
梱包明細表	100

□ 施工の前に

⚠ 注意

- 製品の施工には、危険を伴う場合がありますので、必ず専門の工事業者による施工をお願いします。
- 母屋の屋根から雪が直接落ちない場所に設置してください。落雪により、製品が破損することがあります。
- 本製品は必ず2人以上で施工を行ってください。
- 埋設管には、PF管を使用してください。
- 地中電線路の配管には、将来掘り起こすことがない場所を選んでください。
- 門扉は人や車の出入りする場所に設置するものです。使用用途・目的を踏まえた上で必ず安全な場所に設置してください。特に開閉時の扉が公道（道路面）に飛び出さないようにしてください。

施工上のお願い

- 本説明書に記載のない商品の内容については、各商品の取付説明書を参照してください。
- 正しく施工、組付けをするために、施工前に必ず取付説明書をお読みください。
- 製品の施工については、必ず取付説明書にしたがってください。
- 施工終了後、取扱説明書は施主様にお渡しください。
- 梱包明細表で必要な部材、部品が揃っているか確認してください。
- 両面テープを貼付する際は、下記の点に留意して施工を行ってください。
 - ・貼付面に水濡れのない事を確認し、汚れ・油分を取除きローラーや指等（5kg/cm²）で押し付けて十分に圧着してください。
十分に圧着されていない場合、接着力が低下し剥がれるおそれがあります。
 - ・気温が5°C以上の環境で施工を行うか、あらかじめ両面テープおよび貼付する部材を温めてから施工を行ってください。
気温が5°C未満の低温下では両面テープの初期接着力が低下するおそれがあります。
 - ・両面テープの貼付後は十分な養生期間を確保してください。
両面テープの接着強度は、圧着直後で最終強度の1/3、1時間経過で2/3まで向上、72時間経過で最終強度となります。
- 配線および埋設管は、現場で手配してください。
- 掛け扉の袖に門袖を設置する場合、結束バンドを現場で手配してください。
- シークレットキーを設置する場合、Φ4×20ナベ1種ねじを現場で手配してください。

□ 施工の前に（つづき）

施工上のお願い

- 使用するシーリング材は、以下のアルコール系シーリング材を現場で手配してください。

シーリング材メーカー	品名および品番
信越化学工業（株）	シーラント72
モメンティブ・パフォーマンス・マテリアルズ・ジャパン（合）	トスシール380
ダウ・東レ（株）	SE960

□ 施工上のご注意

⚠ 注意

- 外開きタイプでは開閉時に扉が公道（道路面）等へ飛び出さない位置に設置してください。
- 施工終了後は扉の開閉チェックを行ない、不具合がないか確認してください。
- ボルト、ねじ、ナットは当社指定品を指定本数使用し、下記締付トルクで固定した後にゆるみがないか確認してください。
強度低下などの原因になります。
〈推奨トルク〉
※Φ4ねじ、ナット：2.5N·m±0.5N·m
(25±5kgf·cm)
※Φ5ねじ：3.0N·m±0.5N·m(30±5kgf·cm)
- アルミ製品が異種金属と接触する場合は、絶縁処理をしてください。
- 製品の改造は絶対にしないでください。
- 施工終了後は、ボルト、ねじなどにゆるみがないか確認してください。

施工上のお願い

- 施工工事にあたっては、安全に施工を行なってください。
- ・ 作業服および保護具（保護帽、安全帯、眼、手、足の保護具）を正しく使用してください。
- ・ 作業場所の整理整頓を行なうとともに、安全確保を行なってください。特に高所作業での安全確保、倒壊防止、照明による照度の確保など。
- ・ 器具、工具、保護具などの機能を確認し、使用してください。
- ・ 作業は、相互の作業と各作業工程を考慮して進めてください。免許、技能講習、特別教育が必要な作業は、有資格者が行なってください。
- ・ 作業者が相互に安全確認を行なってください。健康状態を十分に確認し、健康管理を実施してください。
- ・ 万が一、事故が発生した際には、直ちに手当を行ない、救助を第一に心がけてください。
- 施工中についた汚れは取除き、誤ってキズをつけた場合は補修塗料で補修してください。

□ 基礎工事について

▲ 注意

- 基礎石は指定寸法以上のものを使用し、確実に設置してください。強度低下の原因になります。
- 寒冷地で凍上するおそれのある地域で使用する場合は、凍上線の下まで基礎を設けてください。強度低下の原因になります。
- 養生期間は十分にとり、その間に重い物をのせたり、振動を与えないでください。

施工上のお願い

- コンクリート（またはモルタル）には、塩分を含む砂（海砂）および塩素系や強アルカリ系のコンクリート用混和剤（凍結防止剤、凝固促進剤、急結剤など）は使用しないでください。使用するとアルミなどの金属が腐食する原因になります。必要な場合は非塩素系や非アルカリ系の混和剤をご使用ください。
- モルタルやコンクリートの抽出液が、施工中に製品に付着しないように注意してください。抽出液は強アルカリ性で、シミやムラなどの外観不良の原因になります。
- 製品の表面に付着したモルタルやコンクリートなどは、速やかに拭き取ってください。

□ 電気配線工事について

▲ 警告

- 電気配線工事について下記の項目を守ってください。守られない場合、漏電や感電につながるおそれがあります。

▲ 注意

- 接地工事は、電気設備の技術基準にしたがって、確実に行なってください。
- AC100V電線の埋設工事、配線作業に関しては電気工事店の有資格者に依頼してください。
- 配管距離が長い場合、また曲がりが2ヶ所以上になる場合は、ハンドホールを設けてください。
- ハンドホール内で電線の接続は行なわないでください。
- 付属のコネクターの固定（電線の接続）は、必ず専用の工具でカシメてください。
- 屋内からの配線はAWG16の配線を使用してください。
- DC12V用照明取付けにはトランス電源ユニットと電源ケーブルを別途手配してください。
- LED照明（ダウンライト・表札灯）はDC12V以外では使用しないでください。過電圧を加えると火災・感電の原因になります。

□ 施工の後に

施工上のお願い

- 取扱説明書は施主様にお渡しください。
- 門扉の鍵は施主様にお渡しください。

チェックリスト

※下記項目は重要事項ですので必ず点検してください。

●施工/取付

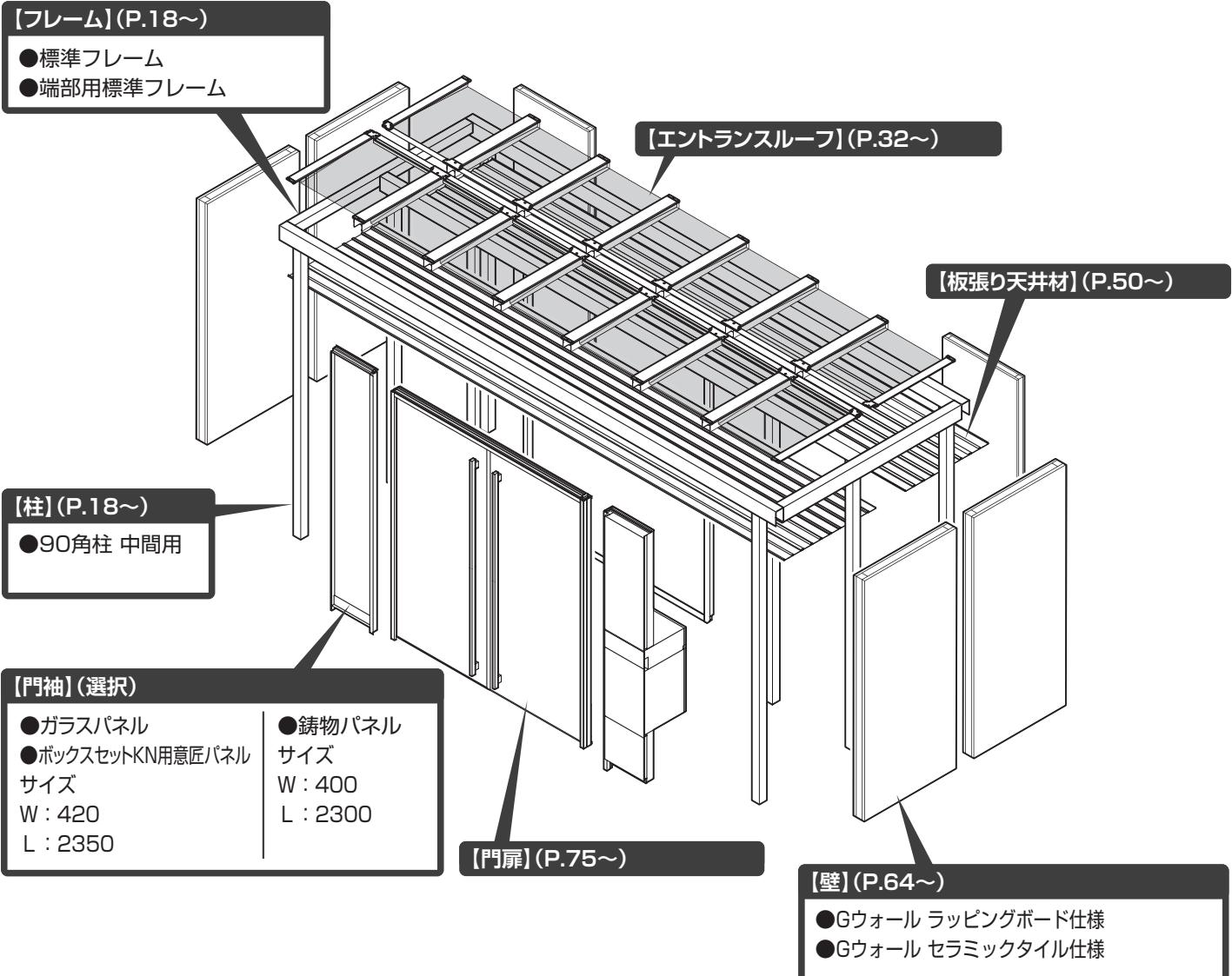
No.	ページ	チェック内容	
1	11~92	正しいねじを使用して推奨トルクで取付け、ゆるみがないことを確認しましたか。	<input type="checkbox"/>
2	11~92	寸法指示に従って施工取付しましたか。	<input type="checkbox"/>

●電気錠の動作

No.	ページ	チェック内容	
1	93~97	電源は入っていますか？（電源線、ブレーカーなど確認）	<input type="checkbox"/>
2	98~99	エラー音は鳴っていませんか？（エラー音にしたがって対処）	<input type="checkbox"/>

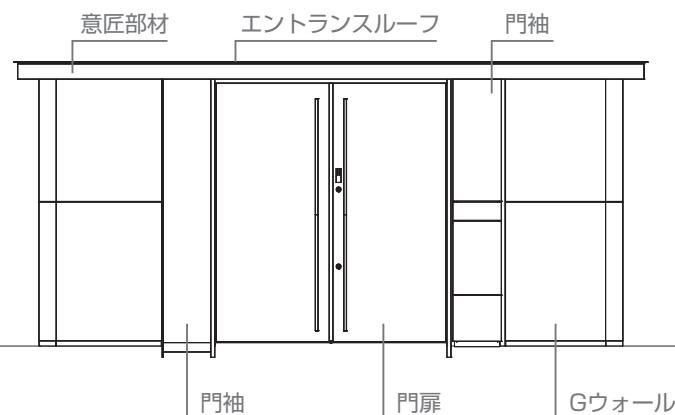
1 施工前の重要確認事項

1-1 シンメトリーの商品構成



施工上のお願い

- 上記から商品を選択し、シンメトリーの構成を決定してください。
- 下記の商品構成の各商品の取付説明書も参照してください。



【商品構成】

柱	: 90角柱
フレーム	: 標準フレーム
屋根	: エントランスルーフ、意匠部材
壁	: Gウォール
門袖	: ガラスパネル、無し (Gウォール延長)
門扉	: 門扉AH

1 施工前の重要確認事項

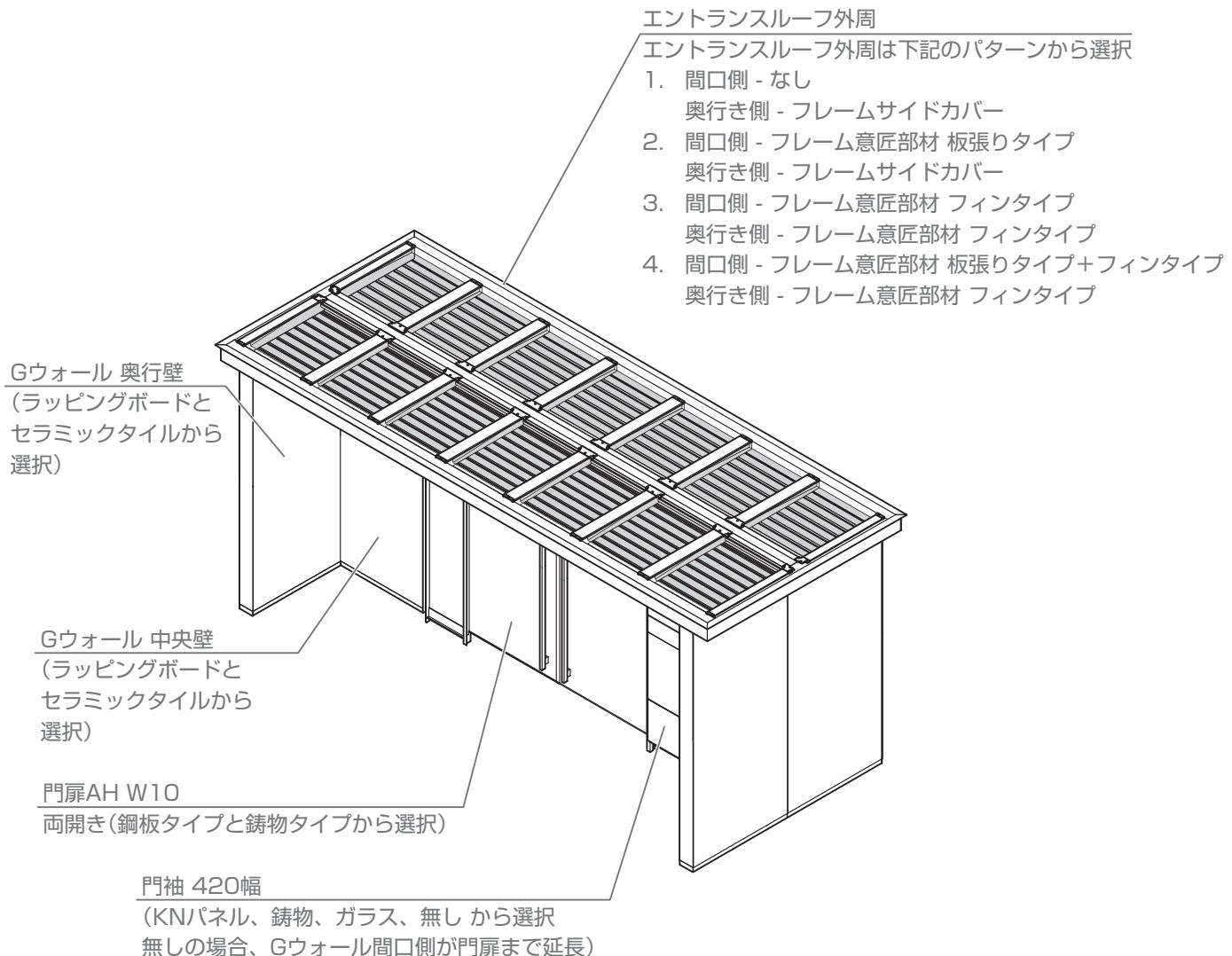
1-1 シンメトリーの商品構成（つづき）

取付説明書区分

商品	使用する取付説明書	取説コード
90角柱・標準フレーム		
板張り天井材		
エントランスルーフ	エントランス シンメトリーイタイプ	EXM219
門扉AH		
オートクローザー	オートクローザー戸厚50mm用	EXM182, EXM219
意匠部材	Gフレーム フレーム意匠部材	EXM012
Gフレーム フレーム意匠部材 板張りタイプ	Gフレーム フレーム意匠部材 板張りタイプ	EXM215
Gフレーム サイドカバー	Gフレーム サイドカバー	E293
Gウォール ラッピングボード仕様	Gウォール	EXM017
Gウォール セラミックタイル仕様	エントランス シンメトリーイタイプ	EXM219
袖パネル	Gスクリーン 袖パネル	EXM049
ガラスパネル	Gスクリーン ガラスパネル	EXM216
鋳物パネル	Gスクリーン 鋳物デザインパネル	EXM151

1-2 シンメトリーの商品の組み合わせ

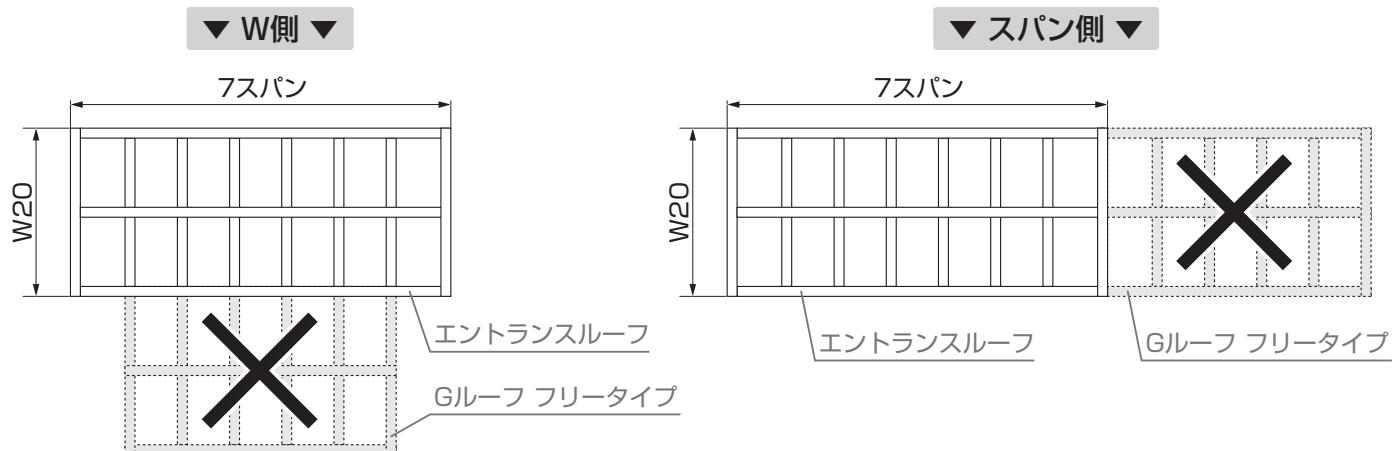
※下記以外の部材を取付けることはできません。



1 施工前の重要確認事項

1-3 取付け制限

エントランスルーフの接続



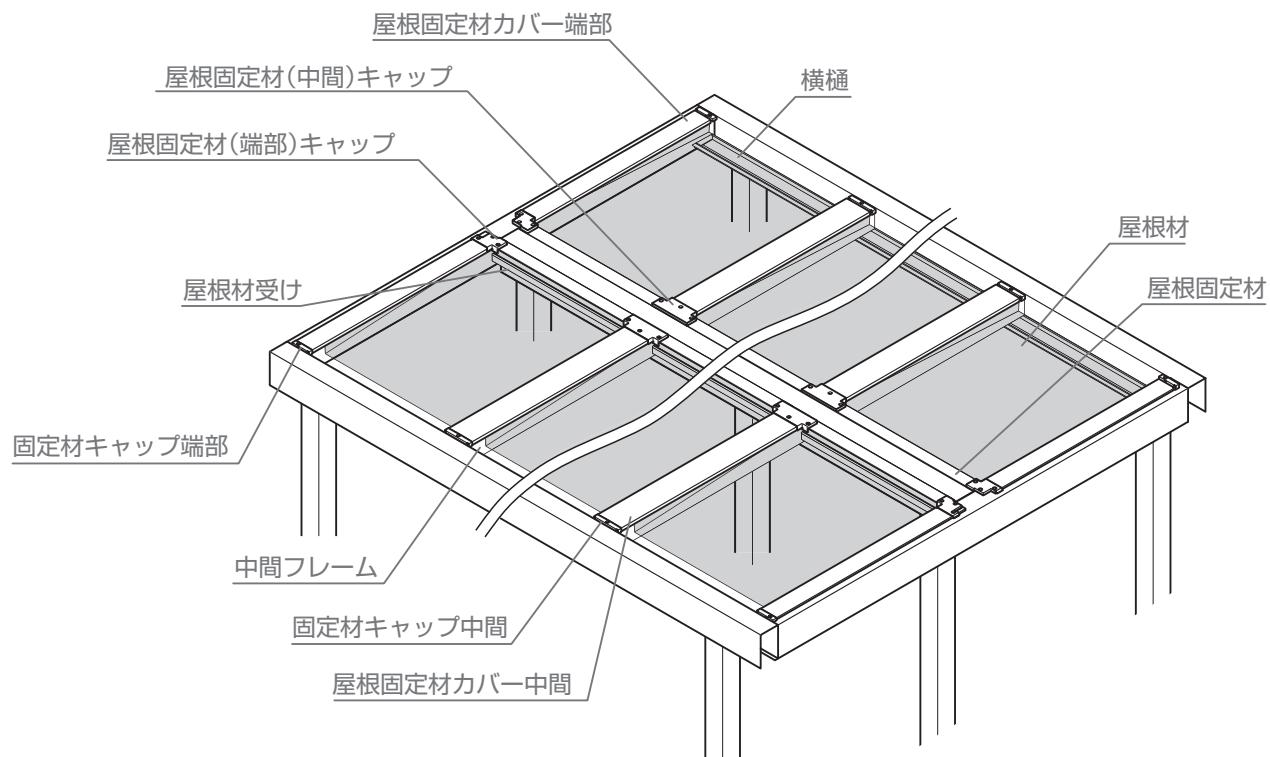
施工上のお願い

- エントランスルーフにプラスGの他の屋根商品を接続することはできません。プラスGエントランスは独立で施工してください。
- エントランスの横にGウォール、Gスクリーンを設置する場合は、施工スペースを確保してGフレームを設置する必要があります。

2 各部名称と基本寸法

2-1 各部名称

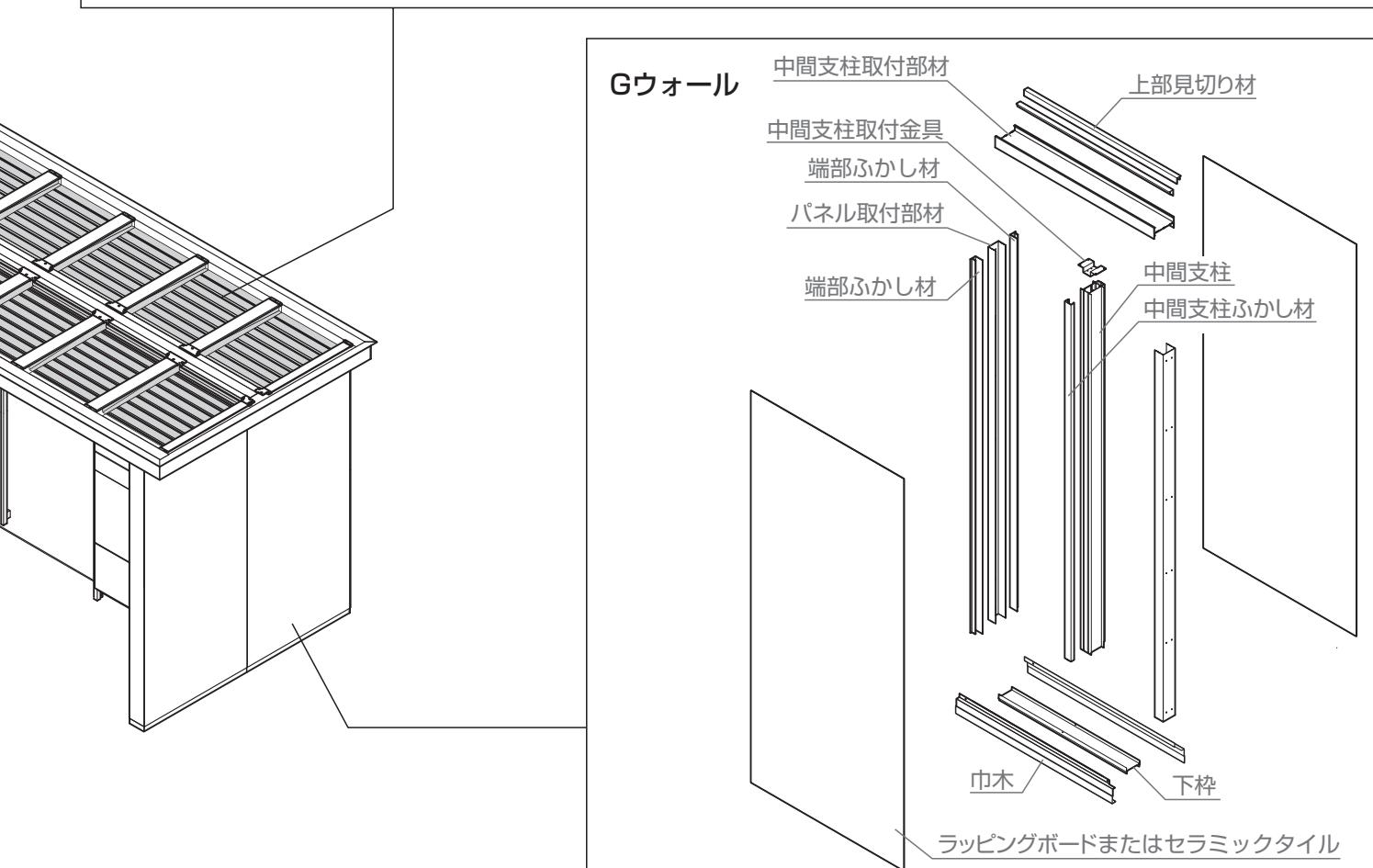
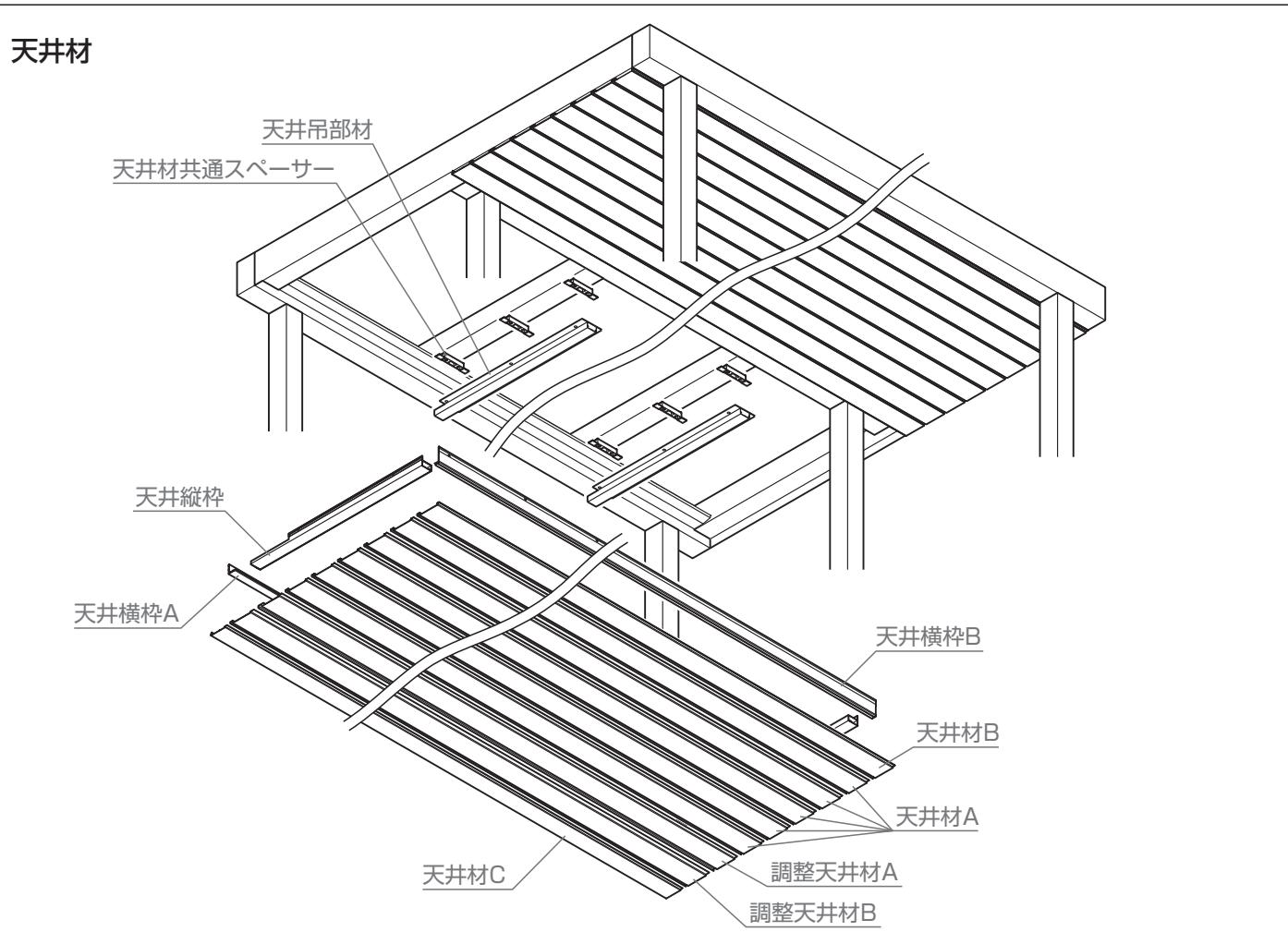
エントランスルーフ



門扉はP.10を参照

2 各部名称と基本寸法

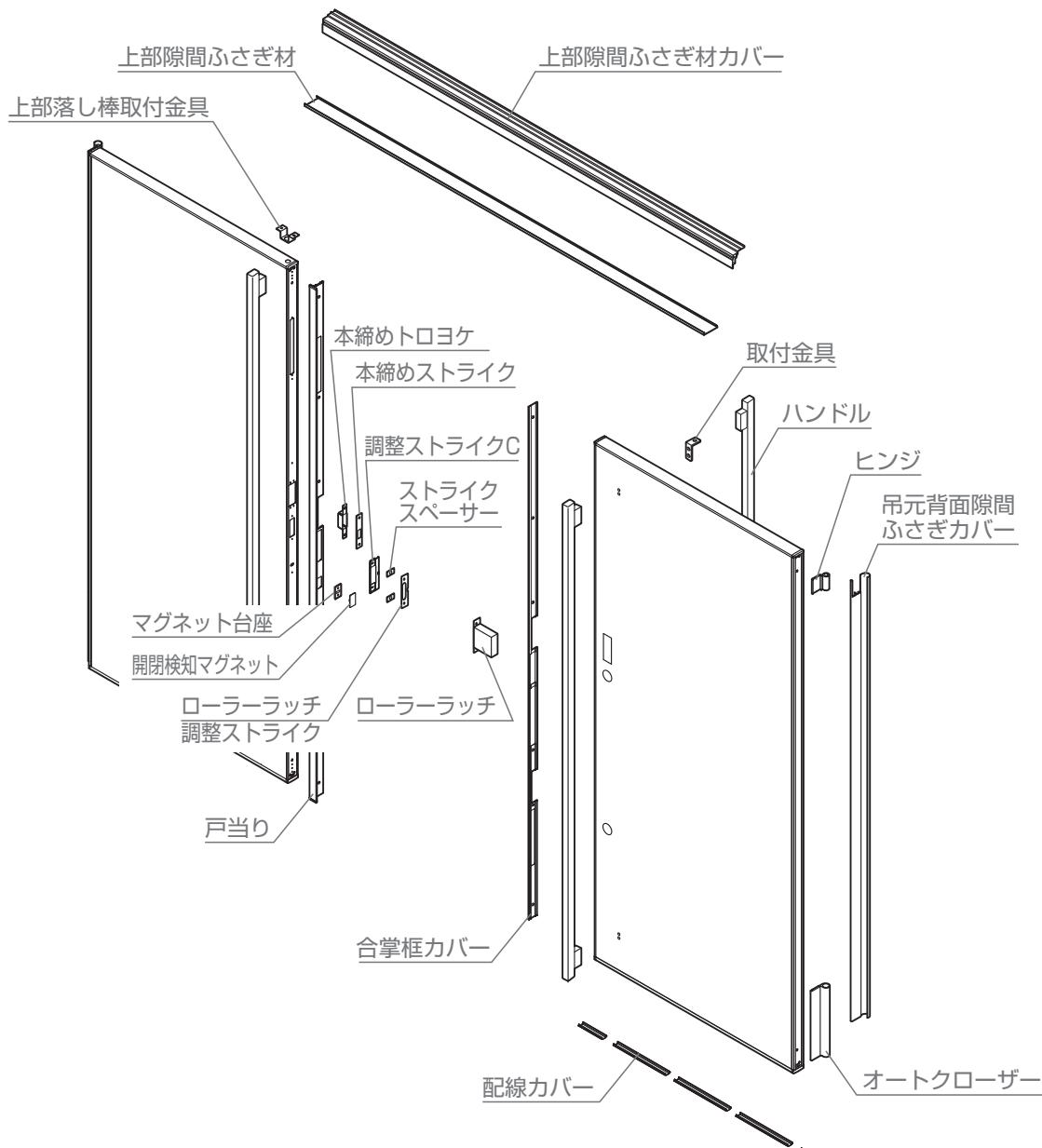
2-1 各部名称（つづき）



2 各部名称と基本寸法

2-1 各部名称（つづき）

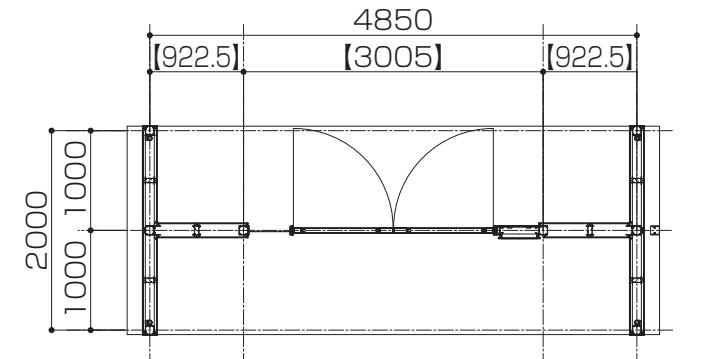
門扉



2 各部名称と基本寸法

2-2 基本寸法

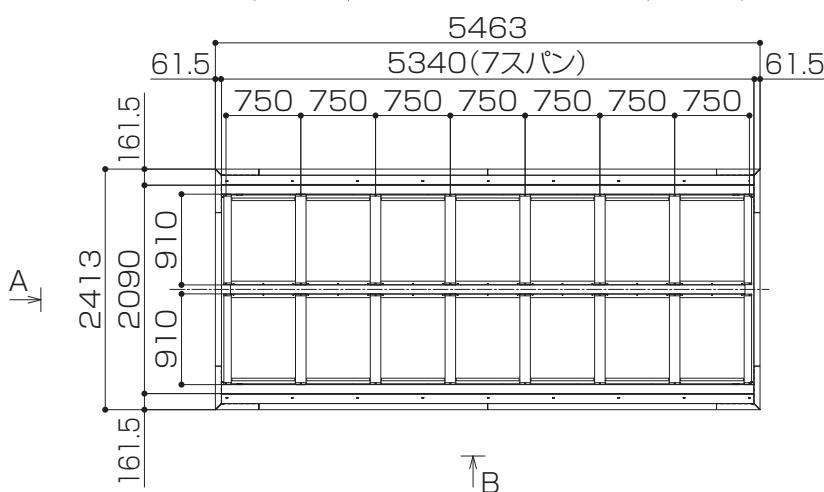
■平面図



施工上のお願い

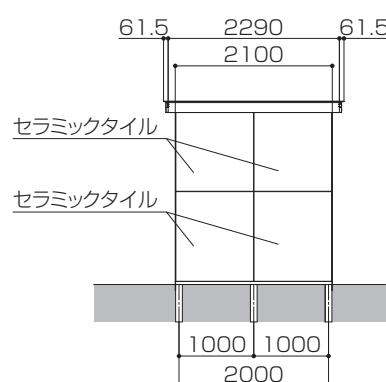
●図は門袖が、「ガラスパネル」「鋳物パネル」「ボックスセットKN用意匠パネル」の場合の柱位置になります。

門袖がGウォールの場合は、【】内の寸法が異なりますので「5-1-1 柱の建て込み」を参照して柱位置を決定してください。

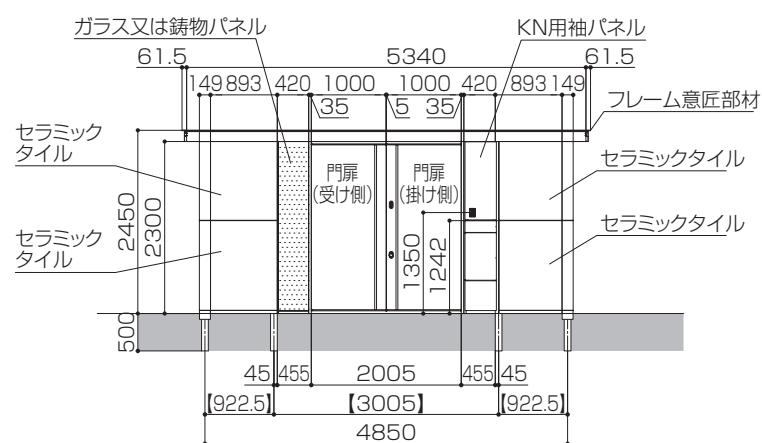


■立面図

● セラミックタイル仕上げ

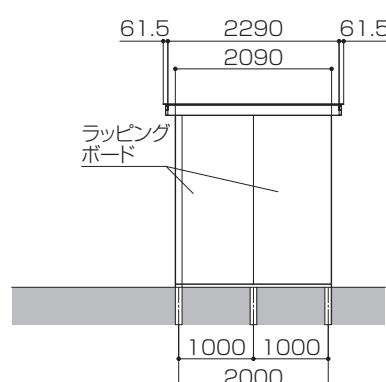


A側 矢視図

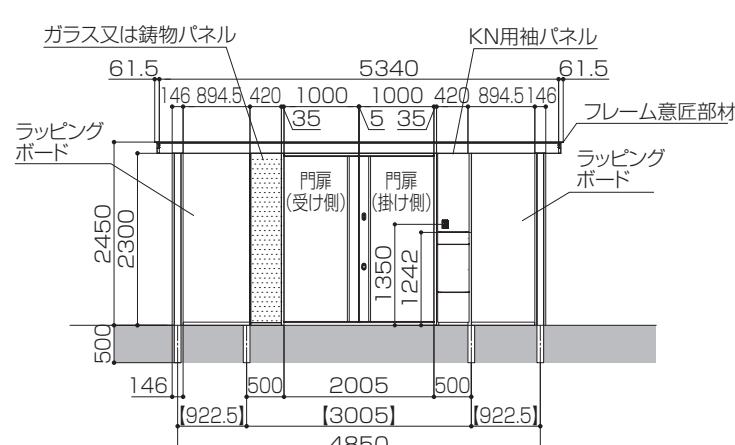


B側 矢视图

● ラッピングボード仕上げ



A側 矢视图

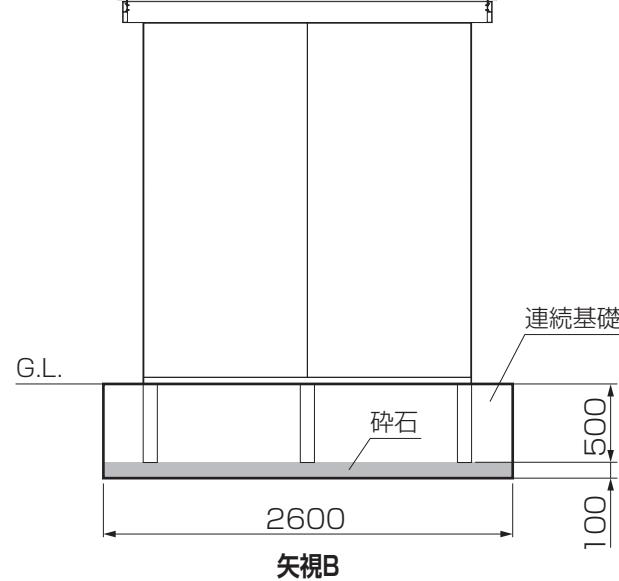
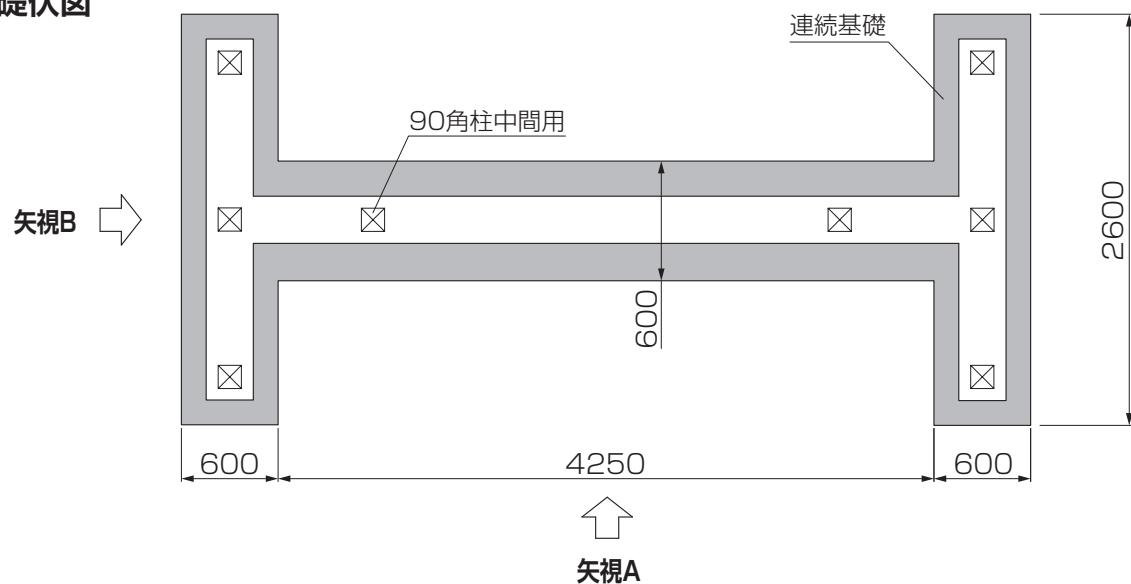


B側 矢视图

3 基礎と配線工事

3-1 基礎工事

●基礎伏図

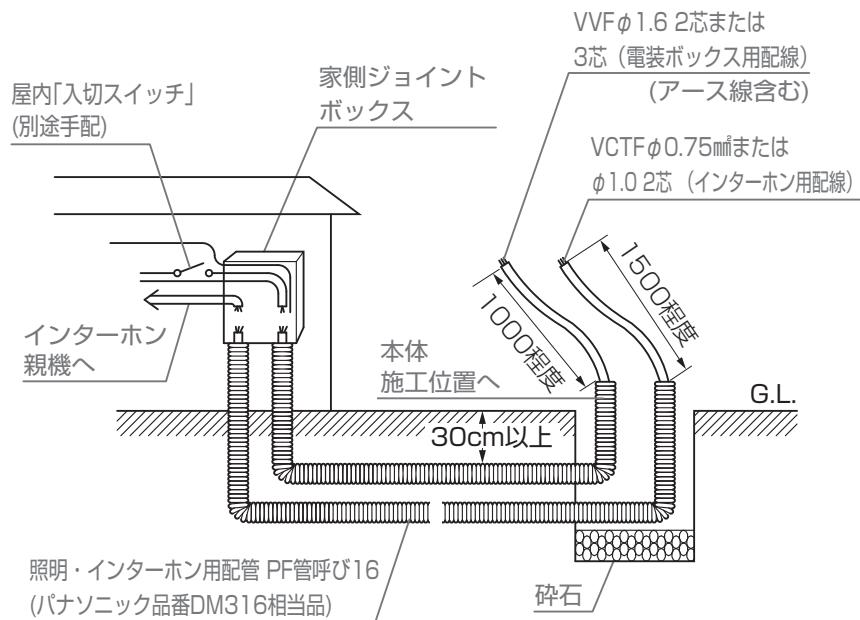


3 基礎と配線工事

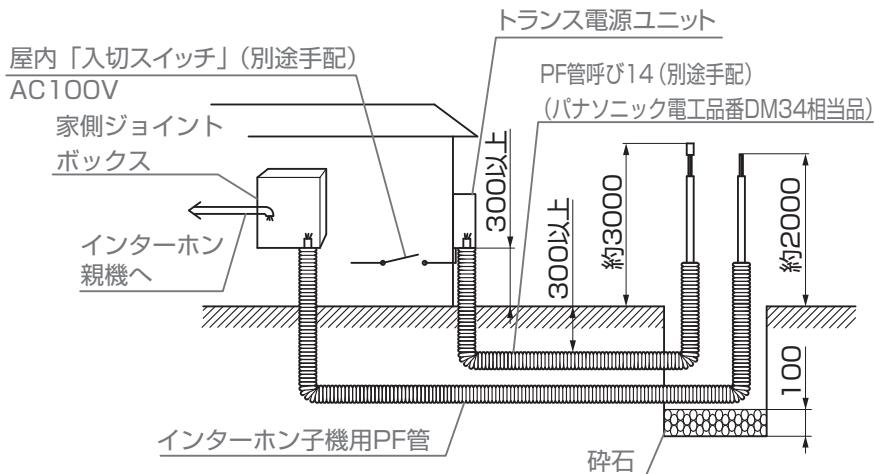
3-2 配線工事

※FamiLockの配線工事は「15-14 システムイメージ」(P.88)を参照してください

▼ AC100V配線 (AC100V照明) ▼



▼ DC12V配線 (トランス電源ユニットを使用する場合) ▼



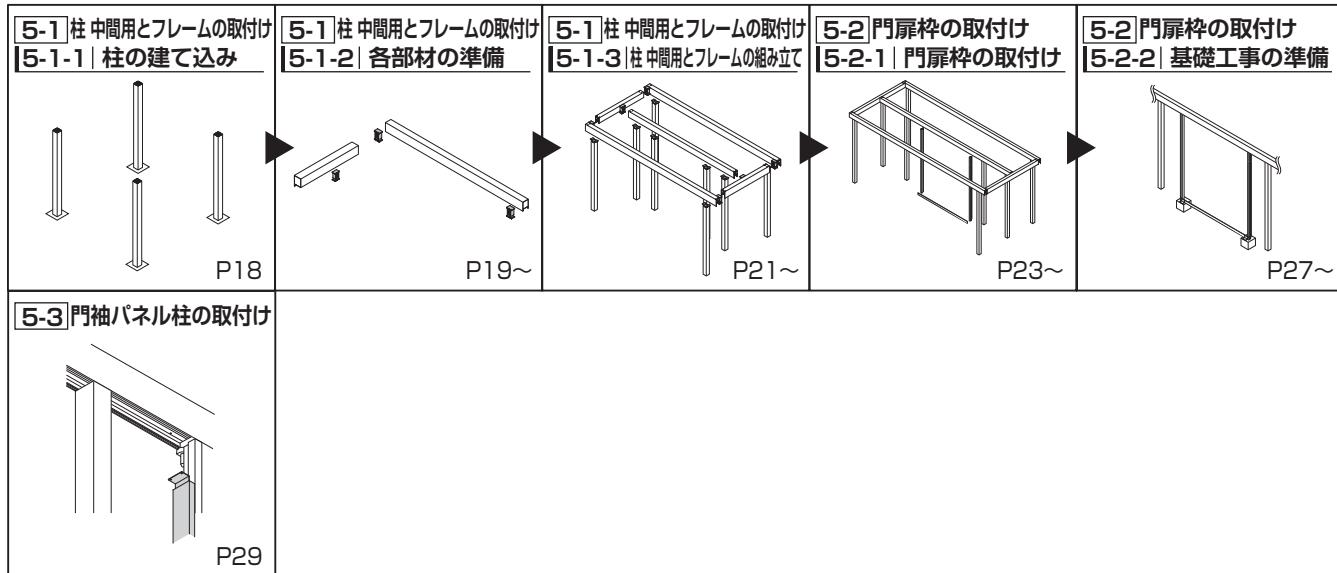
施工上のお願い

- 照明とインターホン子機用配線は、PF管により隔離してください。
- 屋内「入切スイッチ」は必ず設けてください。ランプ交換やお手入れの際に電源をOFFにできなくなります。
- 配管はG.L.よりも200mm程度上げ、バテ埋めなどでの処理を施してください。
- 照明用配線は柱の上端から引出します。また、インターホン子機用配線は柱側面から引出します。取付方法を確認し、作業内容に合わせた配線長さを考慮してください。

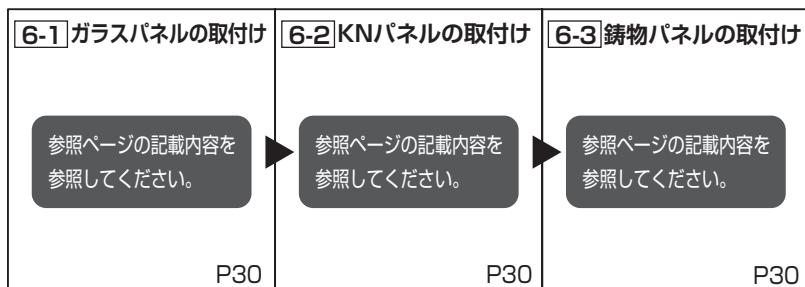
4 施工の流れ

※本ページでは、施工の基本的な手順を示しています。
作業を始める前に、必ず該当ページの内容を十分にご確認ください。

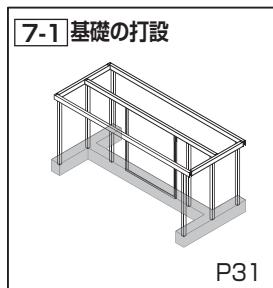
5 柱、フレームの取付け P.18~



6 門袖の取付け P.30~



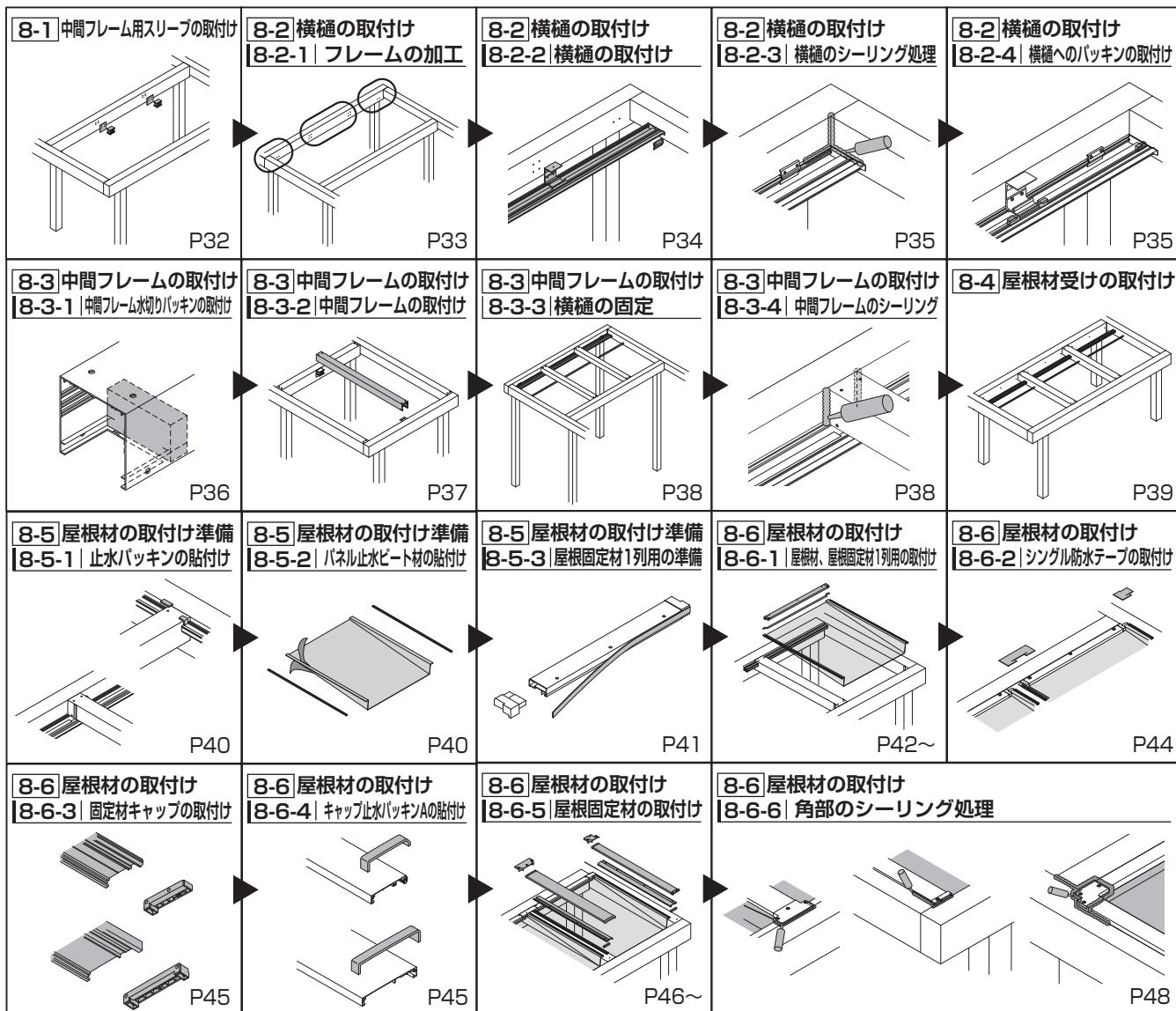
7 基礎の打設 P.31



4 施工の流れ（つづき）

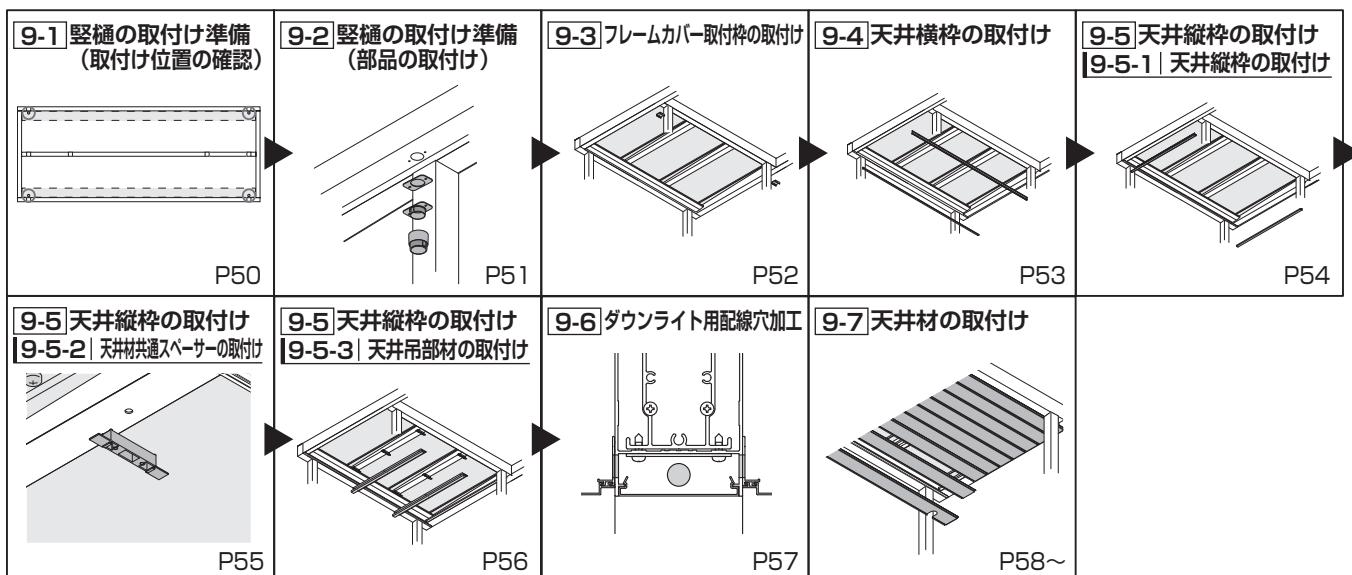
8 エントランスルーフの取付け

P.32~



9 天井材の取付け

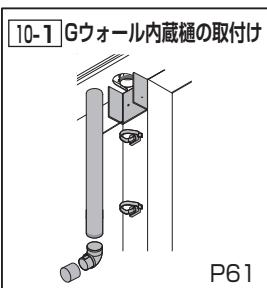
P.50~



4 施工の流れ（つづき）

10 壁面の取付け

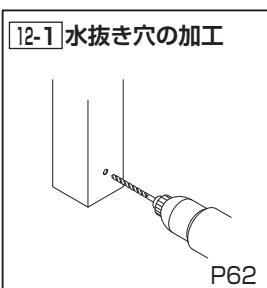
P.61



P61

12 水抜き穴の加工

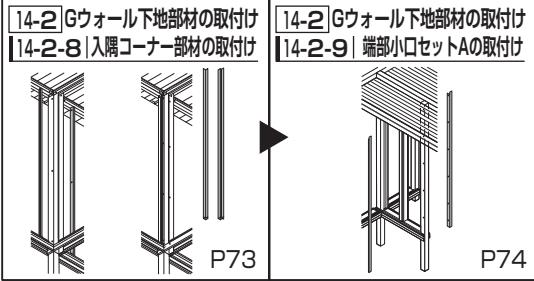
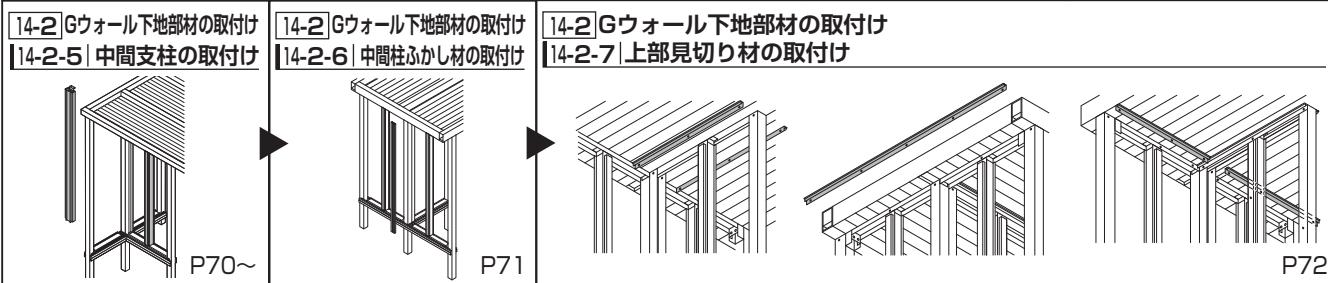
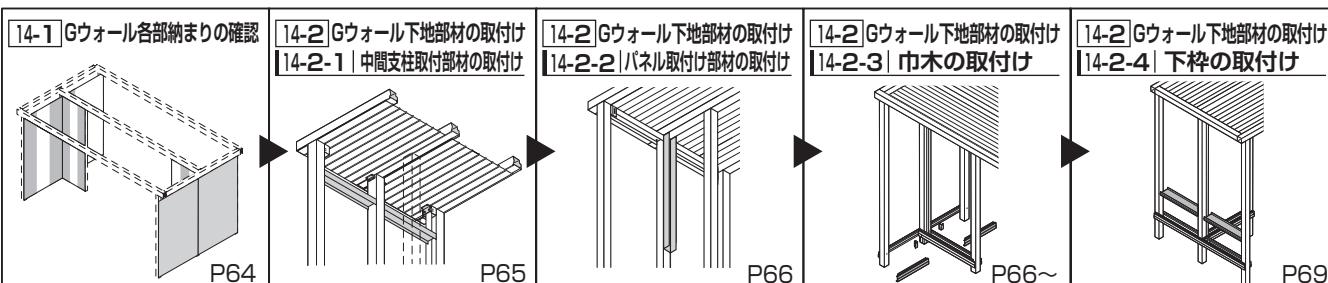
P.62



P62

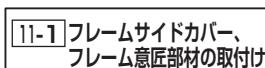
14 Gウォールの取付け

P.64～



11 フレームサイドカバー、フレーム意匠部材の取付け

P.62

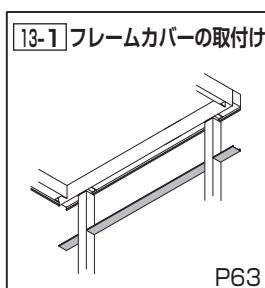


参照ページの記載内容を
参照してください。

P62

13 フレームカバーの取付け

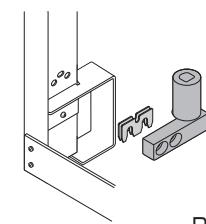
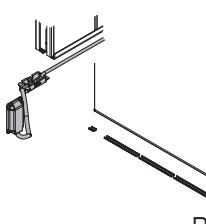
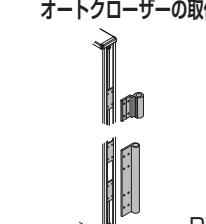
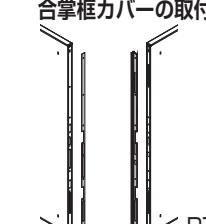
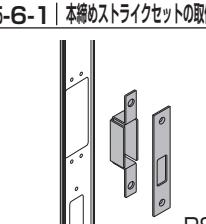
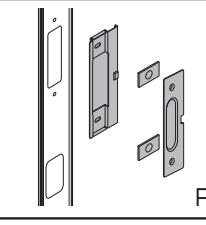
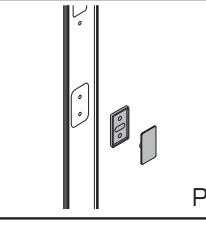
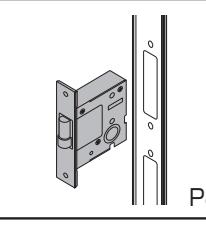
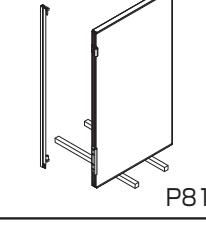
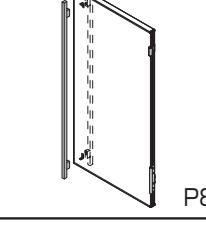
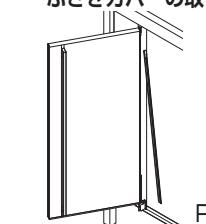
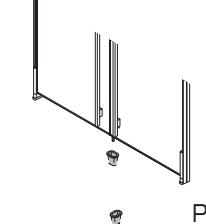
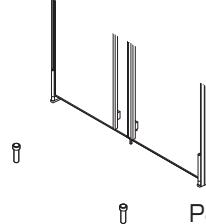
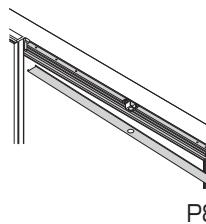
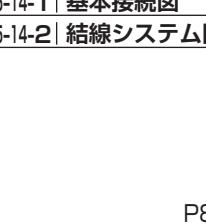
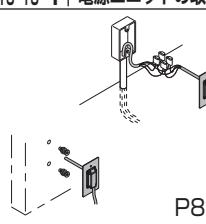
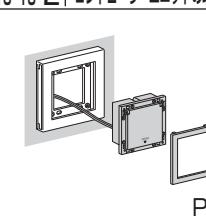
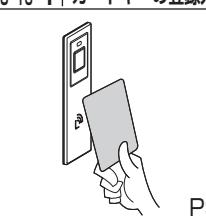
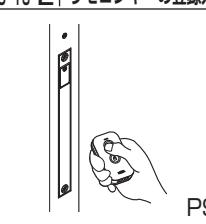
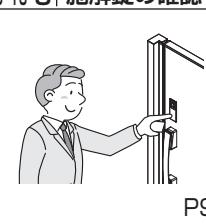
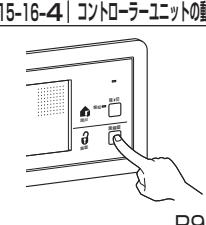
P.63



P63

4 施工の流れ（つづき）

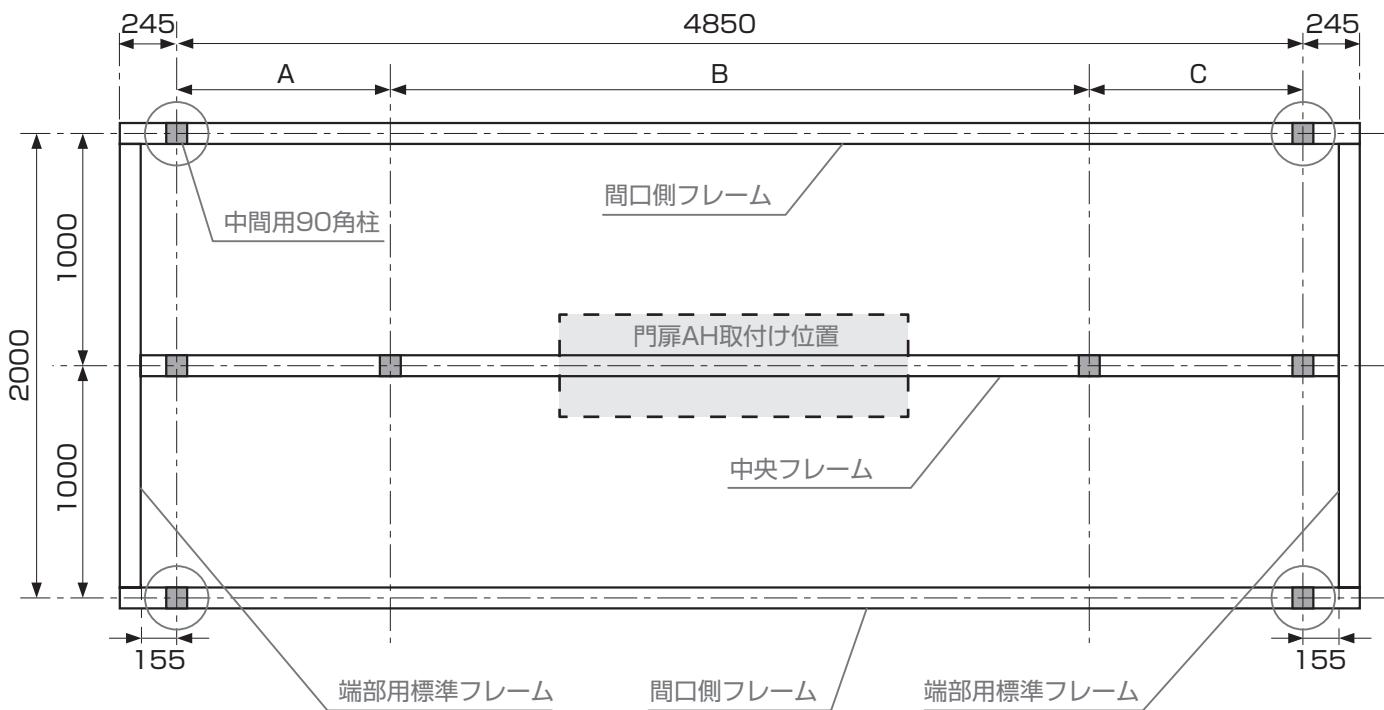
15 門扉の取付け P.75~

15-1 ピボットヒンジ(下用)の取付け  P75	15-2 配線の引き込み  P76	15-3 ヒンジおよびオートクローザーの取付け  P77	15-5 戸当たり、合掌框カバーの取付け  P79	15-6 錠部品の取付け 15-6-1 本締めストライクセットの取付け  P80
15-6 錠部品の取付け 15-6-2 調整ストライクセットの取付け  P80	15-6 錠部品の取付け 15-6-3 開閉検知マグネットの取付け  P80	15-6 錠部品の取付け 15-6-4 ローラーラッチの取付け  P80	15-7 門扉の吊り込み  P81~	15-9 ハンドルの取付け  P83
15-10 吊元背面隙間ふさぎカバーの取付け  P84	15-11 下部落し棒受けの施工  P85	15-12 扉ストッパーの施工  P86	15-13 上部落し棒受けの施工  P87	15-14 システムイメージ 15-14-1 基本接続図 15-14-2 結線システム図  P88
15-15 電気錠ユニットの扉への組付け 15-15-1 電源ユニットの取付け  P89~	15-15 電気錠ユニットの扉への組付け 15-15-2 コントローラユニットの取付け  P91	15-16 電気錠の登録および設定 15-16-1 カードキーの登録方法  P93	15-16 電気錠の登録および設定 15-16-2 リモコンキーの登録方法  P94	15-16 電気錠の登録および設定 15-16-3 施解錠の確認  P95
15-16 電気錠の登録および設定 15-16-4 コントローラユニットの動作確認  P95~	15-16 電気錠の登録および設定 15-16-5 自動施錠ON/OFFの切替方法  P97			

5 柱、フレームの取付け

5-1 柱 中間用とフレームの取付け

5-1-1 柱の建て込み



施工上のお願い

- 門袖(門扉の両側)の納まりによって柱の位置が異なります。下表を参照し位置を決定してください。
また、A寸法またはC寸法が1000より大きくなる場合は、間に柱が追加で1本必要になります。

門袖の納まり		柱芯々		
A側	C側	A寸法	B寸法	C寸法
ガラスパネル ※	ガラスパネル ※	922.5	3005	922.5
ガラスパネル ※	Gウォール	922.5	2585	1342.5
Gウォール	ガラスパネル ※	1342.5	2585	922.5
Gウォール	Gウォール	1342.5	2165	1342.5

※ボックスセットKN用意匠パネル、鋳物パネルの場合も同様

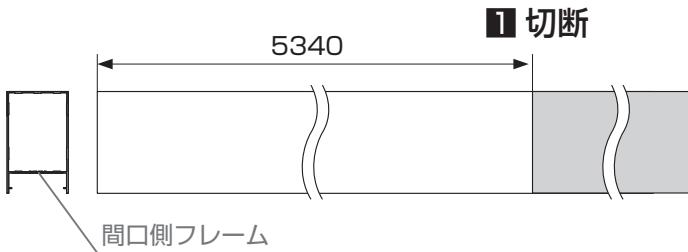
- 上図の丸で囲ってある中間用90角柱には補強金具を取付けてください。
- Gウォール内の中央に配置し外部から見えなくなる柱にはシャイニングレー色の柱を使用してください。また、Gウォール内の端部に配置する柱でもGウォールの小口をタイル納まりにする場合は、シャイニングレー色の柱を使用してください。

5 柱、フレームの取付け

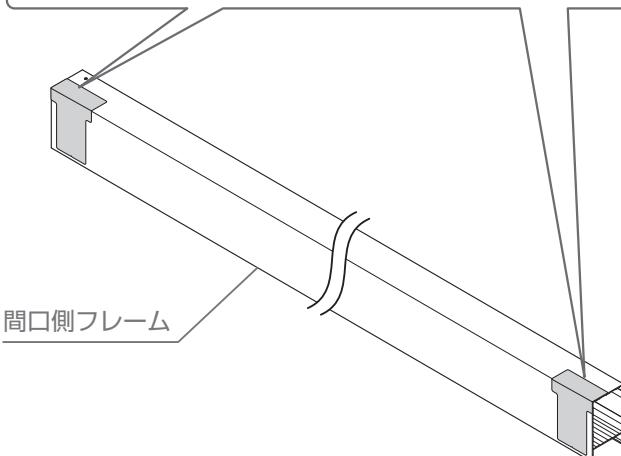
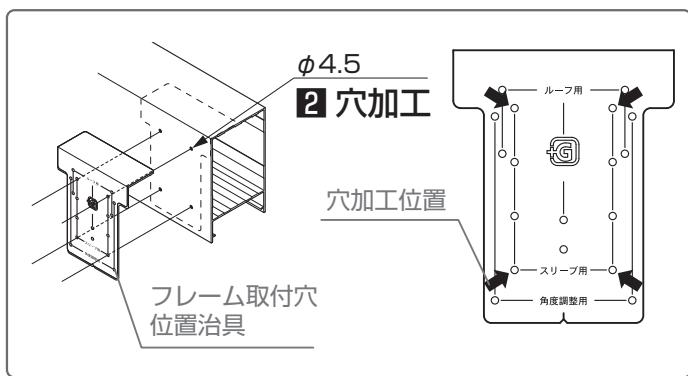
5-1 柱 中間用とフレームの取付け（つづき）

5-1-2 各部材の準備

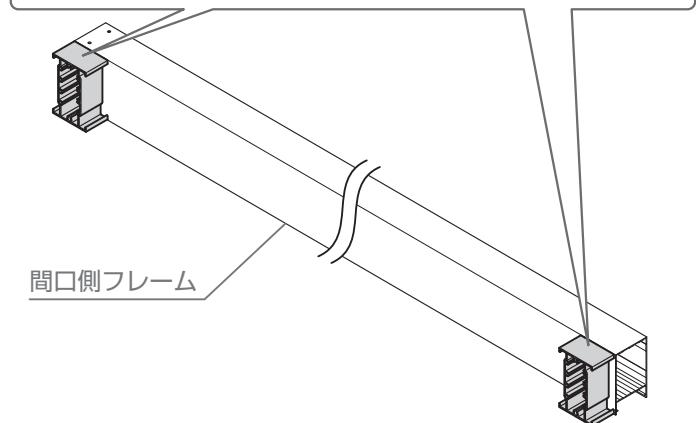
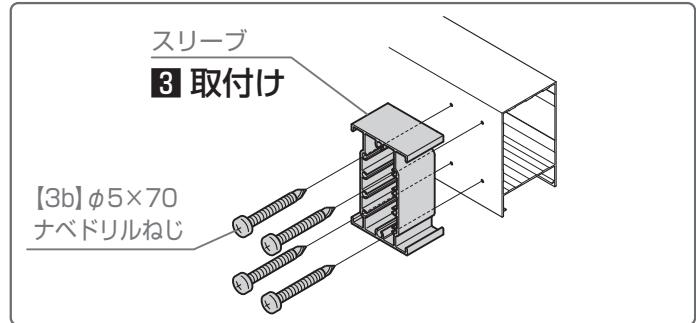
1: 間口側フレームを5340mmで切断(間口側フレーム用)



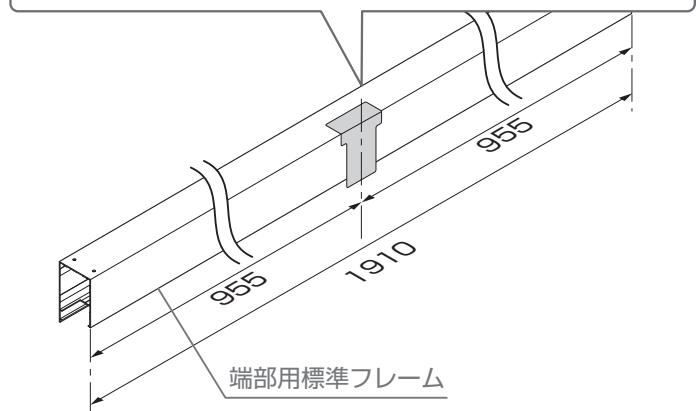
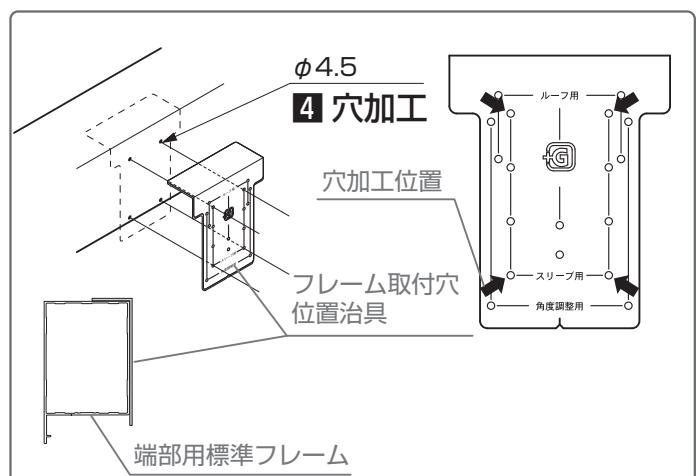
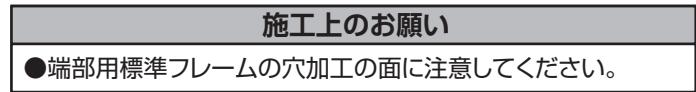
2: 間口側フレームの両端部にフレーム取付穴位置治具をあて、 $\phi 4.5$ の穴加工



3: スリーブを間口側フレームに【3b】で取付け



4: 端部用標準フレームの中心部にフレーム取付穴位置治具をあて、 $\phi 4.5$ の穴加工

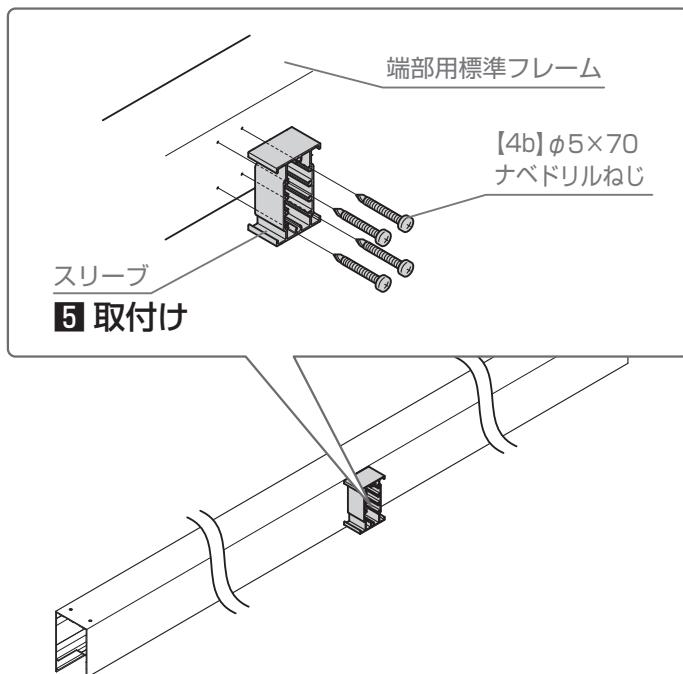


5 柱、フレームの取付け

5-1 柱 中間用とフレームの取付け（つづき）

5-1-2 各部材の準備（つづき）

5:スリーブを端部用標準フレームに【4b】で取付け

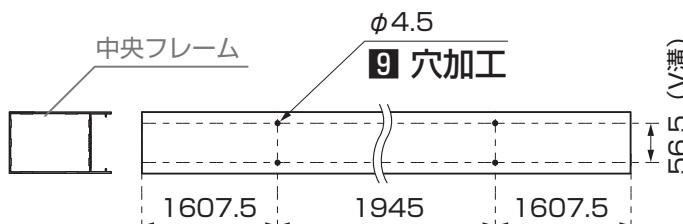
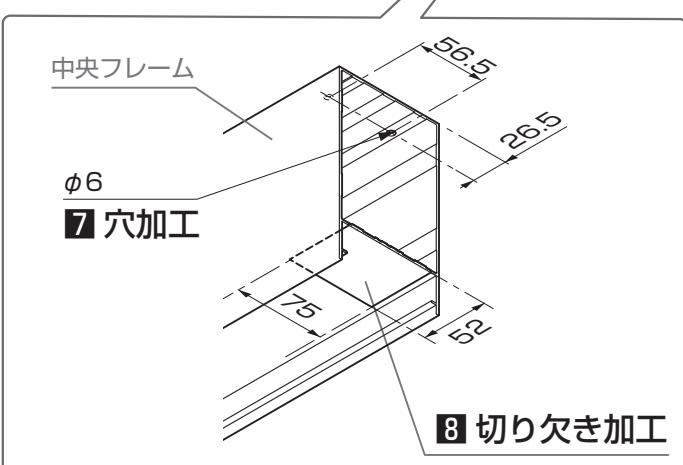
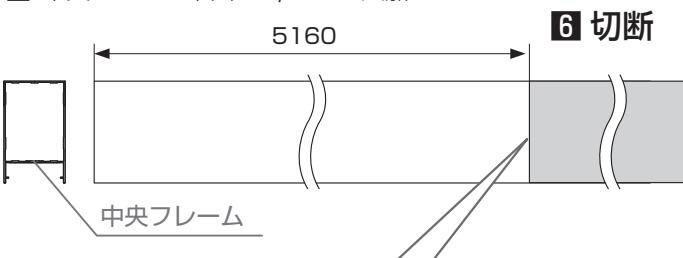


6:中央フレームを5160mmで切断(中央フレーム用)

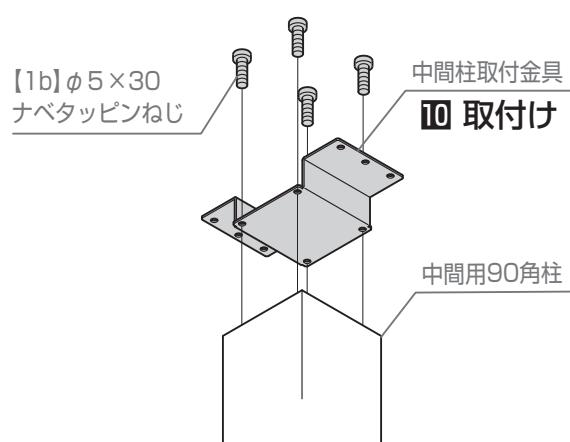
7:中央フレームを切断した側に、 $\phi 6$ の穴加工

8:中央フレームを切断した側に、切欠き加工

9:中央フレーム下面に、 $\phi 4.5$ の穴加工

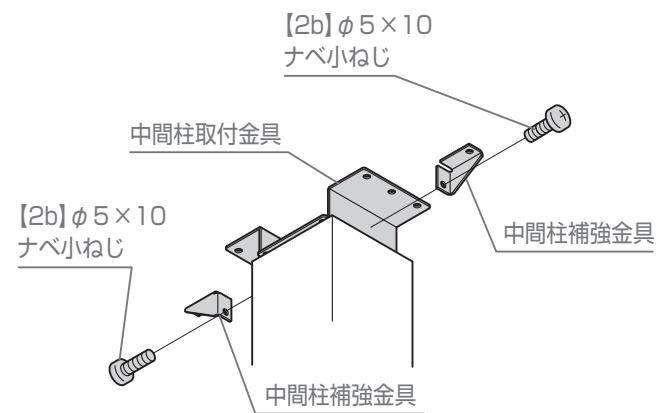


10:中間柱取付金具を90角中間柱の上端に【1b】で取付け



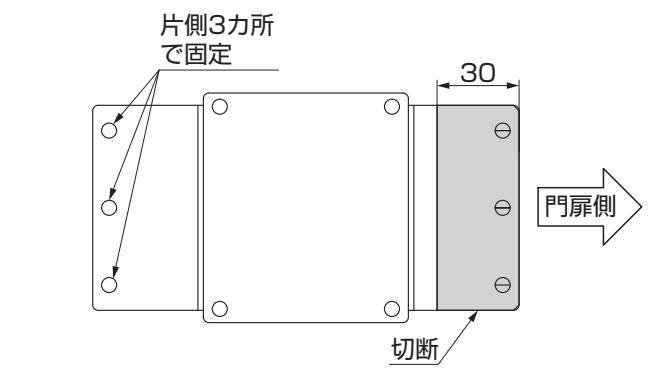
施工上のお願い

●「5-1-1 柱の建て込み」の図中の丸で囲ってある中間用90角柱には、中間柱補強金具を【2b】で取付けてください。



●門袖に鋳物パネルを取付ける場合は、中間柱取付金具に加工が必要になります。「6-3 鋳物パネルの取付け」を参照し、中間柱取付金具に加工を行ってから柱に取付けてください。

●「5-1-1 柱の建て込み」で門袖の納まりがGウォールの場合は、門扉と隣接する90角柱中間用の中間柱取付金具に加工が必要になります。下記を参照し、中間柱取付金具の門扉側から30mmを切断してください。また、金具をフレームへ取付ける際は、片側3カ所の固定穴を使用して固定してください。



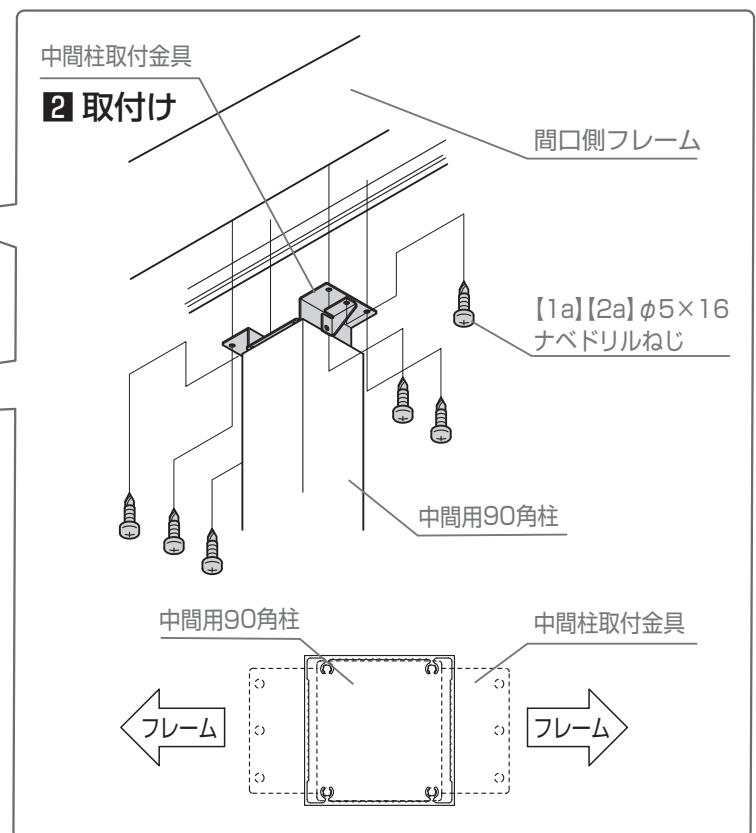
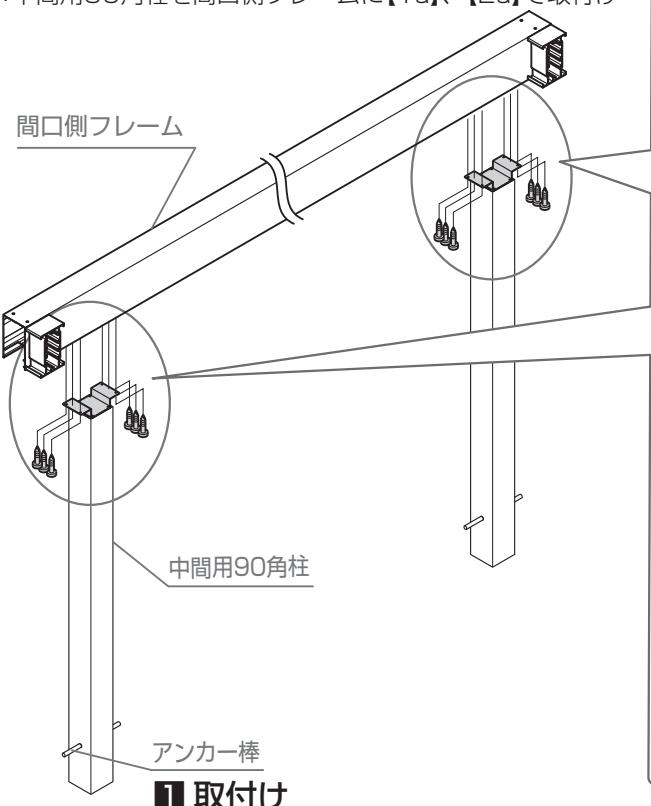
5 柱、フレームの取付け

5-1 柱 中間用とフレームの取付け（つづき）

5-1-3 柱 中間用とフレームの組み立て

1:アンカーバーを中間用90角柱に取付け

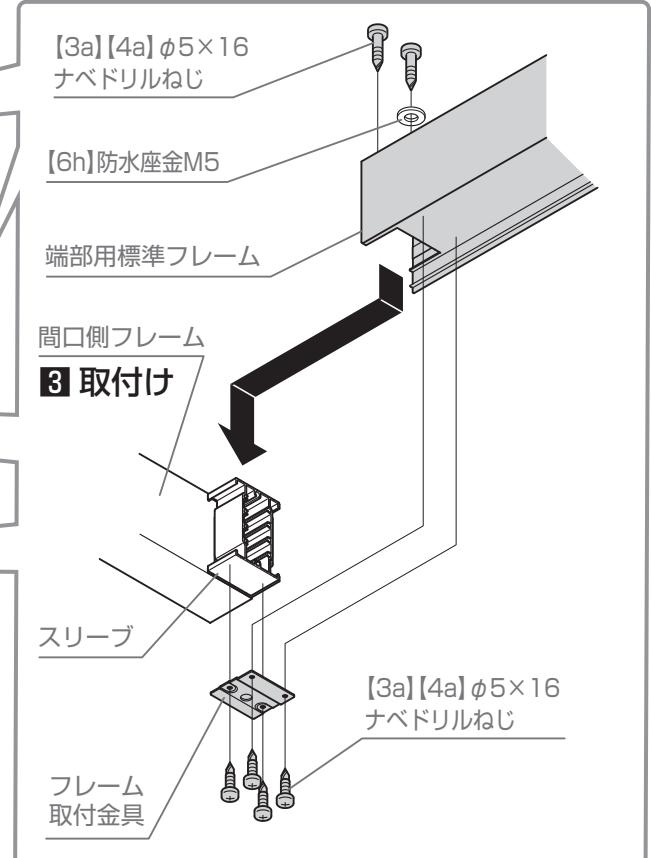
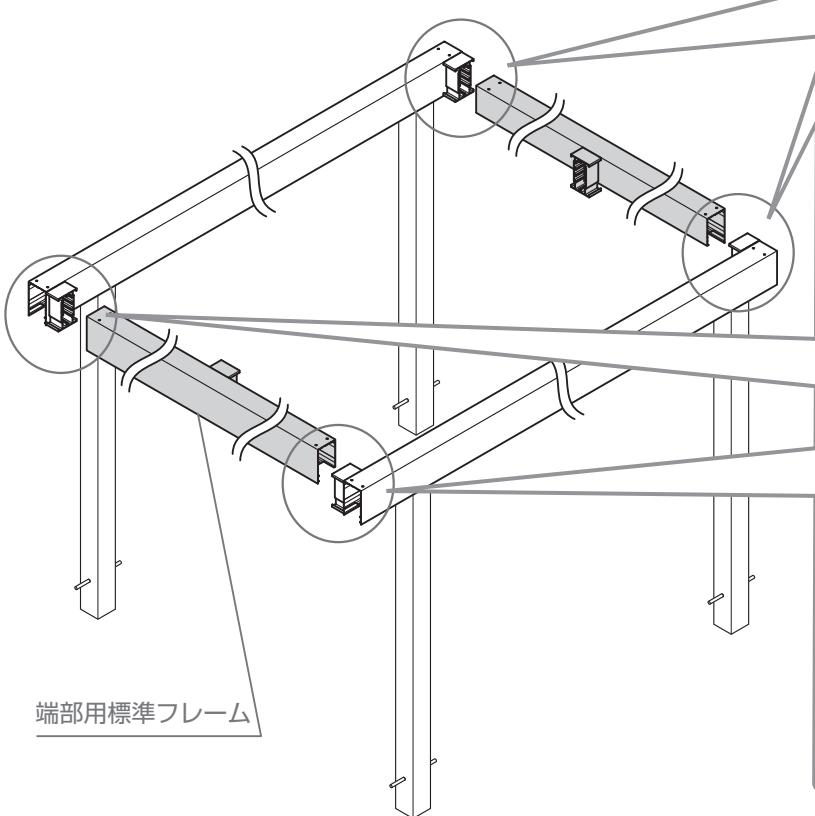
2:中間用90角柱を間口側フレームに【1a】、【2a】で取付け



3:端部用標準フレームを間口側フレームにフレーム取付金具と【3a】、【4a】、【6h】で取付け

施工上のお願い

- 上面から固定する【3a】【4a】は、外側の取付けねじのみ
【6h】を使用して固定してください。

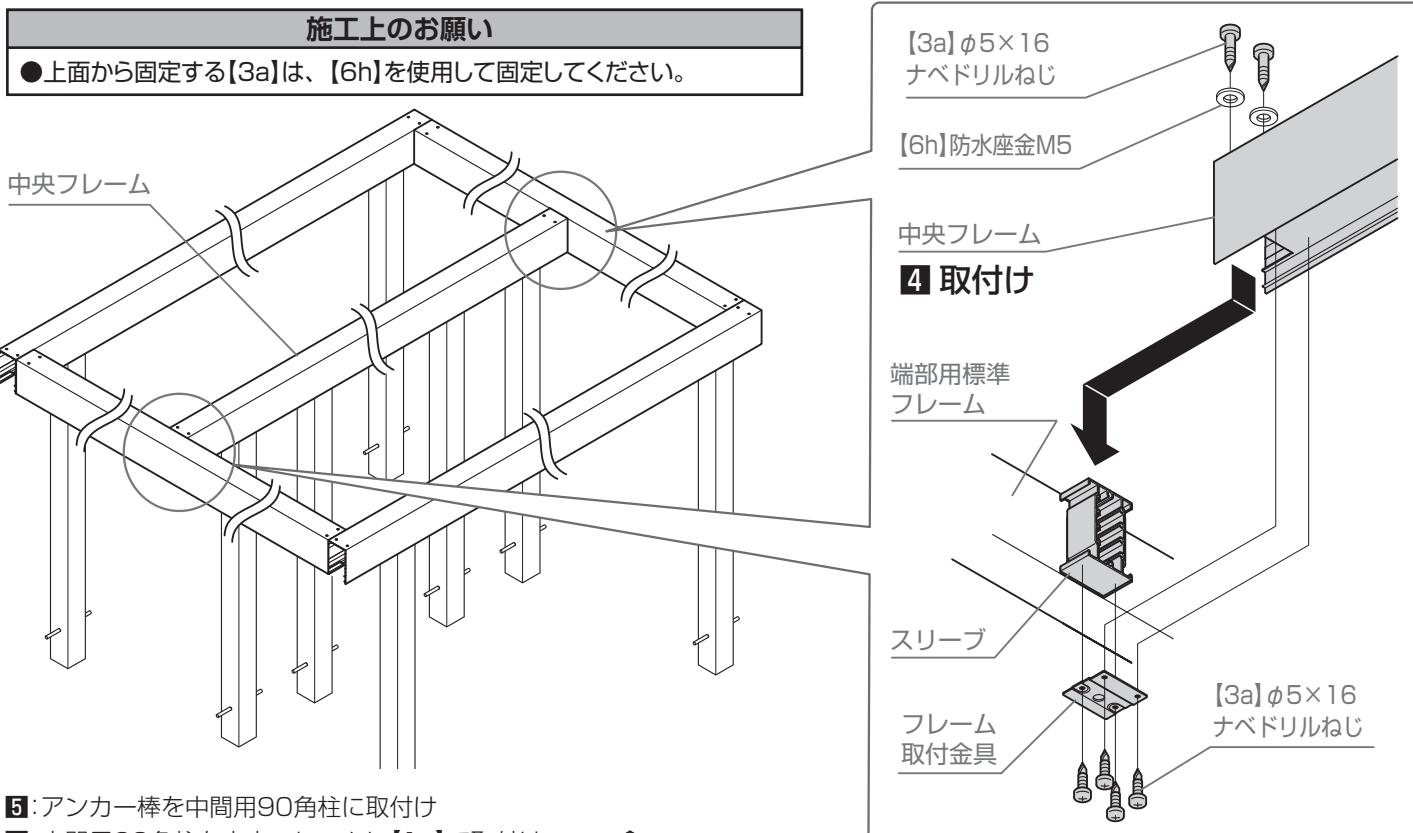


5 柱、フレームの取付け

5-1 柱 中間用とフレームの取付け（つづき）

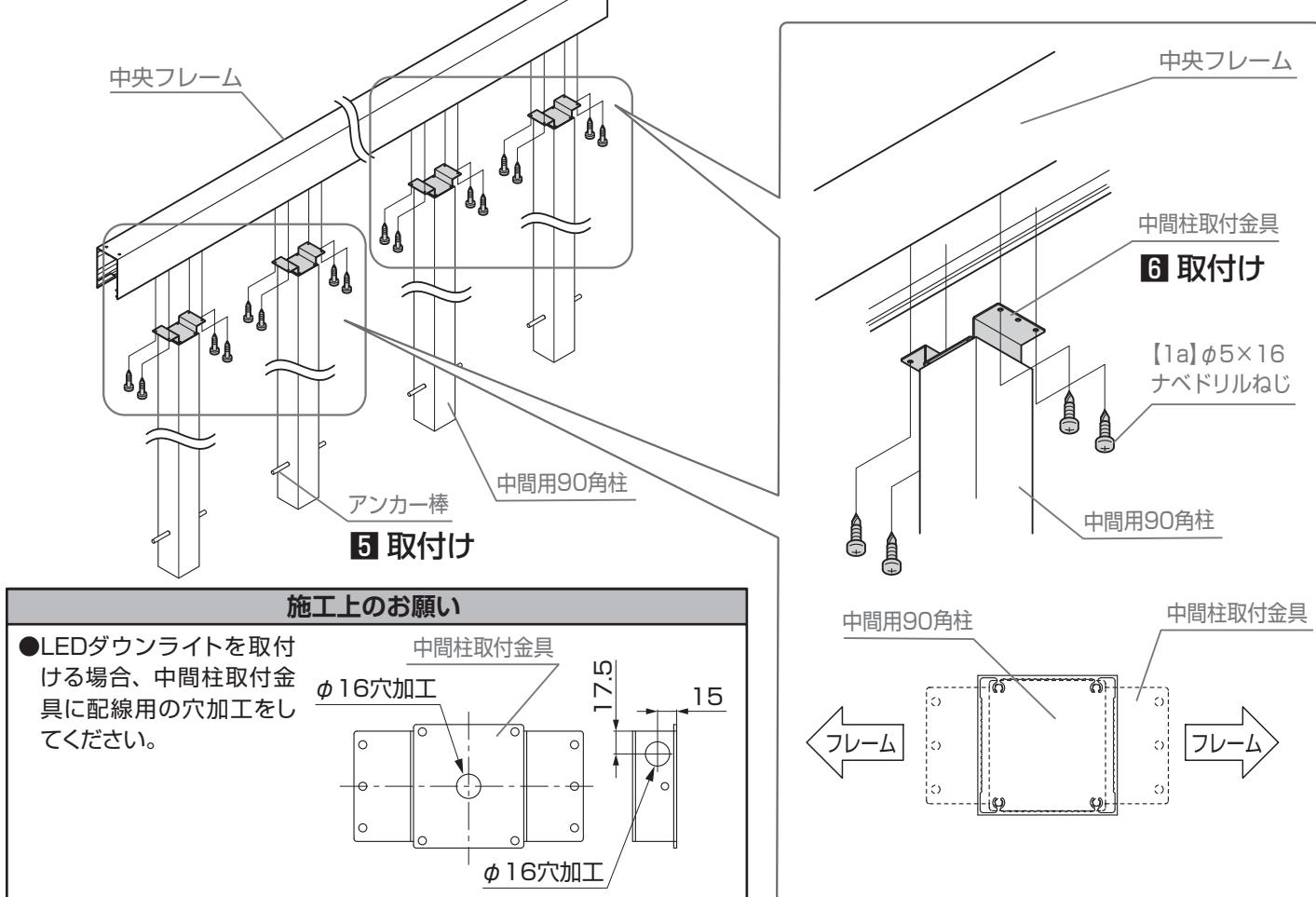
5-1-3 柱 中間用とフレームの組み立て（つづき）

4:中央フレームを端部用標準フレームにフレーム取付金具と【3a】、【6h】で取付け



5:アンカー棒を中間用90角柱に取付け

6:中間用90角柱を中央フレームに【1a】で取付け



5 柱、フレームの取付け

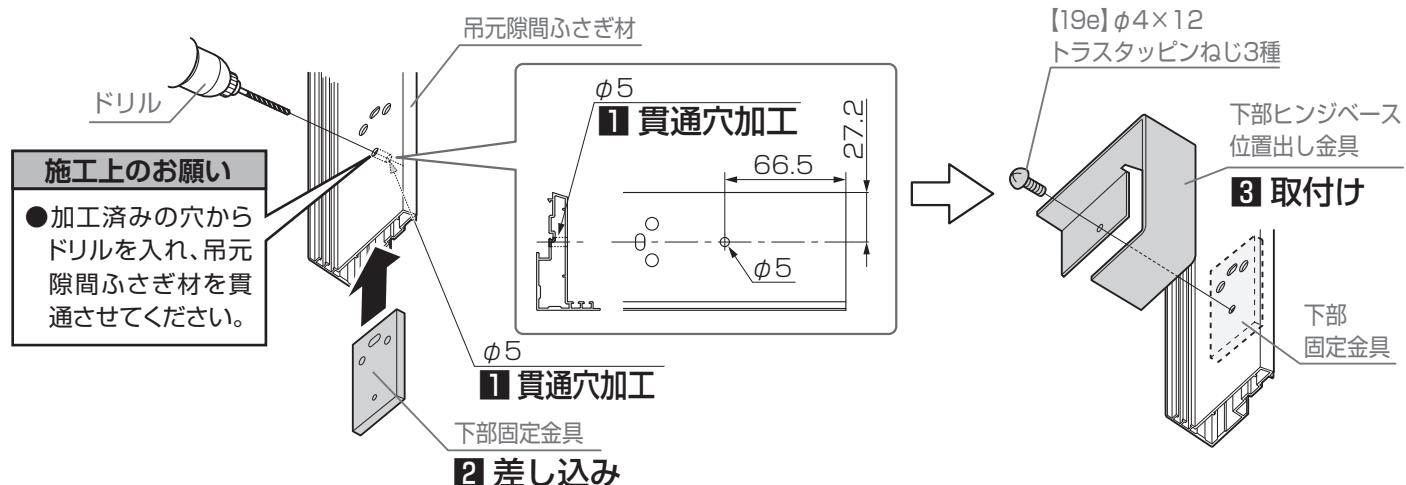
5-2 門扉枠の取付け

施工上のお願い

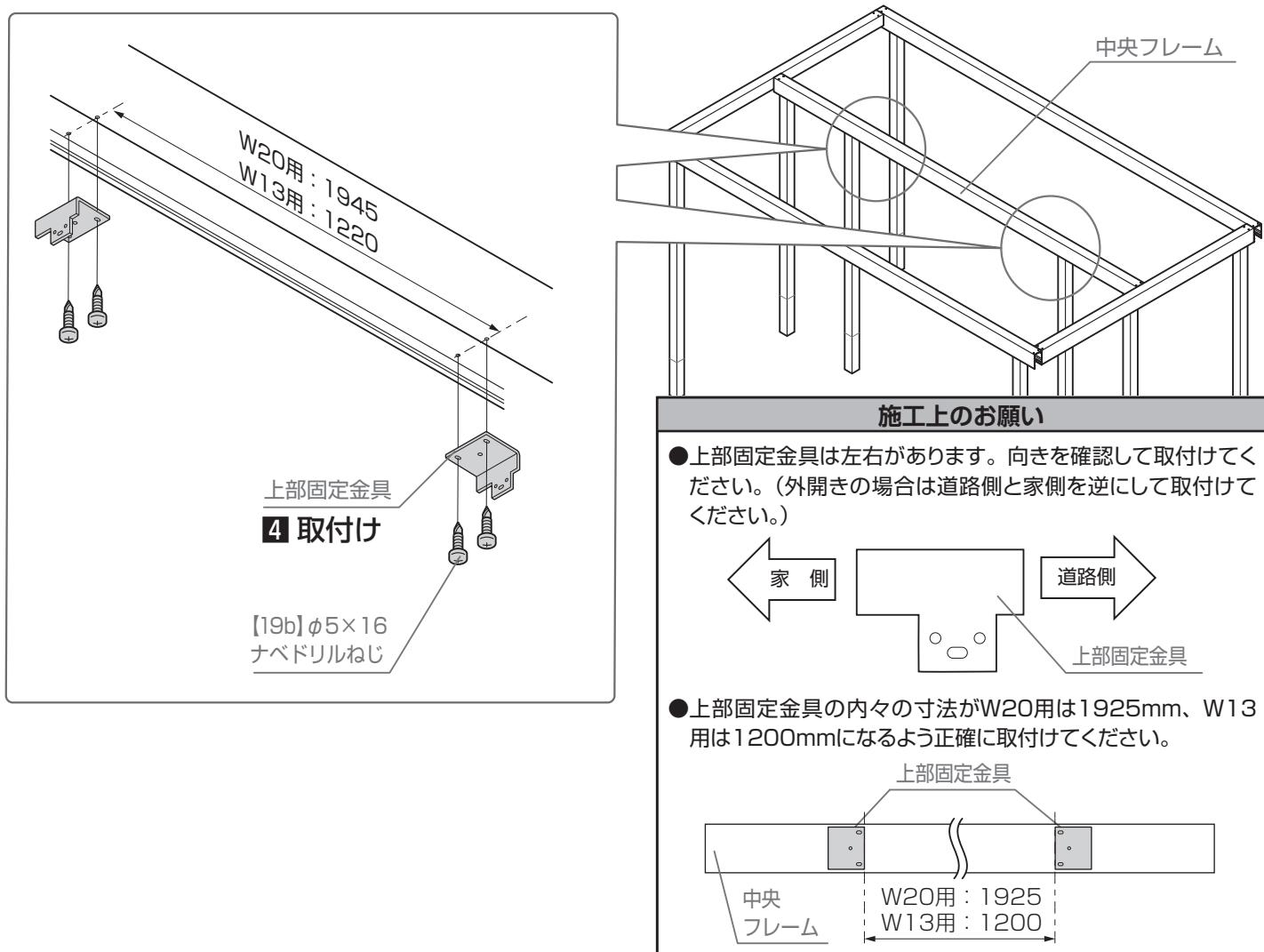
- 門扉枠の取付け作業は必ず2人以上で行ってください。
- 吊元隙間ふさぎ材の垂直やねじれなどの確認をしながら取付け作業を行ってください。

5-2-1 門扉枠の取付け

- 1: 吊元隙間ふさぎ材にφ5の貫通穴加工
- 2: 下部固定金具を吊元隙間ふさぎ材の下端に差し込み
- 3: 下部ヒンジベース位置出し金具を【19e】で取付け



- 4: 「5-1-2 各部材の準備」の⑨で中央フレームに加工したφ4.5の穴に、上部固定金具を【19b】で取付け



5 柱、フレームの取付け

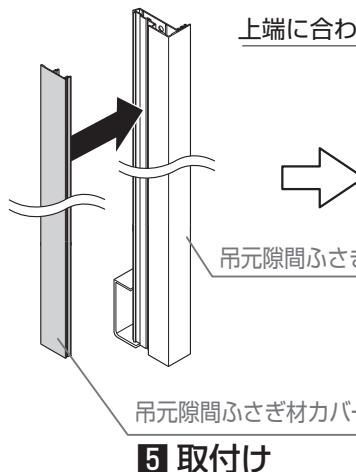
5-2 門扉枠の取付け（つづき）

5-2-1 門扉枠の取付け（つづき）

5: 吊元隙間ふさぎ材カバーを吊元隙間ふさぎ材に取付け

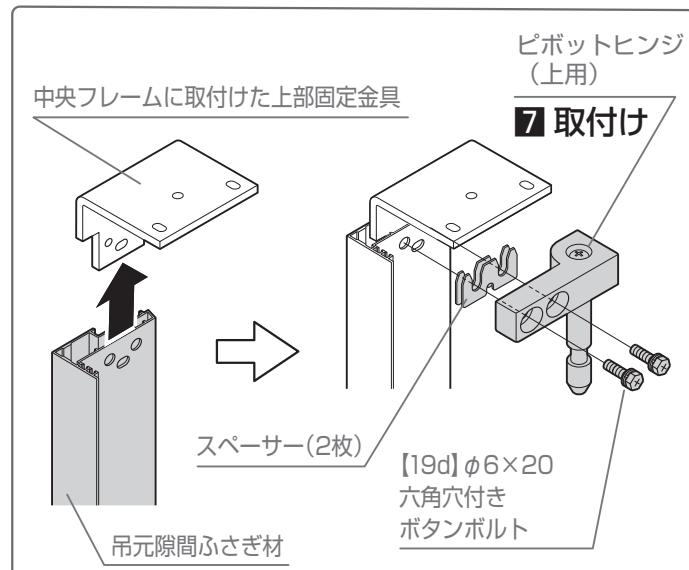
施工上のお願い

- 門袖にガラスパネルを取付ける場合は、吊元隙間ふさぎ材カバーを取り付けないでください。



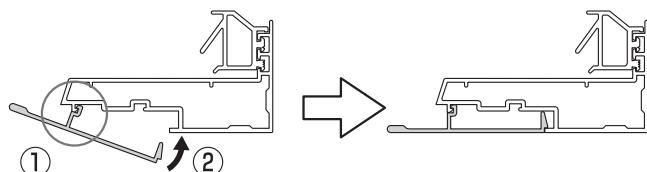
5 取付け

7: 吊元隙間ふさぎ材を中央フレームに取付けた上部固定金具に差し込み、吊元隙間ふさぎ材とピボットヒンジ（上用）の間にスペーサーを2枚入れて【19d】で取付け

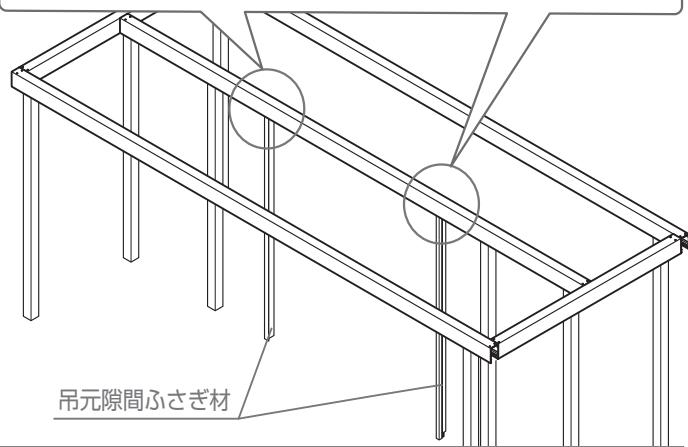


施工上のお願い

- 外側を引っ掛けてから①、内側を②はめ込みます。



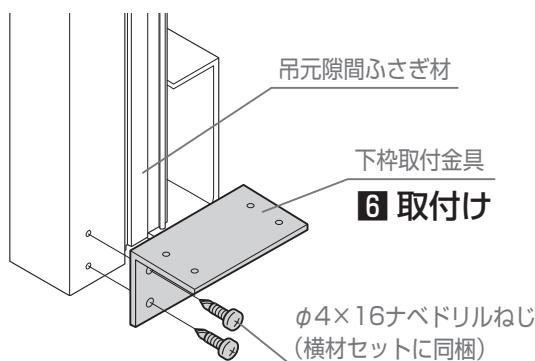
- はめ込みにくい場合は、当て木とプラスチックハンマーを利用して叩き込んでください。
- スライドさせて入れることもできます。



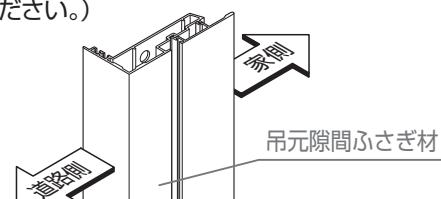
6: 吊元隙間ふさぎ材の下端に下枠取付金具をφ4×16ナベドリルねじで取付け

施工上のお願い

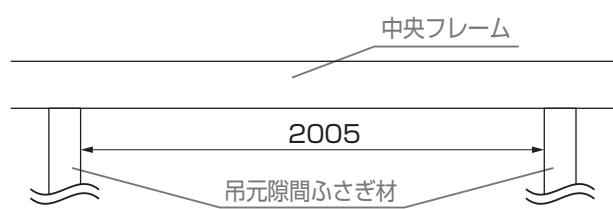
- 下枠取付金具の取付けは、吊元隙間ふさぎ材の隣にガラスパネルを取付ける場合のみ行ってください。



●吊元隙間ふさぎ材は取付ける向きがあります。向きを確認して取付けてください。（外開きの場合は道路側と家側を逆にして取付けてください。）



●吊元隙間ふさぎ材取付け後、吊元隙間ふさぎ材同士の内々の寸法が2005mmになっているか必ず確認してください。



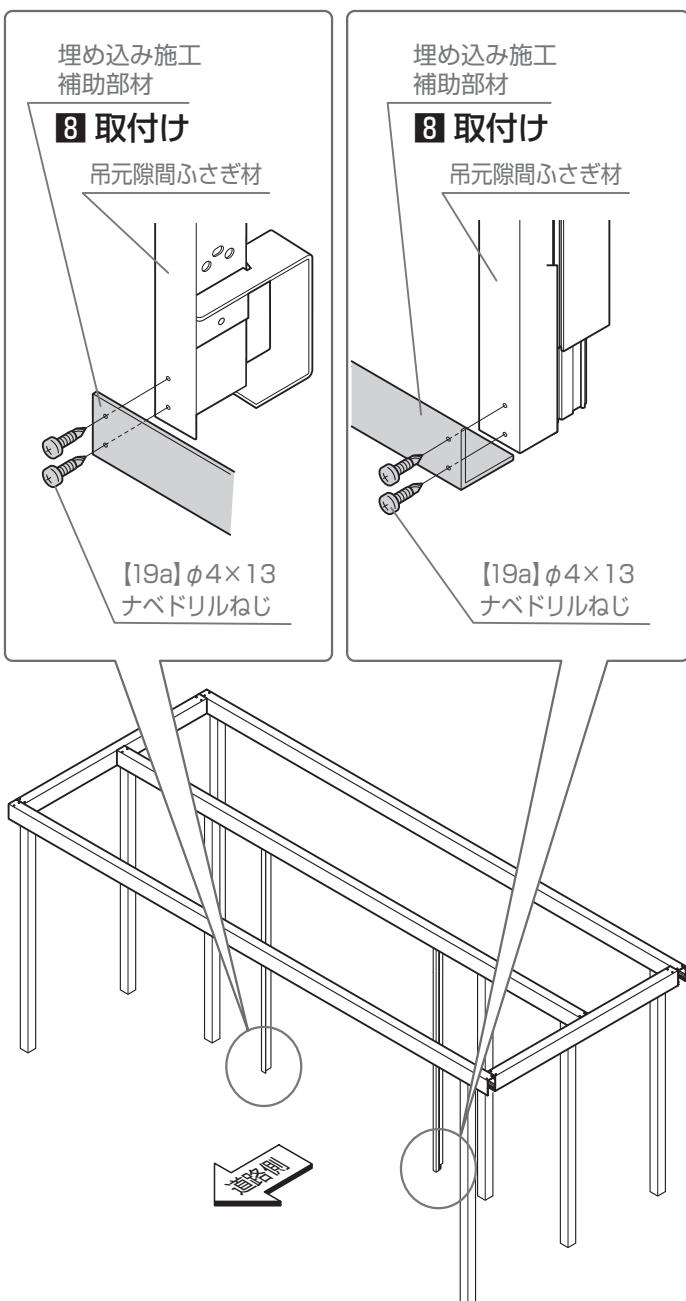
●ピボットヒンジの調整は門扉取付け時に行います。
(P.82参照)

5 柱、フレームの取付け

5-2 門扉枠の取付け（つづき）

5-2-1 門扉枠の取付け（つづき）

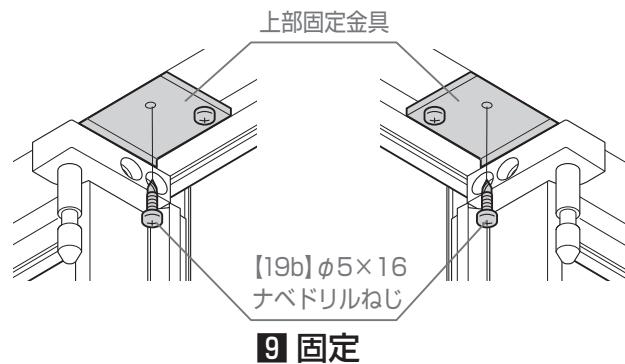
8: 埋め込み施工補助部材を吊元隙間ふさぎ材に【19a】で取付け



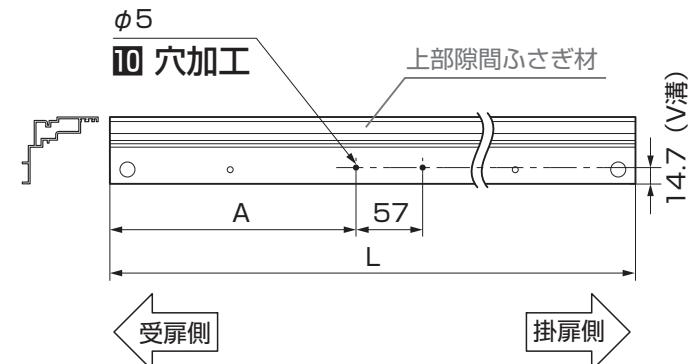
9: ④で取付けた上部固定金具を【19b】で固定

施工上のお願い

- 7、8で吊元隙間ふさぎ材同士の内々の寸法が2005mmになっているか確認した後、上部固定金具を固定し吊元隙間ふさぎ材の位置を確定します。



10: 上部隙間ふさぎ材にφ5の穴加工

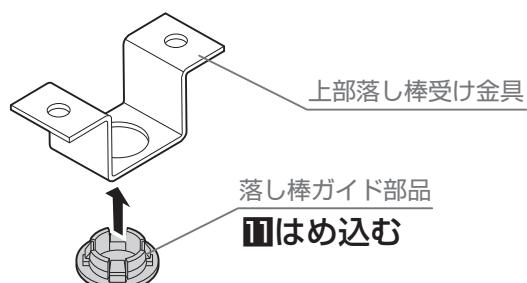


サイズ	L	A
W13	1280	209.5
W20	2005	945.5

施工上のお願い

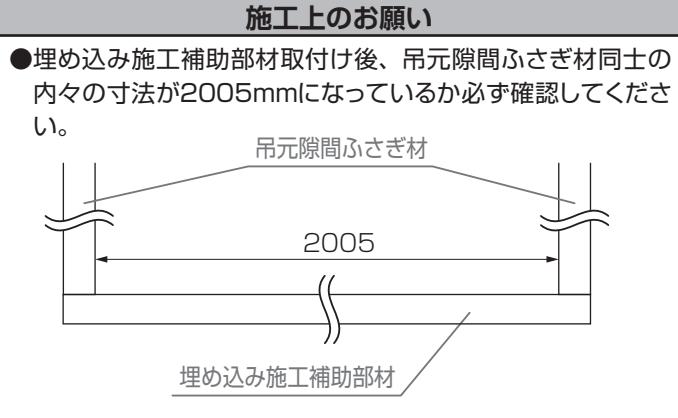
- 上図は右勝手の場合です。左勝手の場合は加工位置が左右逆になります。

11: 落し棒ガイド部品を上部落し棒受け金具にはめ込む



施工上のお願い

- はめ込みにくい場合は当て木とプラスチックハンマーを使用して叩き込んでください。

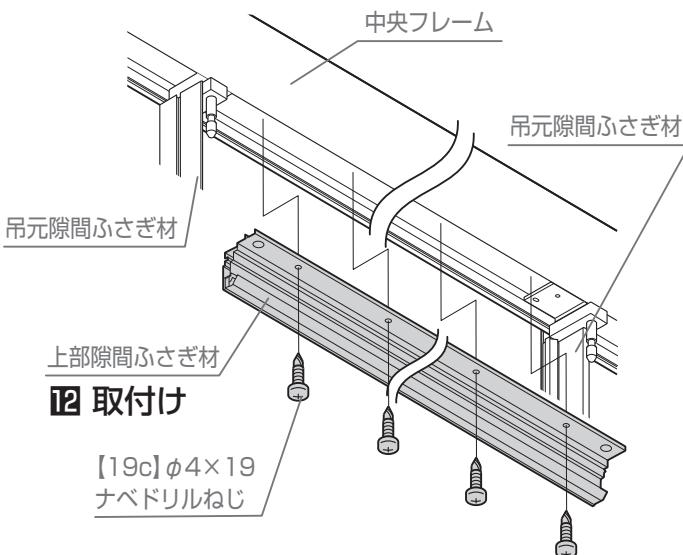


5 柱、フレームの取付け

5-2 門扉枠の取付け（つづき）

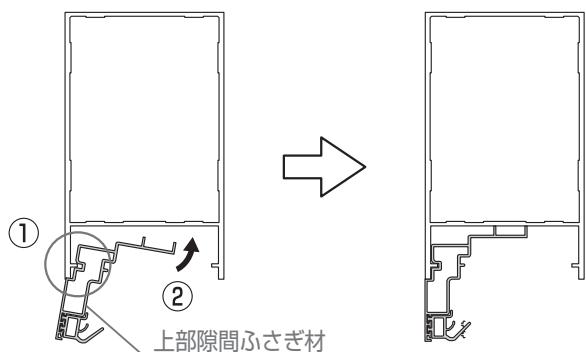
5-2-1 門扉枠の取付け（つづき）

12: 上部隙間ふさぎ材を中心フレームに【19c】で取付け



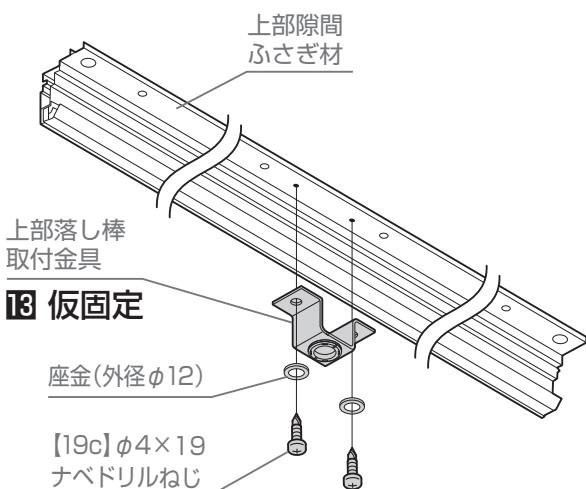
施工上のお願い

- フレーム内の突起部分に上部隙間ふさぎ材のへこみ部分を合わせ(①)、はめ込みます(②)。



- ねじ止めする前に、上部隙間ふさぎ材が吊元隙間ふさぎ材の内々にぴったり納まる事を確認してください。

13: 上部落し棒取付金具を上部隙間ふさぎ材に【19c】、座金(外径φ12)で仮固定

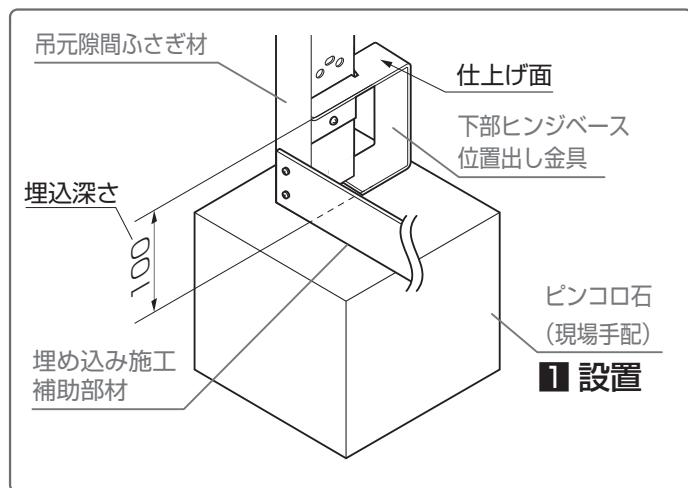


5 柱、フレームの取付け

5-2 門扉枠の取付け（つづき）

5-2-2 基礎工事の準備

①: 吊元隙間ふさぎ材の下端部付近にピンコロ石を設置

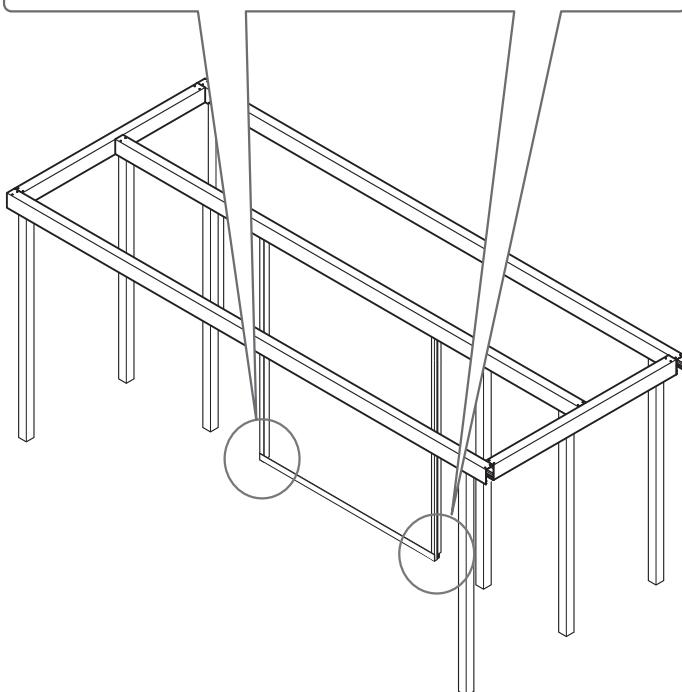
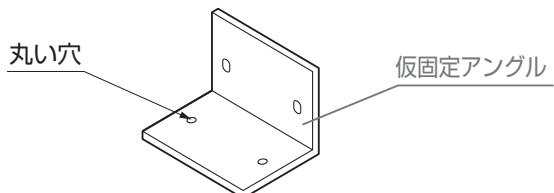


②: 仮固定アングルをピンコロ石に置き、仮固定アングル固定用の穴の位置を確認し、ピンコロ石に下穴加工

③: 仮固定アングルを【19g】でピンコロ石に取付け

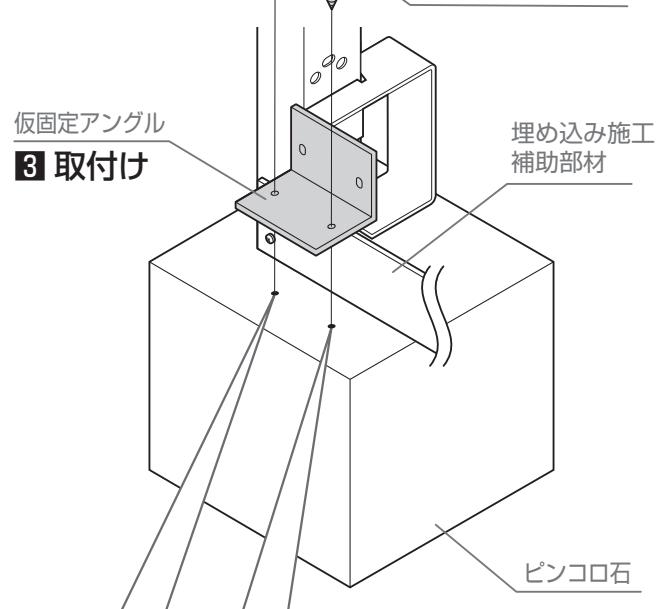
施工上のお願い

- 仮固定アングルをピンコロ石に取付けるときは、丸い穴を使用してください。（長穴は使用しないでください。）

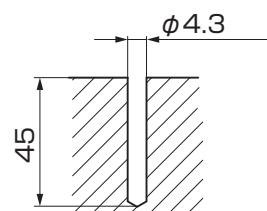


施工上のお願い

- ピンコロ石は現場で手配してください。
(参考サイズ: 150×150×100)



2 穴加工

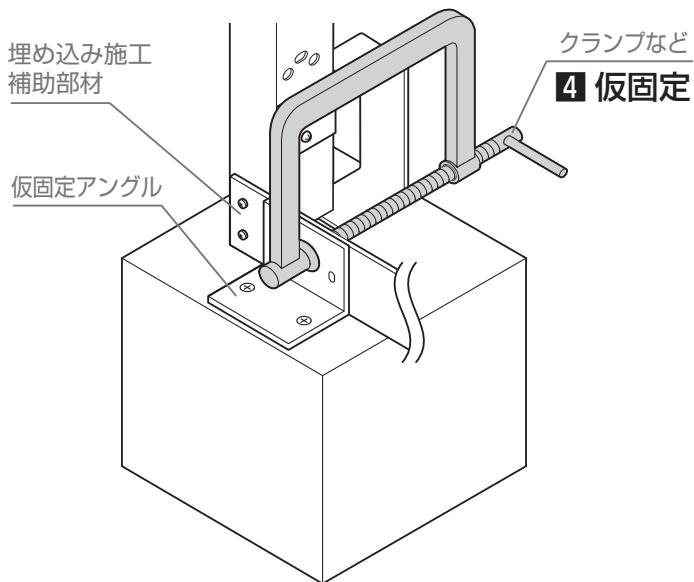


5 柱、フレームの取付け

5-2 門扉枠の取付け（つづき）

5-2-2 基礎工事の準備（つづき）

- 4: 埋め込み施工補助部材と仮固定アングルをクランプなどで仮固定



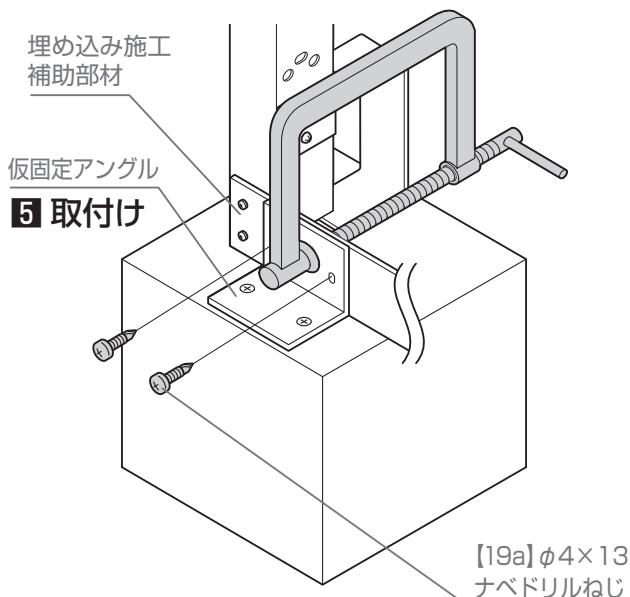
施工上のお願い

- クランプで埋め込み施工補助部材と仮固定アングルをクランプなどで仮固定した後、吊元隙間ふさぎ材同士の内々寸法が2005mmになっているか必ず確認してください。

吊元隙間ふさぎ材

2005

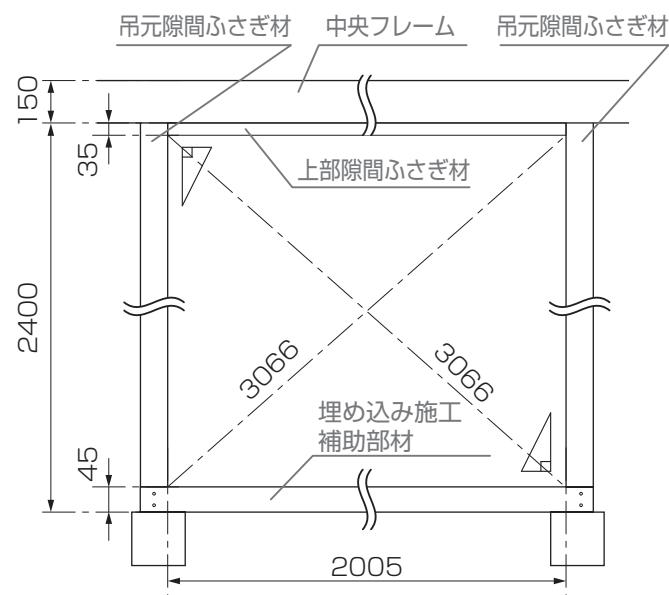
- 5: 仮固定アングルを埋め込み施工補助部材に【19a】で取付け



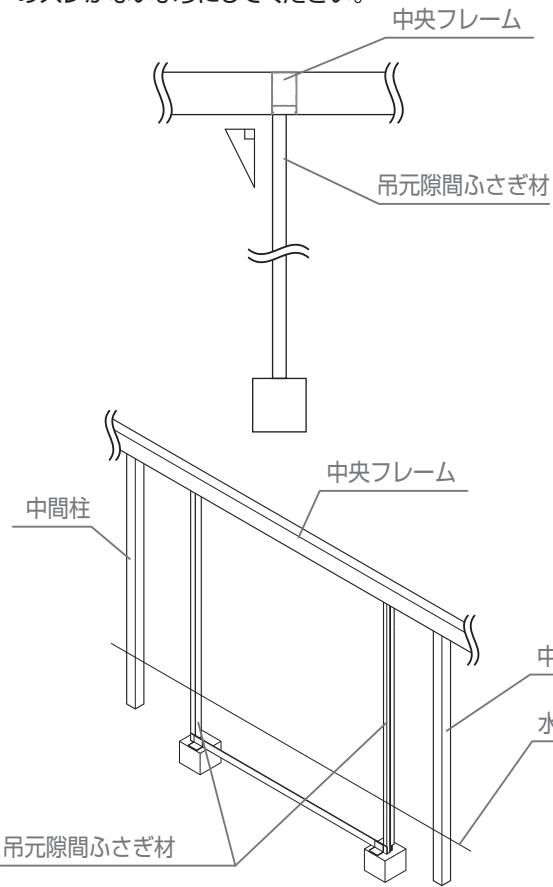
- 6: 吊元隙間ふさぎ材同士の内々寸法、垂直、捻じれなどを確認

施工上のお願い

- 吊元隙間ふさぎ材の垂直・直角が出ているか、吊元隙間ふさぎ材同士の内々寸法が2005mmになっているか、上部隙間ふさぎ材と埋め込み施工補助部材との対角寸法が3066mmになっているか必ず確認してください。



- 正面からの確認だけでなく、側面側の垂直も確認するようにしてください。また、中間柱間に水糸を張るなどして、前後のズレがないようにしてください。

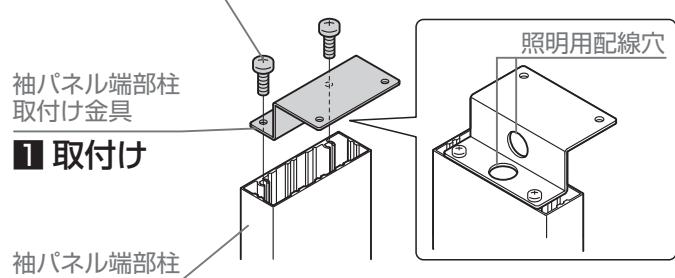


5 柱、フレームの取付け

5-3 門袖パネル柱の取付け

1:袖パネル柱取付け金具を袖パネル端部柱に【20a】で取付け

【20a】 $\phi 5 \times 30$
ナベタッピングねじ2種

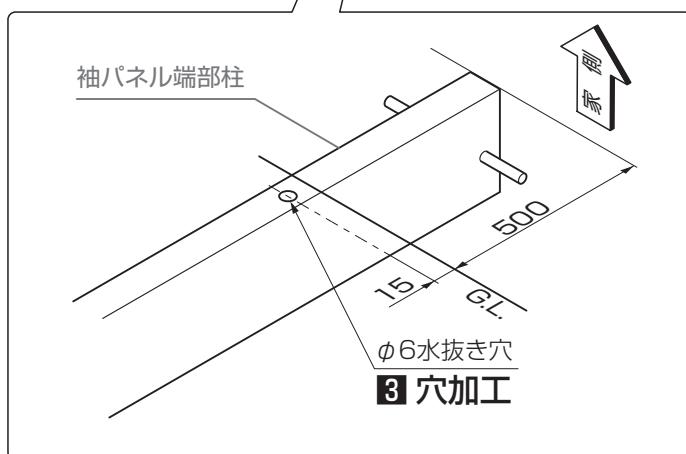
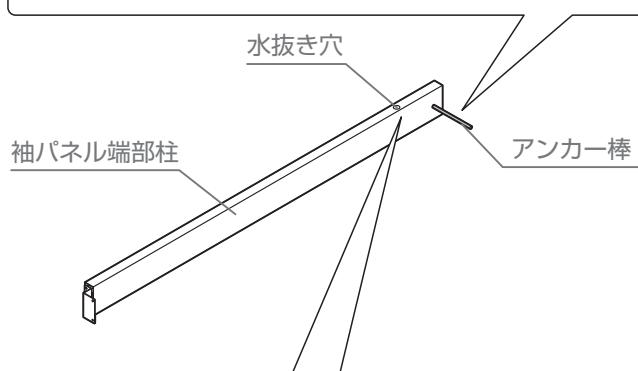
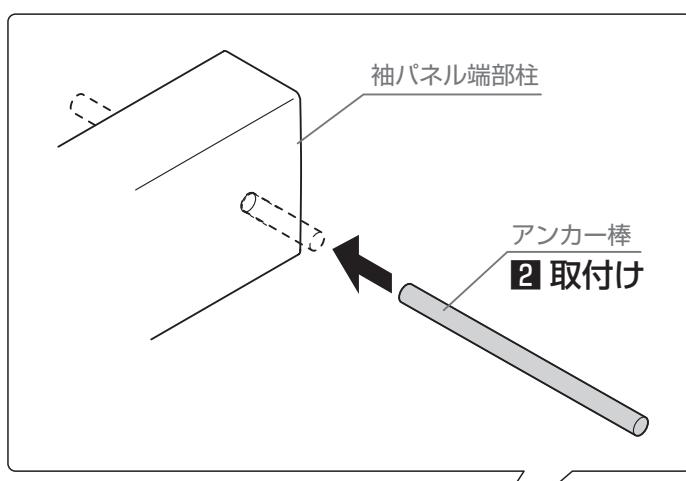


2:袖パネル端部柱にアンカーボルトを取り付ける

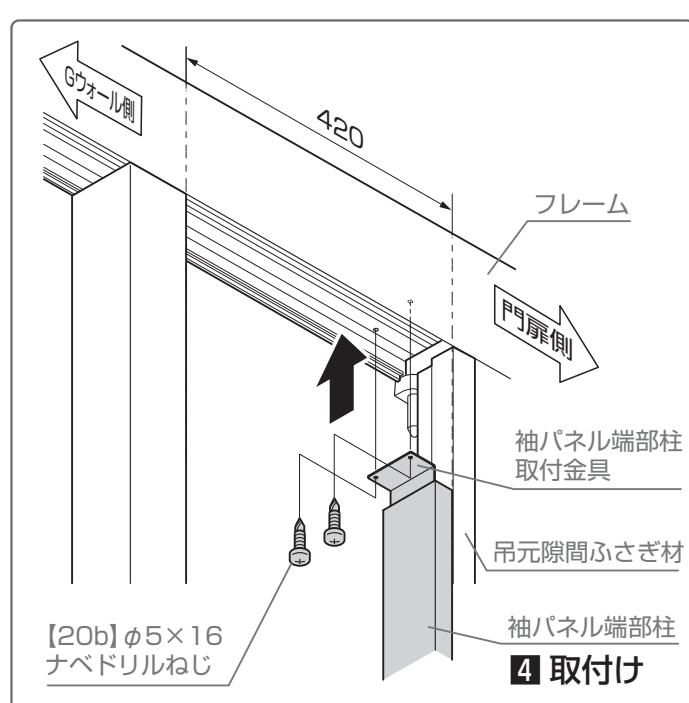
3:袖パネル端部柱に $\phi 6$ の水抜き穴加工

▲ 注意

●水抜き穴をあけないと、柱が破損するおそれがあります。



4:袖パネル端部柱をフレームに【20b】で取付け



6 門袖の取付け

6-1 ガラスパネルの取付け

施工上のお願い

- 「Gスクリーン ガラスパネル 取付説明書（EXM-216）」を参照して取付けてください。

6-2 KNパネルの取付け

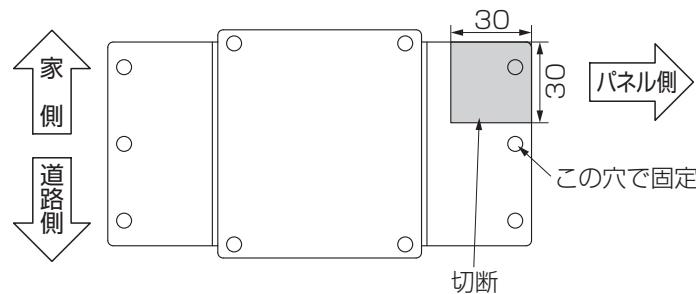
施工上のお願い

- 「Gスクリーン 袖パネル 取付説明書（EXM-049）」を参照して取付けてください。

6-3 鑄物パネルの取付け

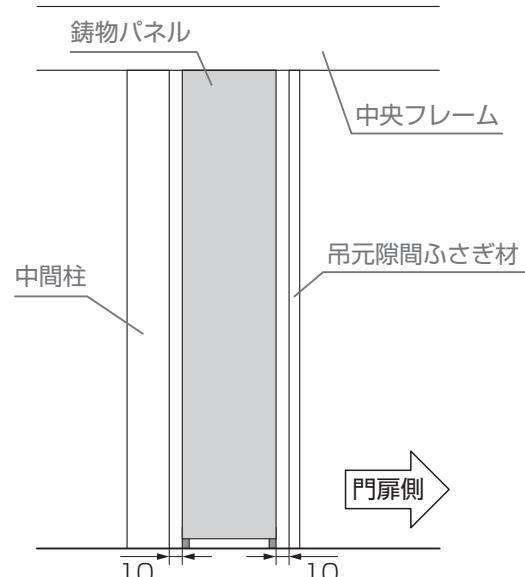
施工上のお願い

- 鑄物パネル取付け位置のフレーム（柱～吊元隙間ふさぎ材間）にフレームカバーを取付けてから施工を行ってください。
- 「Gスクリーン 鑄物パネル 取付説明書（EXM-151）」を参照して取付けてください。
- 鑄物パネル取付ねじ、スペーサーが中間柱取付金具に干渉してしまうため、中間柱取付金具の隅30mm角をグラインダーで切断してください。中間柱取付金具の取付けは、中央部の固定穴を使用して固定してください。



補足

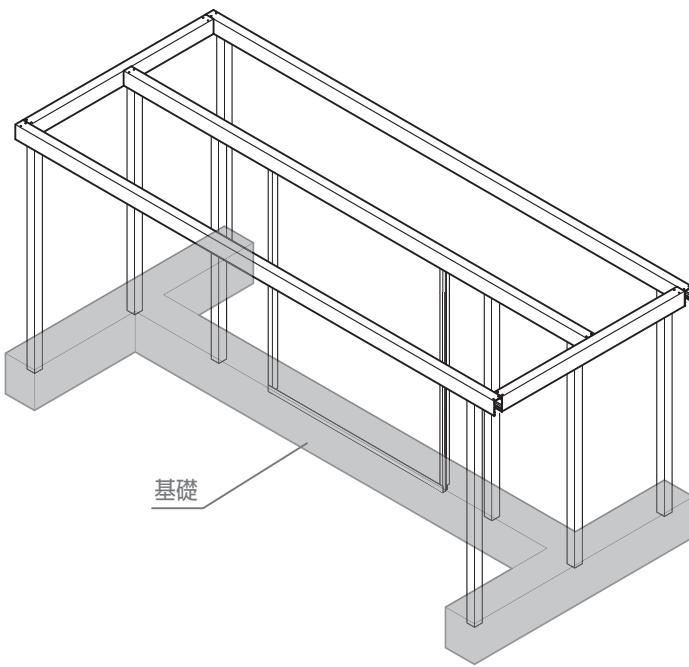
- 鑄物パネルと柱の間には約10mmの隙間が両端に空きます。



7 基礎の打設

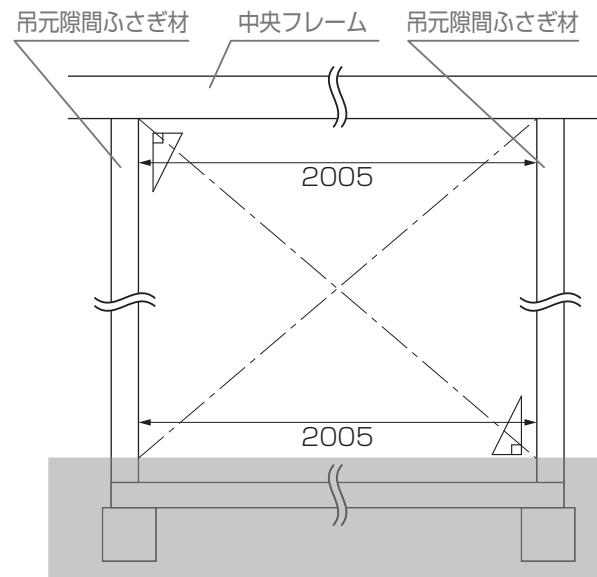
7-1 基礎の打設

1: 基礎の打設



施工上のお願い

- 基礎の打設後に、吊元隙間ふさぎ材の垂直・直角が出ているか、吊元隙間ふさぎ材同士の内々の寸法が2005mmになっているか、対角の寸法が同じになっているか必ず確認してください。

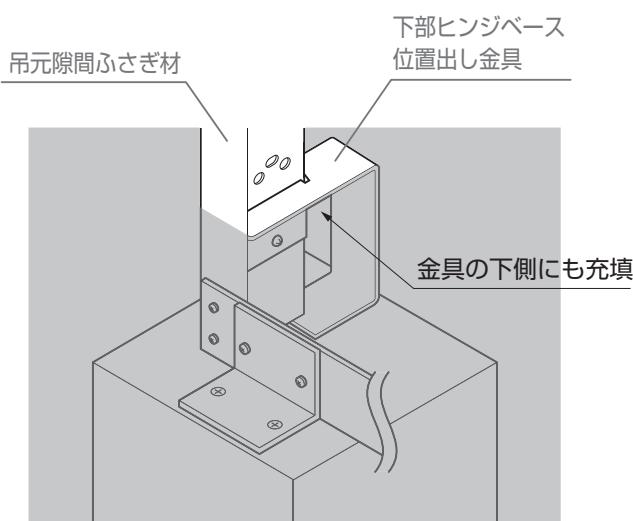


施工上のお願い

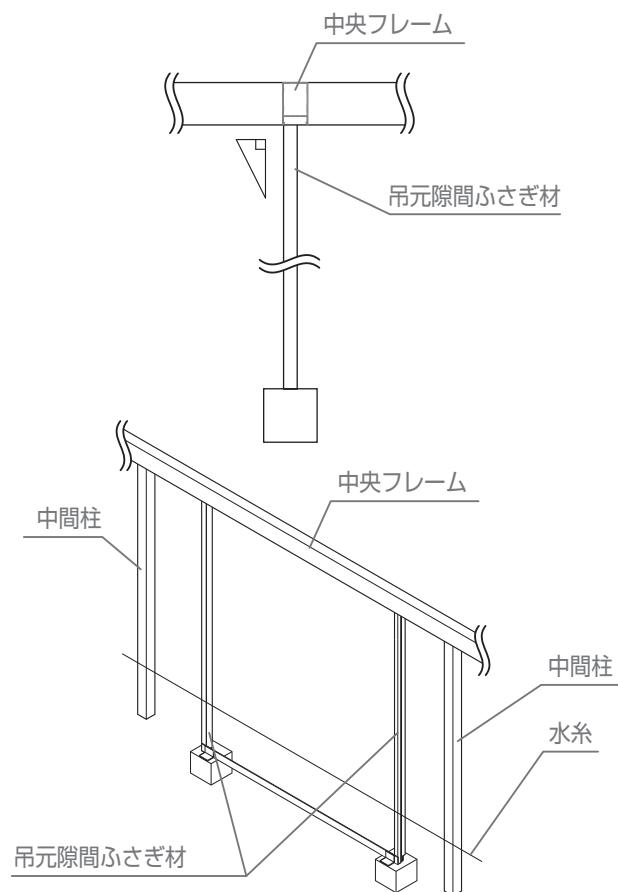
- Gウォールを セラミックタイル仕様かつ小口をタイル納まりで取付ける場合、基礎の打設前に「Gウォール 取付説明書 (EXM-017)」の P.35を参照し、タイル用小口巾木を取付けてください。

- 基礎の打設の際に、下部ヒンジベース位置出し金具の天面が埋まってしまうないように注意してください。(タイル等で床仕上げを行う場合は下部ヒンジベース位置出し金具の天面より床面が上にならないようにしてください。)

- 下部ヒンジベース位置出し金具の下側にも確実に充填してください。



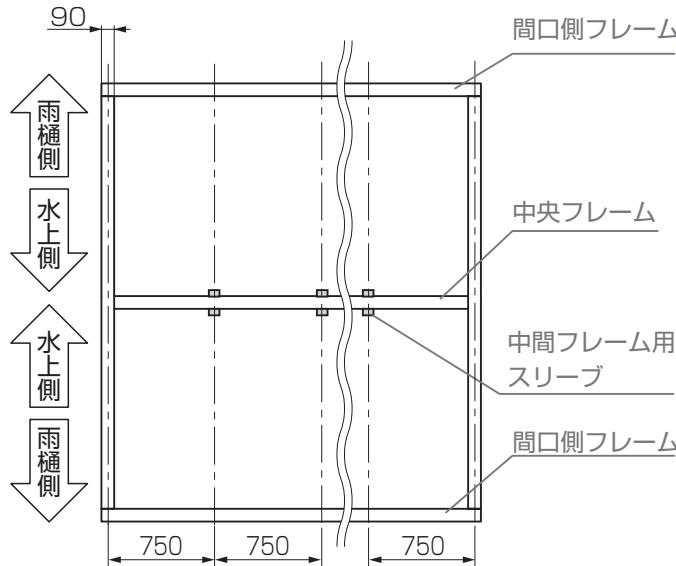
- 正面からの確認だけでなく、側面側の垂直も確認するようにしてください。また、中間柱間に水糸を張るなどして、前後のズレがないようにしてください。



8 エントランスルーフの取付け

8-1 中間フレーム用スリーブの取付け

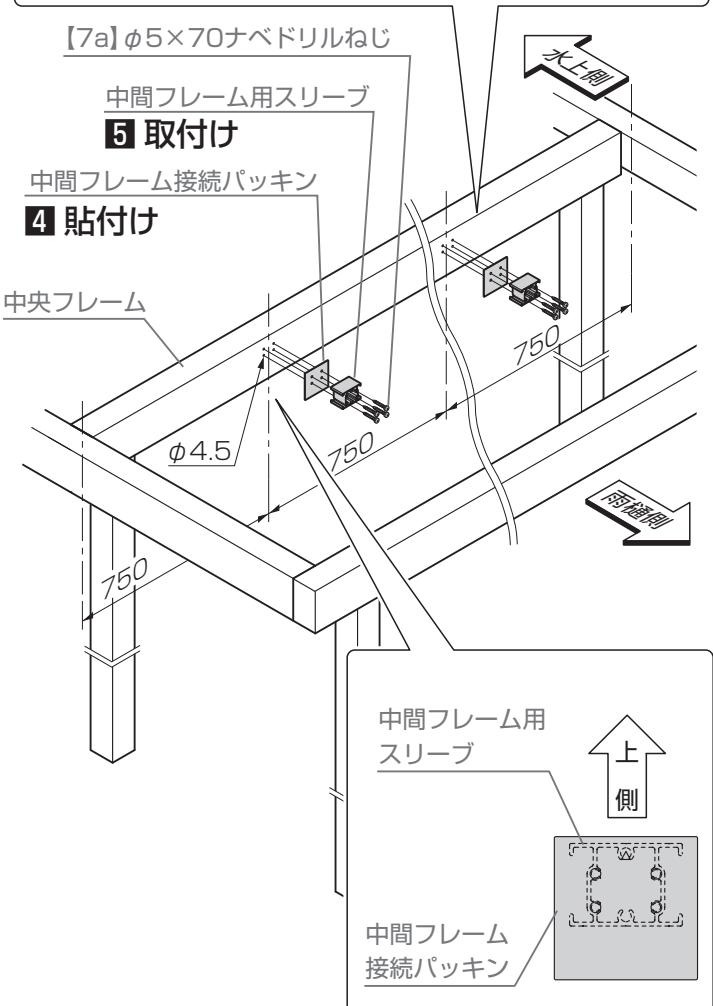
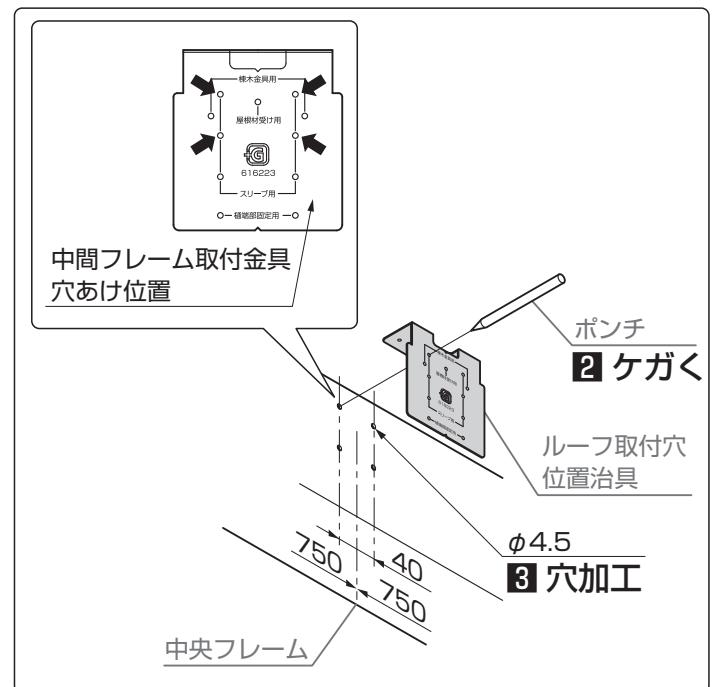
1:中間フレーム用スリーブの取付け位置を確認



施工上のお願い

- 中間フレーム用スリーブの下穴のピッチが750mmになるように加工してください。
- 指定通りの寸法に加工しないと屋根パネルが取付けられなくなります。

- 2:中央フレームにルーフ取付穴位置治具をあて、ポンチでケガく
- 3:ケガいた位置に $\phi 4.5$ の穴加工
- 4:中間フレーム接続パッキンを下穴に合わせてフレームに貼付け
- 5:中間フレーム用スリーブを中央フレームに【7a】で取付け

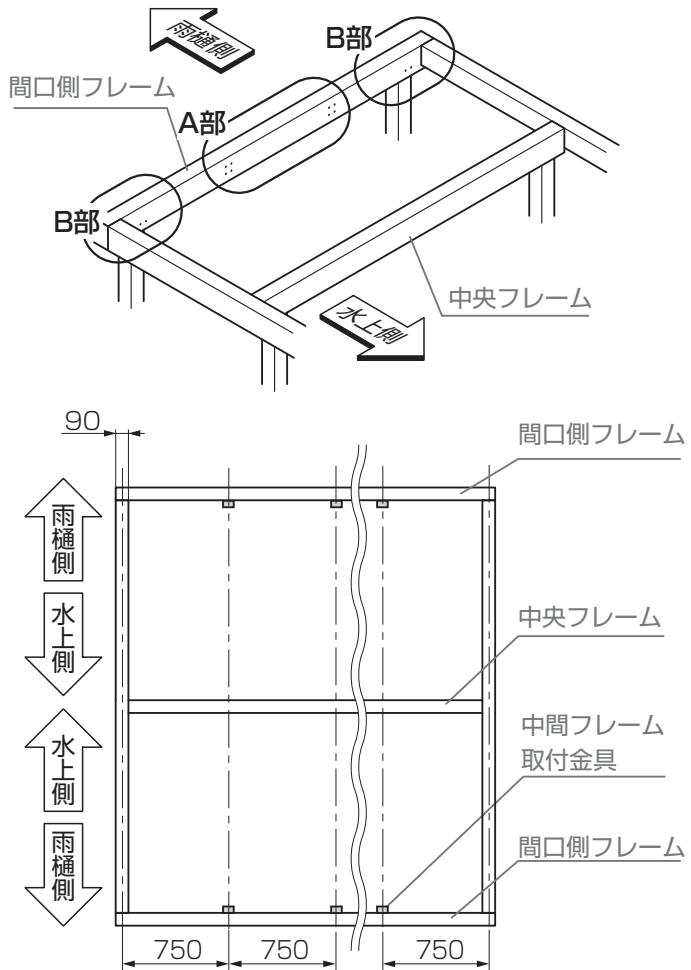


8 エントランスルーフの取付け

8-2 横樋の取付け

8-2-1 フレームの加工

① 中間フレーム取付金具の取付け位置を確認



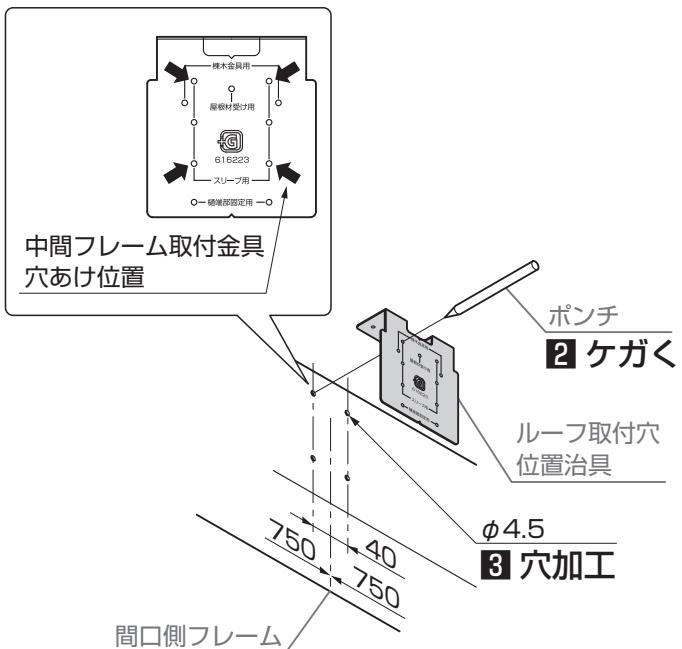
施工上のお願い

- 中間フレーム取付金具の下穴のピッチが750mmになるように加工してください。
- 指定通りの寸法に加工しないと屋根パネルが取付けられなくなります。

■ A部中間フレーム取付金具の穴あけ

② 間口側フレームにルーフ取付穴位置治具をあて、ポンチでケガく

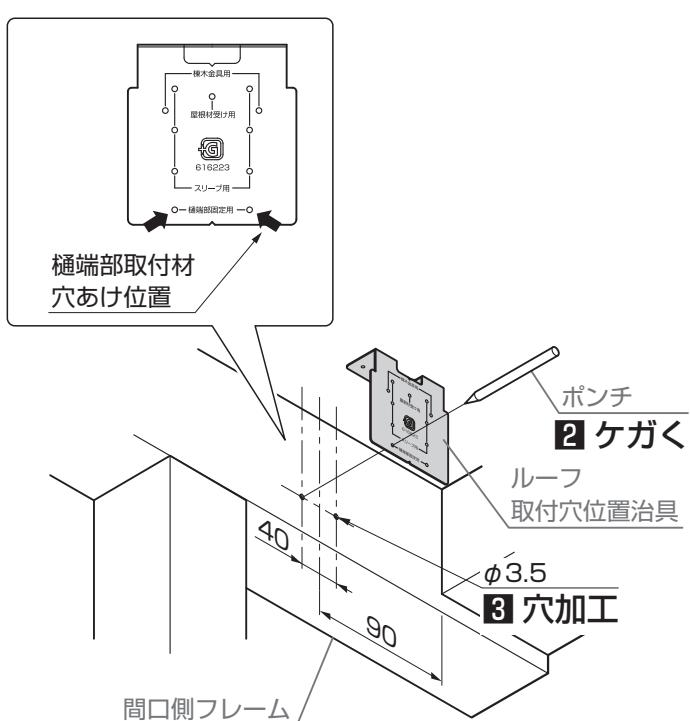
③ ケガいた位置にφ4.5の穴加工



■ B部樋端部取付材の穴あけ

② 間口側フレームにルーフ取付穴位置治具をあて、ポンチでケガく

③ ケガいた位置にφ3.5の穴加工



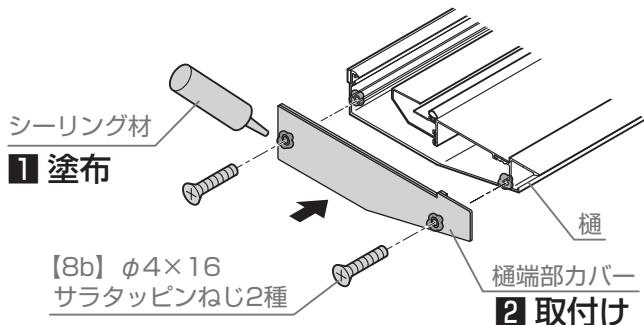
8 エントランスルーフの取付け

8-2 横樋の取付け

8-2-2 横樋の取付け

- 1: 横端部カバーのねじ穴および樋のタッピングホールにシリング材を塗布

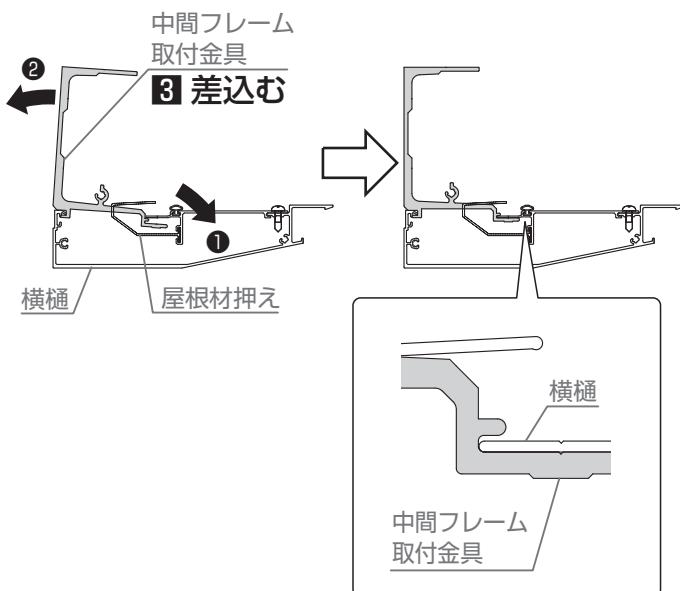
- 2: 横端部カバーを樋の両端に【8b】で取付け



施工上のお願い

- 横端部カバーを樋にねじで取付ける時ねじが締まりきっているか、確認してください。
- 横端部カバーの取付け穴および樋のタッピングホールにシリングを充填してから取付けてください。

- 3: 中間フレーム取付金具を樋に差込む



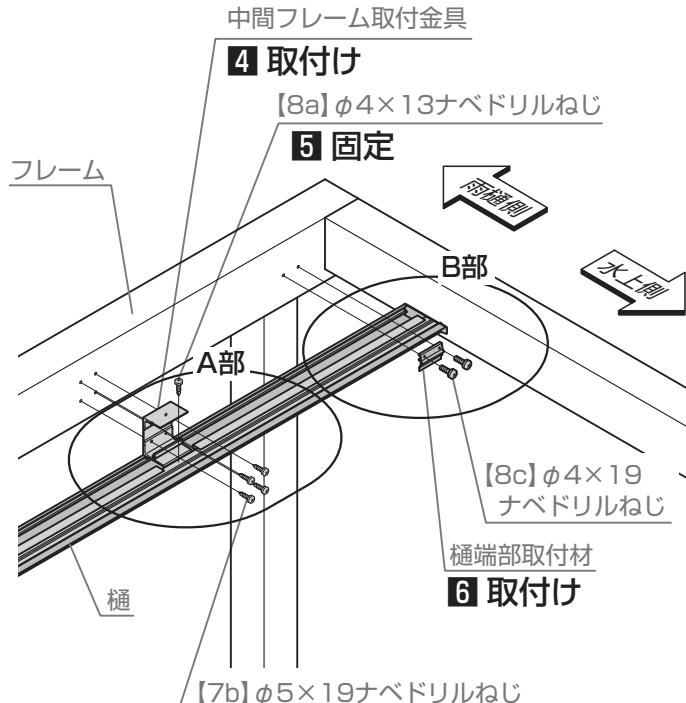
補足

- 各屋根材押えの間に中間フレーム取付金具を差込んでください。
- ①樋を広げて、②中間フレーム取付金具のフィンの隙間に横樋のフィンをはめ込んでください。

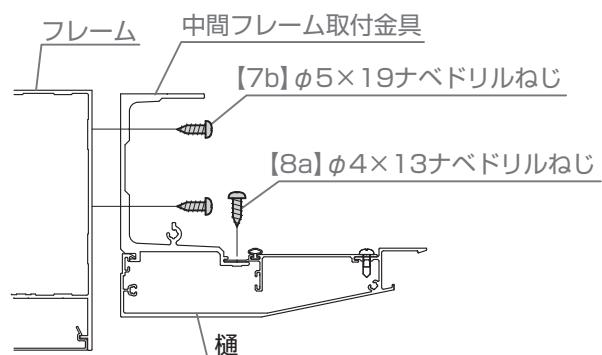
- 4: 樋に組付けた中間フレーム取付金具をフレームに【7b】で取付け

- 5: 中間フレーム取付金具と樋を【8a】で固定

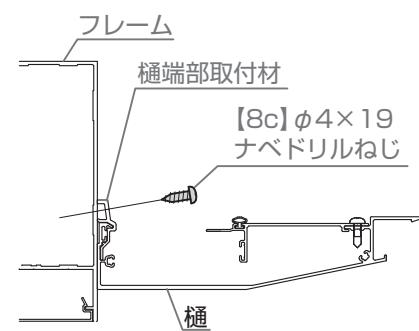
- 6: 横端部取付材をフレームに【8c】で取付け



● A部詳細図中間部



● B部詳細図端部

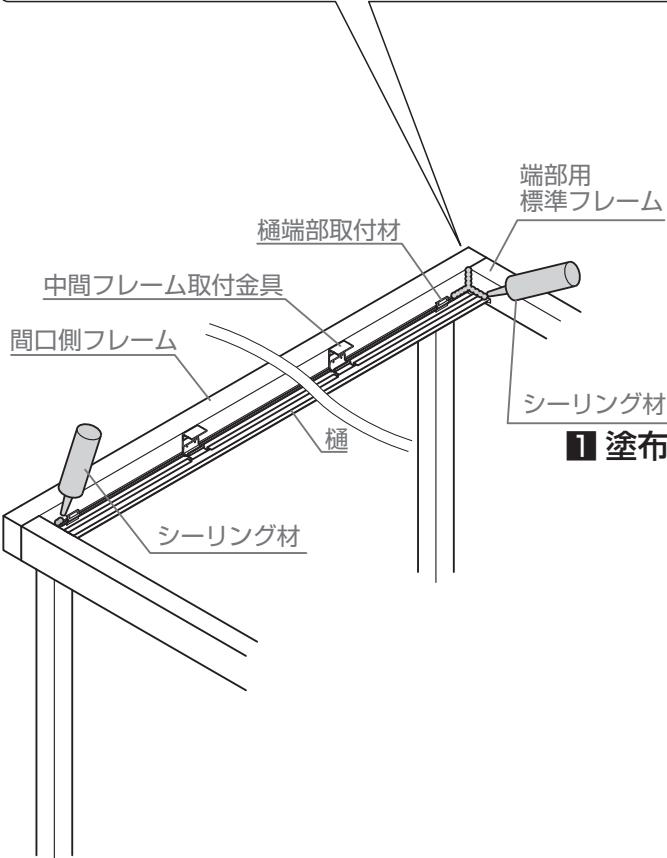
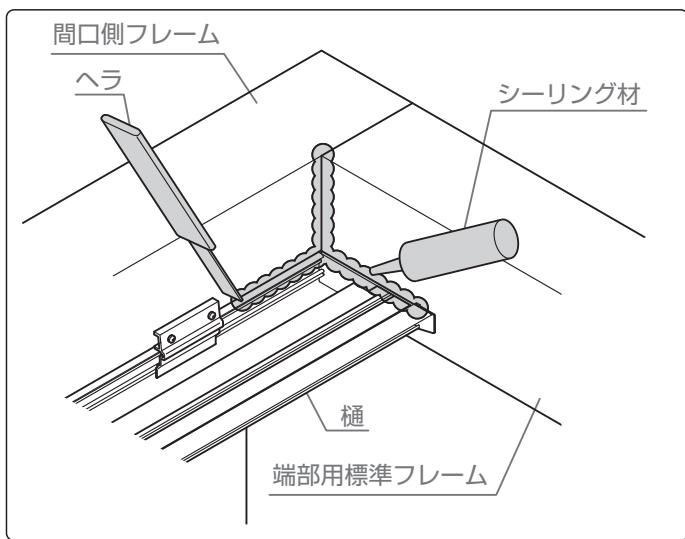


8 エントランスルーフの取付け

8-2 横樋の取付け

8-2-3 | 横樋のシーリング処理

1: 図の位置にシーリング材を塗布

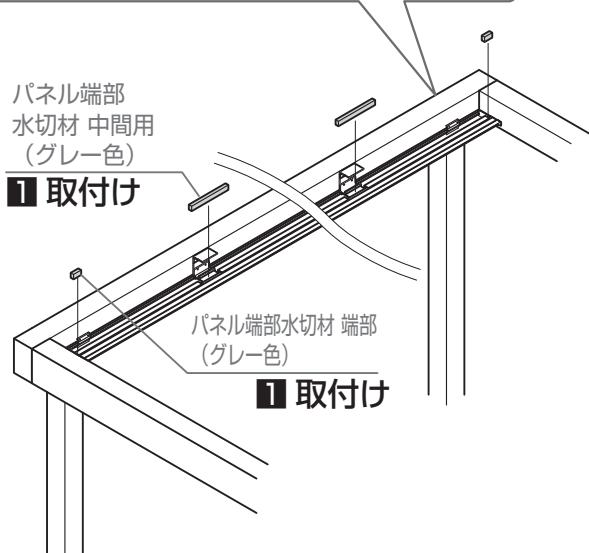
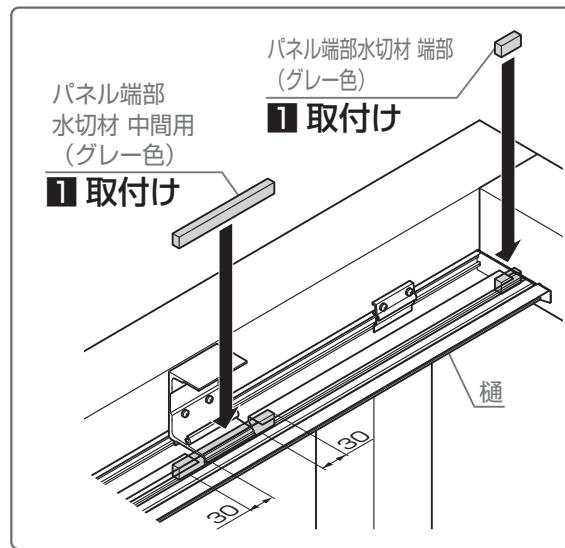


施工上のお願い

- すき間なくシーリング処理をしてください。すき間がある場合、雨水が侵入する場合があります。
- シーリングはヘラ等でおさえて十分密着させてください。

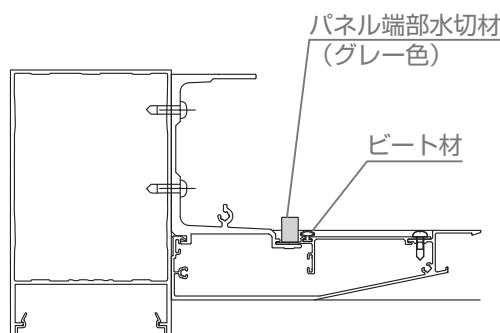
8-2-4 | 横樋へのパッキンの取付け

1: 横樋にパネル端部水切材 端部・中間用を取付け



施工上のお願い

- ビート材とのすき間をあけて取付けてください。

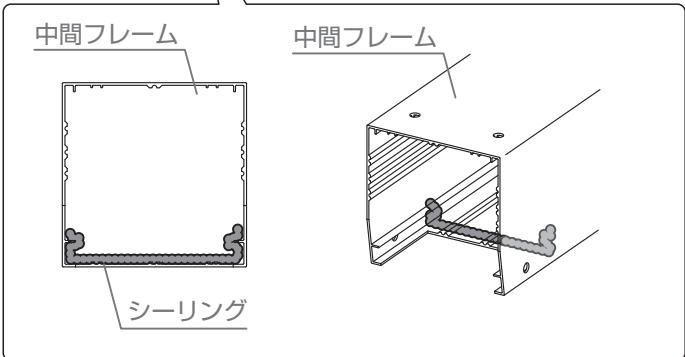
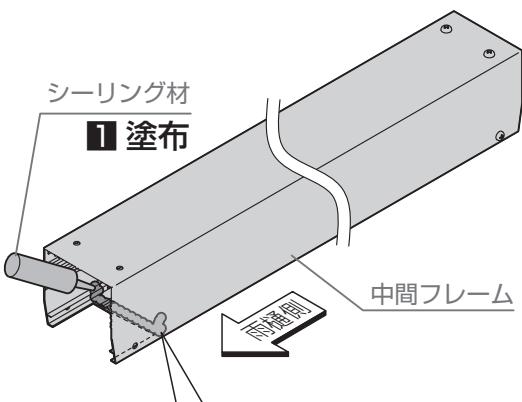


8 エントランスルーフの取付け

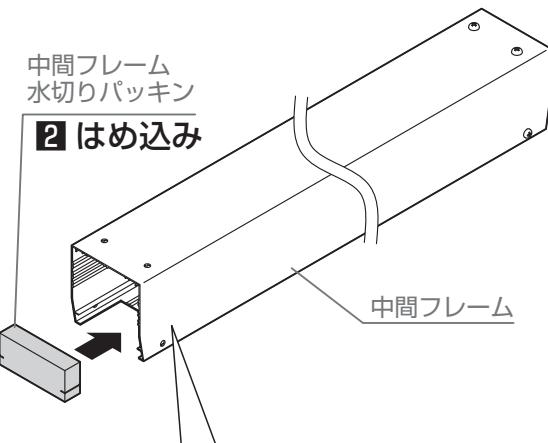
8-3 中間フレームの取付け

8-3-1 中間フレーム水切りパッキンの取付け

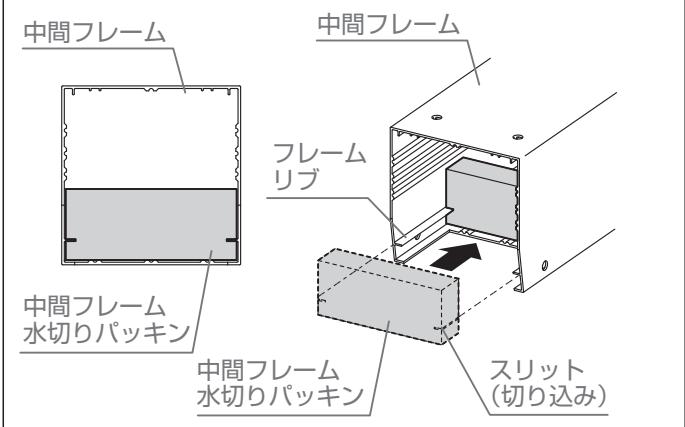
1:中間フレームの切欠き部分にシーリング材を塗布



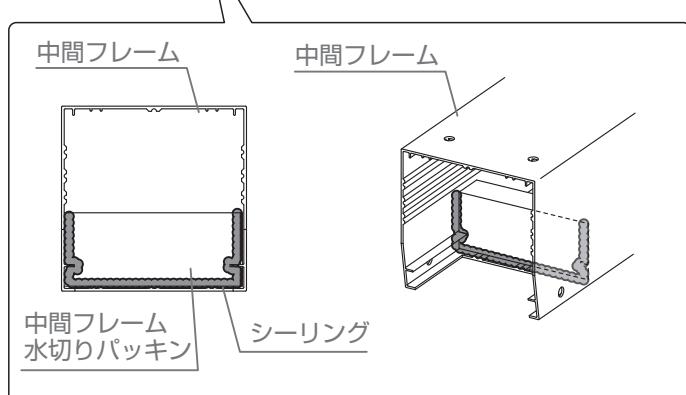
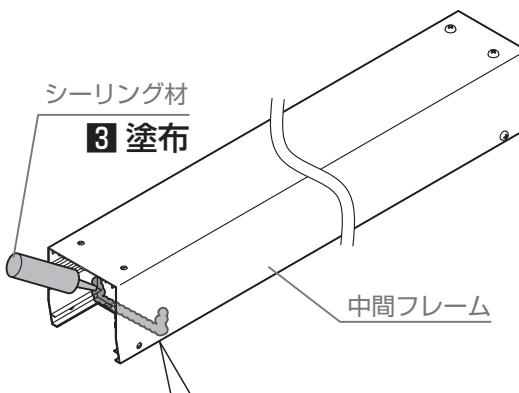
2:中間フレーム水切りパッキンを中間フレームにはめ込み



●中間フレーム水切りパッキンスリット(切り込み)部分を中間フレームのリブにはめ込んでスライドさせながら、シーリングの位置まで押し込んでください。



3:中間フレーム水切りパッキンと中間フレームの切欠き部分にシーリング材を塗布



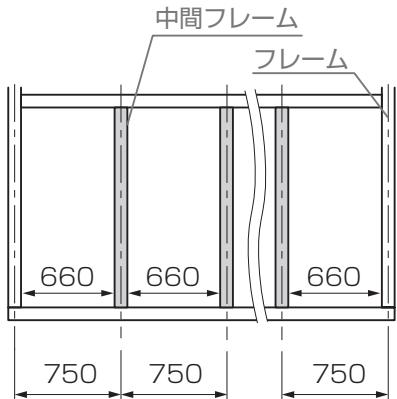
8 エントランスルーフの取付け

8-3 中間フレームの取付け

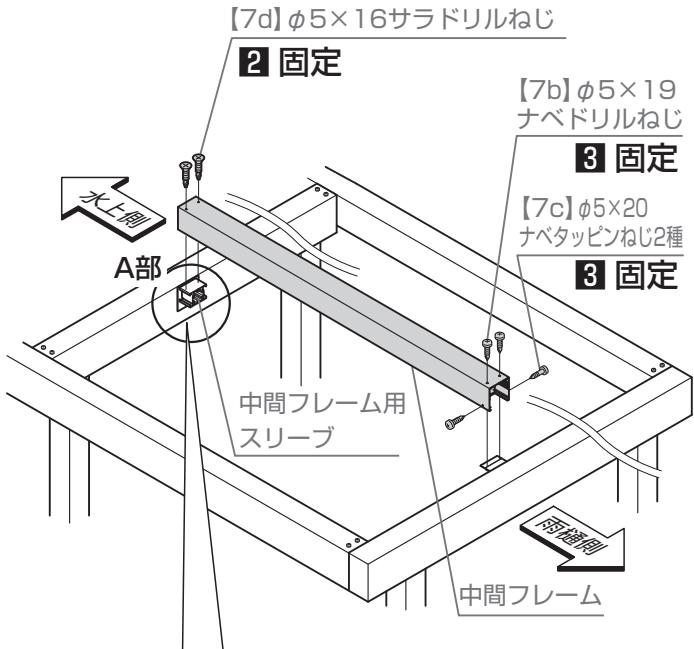
8-3-2 中間フレームの取付け

施工上のお願い

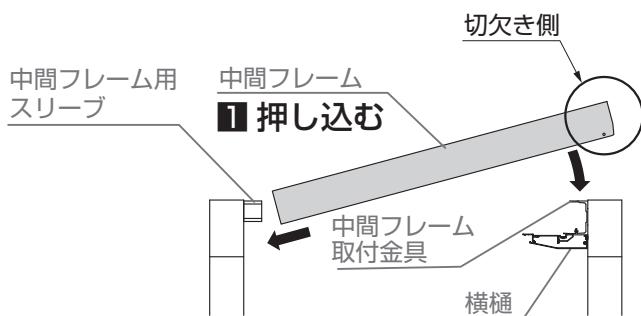
- 中間フレームのピッチが750mmになっていることを確認してください。
- フレーム～中間フレームおよび中間フレーム～中間フレーム内寸法が660mmになっていることを確認してください。



- 2: 中間フレームを中間フレーム用スリーブに【7d】で固定
- 3: 中間フレームを中間取付金具に【7b】、【7c】で固定
- 4: 中間フレームからはみ出た中間フレーム接続パッキンをカッターで切取り

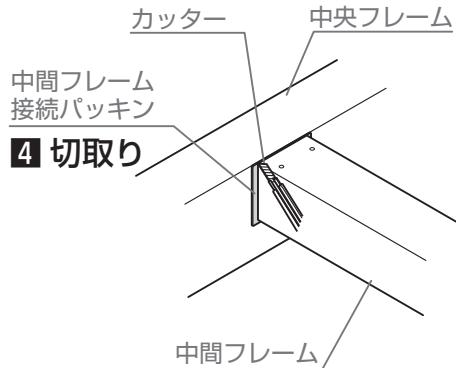


- 1: 中間フレームを中間フレーム用スリーブに差込んでから、中間フレーム取付金具に押し込む



施工上のお願い

- 中間フレームの切欠き側が横樋になるように取付けてください。



施工上のお願い

- 中間フレーム接続パッキンが中間フレームに押されてつぶれている事を確認してください。すき間があいていると雨水が侵入します。

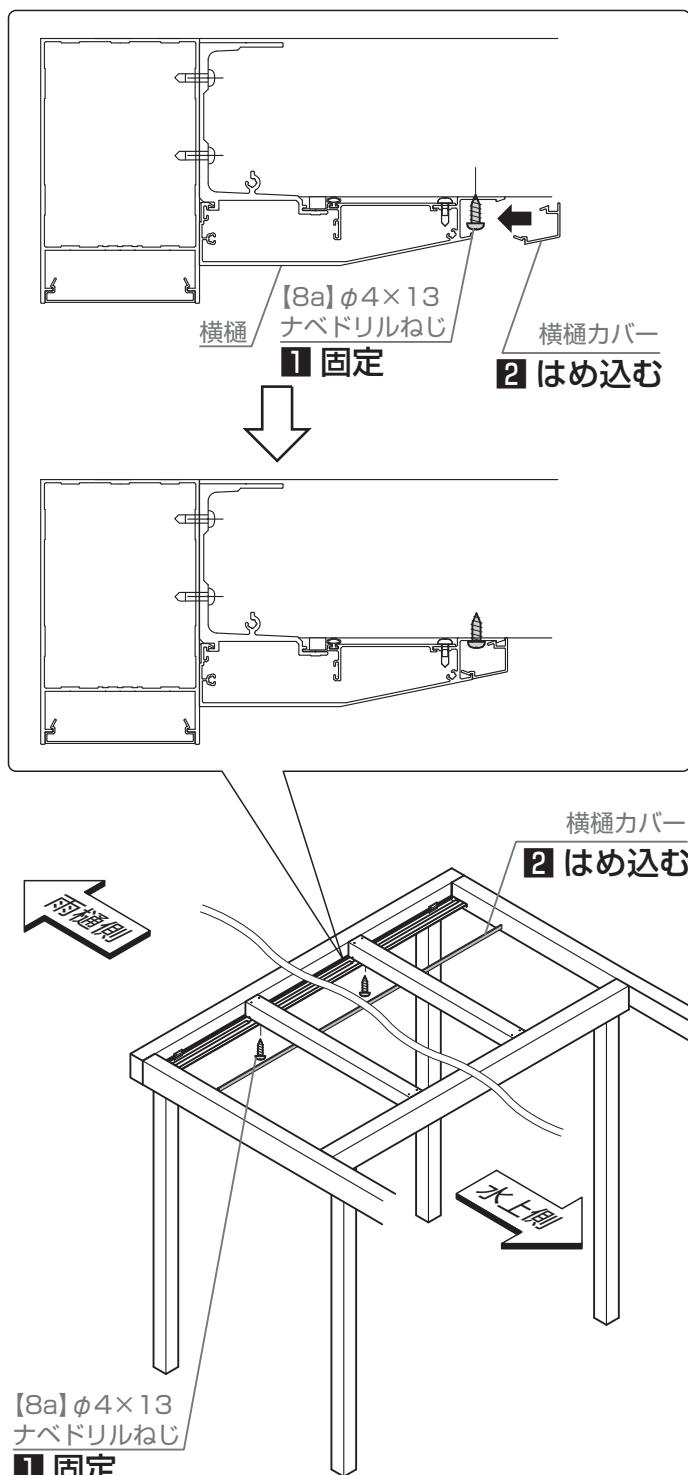
8 エントランスルーフの取付け

8-3 中間フレームの取付け

8-3-3 横樋の固定

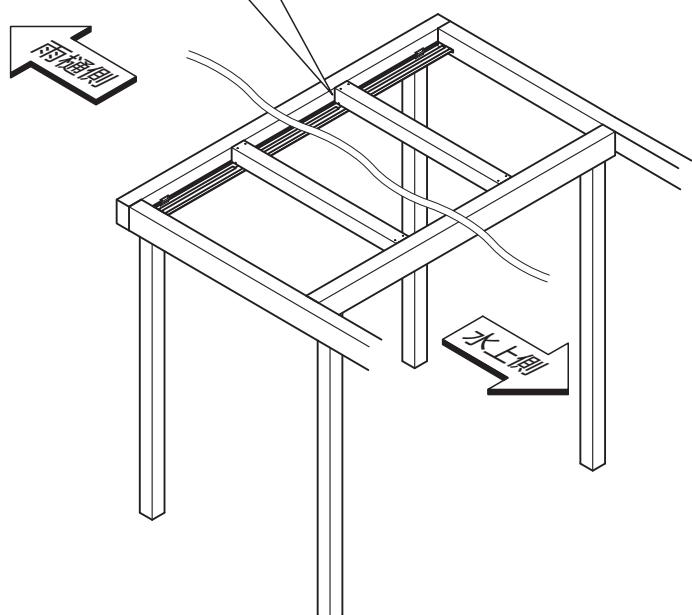
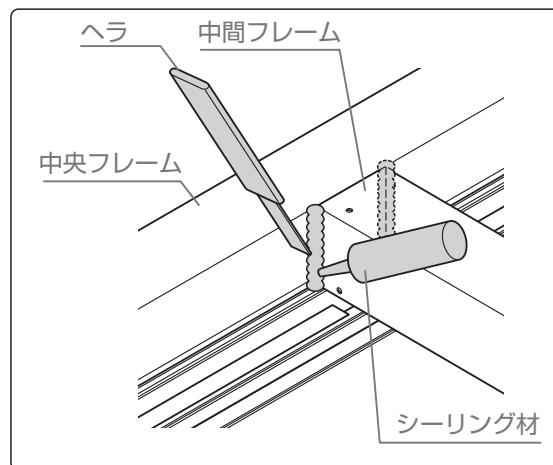
1:横樋を中間フレームに【8a】で固定

2:横樋カバーを横樋にはめ込む



8-3-4 中間フレームのシーリング

1:中間フレームとフレームの角部にシーリング材を塗布



8 エントランスルーフの取付け

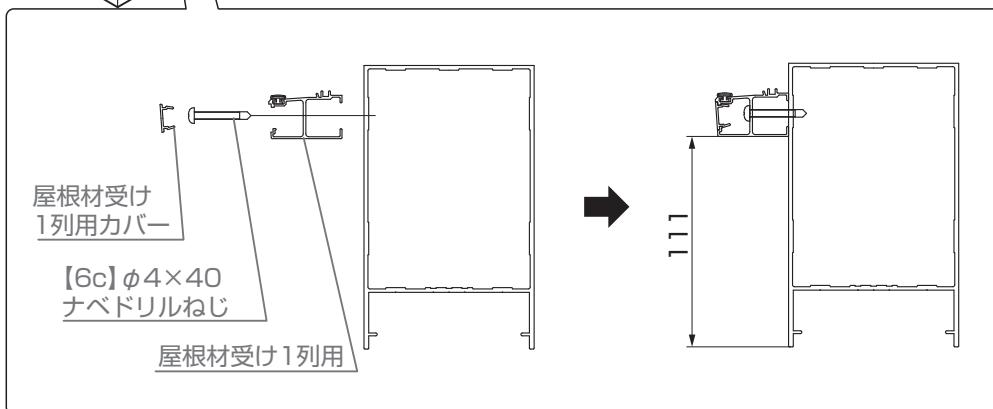
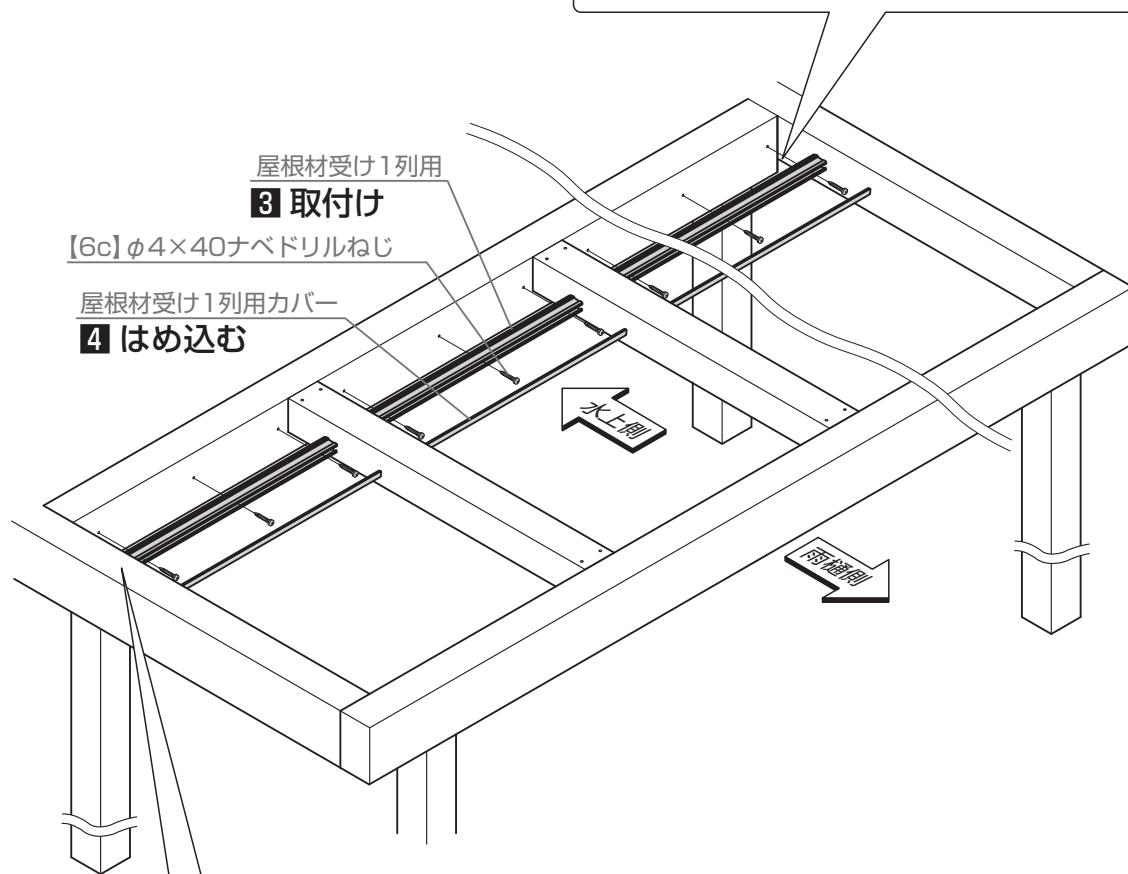
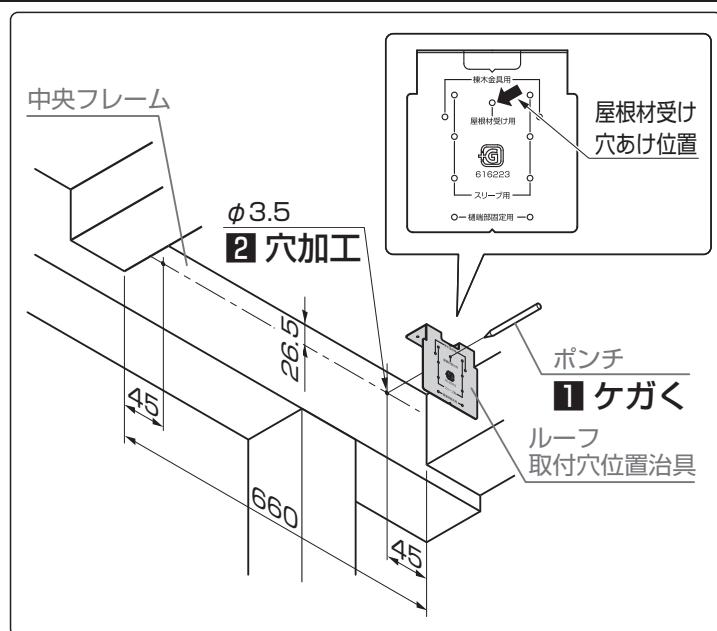
8-4 屋根材受けの取付け

- 1: フレームにルーフ取付穴位置治具をあて、ポンチでケガく
- 2: ケガいた位置にφ3.5の穴加工
- 3: 屋根材受け1列用をフレームに【6c】で取付け

施工上のお願い

- 屋根材受け1列用は樋と反対側のフレームに取付けてください。
- 屋根材受け1列用の取付位置がフレーム下面から111mmであることを確認してください。

- 4: 屋根材受け1列用カバーを屋根材受け1列用にはめ込む

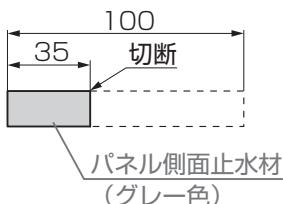


8 エントランスルーフの取付け

8-5 屋根材の取付け準備

8-5-1 止水パッキンの貼付け

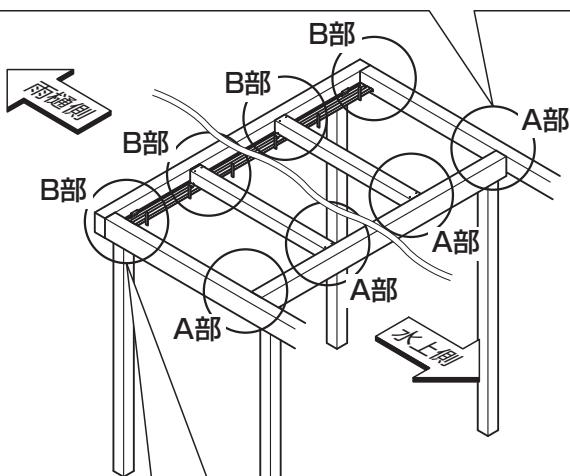
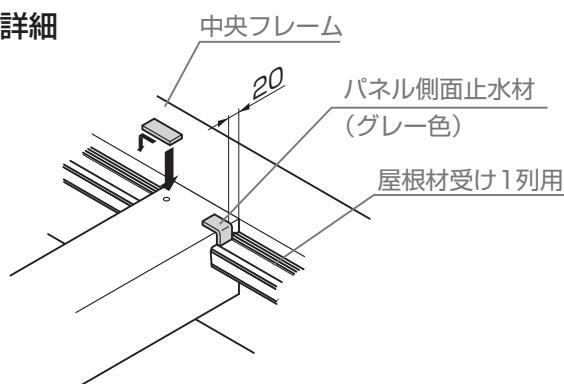
- 1:A部用のパネル側面止水材を35mmに切断



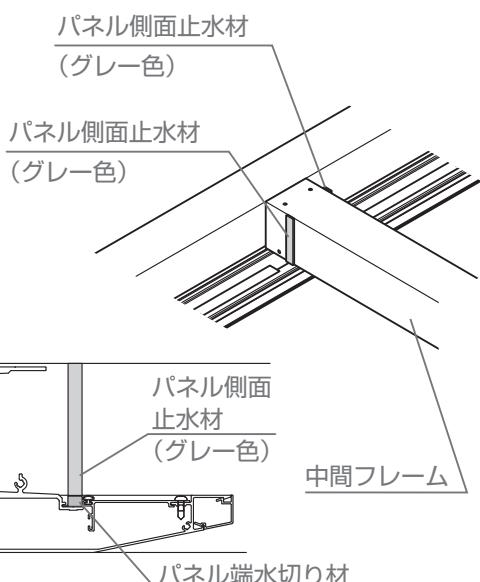
- 2:パネル側面止水材をA部のフレーム・中間フレームに貼付け

- 3:パネル端水切り材の位置に合わせて、パネル側面止水材を通り取付け側B部のフレーム・中間フレーム側面部に貼付け

●A部詳細



●B部詳細

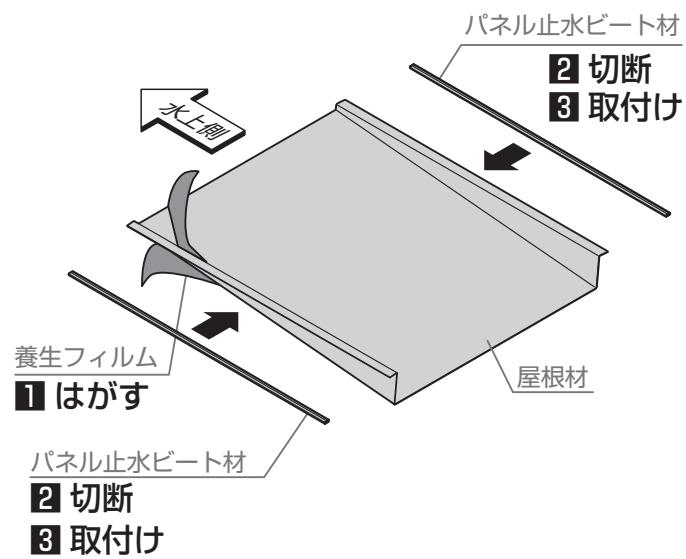


8-5-2 パネル止水ビート材の貼付け

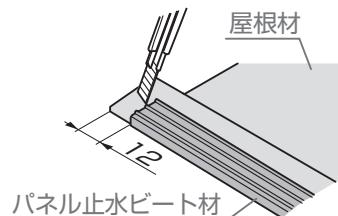
- 1:屋根材の養生フィルムをはがす

- 2:パネル止水ビート材を屋根材の長さに合わせて切断

- 3:パネル止水ビート材を屋根材の両端部に挟み込むように取付け



- 4:水上側のパネル止水ビート材が屋根材より12mm短くなるように切断



補足

- 12mm切断しない場合、パネル止水ビート材がフレーム取付けねじに干渉して浮いてしまいます。

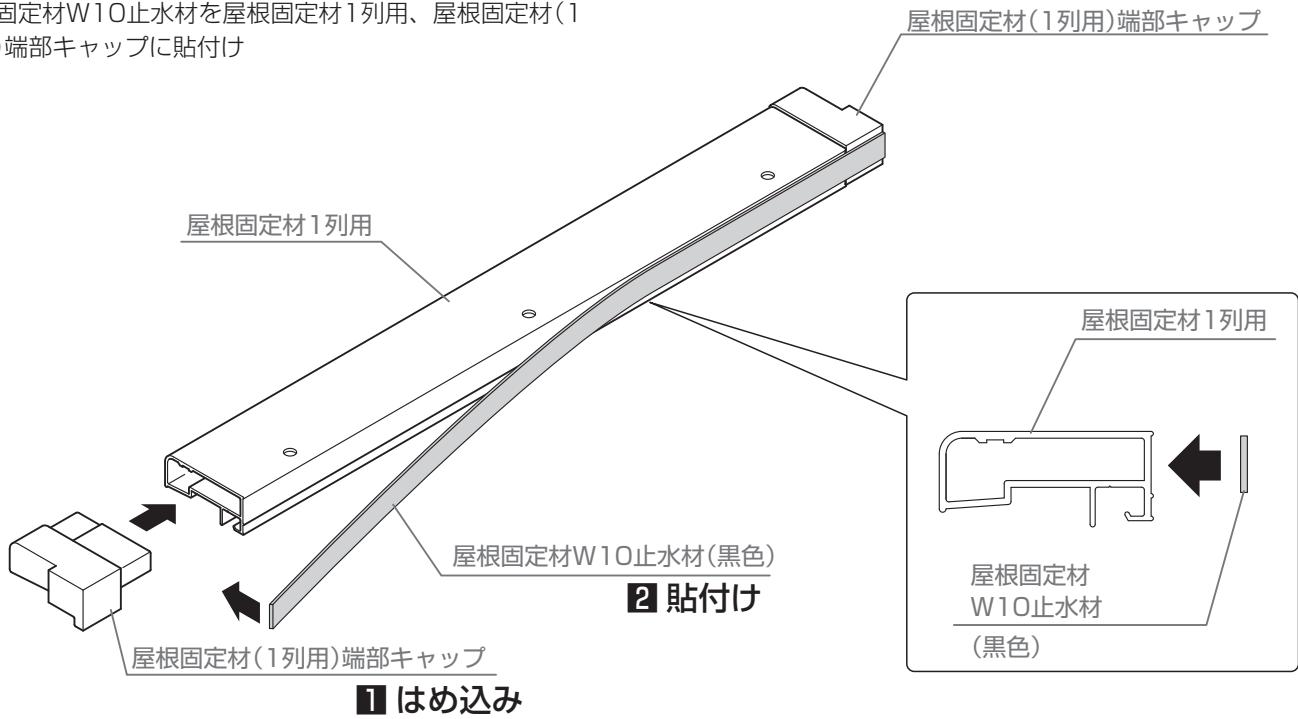
8 エントランスルーフの取付け

8-5 屋根材の取付け準備

8-5-3 屋根固定材1列用の準備

①：屋根固定材(1列用)端部キャップを屋根固定材1列用にはめ込み

②：屋根固定材W10止水材を屋根固定材1列用、屋根固定材(1列用)端部キャップに貼付け



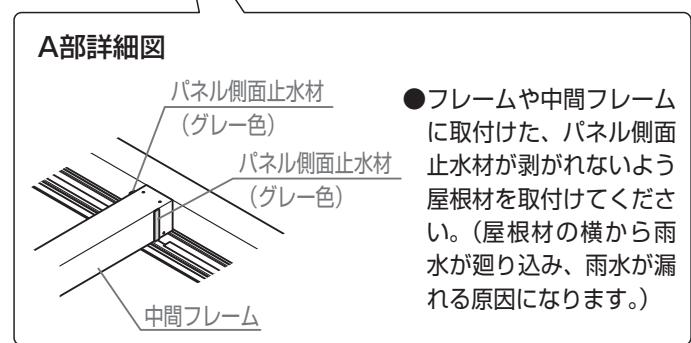
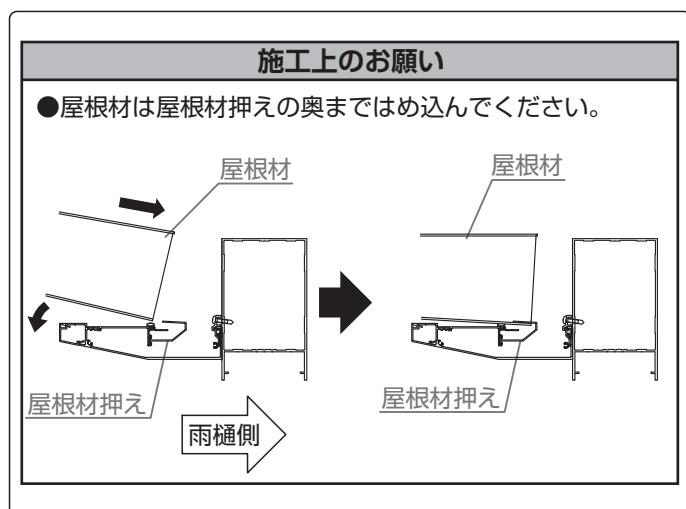
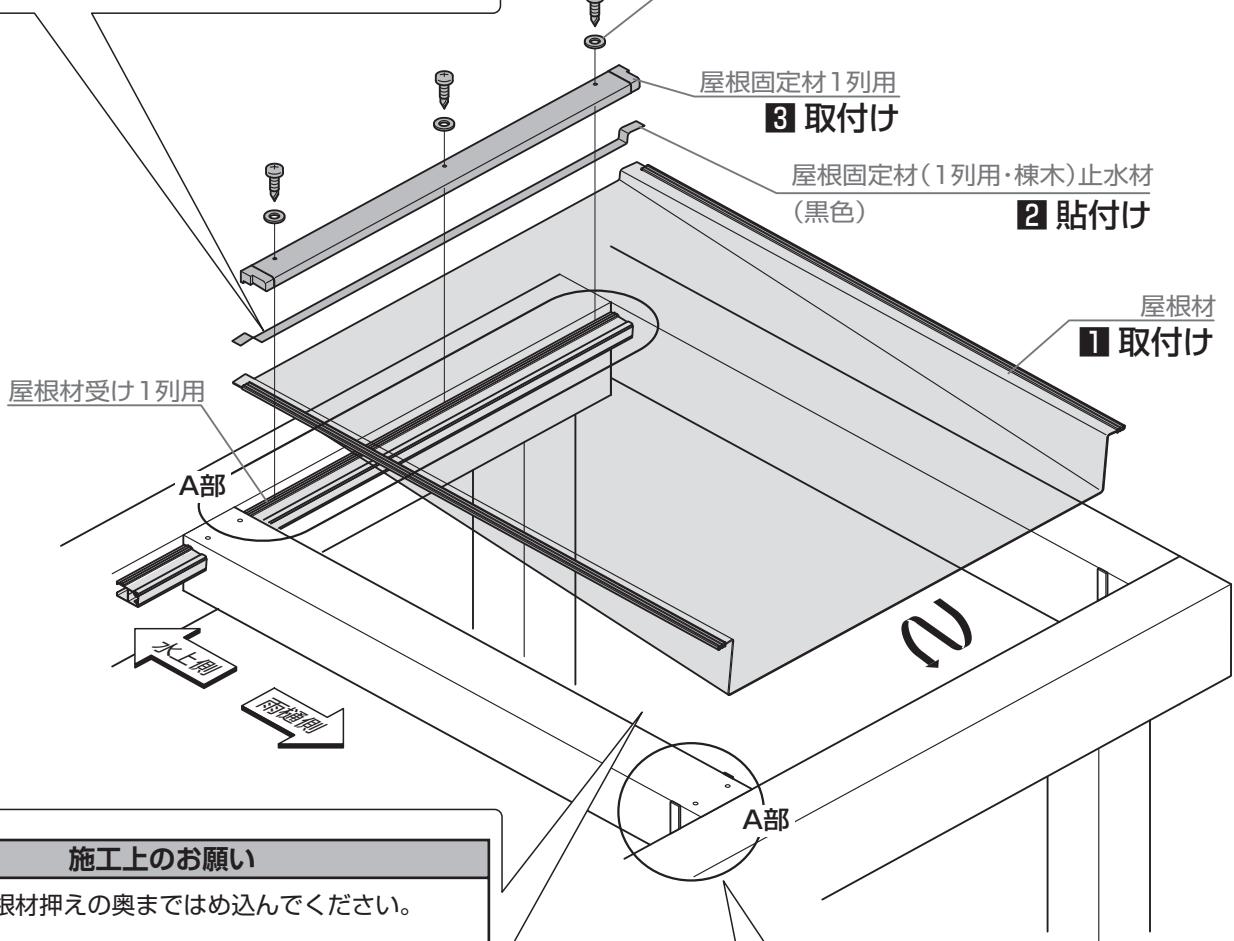
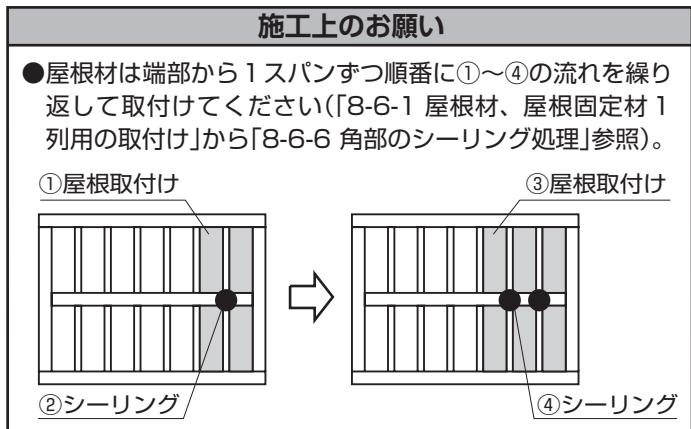
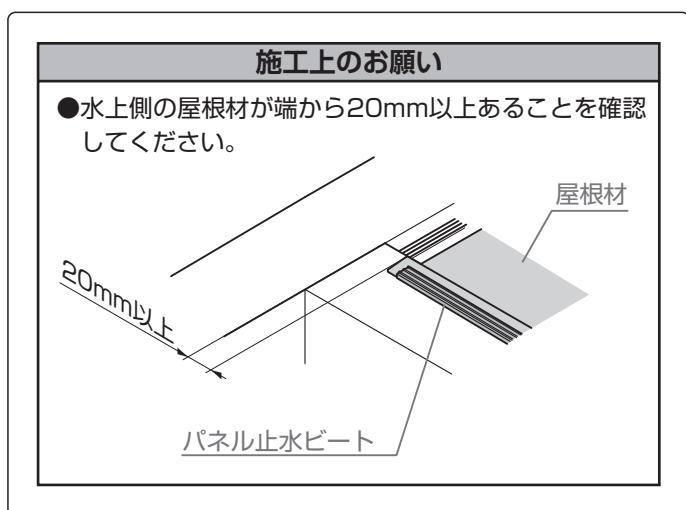
8 エントランスルーフの取付け

8-6 屋根材の取付け

※屋根材は端部から1スパンずつ順番にP.42～P.48の作業を繰り返して取付けてください。

8-6-1 屋根材、屋根固定材1列用の取付け

1:屋根材を屋根材押えに、はめ込み位置を確認して取付け



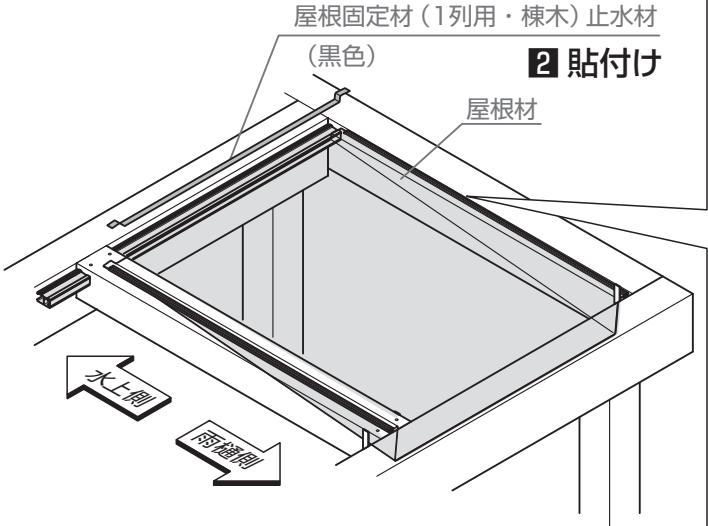
8 エントランスルーフの取付け

8-6 屋根材の取付け

※屋根材は端部から1スパンずつ順番にP.42～P.48の作業を繰り返して取付けてください。

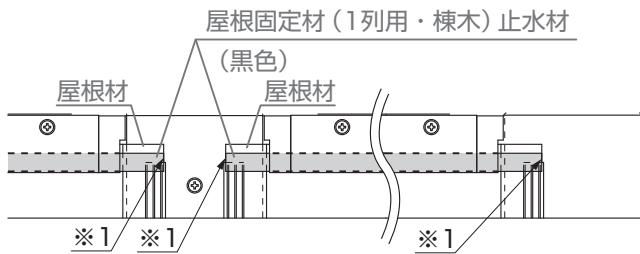
8-6-1 屋根材、屋根固定材1列用の取付け（つづき）

2:屋根固定材(1列用・棟木)止水材を屋根材に貼付け

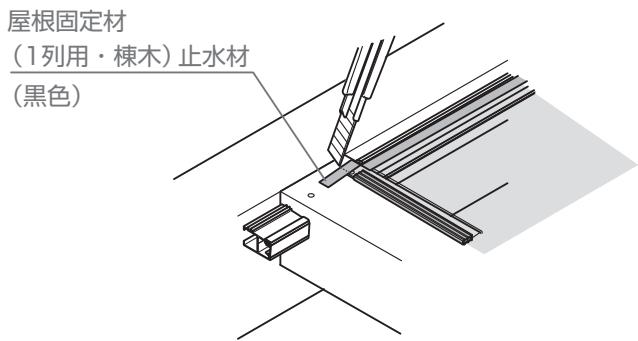


施工上のお願い

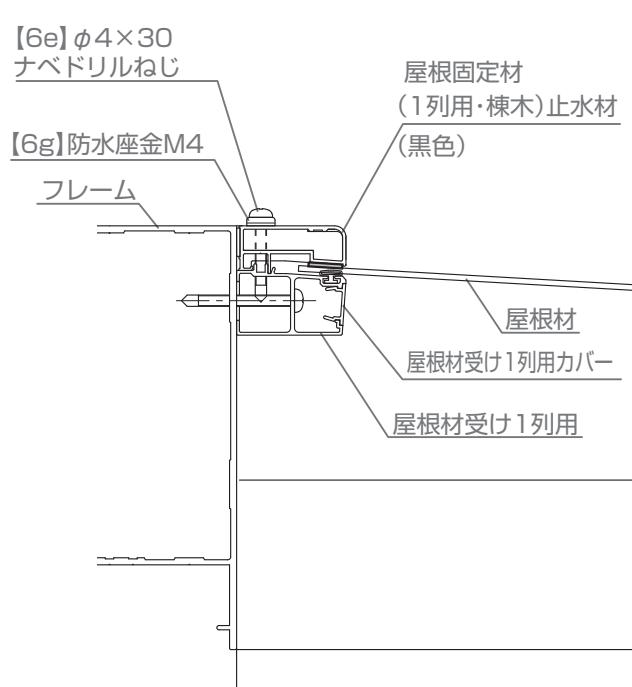
- 屋根材の下に屋根材受け1列用が透けて見えます。屋根材受け1列用の端部（※1）に沿って屋根固定材（1列用・棟木）止水材を貼付けてください。



- 余分な部分をカッターなどで取り除いてください。

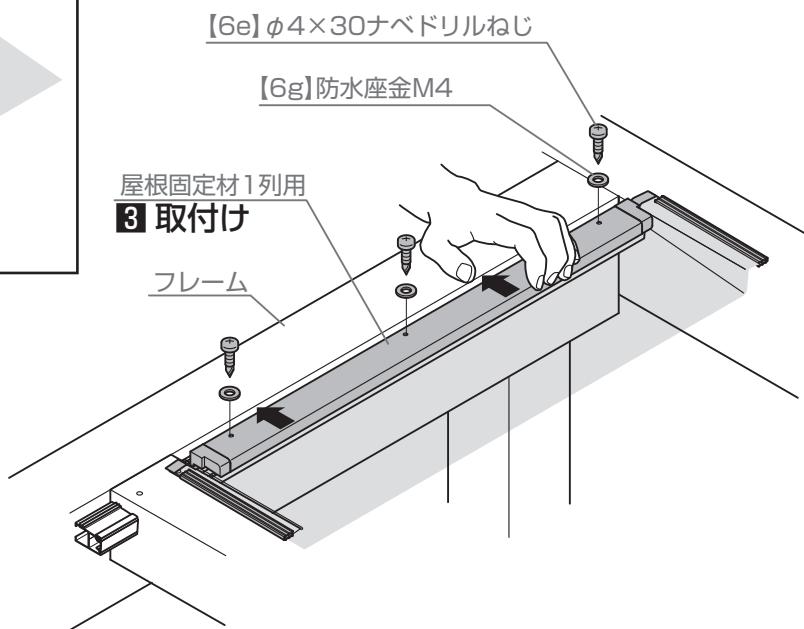
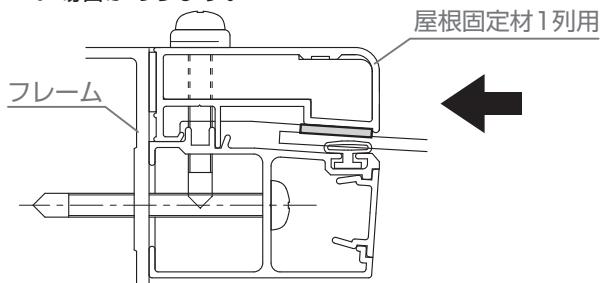


3:屋根固定材(1列用・棟木)止水材を屋根材に取付け



施工上のお願い

- 屋根材受け1列用を必ずフレーム側に引き寄せながらねじ【6e】を取付けてください。上手く組付かない場合があります。



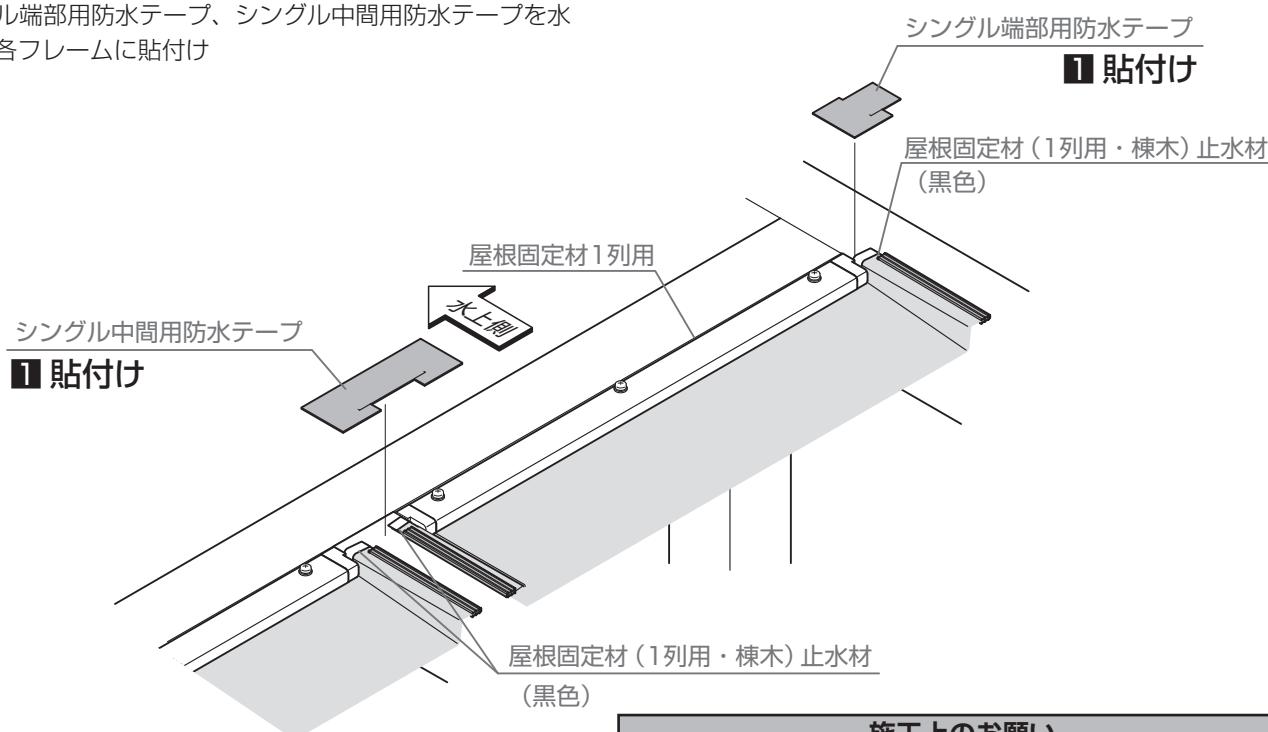
8 エントランスルーフの取付け

8-6 屋根材の取付け

※屋根材は端部から1スパンずつ順番にP.42～P.48の作業を繰り返して取付けてください。

8-6-2 シングル防水テープの取付け

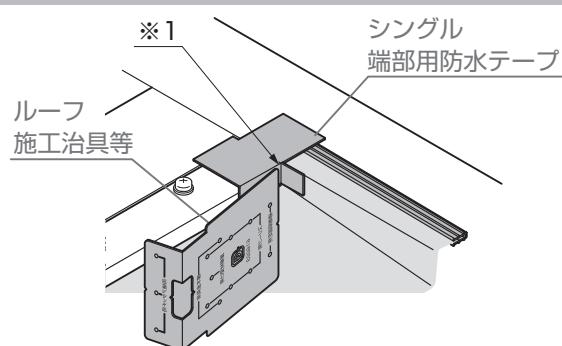
- 1:シングル端部用防水テープ、シングル中間用防水テープを水上側の各フレームに貼付け



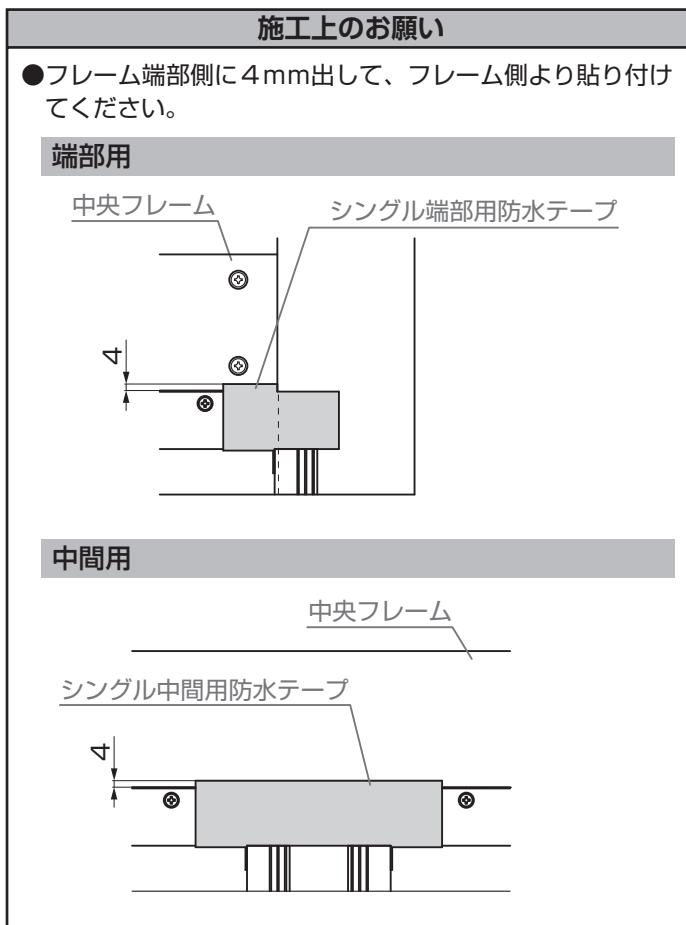
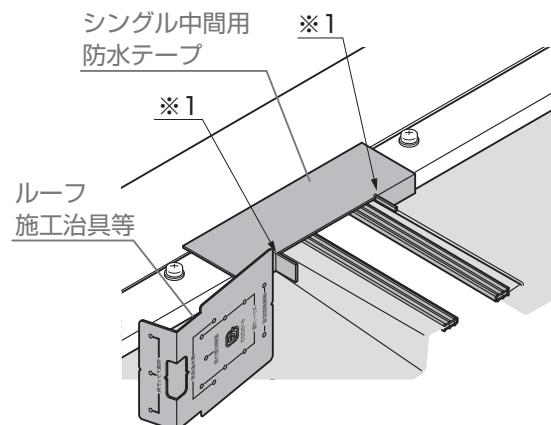
施工上のお願い

- フレーム端部側に4mm出して、フレーム側より貼り付けてください。
- シングル端部用防水テープは、端部側に4mm出してください。
●シングル中間用防水テープは、中央フレーム側に4mm出してください。
- 防水テープは延ばして貼付けます。ルーフ施工治具等の角の丸い物でしっかりと押さえつけてください。
止水テープの接着面のすき間は漏水の原因になります。

端部用



中間用



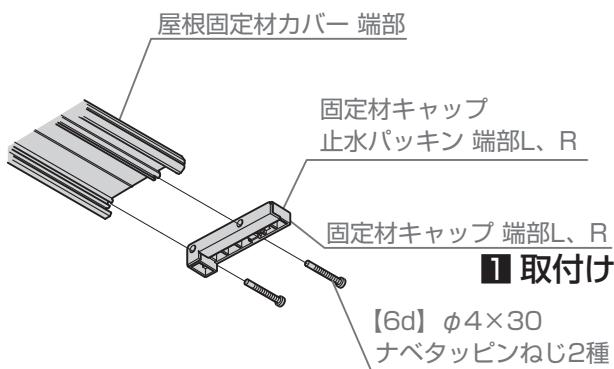
8 エントランスルーフの取付け

8-6 屋根材の取付け

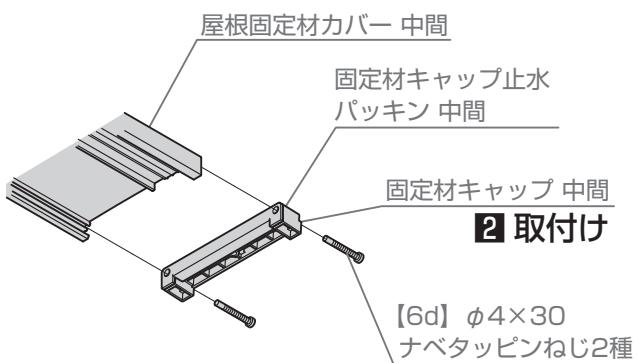
※屋根材は端部から1スパンずつ順番にP.42～P.48の作業を繰り返して取付けてください。

8-6-3 固定材キャップの取付け

- 1:固定材キャップ 端部L、Rを屋根固定材カバー 端部の雨樋側に【6d】で取付け

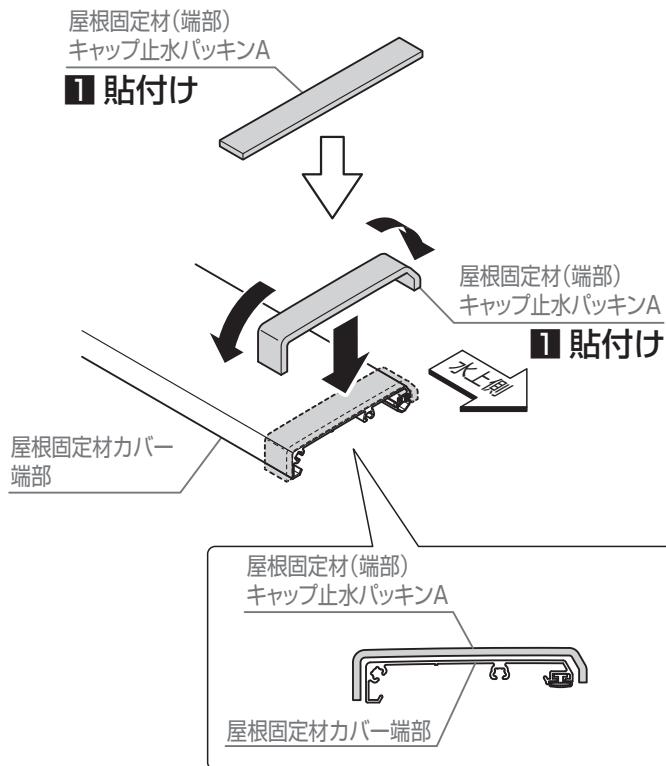


- 2:固定材キャップ 中間を屋根固定材カバー 中間の雨樋側に【6d】で取付け

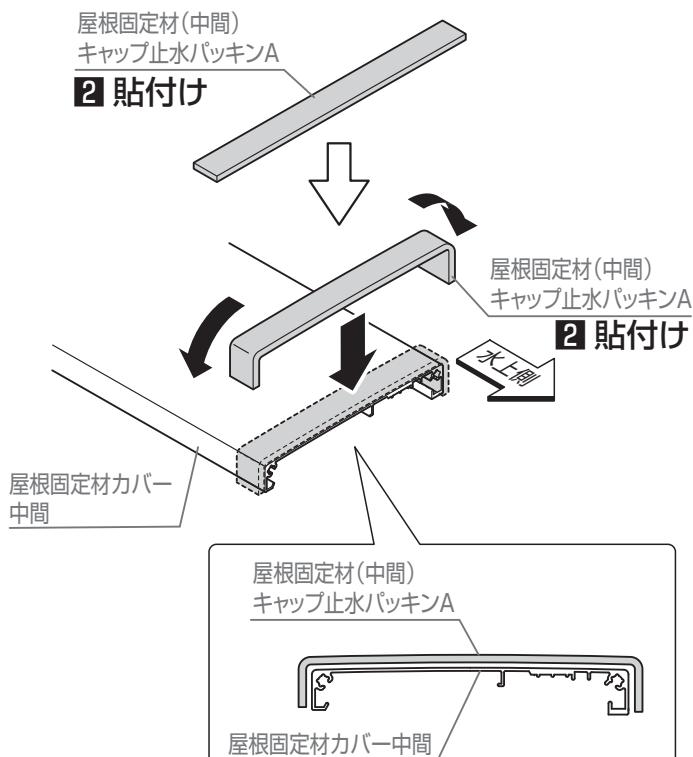


8-6-4 キャップ止水パッキンAの貼付け

- 1:屋根固定材(端部)キャップ止水パッキンAを屋根固定材カバー 端部の水上側に貼付け



- 2:屋根固定材(中間)キャップ止水パッキンAを屋根固定材カバー 中間の水上側に貼付け



8 エントランスルーフの取付け

8-6 屋根材の取付け

※屋根材は端部から1スパンずつ順番にP.42～P.48の作業を繰り返して取付けてください。

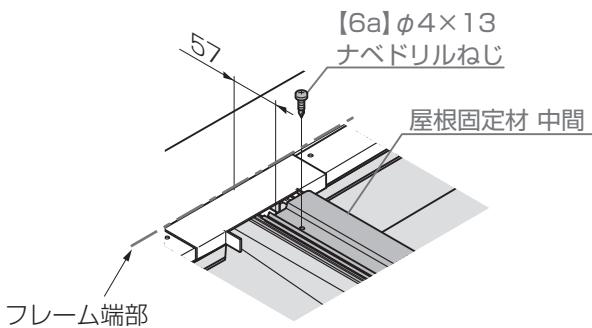
8-6-5 屋根固定材の取付け

① 屋根固定材端部・屋根固定材中間をフレーム・中間フレームに【6a】で取付け

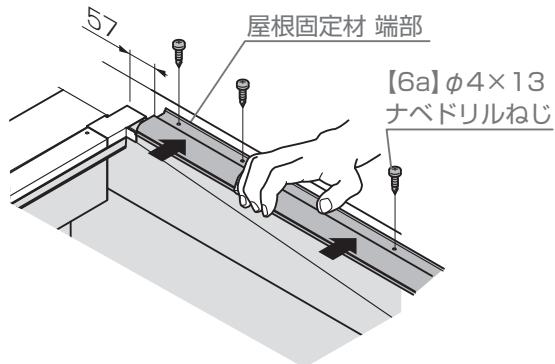
施工上のお願い

●水上側のフレームの内側から57mmに合わせて取付けてください。屋根固定材カバーの取付けができない場合があります。

中間



端部



【6b】φ4×19ナベドリルねじ

【6g】防水座金M4
屋根固定材
(中間)キャップ

【6a】φ4×13
ナベドリルねじ
屋根固定材
中間

① 取付け

水上側

【6b】φ4×19ナベドリルねじ

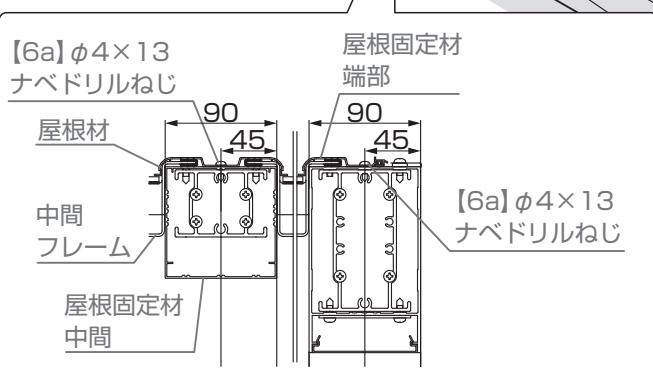
【6g】防水座金M4

屋根固定材
(端部)キャップ

屋根固定材
カバー 端部

【6a】φ4×13
ナベドリルねじ
屋根固定材 端部

① 取付け



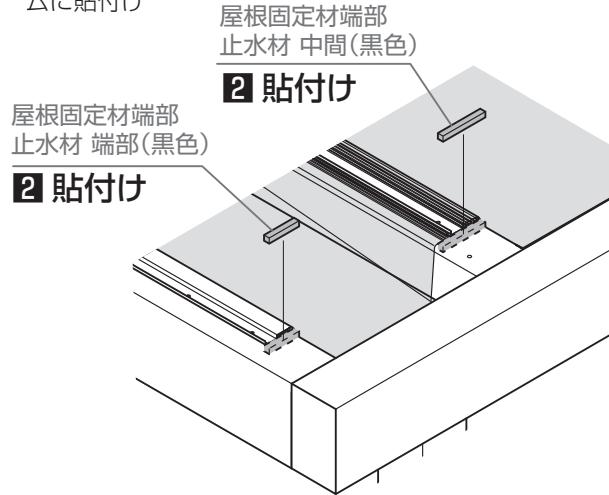
8 エントランスルーフの取付け

8-6 屋根材の取付け

※屋根材は端部から1スパンずつ順番にP.42～P.48の作業を繰り返して取付けてください。

8-6-5 屋根固定材の取付け（つづき）

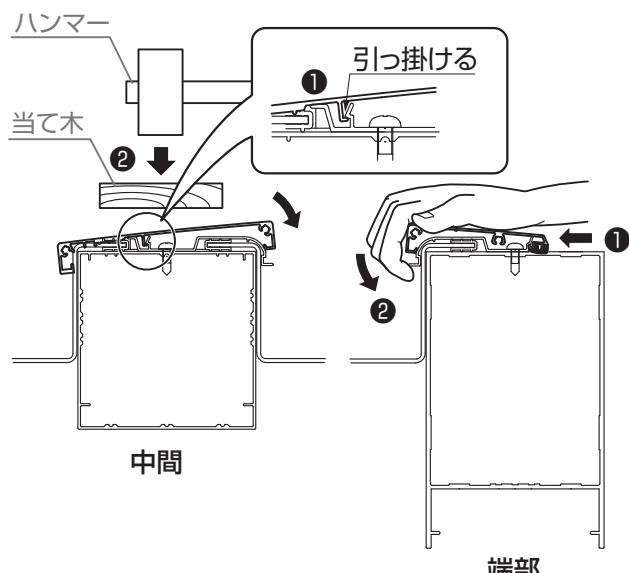
- 2:屋根固定材端部止水材 端部、中間をフレーム、中間フレームに貼付け



- 3:屋根固定材カバーを屋根固定材にはめ込む

補足

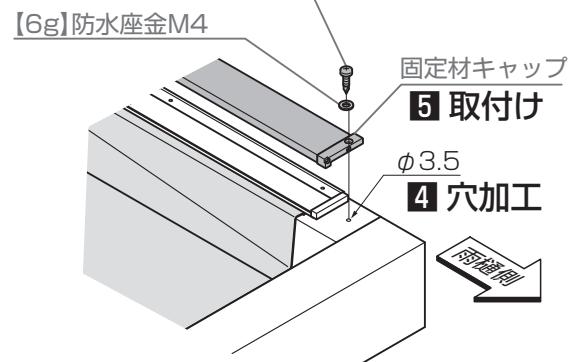
- 屋根固定材カバー 端部は、①屋根固定材 端部に横から押し込み、②手で抑えてはめ込んでください。
- 屋根固定材カバー 中間は、①屋根固定材 中間に屋根固定材カバーを引っ掛け、②当て木を使ってハンマー等ではめ込んでください。



- 4:固定材キャップの穴に合わせて $\phi 3.5$ の穴加工

- 5:固定材キャップを【6b】、【6g】で取付け

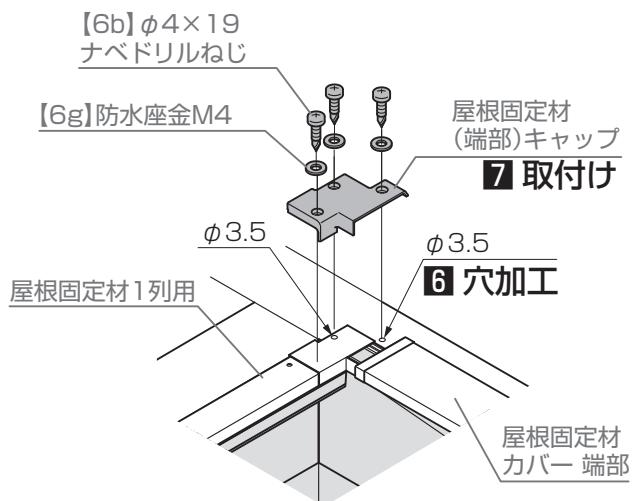
- 【6b】 $\phi 4 \times 19$ ナベドリルねじ



- 6:屋根固定材キャップの穴に合わせて $\phi 3.5$ の穴加工

- 7:屋根固定材キャップを【6b】、【6g】で取付け

■端部の場合



■中間の場合

- 【6b】 $\phi 4 \times 19$ ナベドリルねじ

- 【6g】防水座金 M4

- 屋根固定材 (中間) キャップ

- 7 取付け

- φ 3.5
6 穴加工

- 屋根固定材 1列用

- 屋根固定材 カバー 中間

8 エントランスルーフの取付け

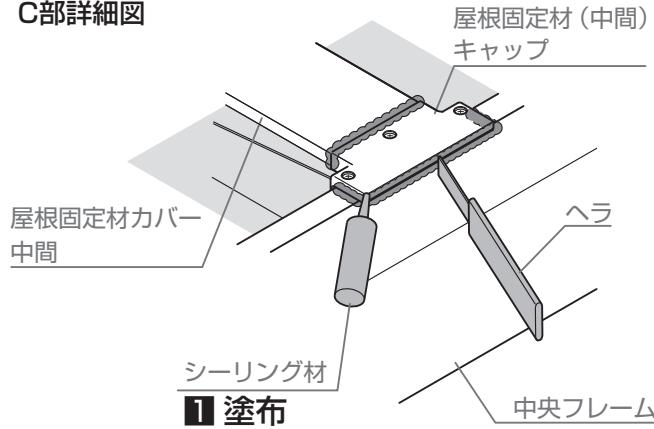
8-6 屋根材の取付け

※屋根材は端部から1スパンずつ順番にP.42～P.48の作業を繰り返して取付けてください。

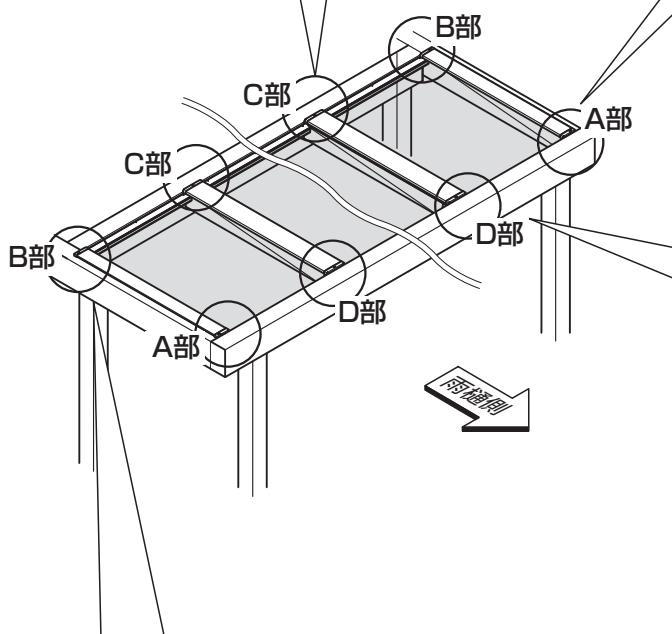
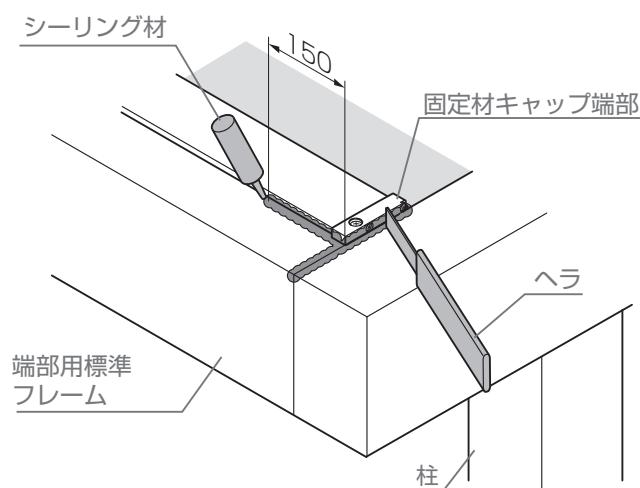
8-6-6 角部のシーリング処理

1:図の位置にシーリング材を塗布

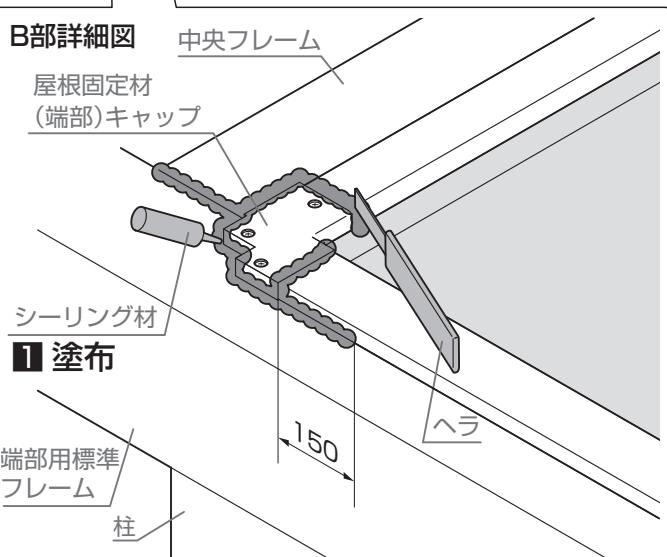
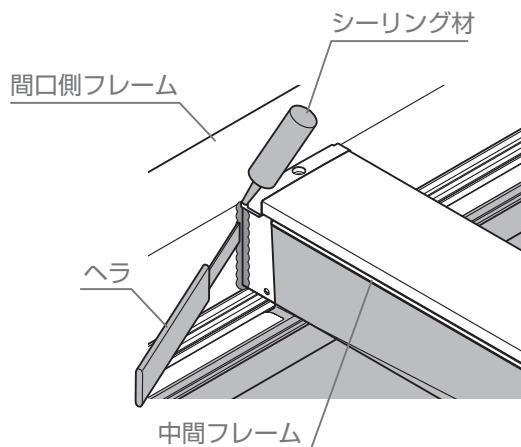
C部詳細図



A部詳細図



D部詳細図



施工上のお願い

- すき間なくシーリング処理をしてください。すき間がある場合、雨水が侵入する場合があります。
- シーリングはヘラ等でおさえて十分密着させてください。

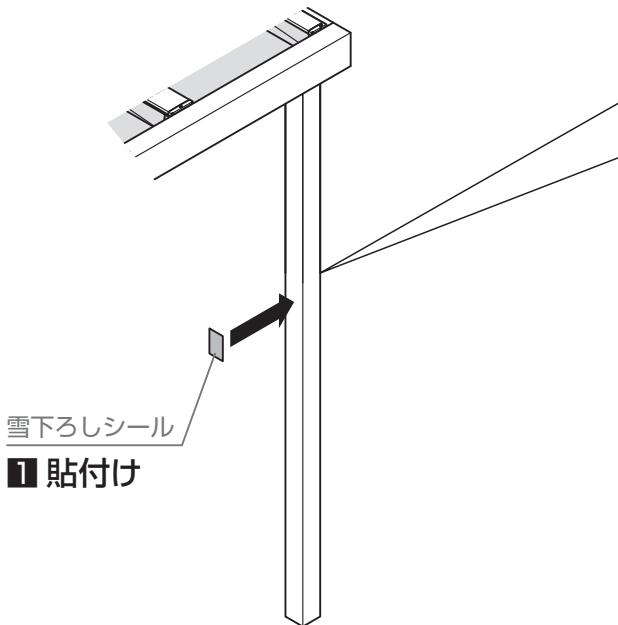
8 エントランスルーフの取付け

8-7 雪下ろしシールの取付け

△ 注意

- 雪下ろしシールは、施主様に安全に使用していただくために必要です。

1: 雪下ろしシールを柱の見やすい位置に貼付け



△ 注意

- 屋根の上には絶対に乗らないでください。
転落するおそれがあります。
- 下記の積雪量になる前に、必ず雪下ろしをしてください。
製品破損による被害のおそれがあります。
- ※雪の重さは雪の状態によって大きく変化します。
特に春先の雪は重くなります。
- ※雪下ろしの際、雪はできるだけ残さず下ろしてください。
雪を残すと氷状になります。たいへん重くなります。
- ※雪下ろしの際、絶対に水をかけないでください。
雪が氷状になり、さらに重くなります。

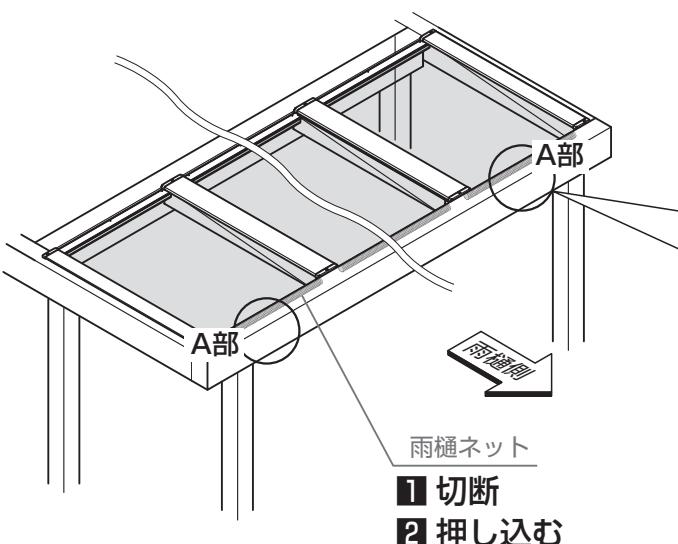
新 雪	じゆせき 結 雪	じゆゆき 积 雪
新しく降った 粉状の雪 (雪比重 : 0.3)	水分を含んだやや 重い雪・降り積も って圧縮された雪 (雪比重 : 0.5)	水分を含んで 凍ついて 粒の大きさ雪 (雪比重 : 0.7)
積雪量（目安） 20cm	積雪量（目安） 12cm	積雪量（目安） 8cm

雪下ろしシール詳細

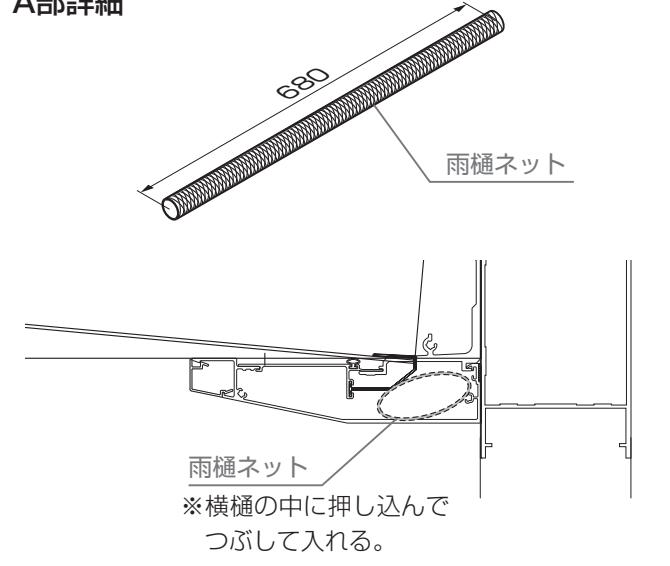
8-8 雨樋ネットの取付け オプション

1: オプションの雨樋ネットφ50(L3000)を長さ680mmに
切断

2: 雨樋ネットを1スパンごとに横樋の中に押し込む

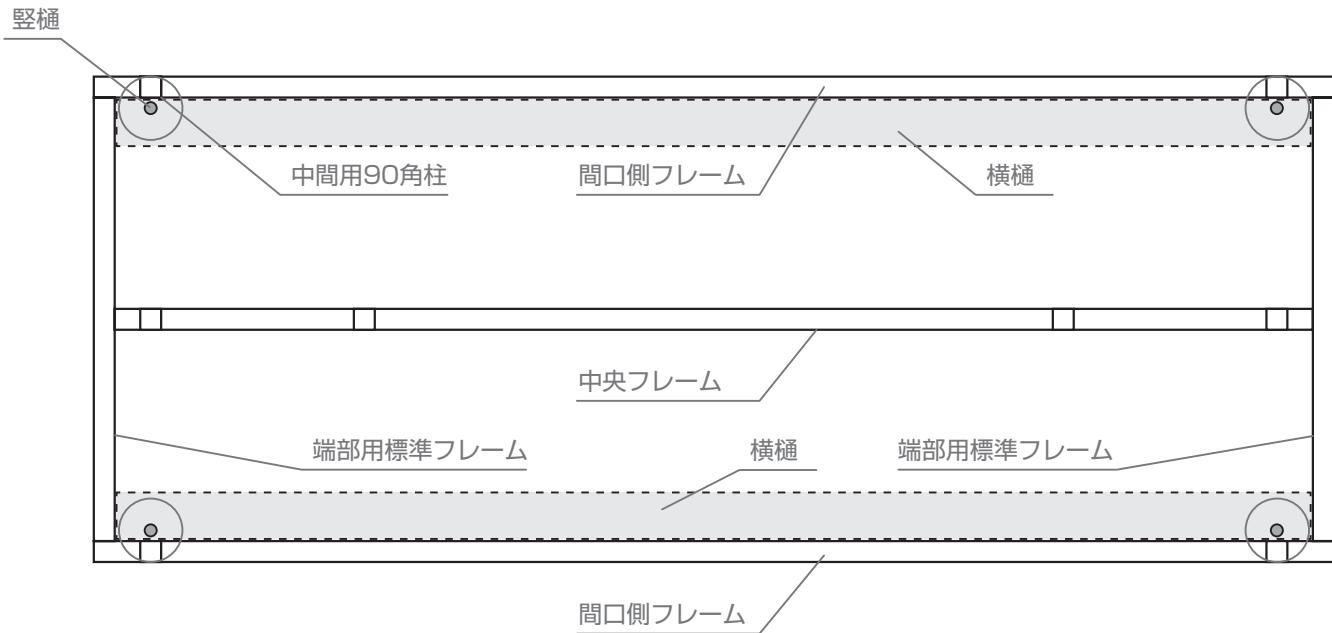


A部詳細



9 天井材の取付け

9-1 竪樋の取付け準備（取付け位置の確認）



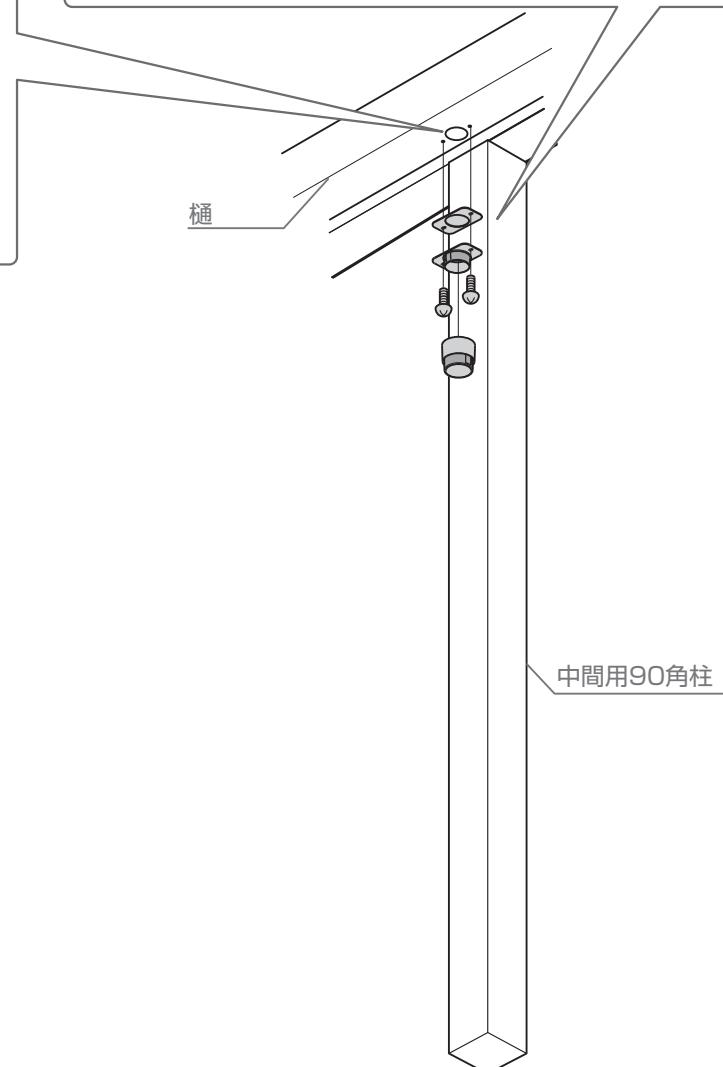
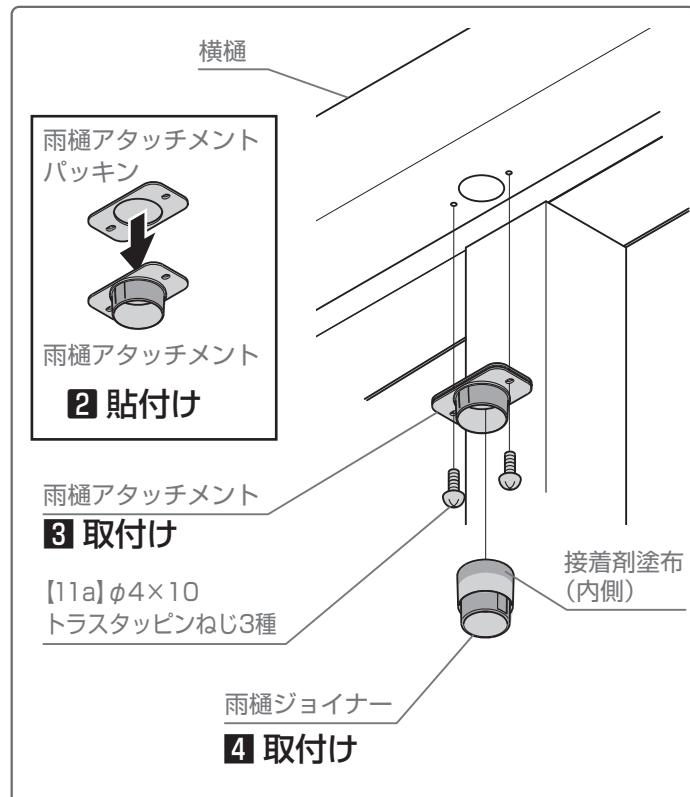
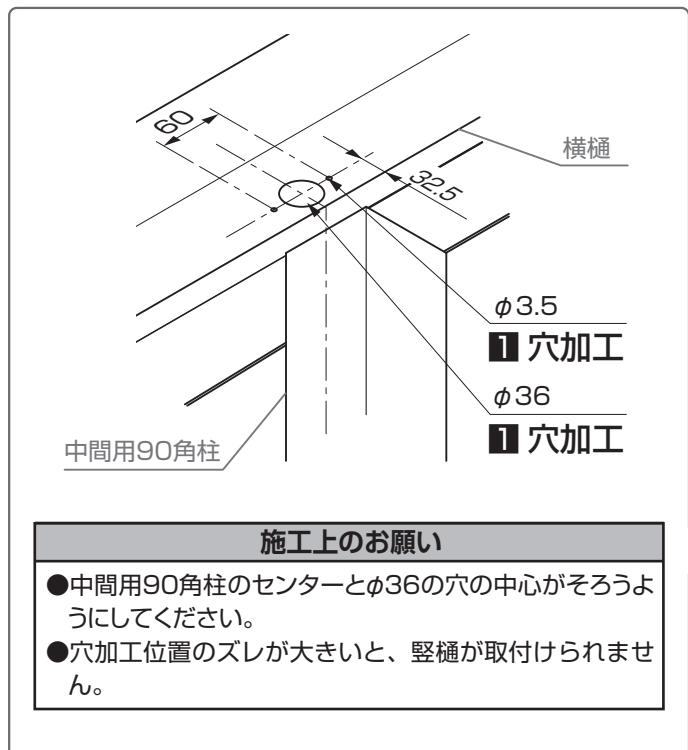
施工上のお願い

- 縦樋は上図の丸で囲った中間用90角柱に沿って、4力所取付けてください。

9 天井材の取付け

9-2 壁面材の取付け準備（部品の取付け）

- 1: 横樋に ϕ 36の水抜き穴加工、 ϕ 3.5の雨樋アタッチメント取付穴加工
- 2: アタッチメントパッキンを雨樋アタッチメントに貼付け
- 3: 雨樋アタッチメントを横樋に【11a】で取付け
- 4: 雨樋ジョイナーの内側に接着剤を塗布し、雨樋アタッチメントに取付け

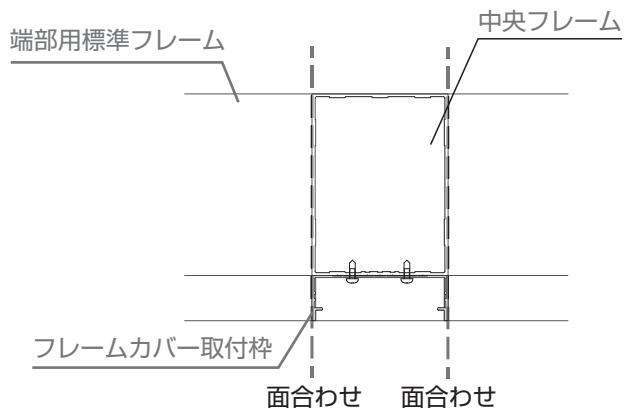


9 天井材の取付け

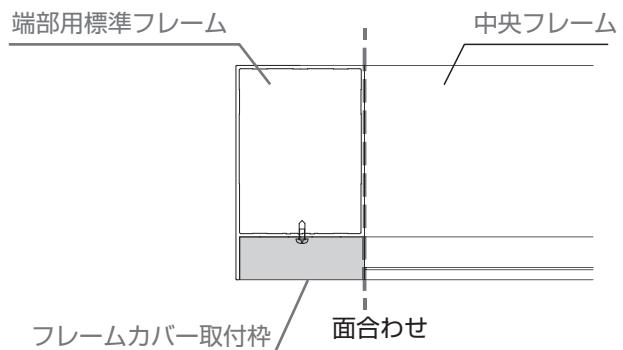
9-3 フレームカバー取付枠の取付け

①: フレームカバー取付枠を端部用フレームに【10b】で取付け

●A視

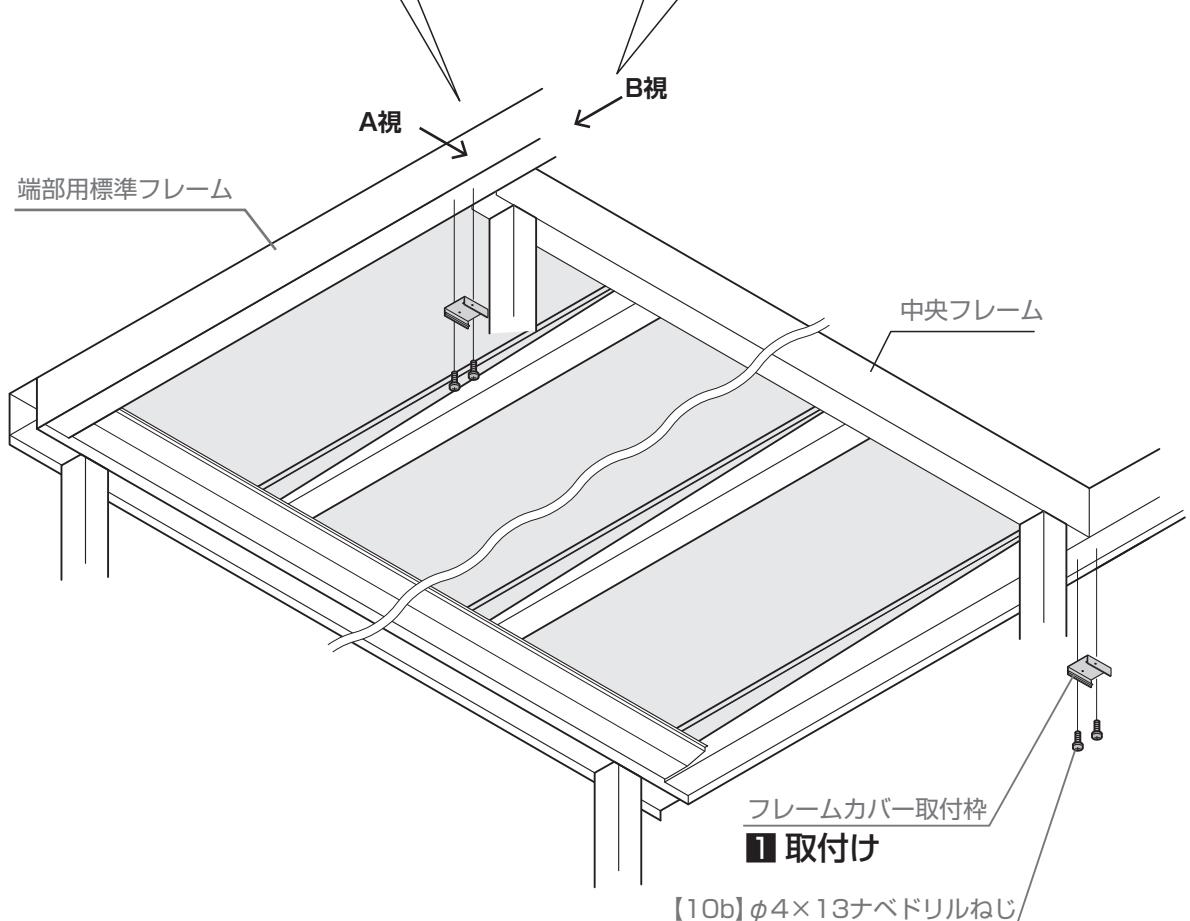


●B視



施工上のお願い

- フレームと面合わせで取付けてください。

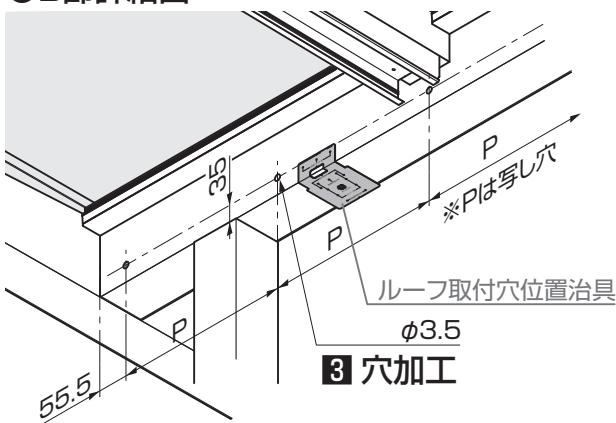


9 天井材の取付け

9-4 天井横枠の取付け

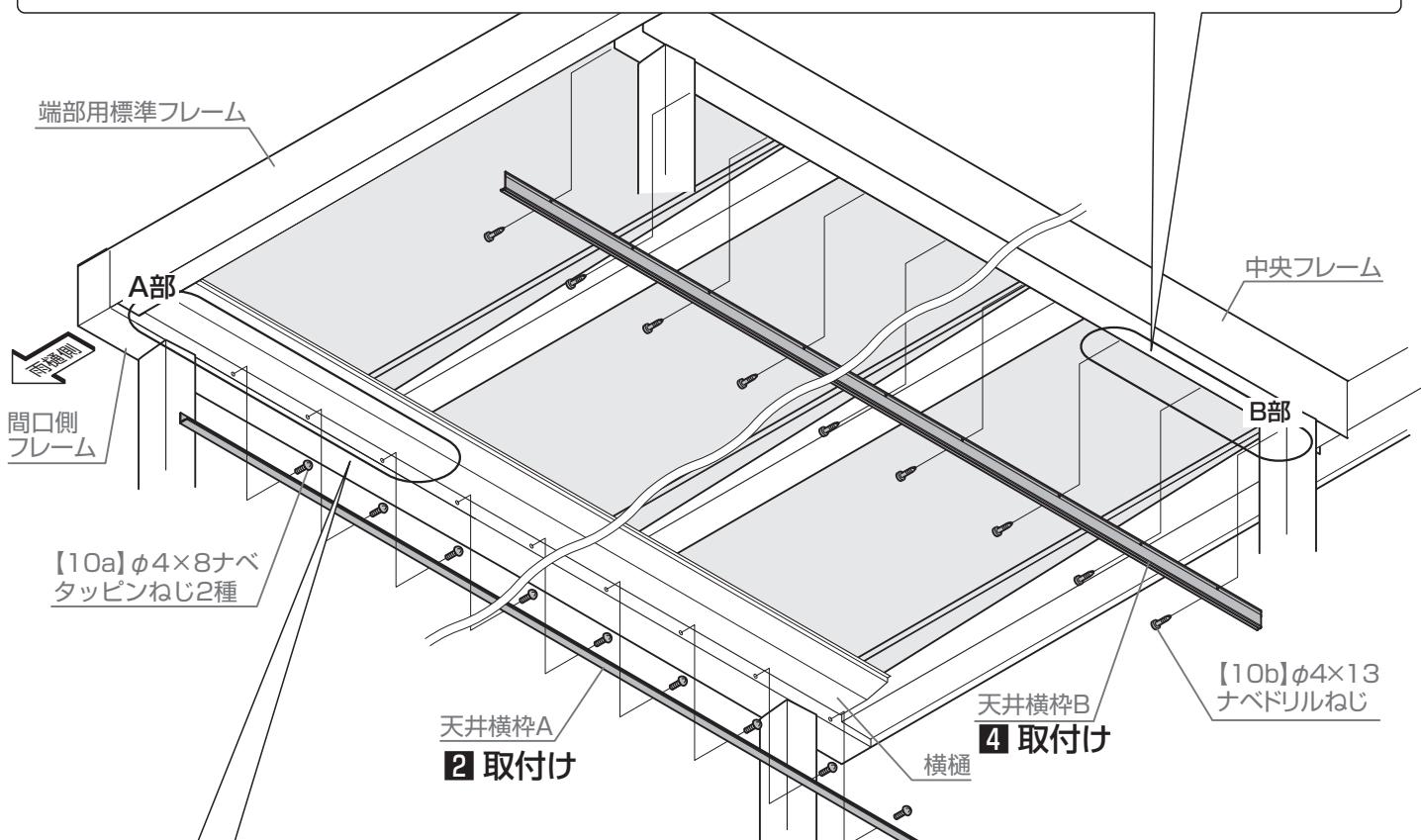
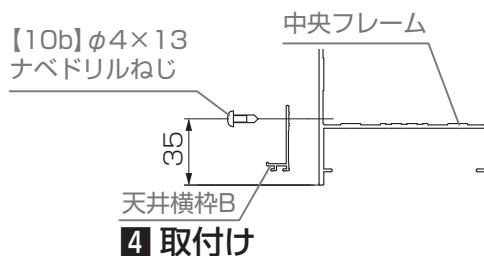
- 1:雨樋側のフレームにφ3.5の穴加工
- 2:天井横枠Aを間口側フレームに【10a】で取付け
- 3:中央のフレームにφ3.5の穴加工
- 4:天井横枠Bを中央フレームに【10b】で取付け

●B部詳細図

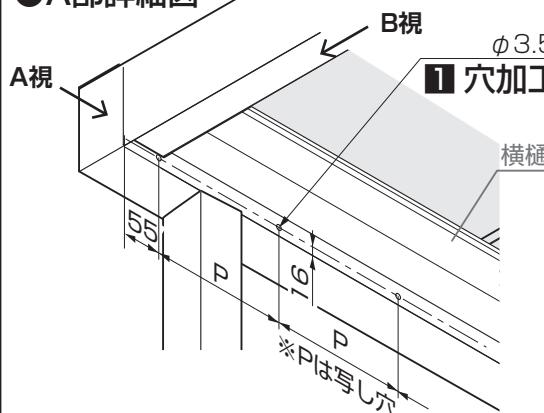


補足

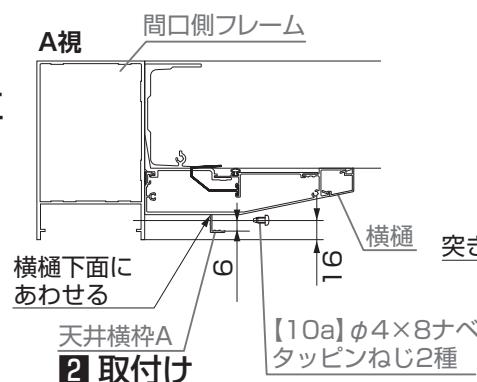
●ルーフ取付穴位置治具を使うことで天井横枠取付け下穴の位置出しがしやすくなります。



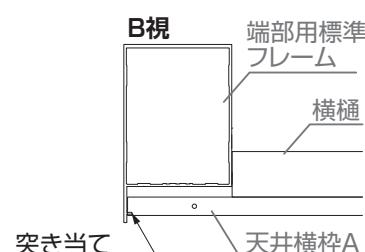
●A部詳細図



A視



B視



施工上のお願い

●天井横枠Aは端部用標準フレームの脚部に突き当てた位置に取付けてください。

9 天井材の取付け

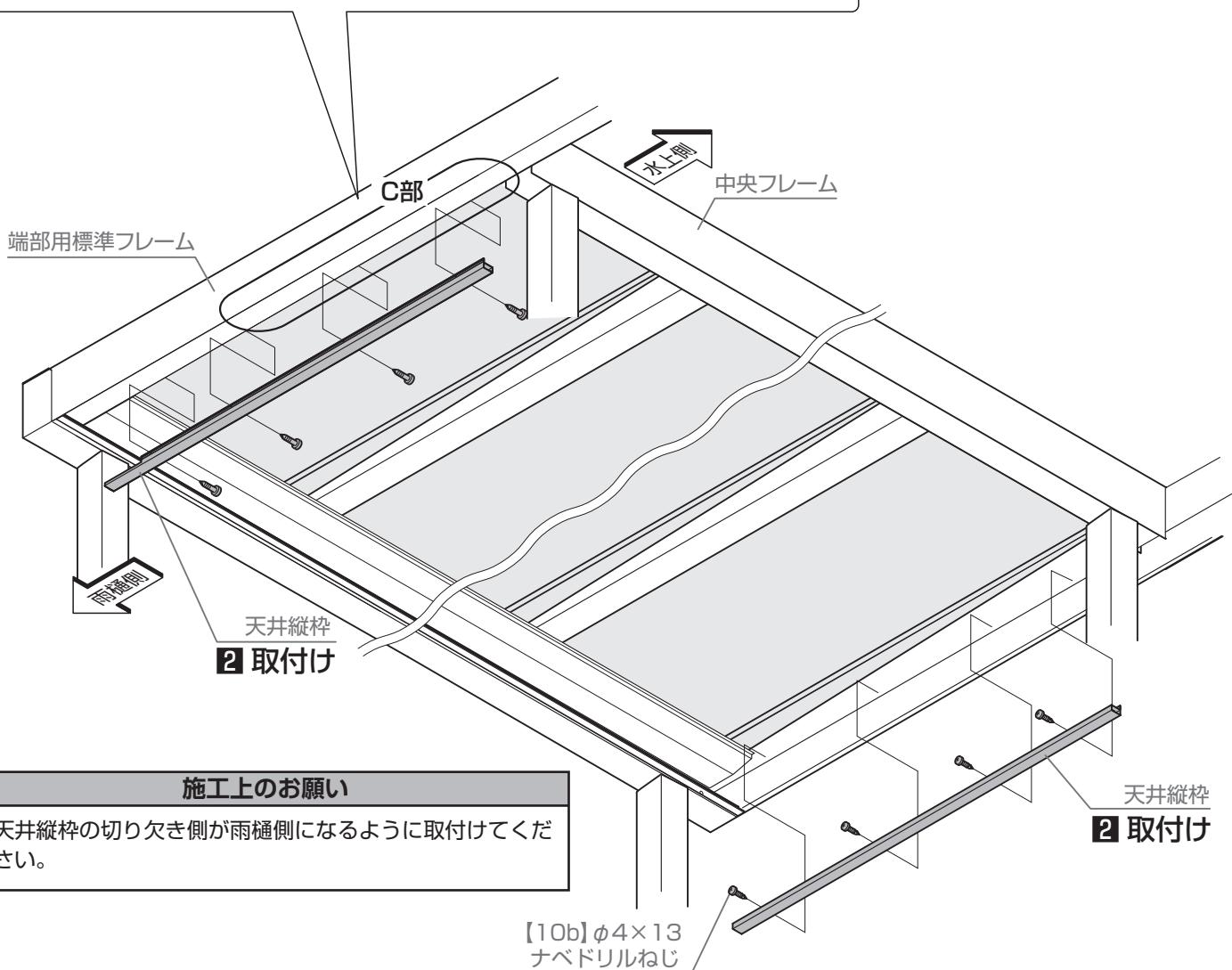
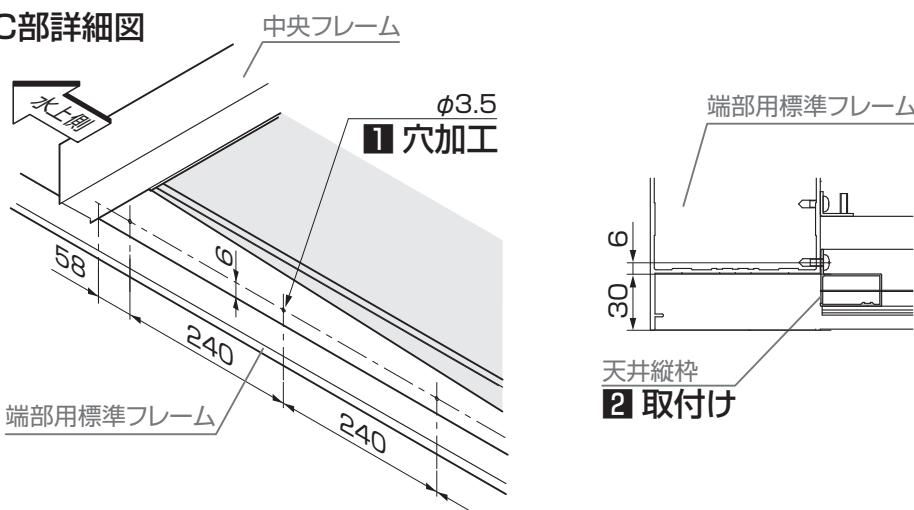
9-5 天井縦枠の取付け

9-5-1 天井縦枠の取付け

1: 端部用標準フレームにφ3.5の穴加工

2: 天井縦枠を端部用標準フレームに【10b】で取付け

●C部詳細図



施工上のお願い

- 天井縦枠の切り欠き側が雨樋側になるように取付けてください。

【10b】φ4×13
ナベドリルねじ

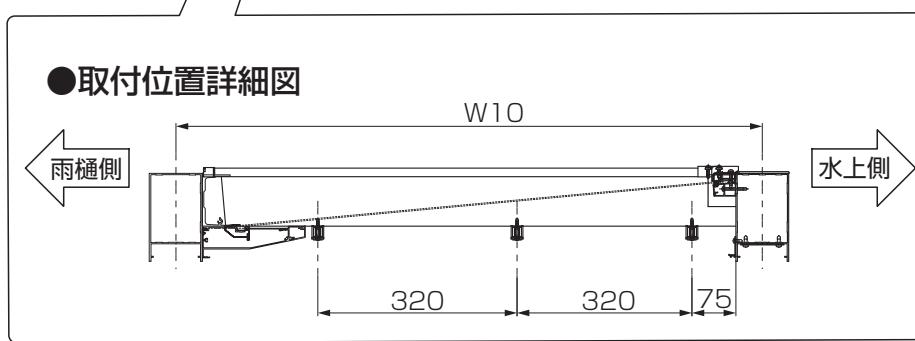
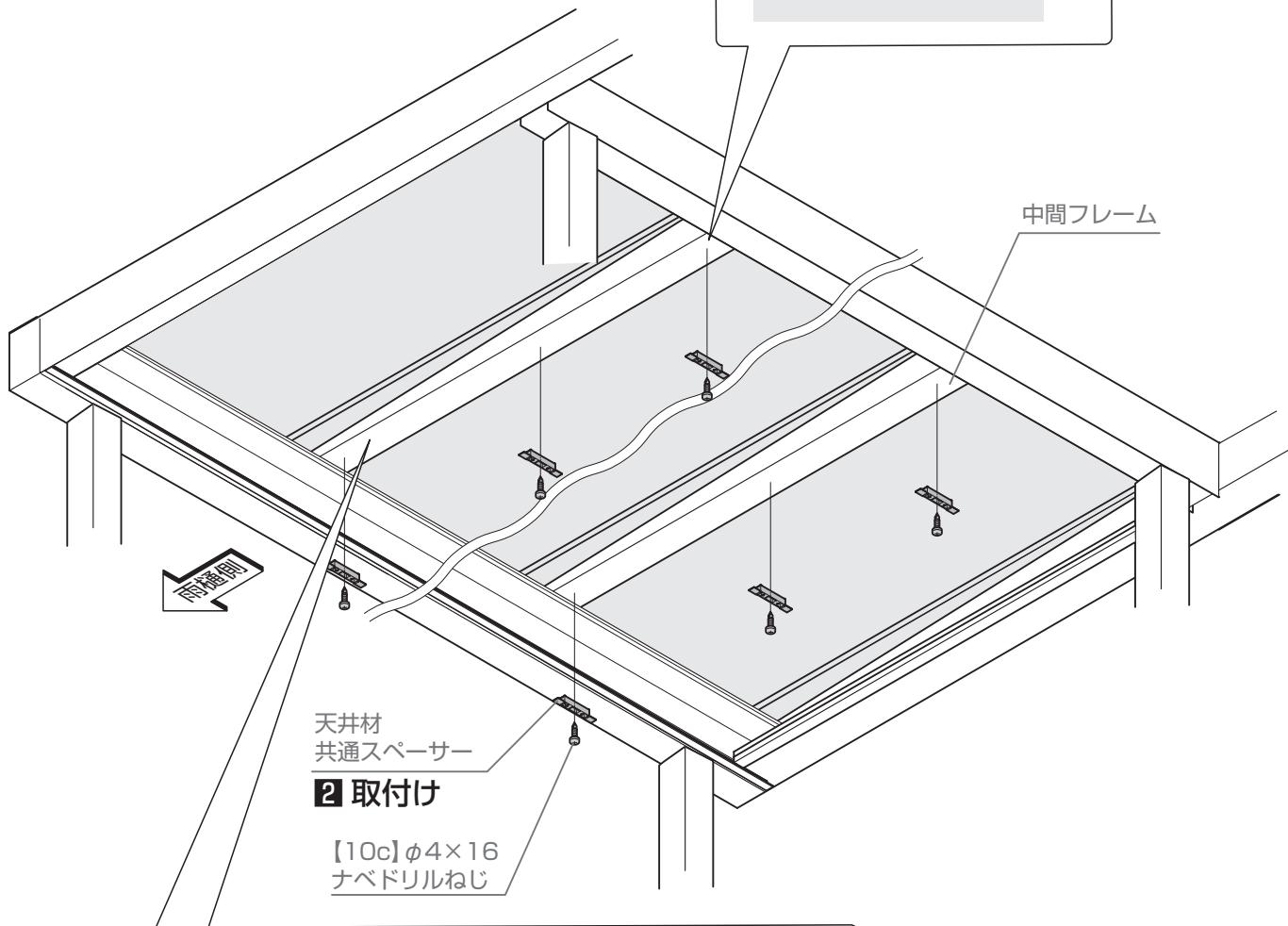
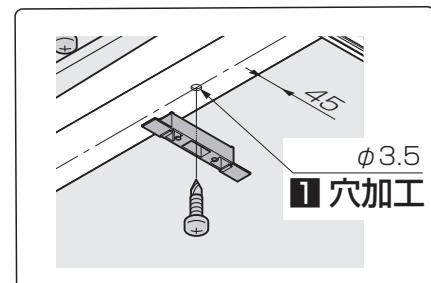
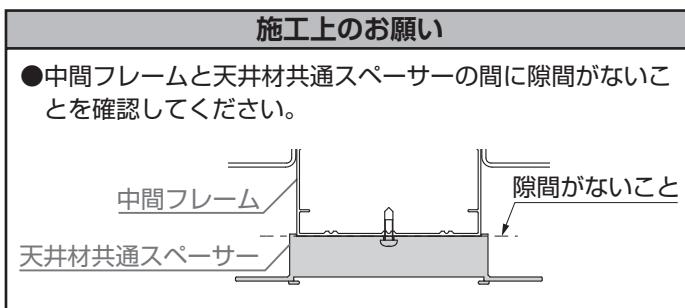
9 天井材の取付け

9-5 天井縦枠の取付け(つづき)

9-5-2 天井材共通スペーサーの取付け

1:中間フレームに $\phi 3.5$ の穴加工

2:天井材共通スペーサーを中間フレームに【10c】で取付け



9 天井材の取付け

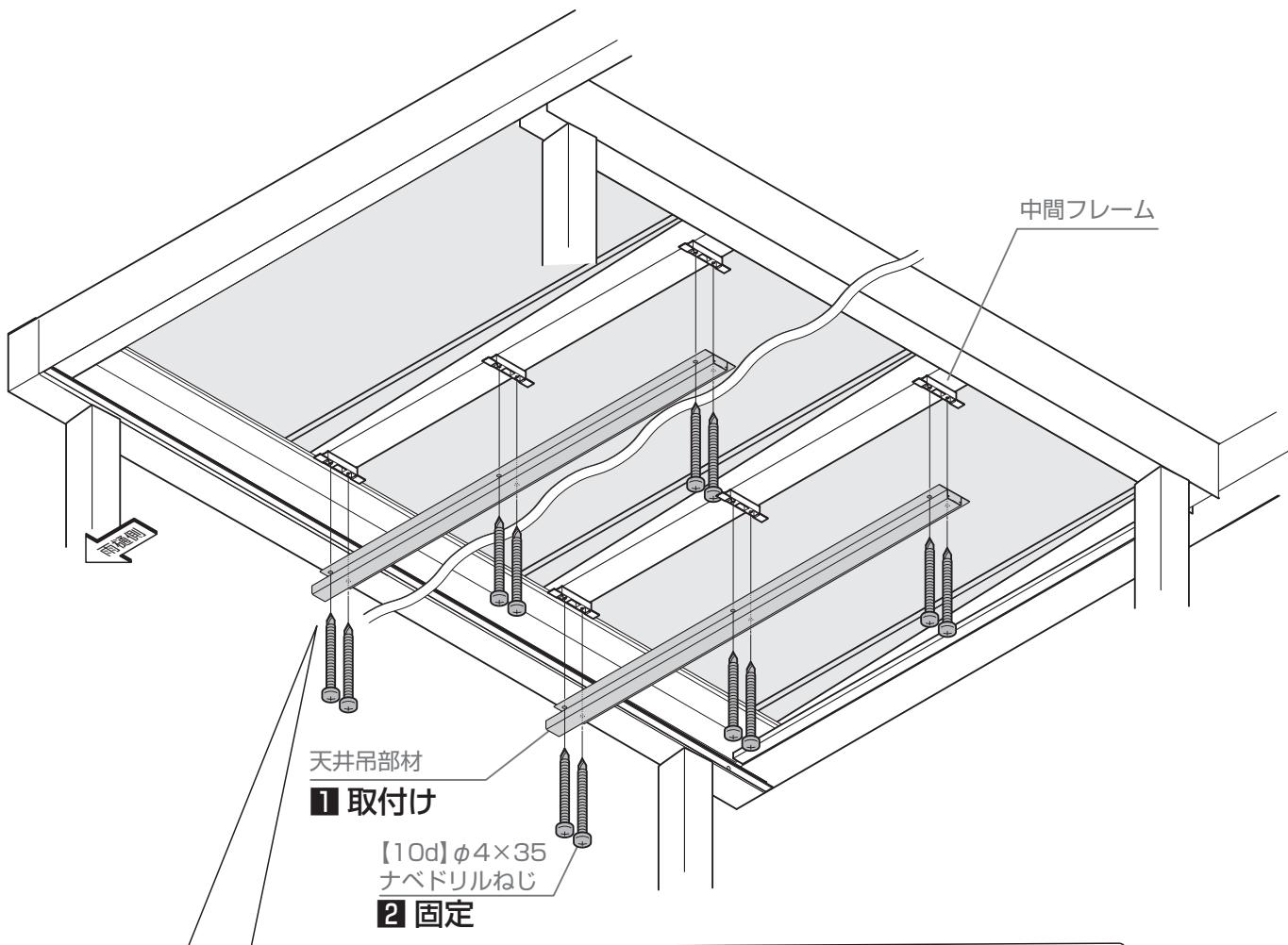
9-5 天井縦枠の取付け(つづき)

9-5-3 天井吊部材の取付け

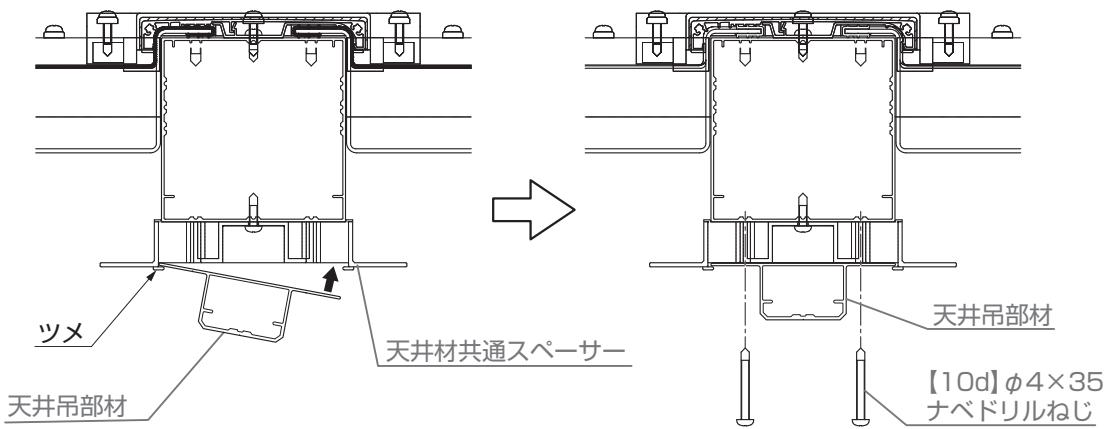
- 1:天井吊部材を天井材共通スペーサーのツメに引っ掛けて取付け
2:天井吊部材を中間フレームに【10d】で固定

施工上のお願い

- 天井吊部材の切り欠きが雨樋側になるように取付けてください。



●取付位置詳細図

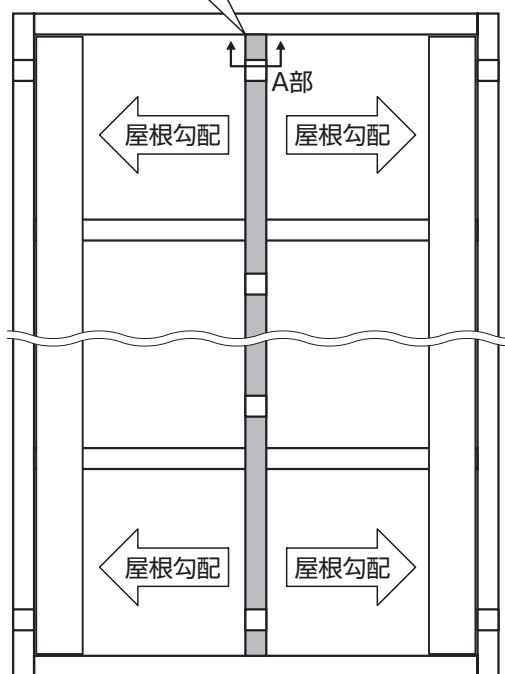
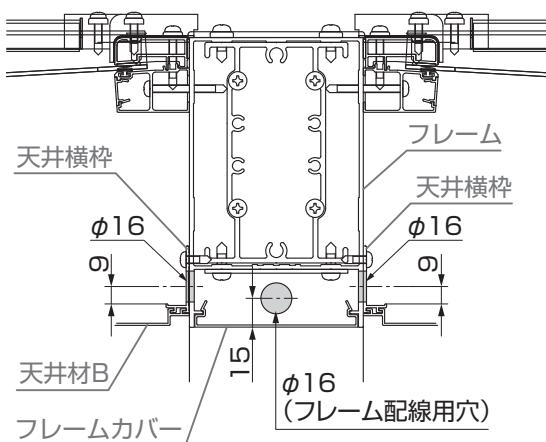


9 天井材の取付け

9-6 ダウンライト用配線穴加工

①:配線を通す箇所の中央フレームと天井横枠にφ 16の穴加工

●A部詳細図



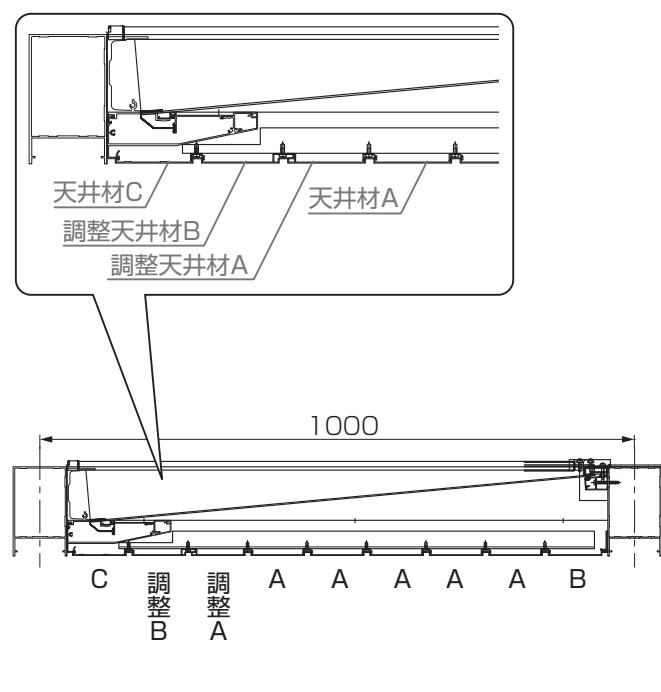
施工上のお願い

- 配線用の穴加工は中央フレーム(水上)側に行ってください。
- ダウンライトの取付けは、「LEDダウンライト取付説明書〈Z536〉」をご確認ください。

9 天井材の取付け

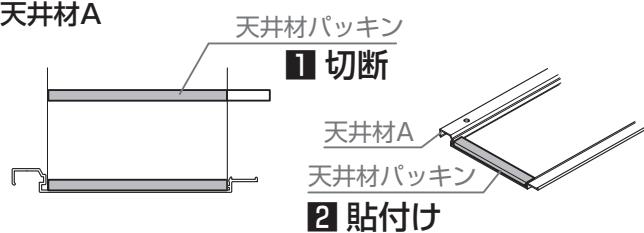
9-7 天井材の取付け

● 基本寸法と納まり

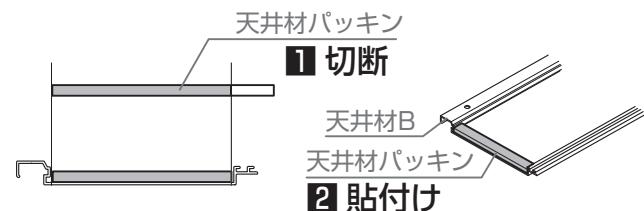


①:天井材パッキンを天井材の左右端部の凹み部分に合わせて切断
②:天井材パッキンを天井材の左右端部に貼付け

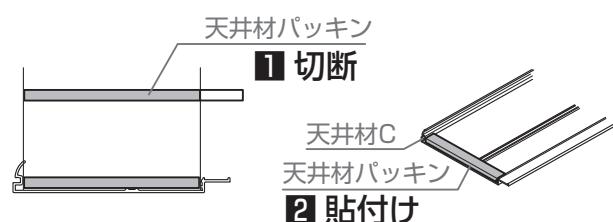
● 天井材A



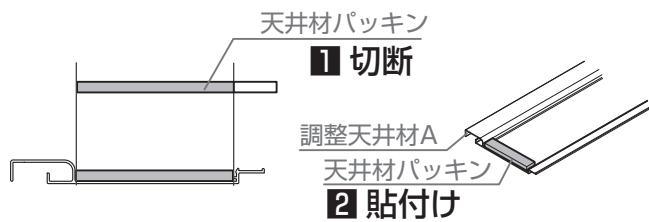
● 天井材B



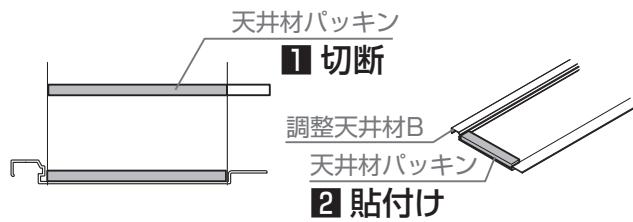
● 天井材C



● 調整天井材A



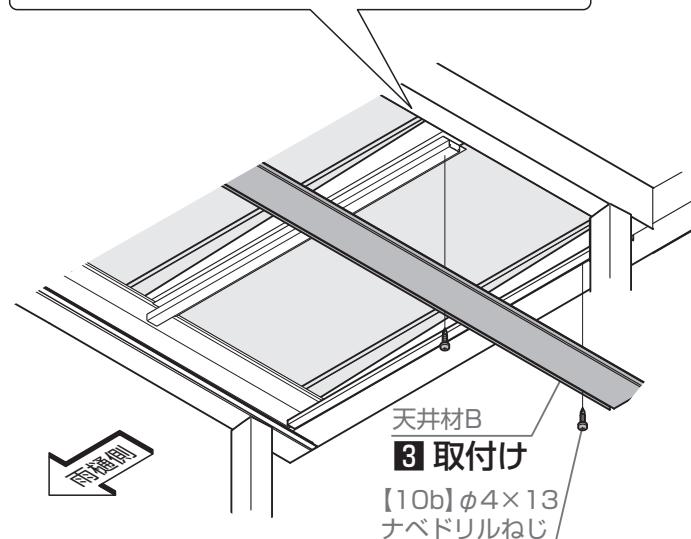
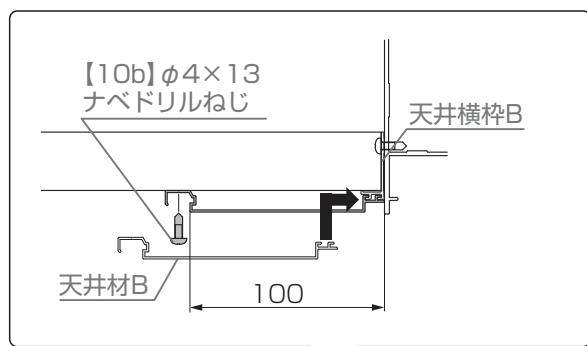
● 調整天井材B



9 天井材の取付け

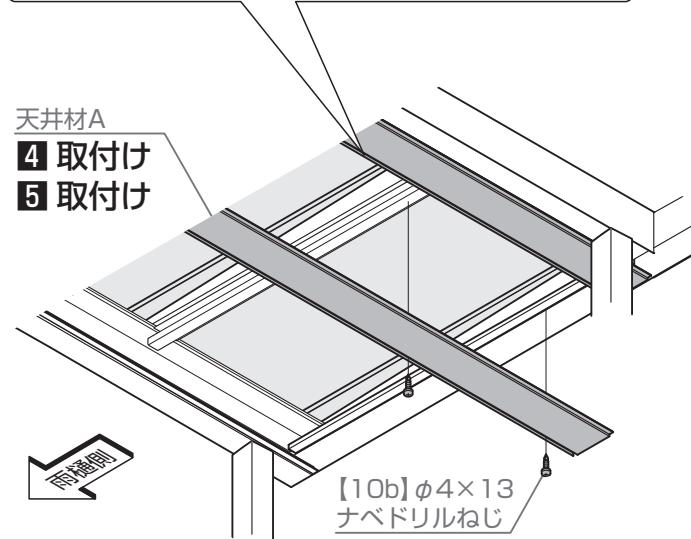
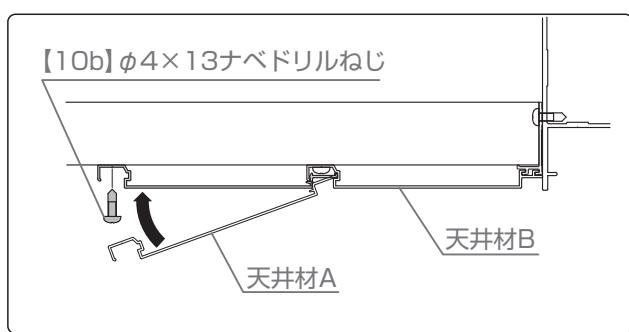
9-7 天井材の取付け(つづき)

3:天井材Bを天井横枠Bに差込み、【10b】で取付け

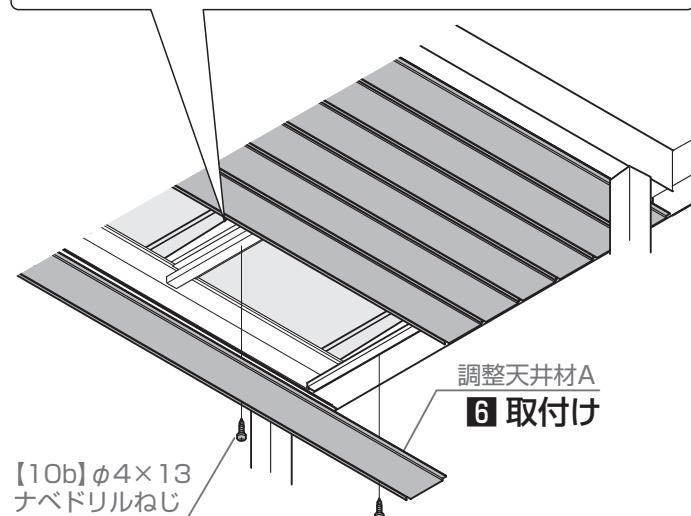
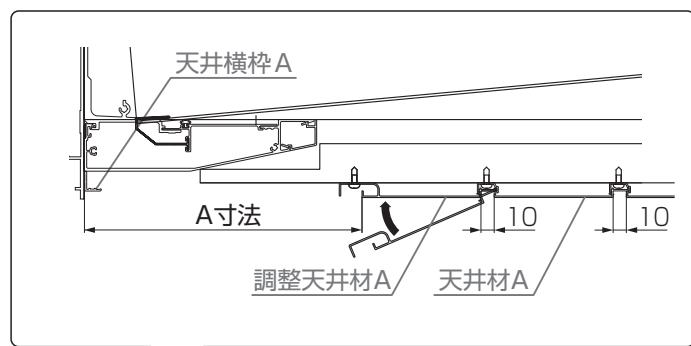


4:天井材Aを【10b】で取付け

5:残りの天井材Aを繰返して取付け



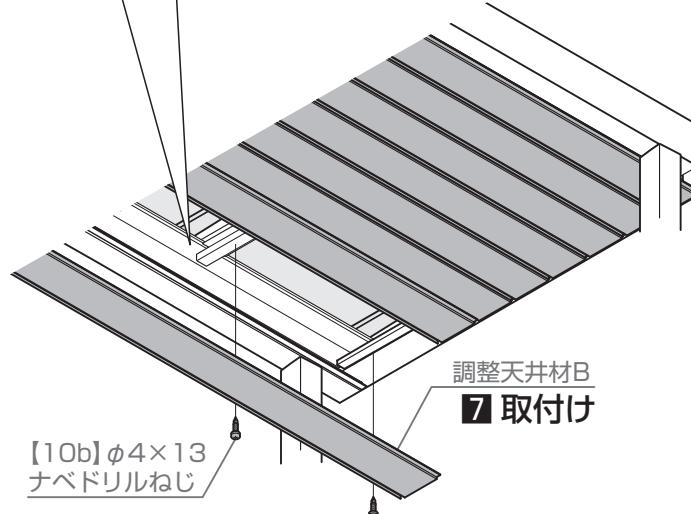
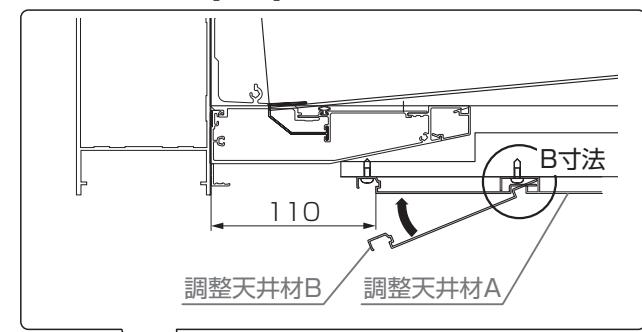
6:調整天井材Aを【10b】で取付け



施工上のお願い

- 調整天井材Aを取付けた後、フレームと調整天井材Aの寸法（A寸法）を測り、調整天井材Aと調整天井材Bの目地幅（B寸法）を決めてから取付けてください。

7:調整天井材Bを【10b】で取付け

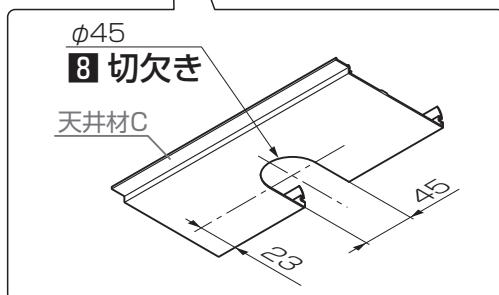
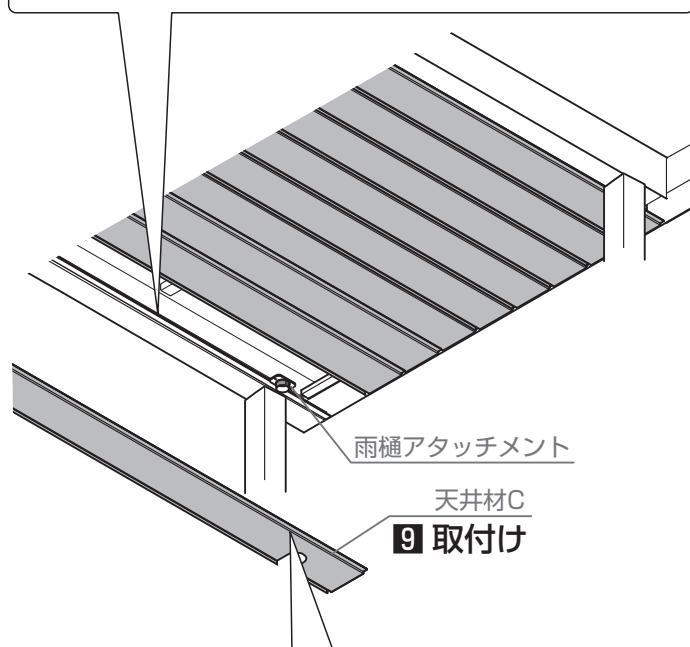
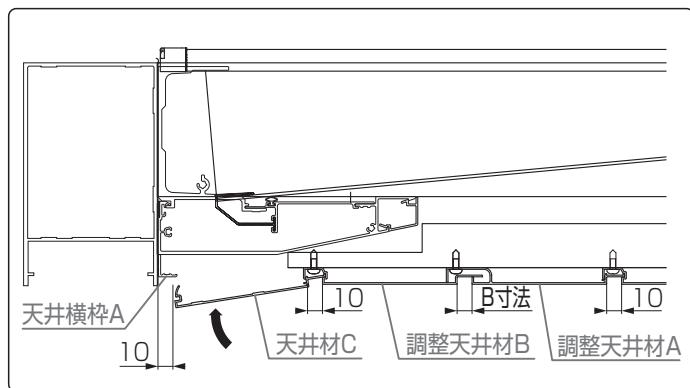


9 天井材の取付け

9-7 天井材の取付け(つづき)

8:天井材Cに豊橢用の切欠き加工

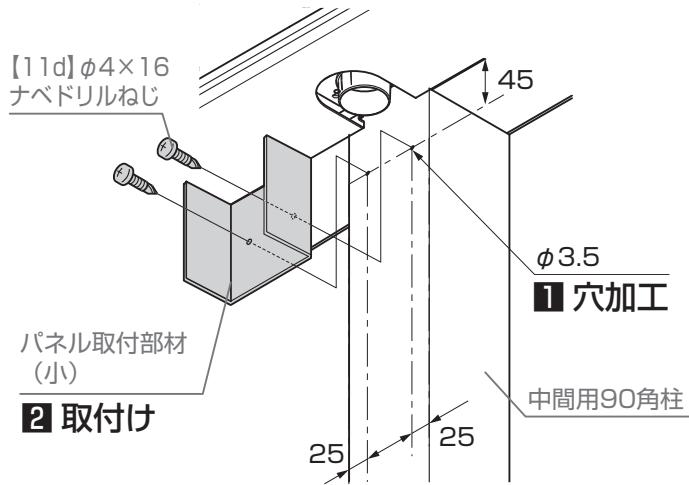
9:天井材Cを天井横枠に取付け



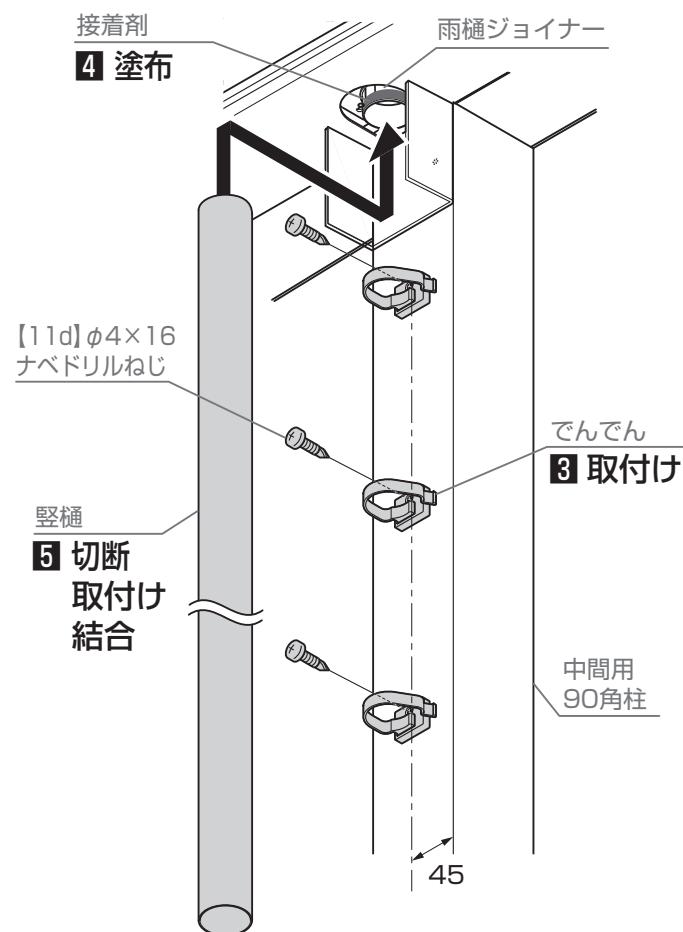
10 堅樋の取付け

10-1 Gウォール内蔵樋の取付け

- 1: 中間用90角柱にφ3.5のパネル取付部材(小)取付け穴加工
- 2: パネル取付部材(小)を中間用90角柱に【11d】で取付け



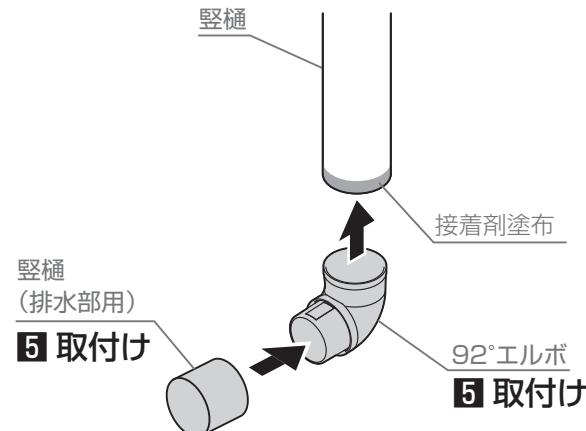
- 3: でんでんを90角柱に【11d】で取付け
- 4: 接着剤を雨樋ジョイナーに塗布
- 5: 堅樋を切断し、でんでんに取付け、堅樋と雨樋ジョイナーを結合



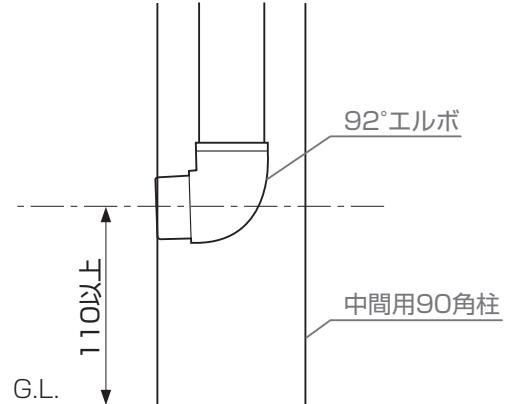
施工上のお願い

- 排水方法が[地上排水[Gウォール面材から排水]または[地中排水]かによって排水口の納まりが異なります。
 - ・[地上排水]の場合は、堅樋を排水口の高さに合わせた長さに切断し、本取付説明書の以降の手順にしたがって施工を行ってください。
 - ・[地中排水]の場合は、現場の状況に合わせて必要に応じて堅樋の切断および延長を行ってください。

- 5: 堅樋に接着剤を塗布し、92° エルボを取り付け



●下部納まり



11 フレームサイドカバー、フレーム意匠部材の取付け

11-1 フレームサイドカバー、フレーム意匠部材の取付け

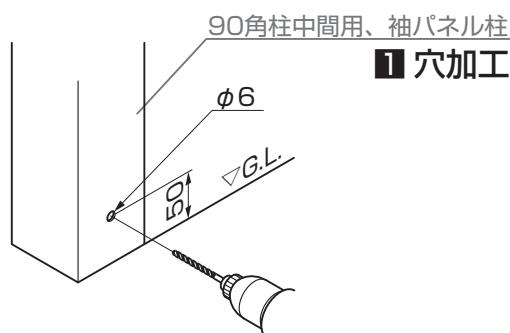
施工上のお願い

- 取付け製品、またその組合せによって取付け方法がことなります。取付け手順と詳細は下記の取付説明書を参照してください。
 - ・フレームサイドカバーを取付ける場合:「Gフレームサイドカバー 取付説明書(E293)」
 - ・フレーム意匠部材 フィンタイプを取付ける場合:「Gフレーム フレーム意匠部材 取付説明書(EXM012)」
 - ・フレーム意匠部材 板張りタイプを取付ける場合:「Gフレーム フレーム意匠部材 板張りタイプ 取付説明書(EXM215)」
- フレームサイドカバーまたはフレーム意匠部材の取付け後に、各フレームとの境目にシーリング処理をしてください。

12 水抜き穴の加工

12-1 水抜き穴の加工

①:90角柱中間用、袖パネル柱などすべての柱にφ6の水抜き
穴加工



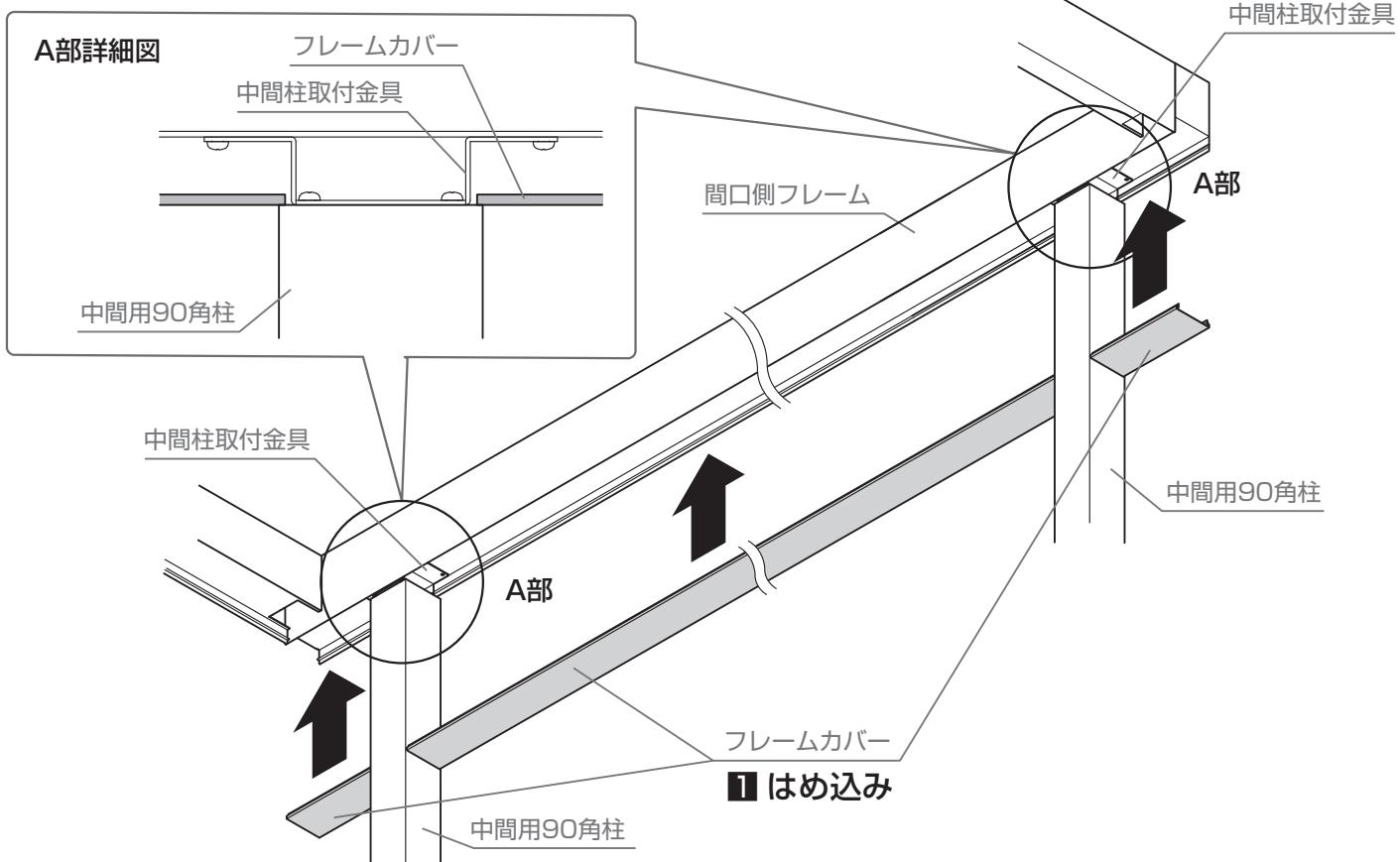
施工上のお願い

- すべての柱に水抜き穴を加工してください。

13 フレームカバーの取付け

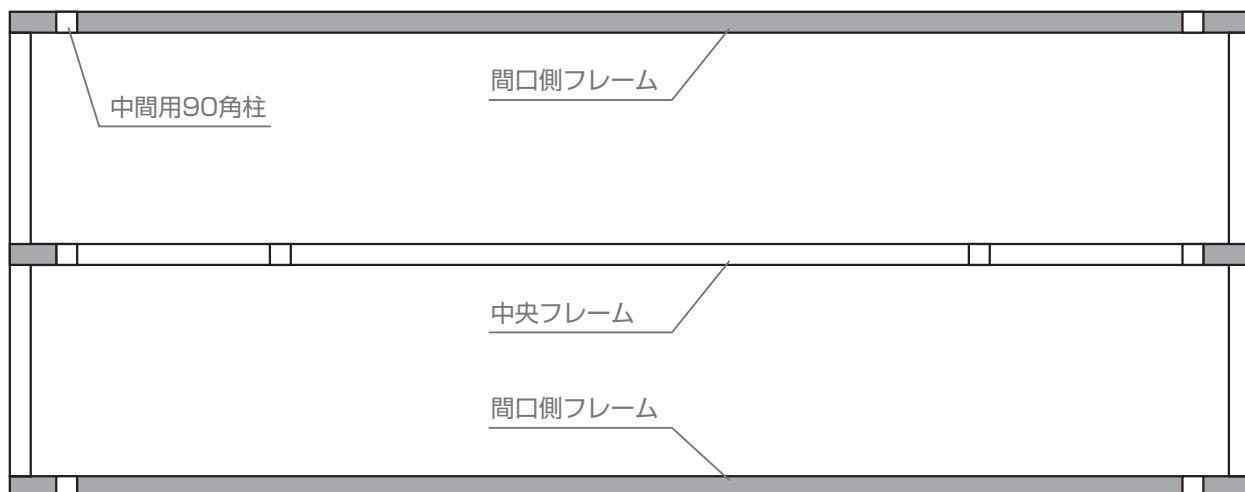
13-1 フレームカバーの取付け

①:間口側フレームと中央フレームにフレームカバーをはめ込み

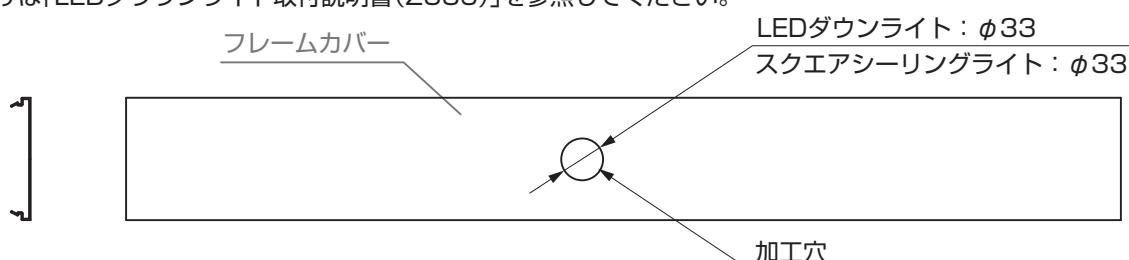


施工上のお願い

- フレームカバーは下図の着色箇所に実測寸法で切断して取付けてください。
- 中間用柱が隣接する場合は、中間用柱1本につき実測値よりも1mm～2mm長く切断すると、隙間なく施工できます。



- フレームカバーにLEDダウンライトを取り付ける場合は、下図を参考に穴加工をしてください。なお、LEDダウンライトの取付けは「LEDダウンライト取付説明書(Z536)」を参照してください。



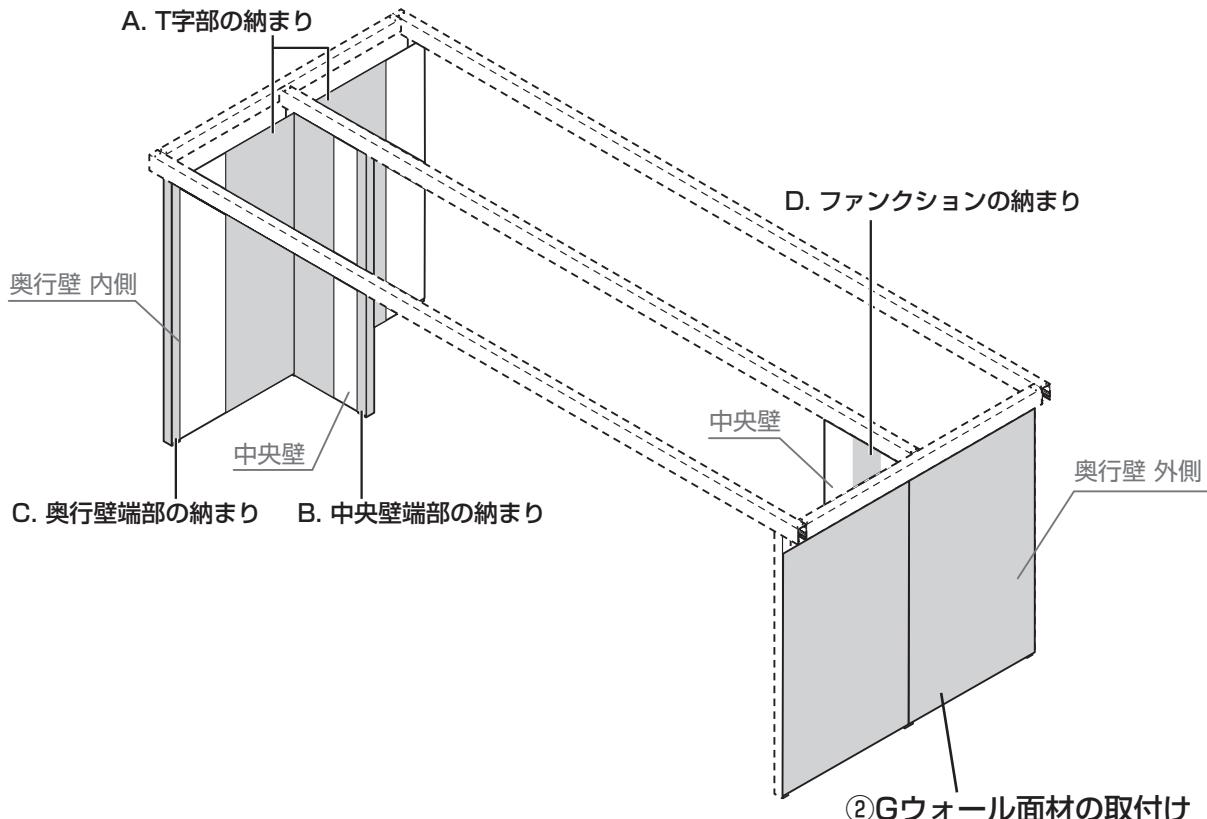
14 Gウォールの取付け

14-1 Gウォール各部納まりの確認

施工上のお願い

- 下図のGウォール各部納まりを確認し、本書または「Gウォール 取付説明書(EXM-017)」の指定ページの施工を行ってください。
- シークレットキー(テンキー)を使用する場合はサイン(表札)取付ベースに取付ける必要があります。
Gウォールを施工する前にP.91を確認してください。

①Gウォール下地部材の取付け(A~D)



①Gウォール下地部材の取付け(A~D)

納まり	取付部材/工程	仕様※	取付説明
A	中間支柱取付部材	—	本書P.65
	パネル取付部材	—	本書P.66
	巾木と下枠	I	本書P.66~69
		II	本書P.66~69
	中間支柱	—	本書P.70、71
	中間柱ふかし材	—	本書P.71
	上部見切り材	I	本書P.72
		II	本書P.72
B	入隅コーナー部材	—	本書P.73
	端部小口セットA	I	本書P.74
		II	本書P.74
C	端部小口セットA	IIIまたはIV	【EXM-017】P.37
	タイル用小口巾木	V	【EXM-017】P.35
	端部小口セットB	V	【EXM-017】P.39
D	スマート宅配ポスト	—	【EXM-017】P.61~64
	ボックスセットKN	—	【EXM-017】P.61~64
	サイン	—	【EXM-017】P.60、89
	インターホン	—	【EXM-017】P.90

②Gウォール面材の取付け

取付部材/工程	仕様※	取付説明
両面テープ	III	【EXM-017】P.57、67
ラッピングボード	III	【EXM-017】P.67、74
タイル用下地ボード	IVまたはV	【EXM-017】P.67、73
セラミックタイル	IVまたはV	【EXM-017】P.75~88
シーリング	—	【EXM-017】P.91

※仕様については下表を参照してください。

I	宅配ボックスKN用意匠パネルが取付く場合
II	宅配ボックスKN用意匠パネルが取付かない場合
III	Gウォールの面材がラッピングボードの場合
IV	Gウォールの面材がセラミックタイルで、小口が見切り材納まりの場合
V	Gウォールの面材がセラミックタイルで、小口がタイル納まりの場合

14 Gウォールの取付け

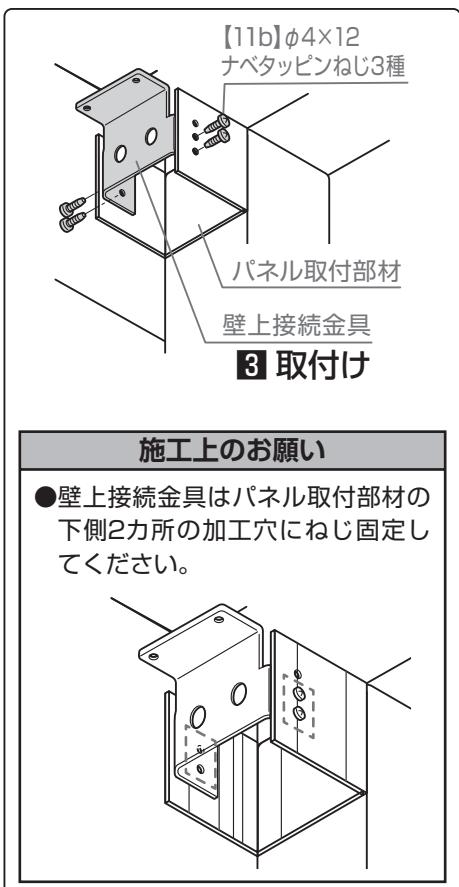
14-2 Gウォール下地部材の取付け

14-2-1 中間支柱取付部材の取付け

1: フレーム取付治具で柱にケガき、 $\phi 3.5$ の穴加工

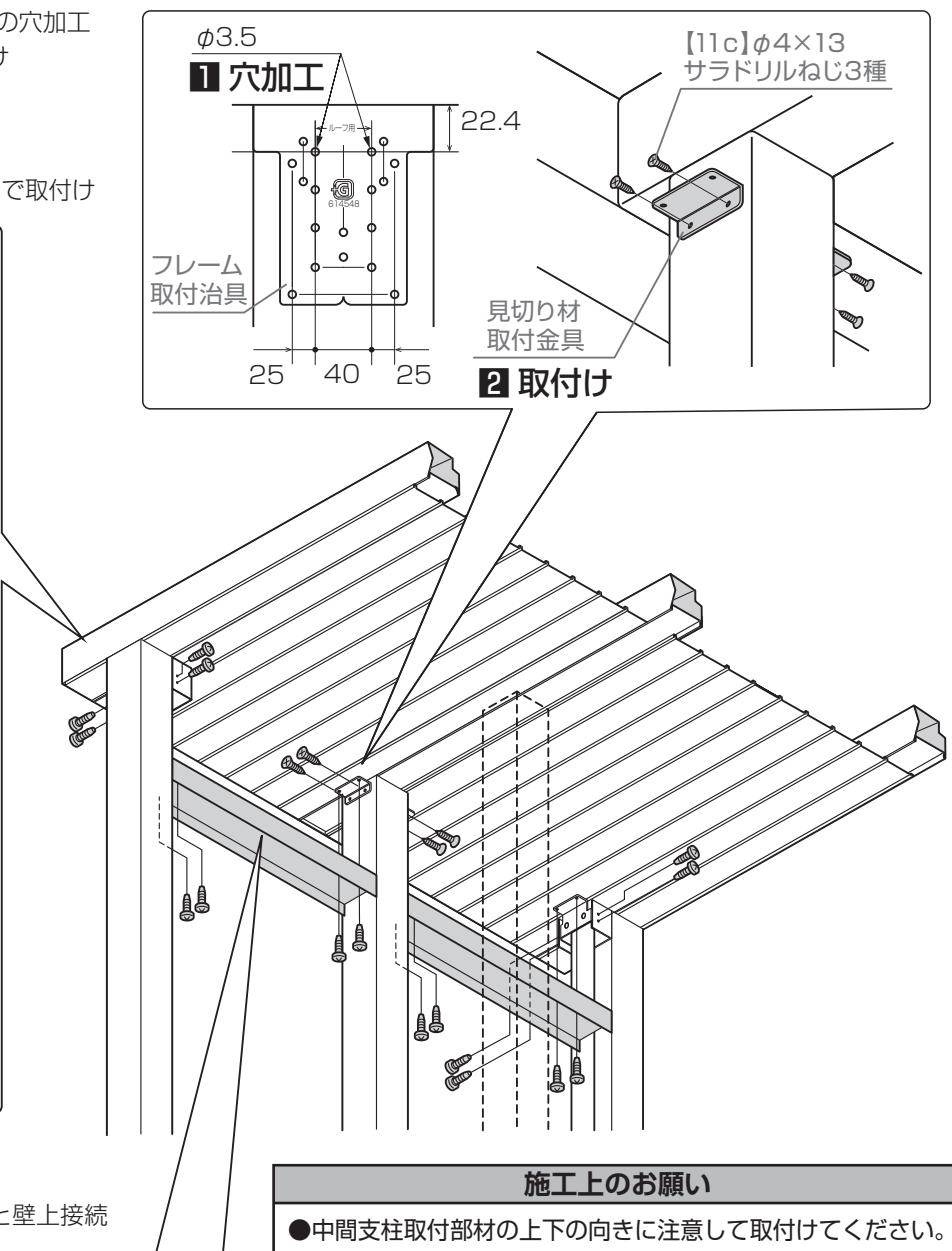
2: 見切り材取付金具を柱に【11c】で取付け

3: 壁上接続金具をパネル取付部材に【11b】で取付け



施工上のお願い

●壁上接続金具はパネル取付部材の下側2カ所の加工穴にねじ固定してください。



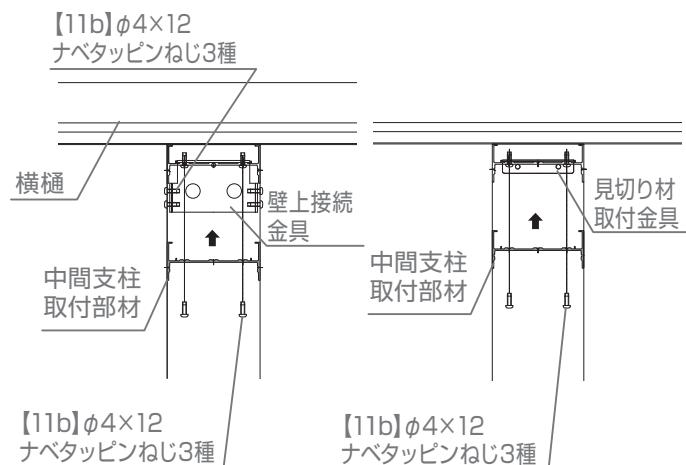
施工上のお願い

●中間支柱取付部材の上下の向きに注意して取付けてください。



4 取付け

●横樋側



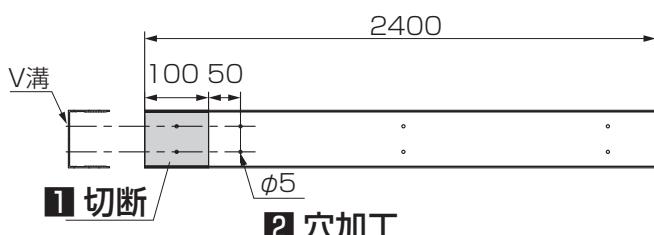
●水上側

14 Gウォールの取付け

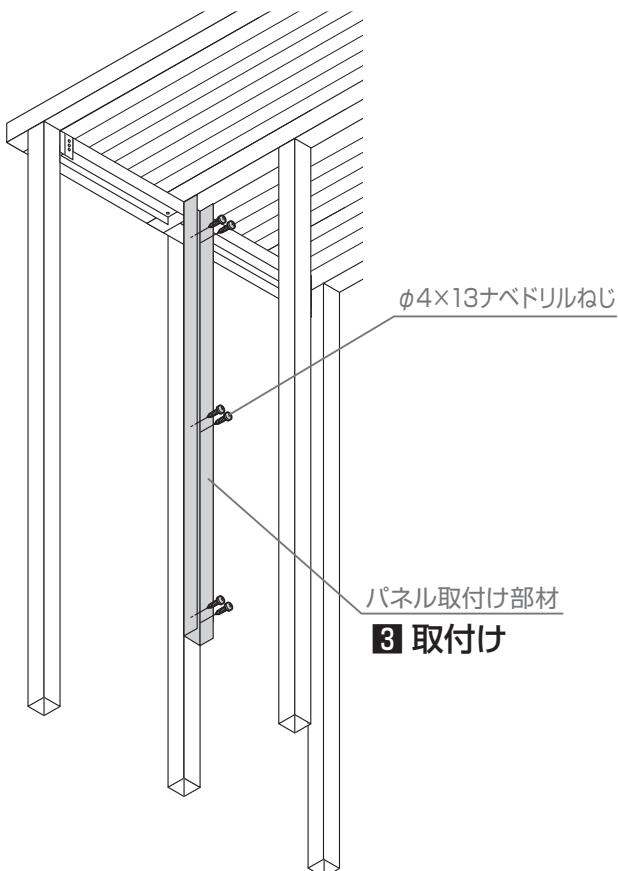
14-2 Gウォール下地部材の取付け(つづき)

14-2-2 パネル取付け部材の取付け

- ①:パネル取付け部材を下記寸法で切断
②:パネル取付け部材にφ5の穴加工



- ③:パネル取付け部材を柱にφ4×13ナベドリルねじで取付け



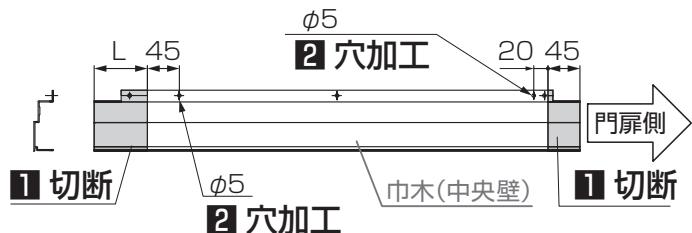
14-2-3 巾木の取付け

- ①:巾木(中央壁)を下記寸法で切断
②:巾木(中央壁)にφ5の穴加工

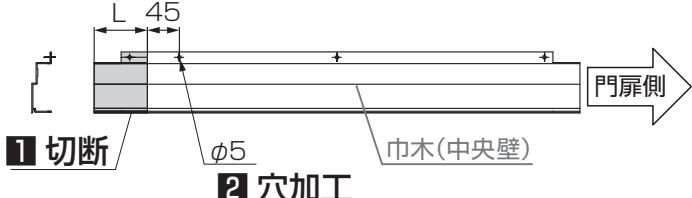
施工上のお願い

- ボックスセットKN用意匠パネルの取付け有無によって、巾木(中央壁)の加工が異なります。
- 加工位置には左右があります。現場に合わせて左右を決定してください。
- 切断寸法LはGウォールの長さに合わせて決定してください。

[KN用意匠パネル取付け有、かつ道路側の場合]



[KN用意匠パネル取付け無、または有の家側の場合]



施工上のお願い

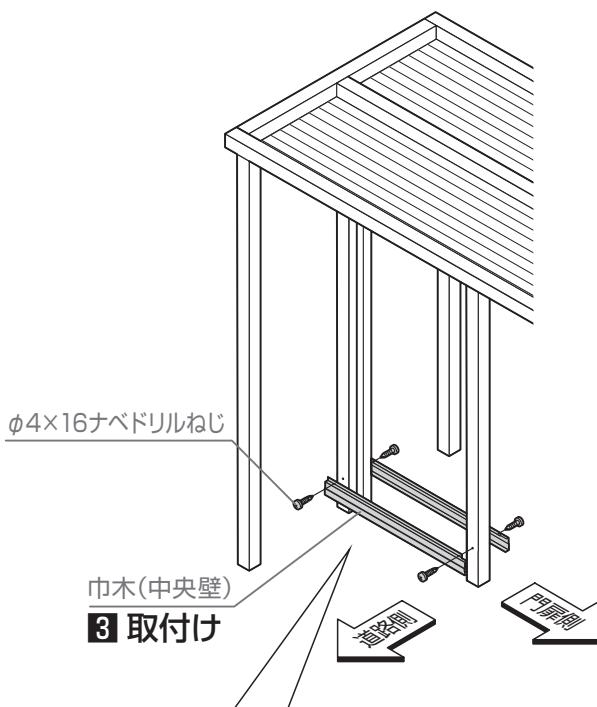
- パネル取付け部材はG.L.からフレーム下まで柱と面一になるように取付けてください。

14 Gウォールの取付け

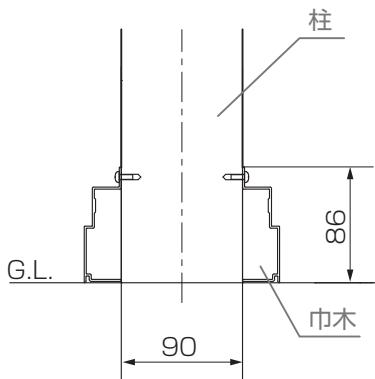
14-2 Gウォール下地部材の取付け(つづき)

14-2-3 巾木の取付け (つづき)

3:巾木(中央壁)を柱にφ4×16ナベドリルねじで取付け

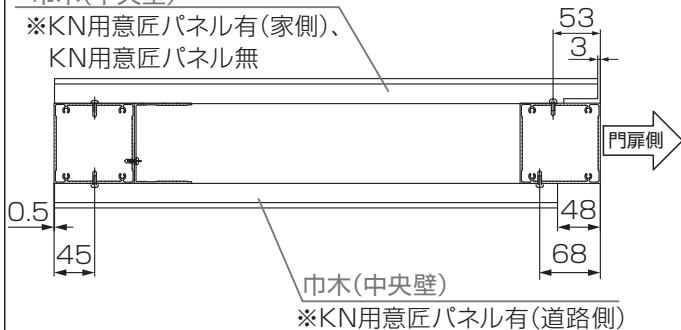


●巾木(中央壁)の取付け位置



巾木(中央壁)

※KN用意匠パネル有(家側)、
KN用意匠パネル無



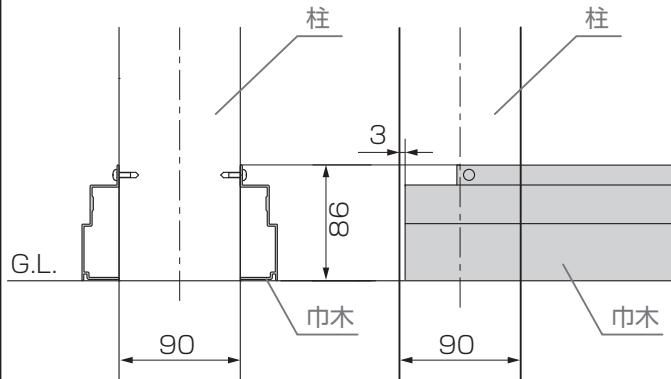
施工上のお願い

- 巾木はG.L.から高さ86mmにして取付けてください。
- KN用意匠パネル有、かつ道路側の場合は、門扉側の柱から48mm内側に合わせて取付けてください。
- KN用意匠パネル無、またはKN用意匠パネルで家側の場合は、門扉側の柱から3mm内側に合わせて取付けてください。

4:巾木(奥行壁 外側)を柱にφ4×16ナベドリルねじで取付け



●巾木(奥行壁 外側)の取付け位置



施工上のお願い

- 巾木はG.L.から高さ86mmにして、柱から3mm内側に合わせて取付けてください。

14 Gウォールの取付け

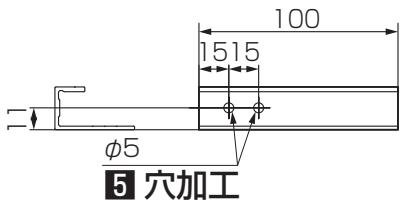
14-2 Gウォール下地部材の取付け(つづき)

14-2-3 巾木の取付け(つづき)

5: 端部ふかし材(巾木用)にφ5の穴加工

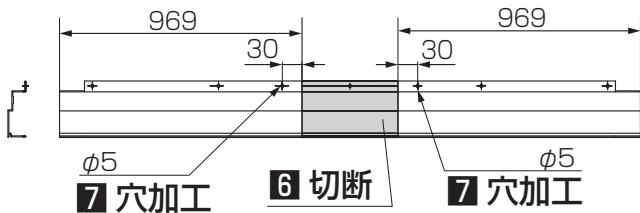
施工上のお願い

- 端部ふかし材(巾木用)は、下図の「右用」と、加工位置を反転させた「左用」をそれぞれ加工してください。



6: 巾木(奥行壁 門扉側)を下記寸法で切断

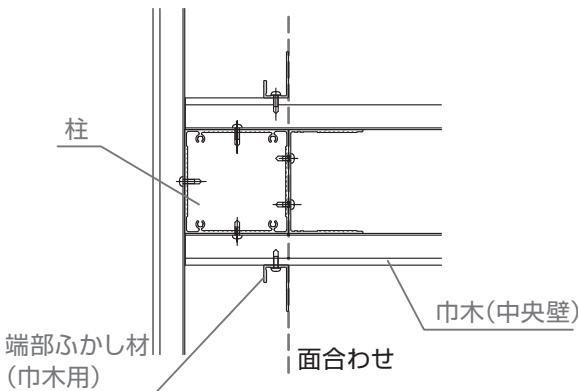
7: 巾木(奥行壁 門扉側)にφ5の穴加工



8: 端部ふかし材(巾木用)を巾木(中央壁)にφ4×16ナベドリルねじで取付け

施工上のお願い

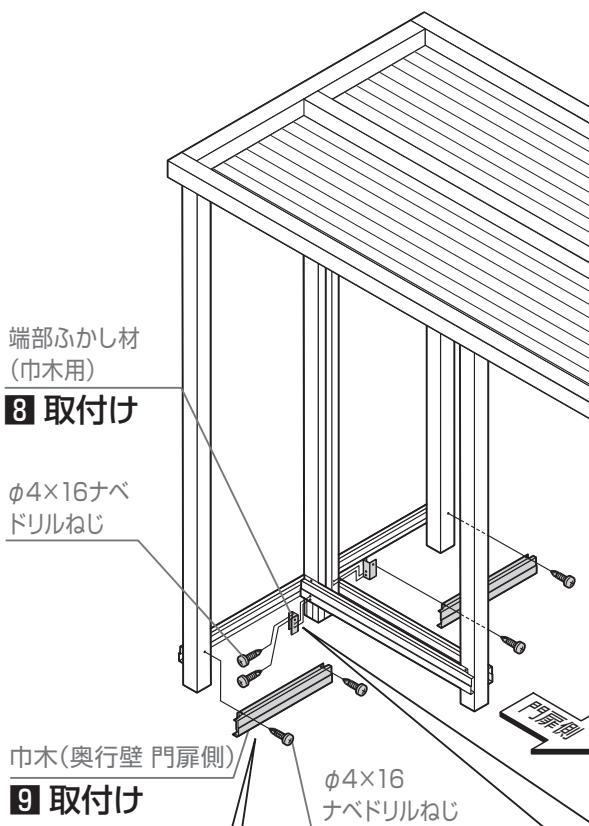
- 端部ふかし材(巾木用)と柱の面が合うように取付けてください。



9: 巾木(奥行壁 門扉側)を柱と端部ふかし材(巾木用)にφ4×16ナベドリルねじで取付け

施工上のお願い

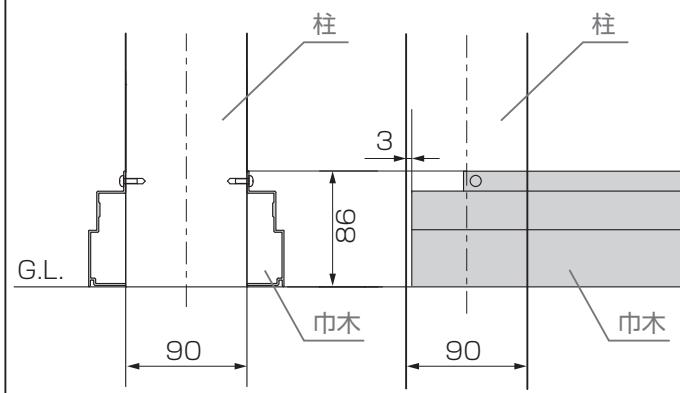
- 巾木はG.L.から高さ86mmにして、柱から3mm内側に合わせて取付けてください。



9 取付け



●巾木(奥行壁 門扉側)の取付け位置

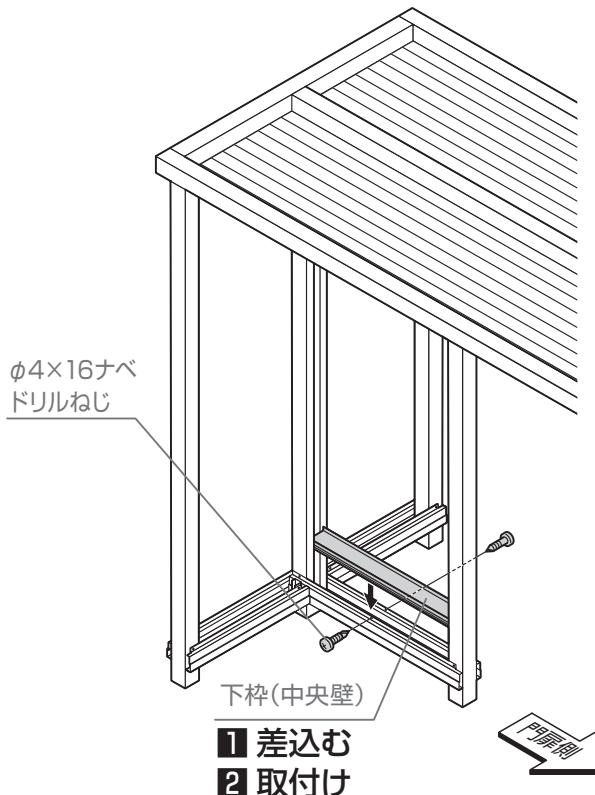


14-2 Gウォール下地部材の取付け(つづき)

14-2-4 下枠の取付け

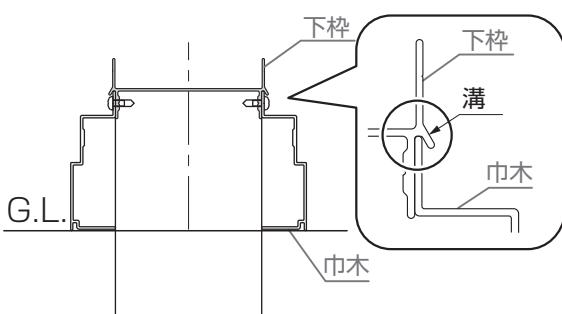
1:下枠(中央壁)を巾木(中央壁)の間に差込む

2:下枠(中央壁)を巾木(中央壁)にφ4×16ナベドリルねじで取付け



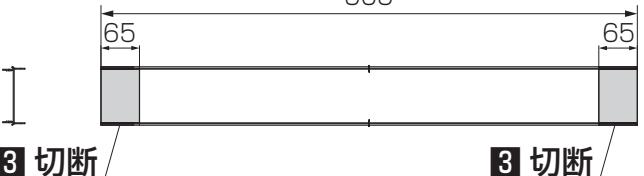
施工上のお願い

- 下枠(中央壁)は、取付位置を実測し、切断加工をしてから取付けてください。
- 下枠(中央壁)は、柱から2.5mmあけて取付けてください。
- 下枠の溝に巾木の上部がかみ合っていることを確認してください。



3:下枠(奥行壁)を下記寸法で切断

905

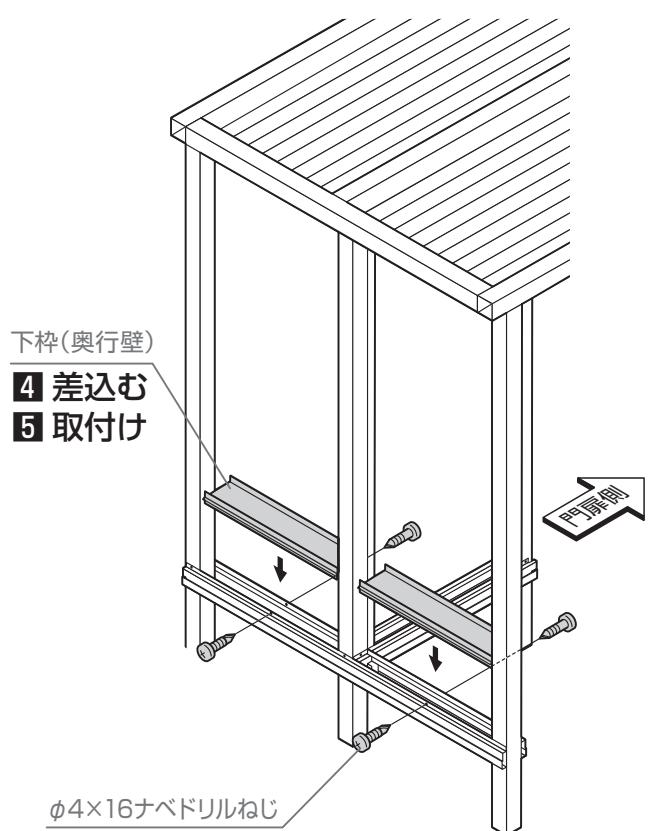


3 切断

3 切断

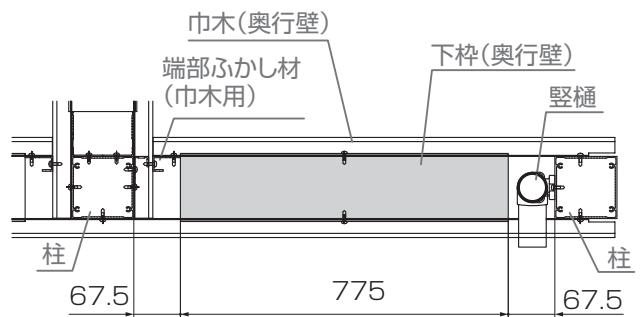
4:下枠(奥行壁)を巾木(奥行壁)の間に差込む

5:下枠(奥行壁)を巾木(奥行壁)にφ4×16ナベドリルねじで取付け



施工上のお願い

- 下枠(奥行壁)は、柱から67.5mmの隙間をあけた位置に取付けてください。



14 Gウォールの取付け

14-2 Gウォール下地部材の取付け(つづき)

14-2-5 中間支柱の取付け

1:中間支柱(奥行壁)と中間支柱ふかし材を下記寸法で切断

■中間支柱



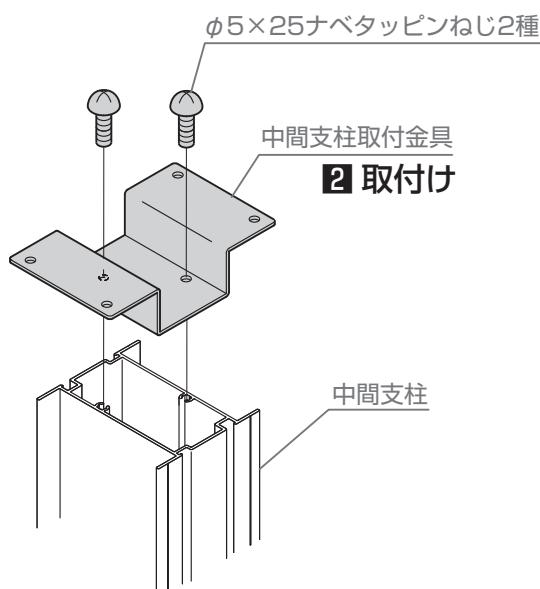
■中間支柱ふかし材



施工上のお願い

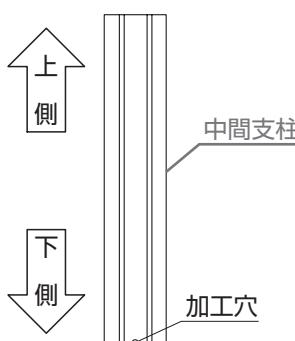
- 中間支柱(奥行壁)は、加工穴がない方を切断してください。
- 中間支柱(中央壁)は、切断する必要はありません。
- 中間支柱ふかし材は、中央壁、奥行壁ともに40mm切断してください。

2:中間支柱取付金具を中間支柱に $\phi 5 \times 25$ ナベタッピンねじ2種で取付け



施工上のお願い

- 中間支柱部材には上下があります。下穴加工をしてある方が下側になります。中間支柱取付金具の上下の確認をして取付けてください。



3:中間支柱ふかし材を中間支柱にはめ込み

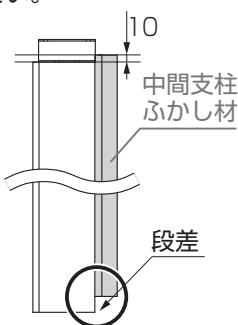
中間支柱取付金具

中間支柱ふかし材

3 はめ込み

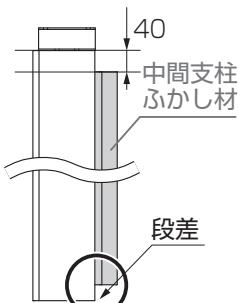
中間支柱(奥行壁)

- 中間支柱ふかし材を中間支柱上部より10mm上に取付けてください。



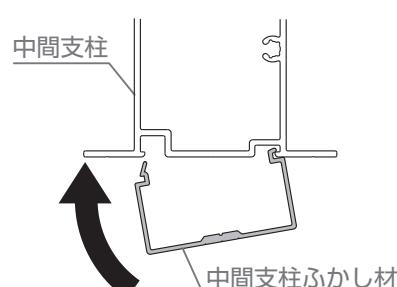
中間支柱(中央壁)

- 中間支柱ふかし材を中間支柱上部より40mm下に取付けてください。



施工上のお願い

- 中間支柱ふかし材は片側を中間支柱に掛けてから、逆側を押し込んでください。
- 引っかける向きに注意してください。(中間支柱ふかし材は左右形状が違うので中間支柱の形状を確認して図のように押し込んでください)。

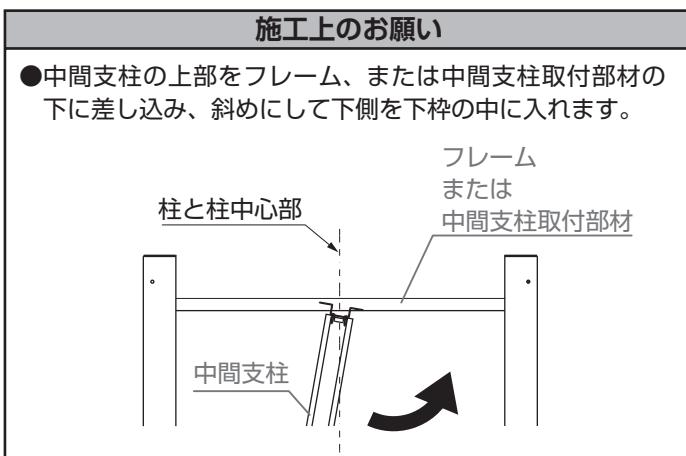


14 Gウォールの取付け

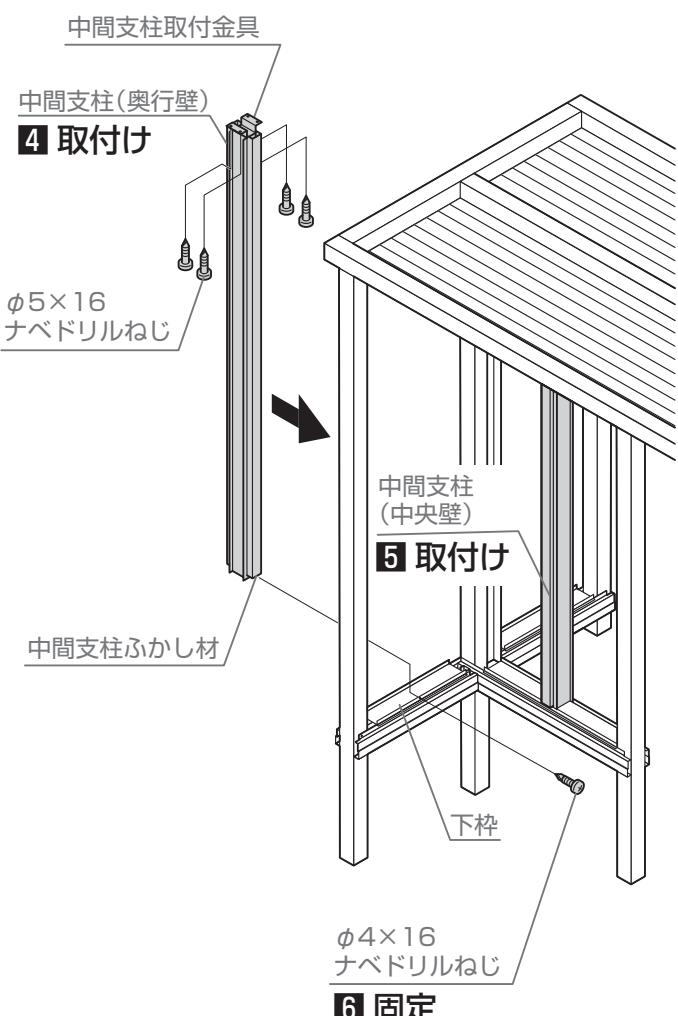
14-2 Gウォール下地部材の取付け(つづき)

14-2-5 中間支柱の取付け(つづき)

- ④: 中間支柱(奥行壁)上部を中間支柱取付部材に $\phi 5 \times 16$ ナベドリルねじで取付け
 ⑤: 中間支柱(中央壁)上部をフレームに $\phi 4 \times 16$ ナベドリルねじで取付け



⑥: 中間支柱下部を下枠に $\phi 4 \times 16$ ナベドリルねじで固定

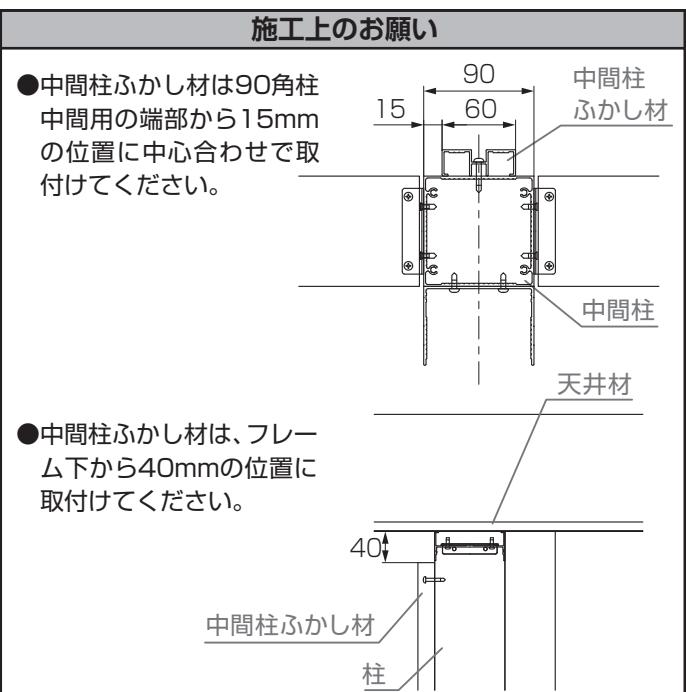
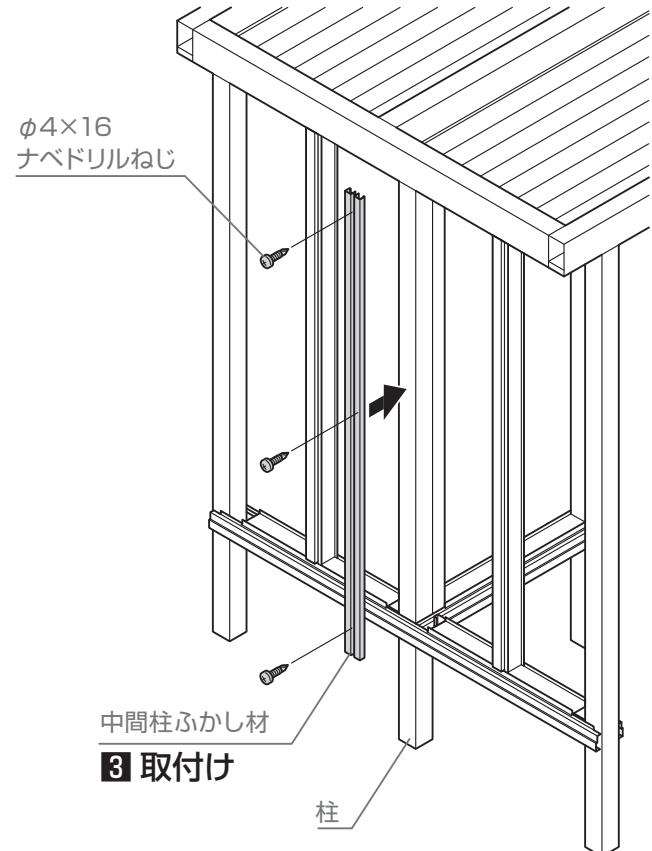


14-2-6 中間柱ふかし材の取付け

- ①: 中間柱ふかし材を下記寸法で切断
 ②: 巾木(奥行壁 門扉側)に $\phi 5$ の穴加工



- ③: 中間柱ふかし材を柱に $\phi 4 \times 16$ ナベドリルねじで取付け



14 Gウォールの取付け

14-2 Gウォール下地部材の取付け(つづき)

14-2-7 上部見切り材の取付け

1:上部見切り材(中央壁)を下記寸法で切断

2:上部見切り材(中央壁)にφ5の穴加工

施工上のお願い

- ボックスセットKN用意匠パネルの取付け有無によって、上部見切り材(中央壁)の加工が異なります。
- 切断寸法はGウォールの長さに合わせて決定してください。

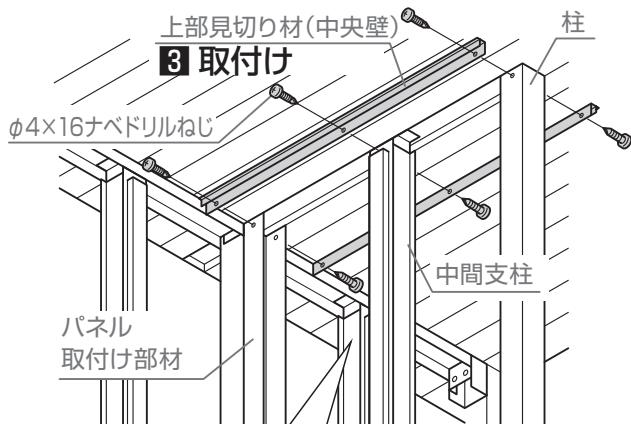
[KN用意匠パネル取付け有、かつ道路側の場合]



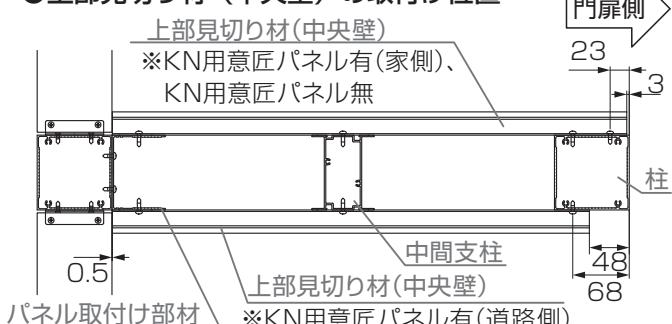
[KN用意匠パネル取付け無、または有の家側の場合]



3:上部見切り材(中央壁)を柱と中間支柱、パネル取付け部材にφ4×16ナベドリルねじで取付け



●上部見切り材(中央壁)の取付け位置



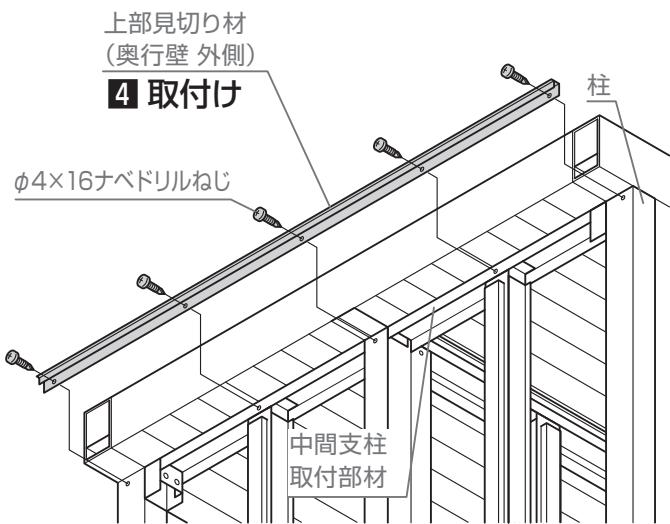
施工上のお願い

●上部見切り材は、フレームの下端と面一になるように取付けてください。

●KN用意匠パネル有、かつ道路側の場合は、門扉側の柱から48mm内側に合わせて取付けてください。

●KN用意匠パネル無、またはKN用意匠パネル有で家側の場合は、門扉側の柱から3mm内側に合わせて取付けてください。

4:上部見切り材(奥行壁外側)を柱と中間支柱取付部にφ4×16ナベドリルねじで取付け

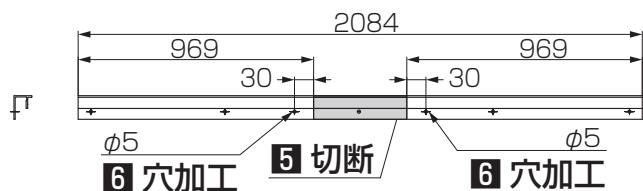


施工上のお願い

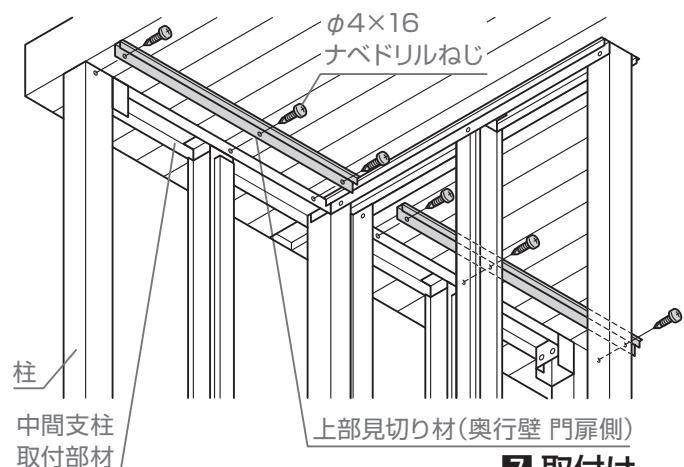
●上部見切り材(奥行壁)は、フレームの下端と面一になるようにして、柱から3mm内側に合わせて取付けてください。

5:上部見切り材(奥行壁門扉側)を下記寸法で切断

6:上部見切り材(奥行壁門扉側)にφ5の穴加工



7:上部見切り材(奥行壁門扉側)を中間支柱取付部材にφ4×16ナベドリルねじで取付け



7 取付け

施工上のお願い

●上部見切り材(奥行壁)は、フレームの下端と面一になるようにして、柱から3mm内側に合わせて取付けてください。

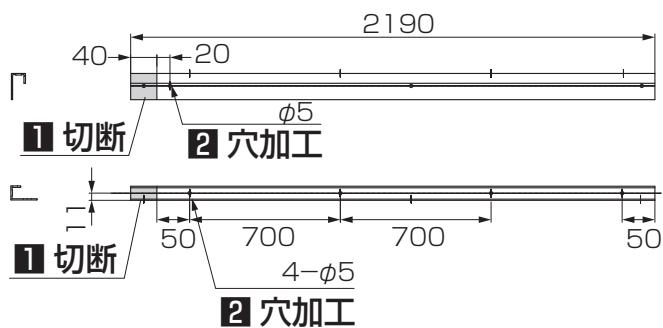
14 Gウォールの取付け

14-2 Gウォール下地部材の取付け(つづき)

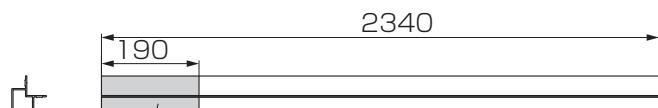
14-2-8 入隅コーナー部材の取付け

1: 端部ふかし材を下記寸法で切断

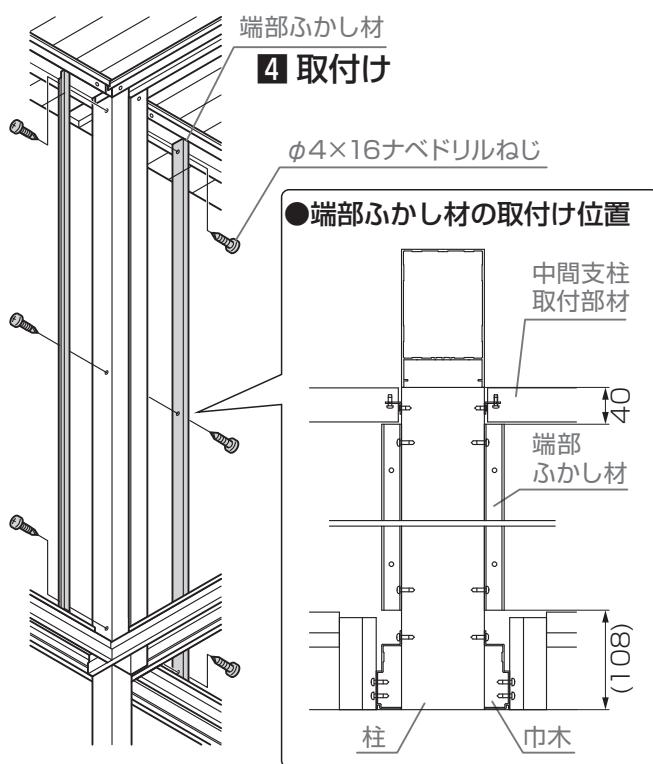
2: 端部ふかし材にφ5の穴加工



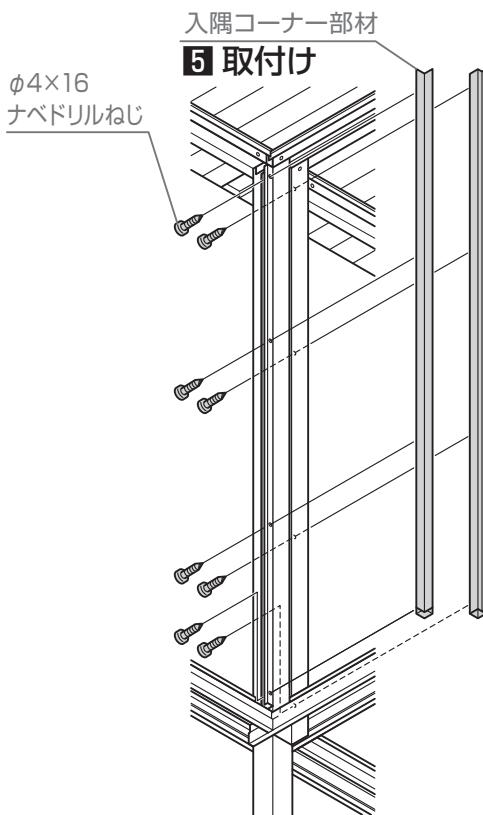
3: 入隅コーナー部材を下記寸法で切断



4: 端部ふかし材を柱にφ4×16ナベドリルねじで取付け

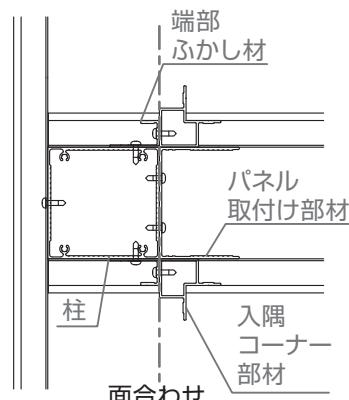


5: 入隅コーナー部材を端部ふかし材にφ4×16ナベドリルねじで取付け



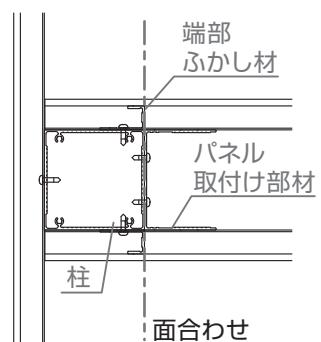
施工上のお願い

- 端部ふかし材と上下の小口が揃うように取付けてください。
- 端部ふかし材の向きに注意し、柱の面が合うように取付けてください。



施工上のお願い

- 端部ふかし材の向きに注意し、柱の面が合うように取付けてください。
- 端部ふかし材はフレーム下から40mmの位置に取付けてください。

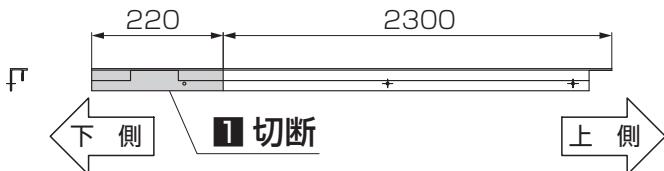


14-2 Gウォール下地部材の取付け(つづき)

14-2-9 端部小口セットAの取付け

※中央壁端部(門扉側)へ取付ける場合

1: 端部見切り材を下記寸法で切断

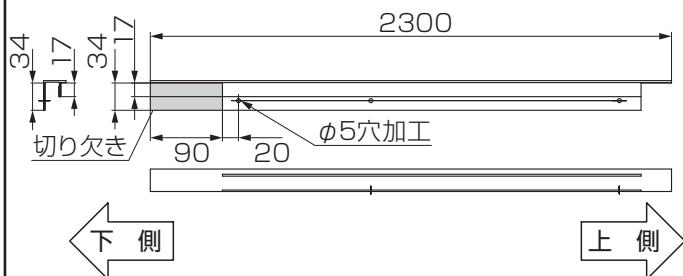


施工上のお願い

- ボックスセットKN用意匠パネルの取付け有無によって、端部見切り材の加工が異なります。
- 端部見切り材には左右があります。現場に合わせて加工部材と内容を決定してください。
- 端部見切り材の上下に注意して加工してください。

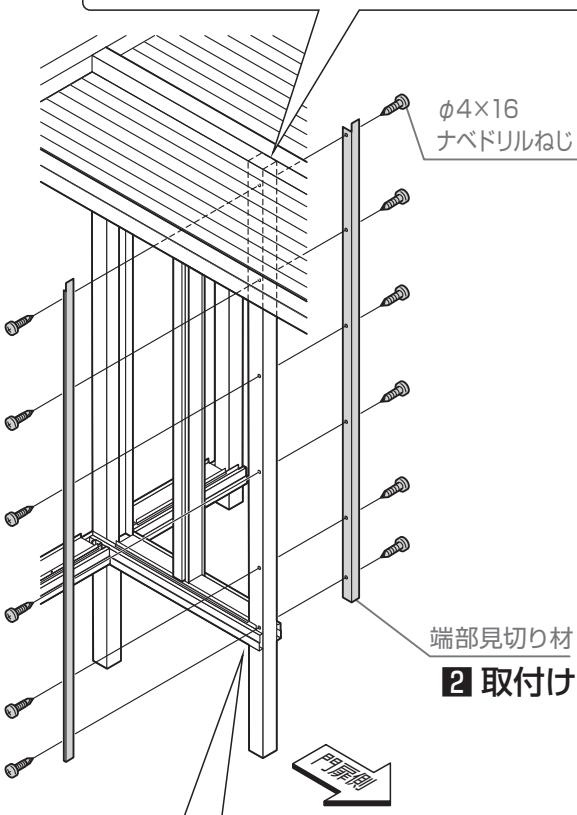
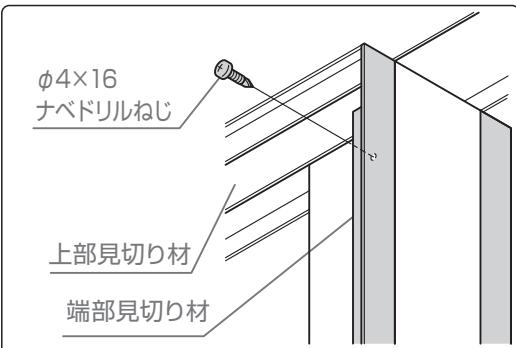
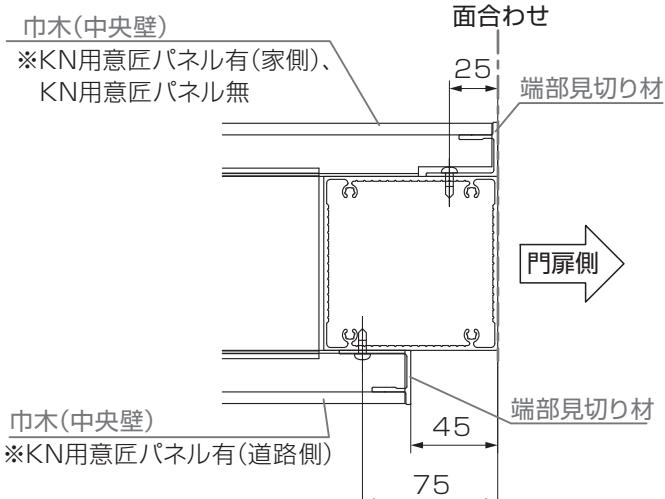
KN用意匠パネル取付け有、かつ道路側の場合

- 切断後、下図を参照して切り欠き加工と $\phi 5$ の穴加工を行なってください。

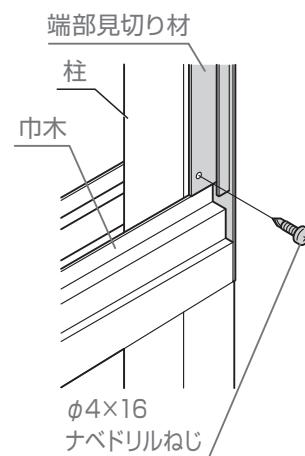
2: 端部見切り材を柱に $\phi 4 \times 16$ ナベドリルねじで取付け

施工上のお願い

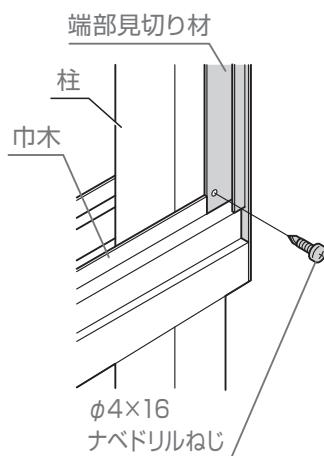
- KN用意匠パネル有、かつ道路側の場合は、門扉側の柱から45mm内側に合わせて取付けてください。
- KN用意匠パネル無、またはKN用意匠パネルで家側の場合は、門扉側の柱と面が合うように取付けてください。



[KN用意匠パネル取付け有、かつ道路側の場合]



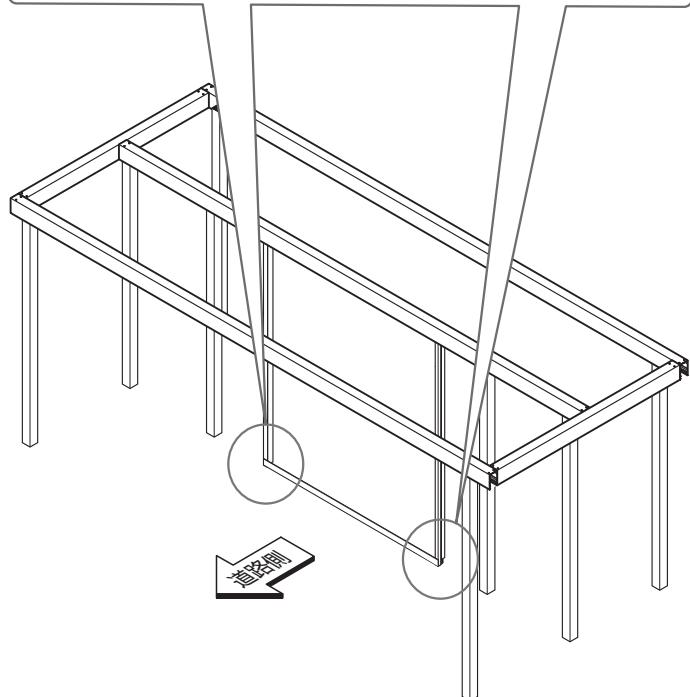
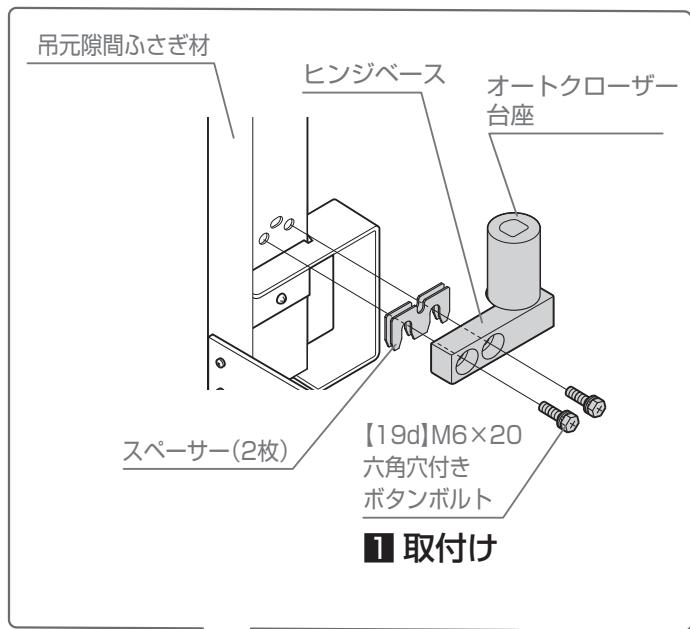
[KN用意匠パネル取付け無、または有の家側の場合]



15 門扉の取付け

15-1 ピボットヒンジ（下用）の取付け

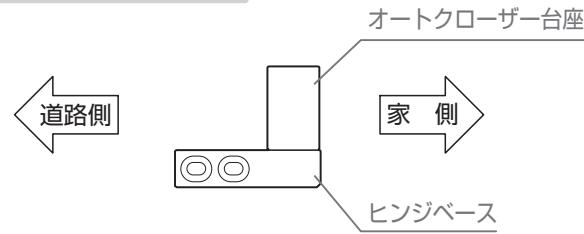
①: 吊元隙間ふさぎ材とヒンジベースの間にスペーサーを2枚入れて【19d】で取付け



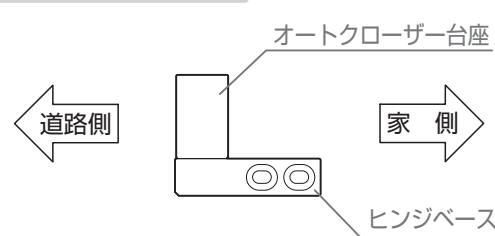
施工上のお願い

●ピボットヒンジ（下用）には左右があります。向きを確認して取付けてください。

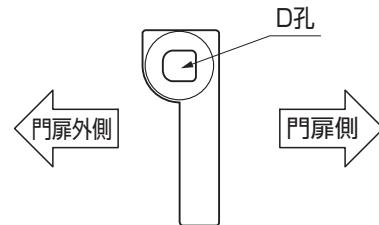
▼ 内開きの場合 ▼



▼ 外開きの場合 ▼



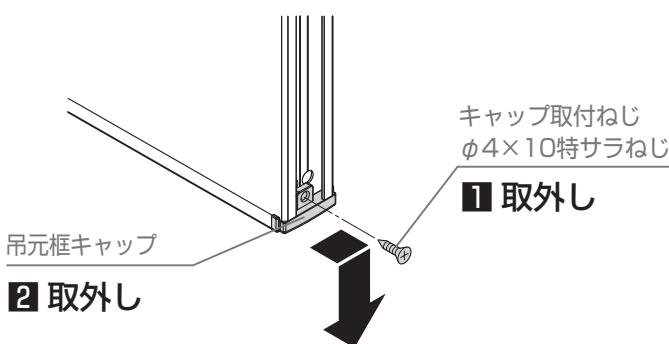
●オートクローザー台座はあらかじめヒンジベースに取付けられています。D孔が門扉の外側向きになっているか確認してください。



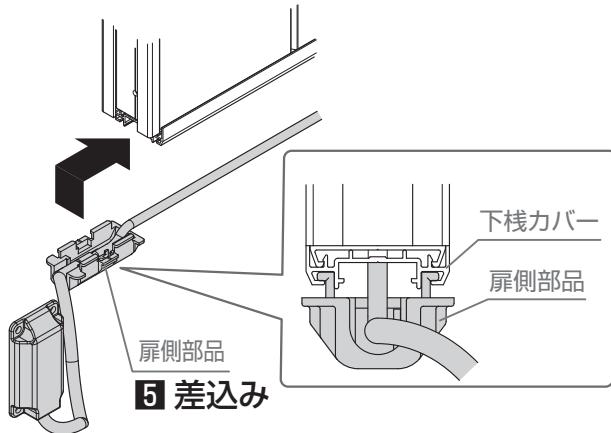
●ピボットヒンジの調整は門扉取付け時に行います。
(P.82参照)

15-2 配線の引き込み

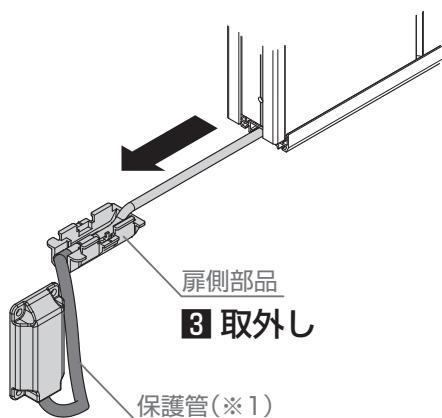
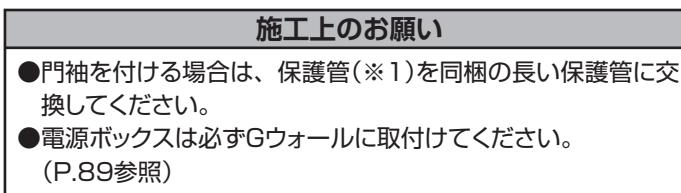
- 1:扉吊元下側のキャップ取付ねじを取り外し
2:吊元框キャップを手前に引き、下方へ取外し



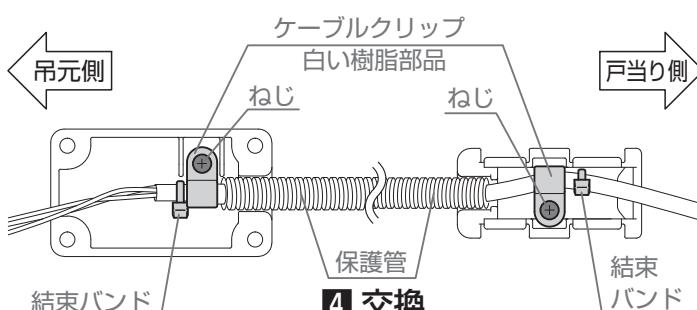
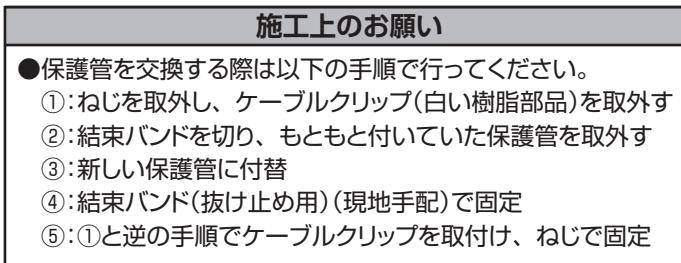
- 5:外部接点配線の扉側部品を下桿カバーに差込み



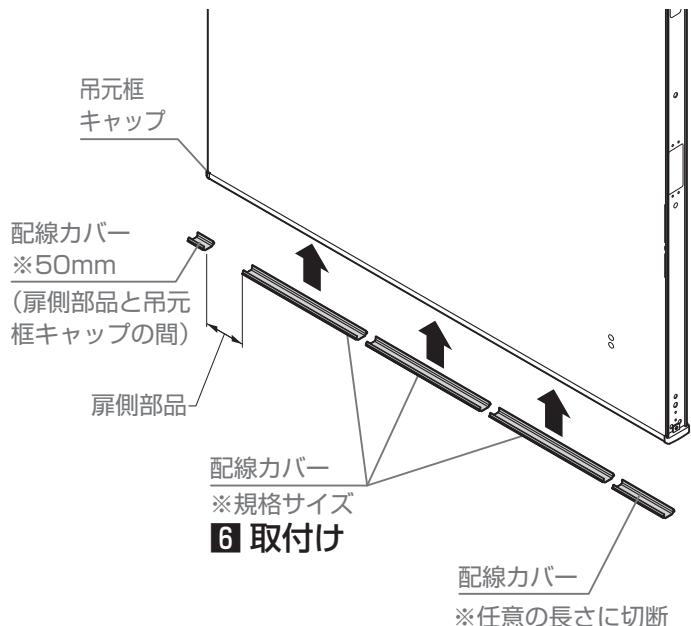
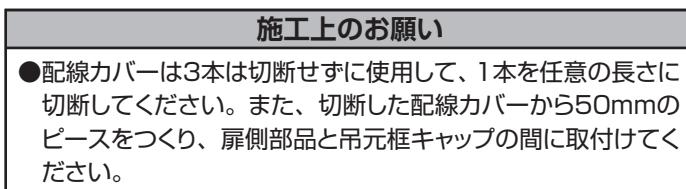
- 3:外部接点配線の扉側部品をスライドさせて取外し



- 4:保護管を交換



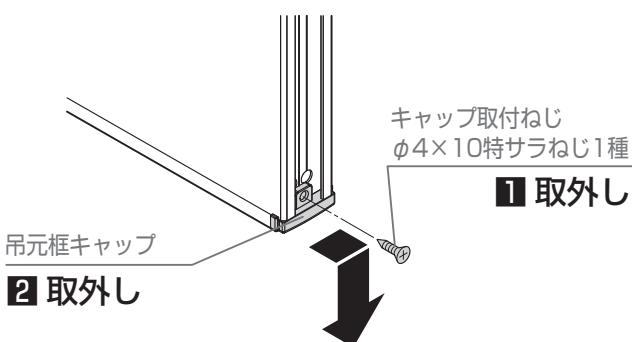
- 6:配線カバーを取付け



15-3 ヒンジおよびオートクローザーの取付け

①:扉吊元下側のキャップ取付ねじを取り外し

②:吊元框キャップを手前に引き、下方へ取外し

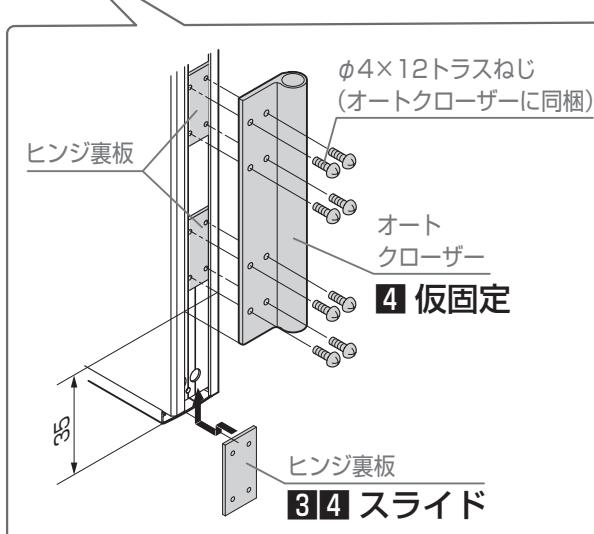
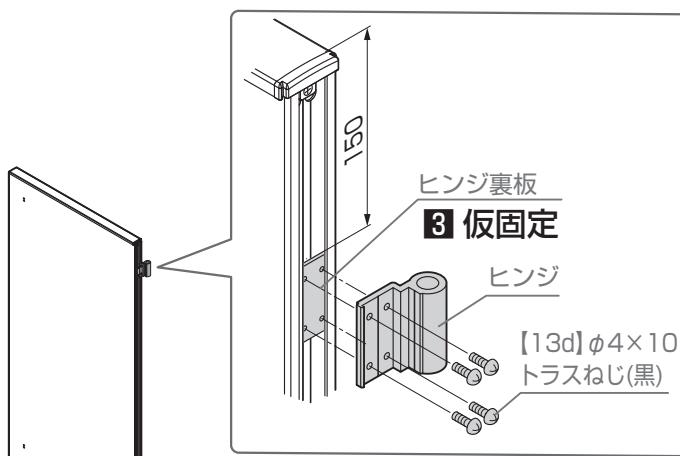


③:ヒンジ裏板を吊元框下端からスライドして、ヒンジを図に示す位置に【13d】で仮固定

④:オートクローザー用のヒンジ裏板(2枚)を吊元框下端からスライドして、オートクローザーを図に示す位置にφ4×12トラスねじで仮固定

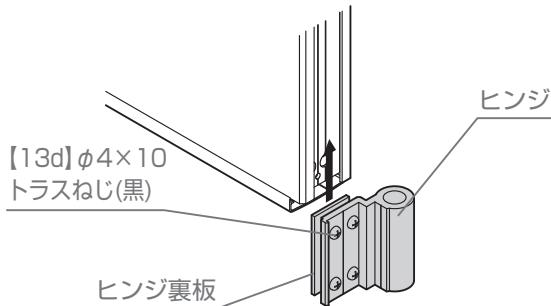
施工上のお願い

●ヒンジは【13c】で固定された状態で梱包されています。
【13d】で固定してください。

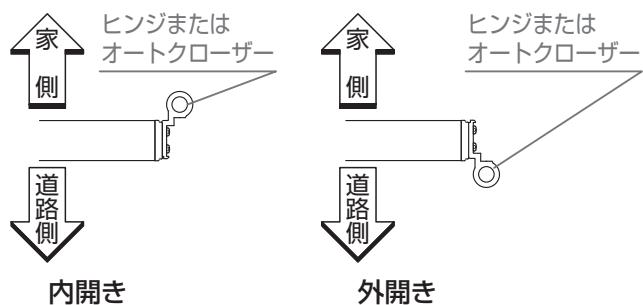


補 足

●あらかじめヒンジやオートクローザーに、ヒンジ裏板を仮組みした状態で吊元框にスライドさせると取付けやすくなります。



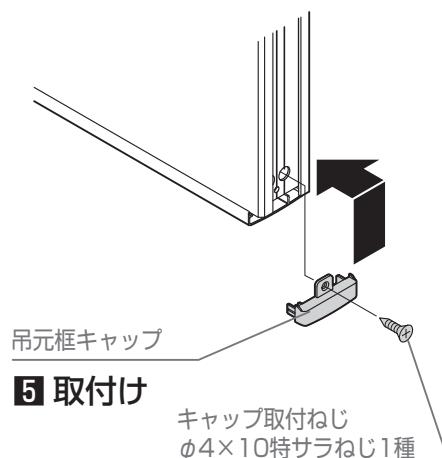
●ヒンジの向きは内開きと外開きで異なります。オートクローザーも同様の向きで取付けてください。(下図参照)



⑤:吊元框キャップを取り外した手順と逆の手順で取付け

施工上のお願い

●吊元框キャップの取付けには、電動ドライバーを使用しないでください。



15 門扉の取付け

15-4 落し棒の操作方法

- 1: つまみを引き上げ、ロックを解除(図15-1参照)
- 2: ①で起きたつまみをそのまま上下させて落し棒を操作(図15-2参照)

- 3: 落し棒の位置が決定したら、つまみを元にもどしてロック(図15-3参照)

補足

- 落し棒操作時以外は、ロック状態にしてください。(図15-4参照)

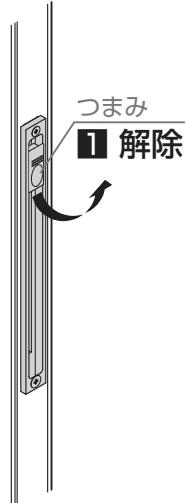
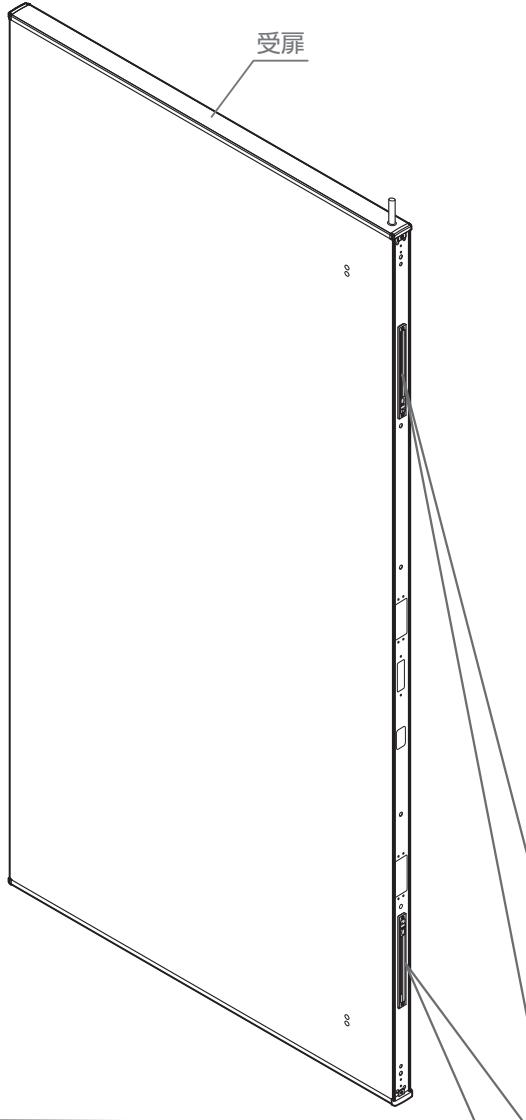


図15-1

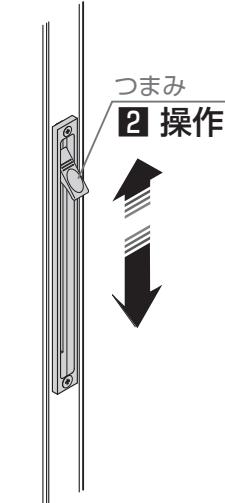


図15-2

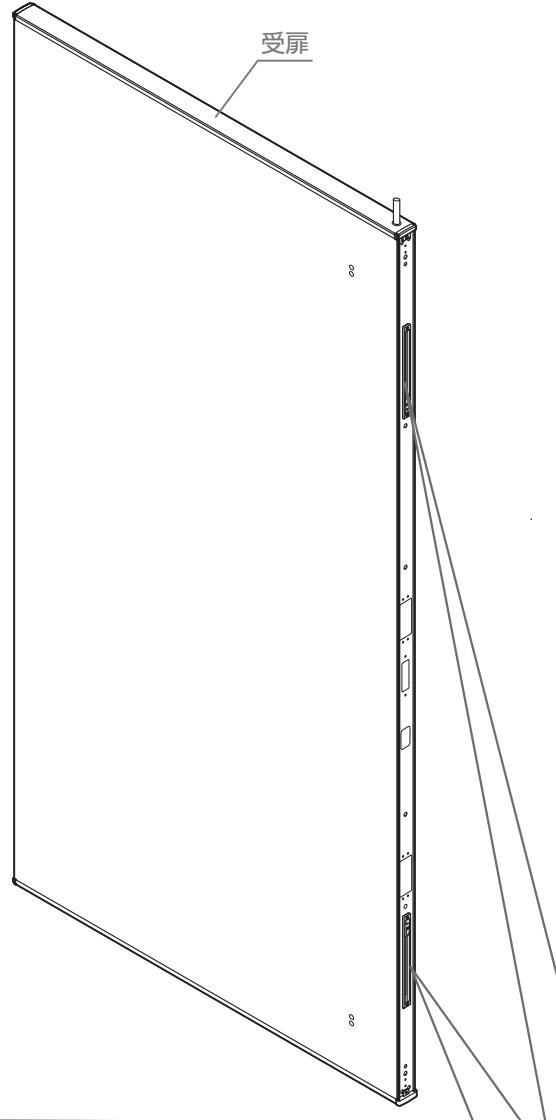


図15-3

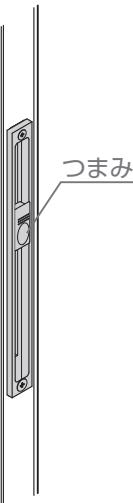


図15-4

15-5 戸当り、合掌框カバーの取付け

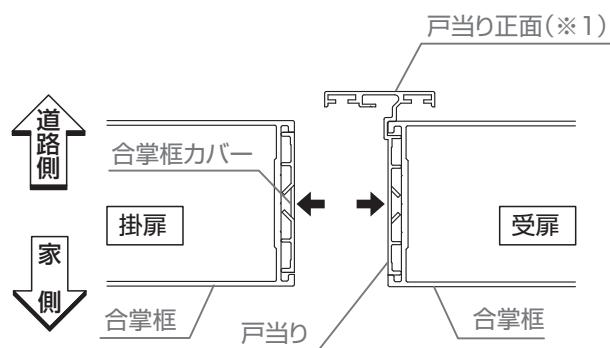
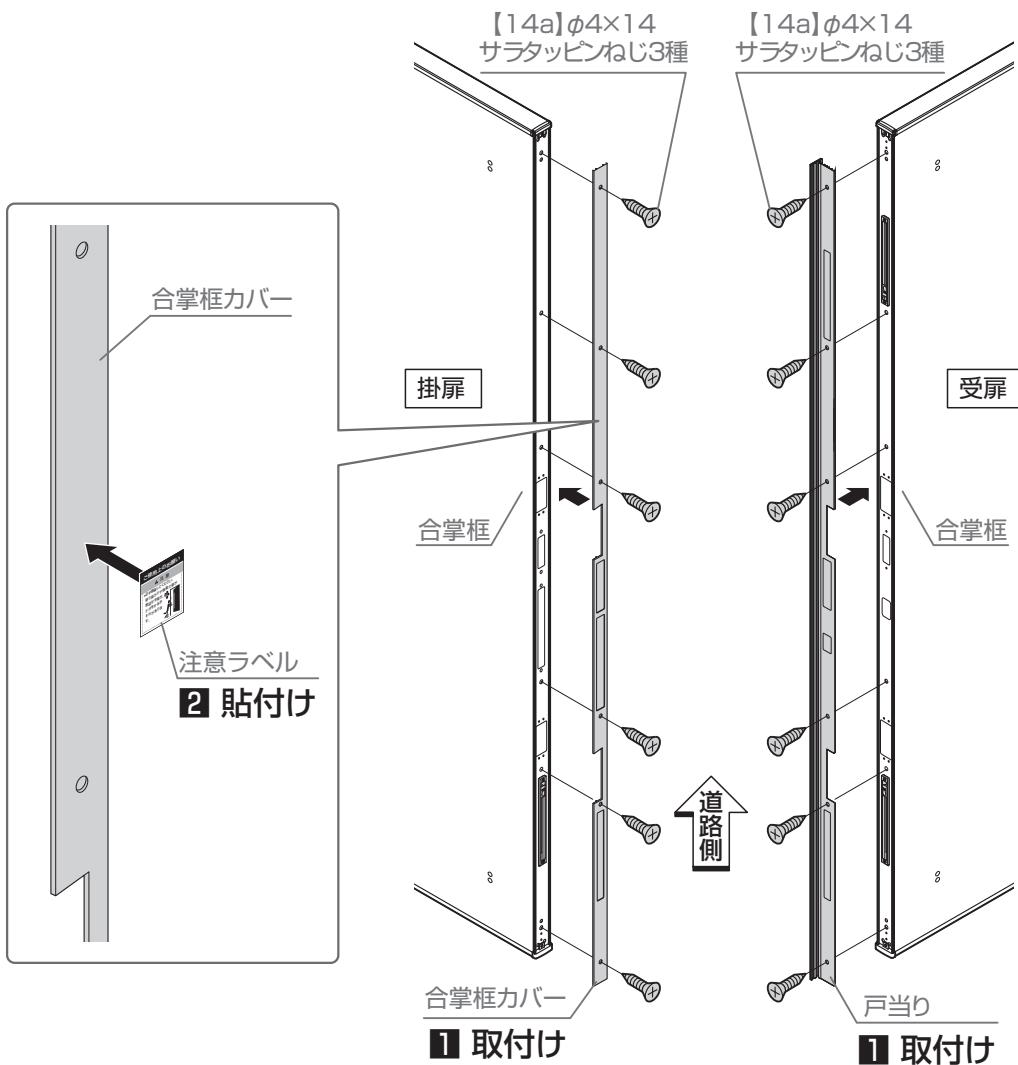
①: 戸当たり・合掌框カバーを合掌框に【14a】で取付け

②: 注意ラベルを合掌框カバーに貼付け

施工上のお願い

●戸当り正面(※1)は、必ず道路側に向けて取付けてください。

●戸当りと落し棒の隙間はシーリングしてふさいでください。



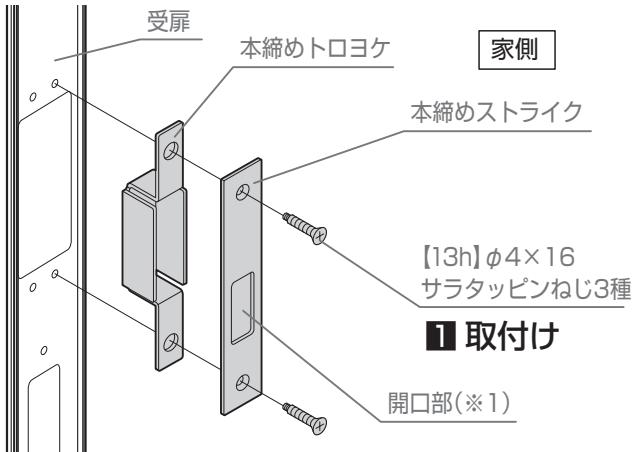
	右勝手		左勝手	
	掛け扉	受け扉	掛け扉	受け扉
内開き	合掌框カバー内開き右勝手用	戸当り内開き右勝手用	合掌框カバー内開き左勝手用	戸当り内開き左勝手用
外開き	戸当り外開き右勝手用	合掌框カバー外開き右勝手用	戸当り外開き左勝手用	合掌框カバー外開き左勝手用

15 門扉の取付け

15-6 錠部品の取付け

15-6-1 本締めストライクセットの取付け

1:受扉に本締めストライクと本締めトロヨケを【13h】で取付け



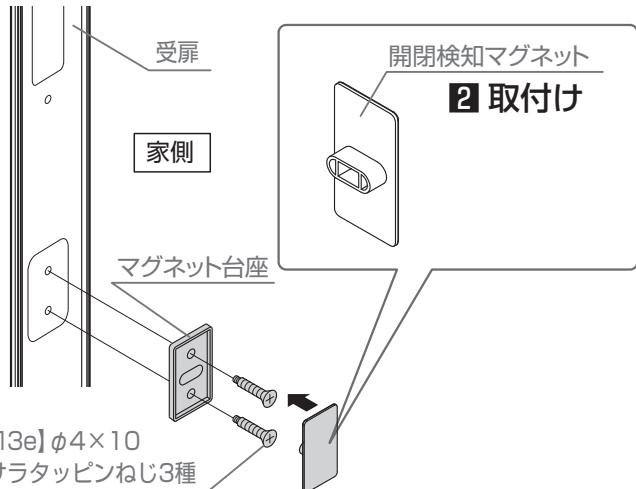
施工上のお願い

- 本締めストライクの開口部(※1)を下側にして組付けてください。
- 戸当りと本締めストライクの隙間はシーリングしてふさいでください。

15-6-3 開閉検知マグネットの取付け

1:受扉にマグネット台座を【13e】で取付け

2:開閉検知マグネットをマグネット台座に取付け

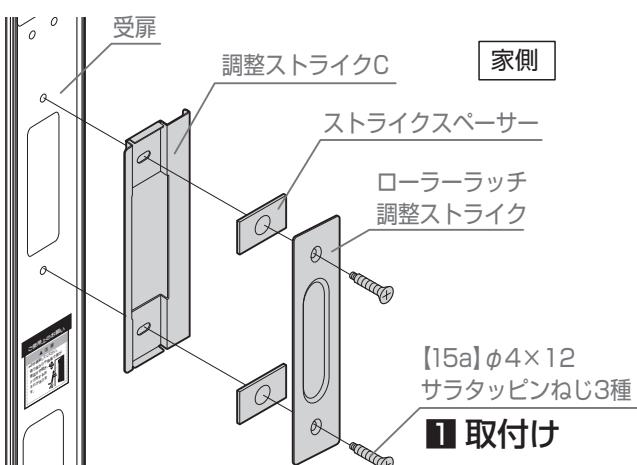


施工上のお願い

- 開閉検知マグネットを取り付ける際は、裏面のリケイ紙をはがしてください。

15-6-2 調整ストライクセットの取付け

1:受扉に調整ストライクCとストライクスペーサー、ローラーラッチ調整ストライクを【15a】で取付け

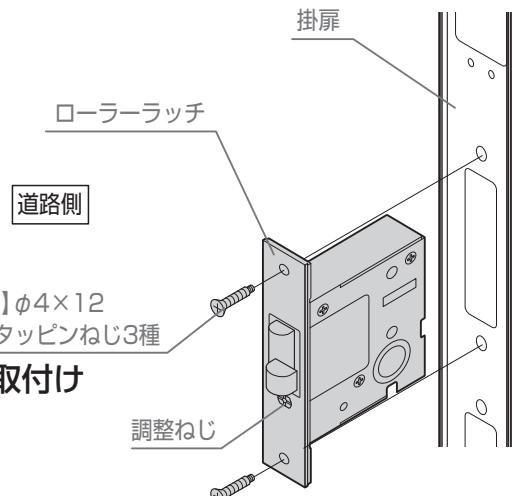


施工上のお願い

- ストライクスペーサーはリケイ紙をはがし、調整ストライクに貼り付けてください。
- 調整ストライクCと合掌框(道路側または家側)の隙間はシーリングしてふさいでください。

15-6-4 ローラーラッチの取付け

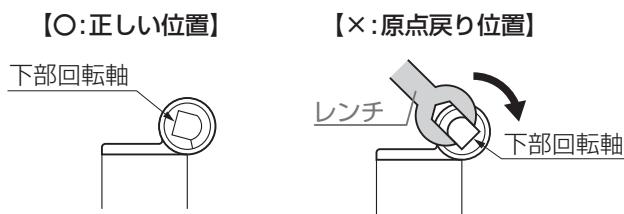
1:掛扉にローラーラッチを【15a】で取付け



15-7 門扉の吊り込み

施工上のお願い

- 輸送時や施工時の振動によりオートクローザーの下部軸が原点に戻ることがあります。下部軸が戻っていたらレンチなどで正しい位置に戻してください。
- オートクローザーの下部回転軸が門扉を開いた状態でオートクローザー台座のD孔と合うようになっていれば正しい位置です。

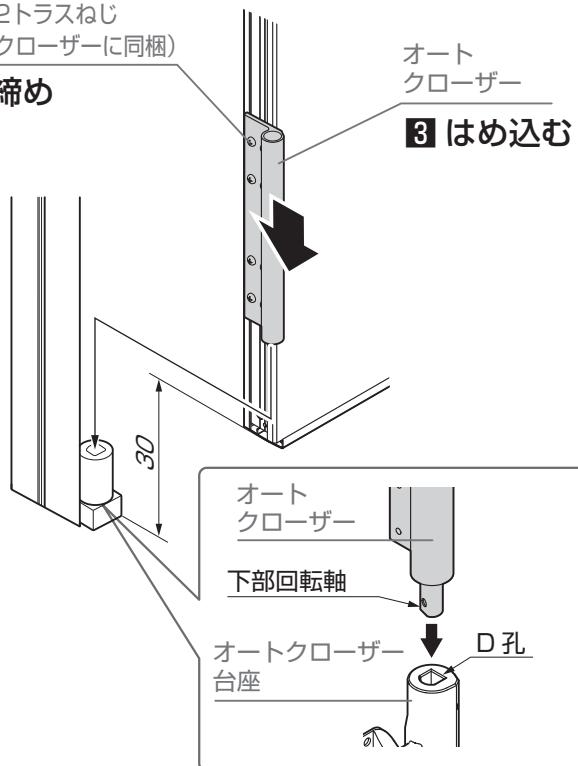


③:オートクローザーをオートクローザー台座のD孔形状の位置合うようにはめ込む

④:オートクローザーを $\phi 4 \times 12$ トラスねじで本締め

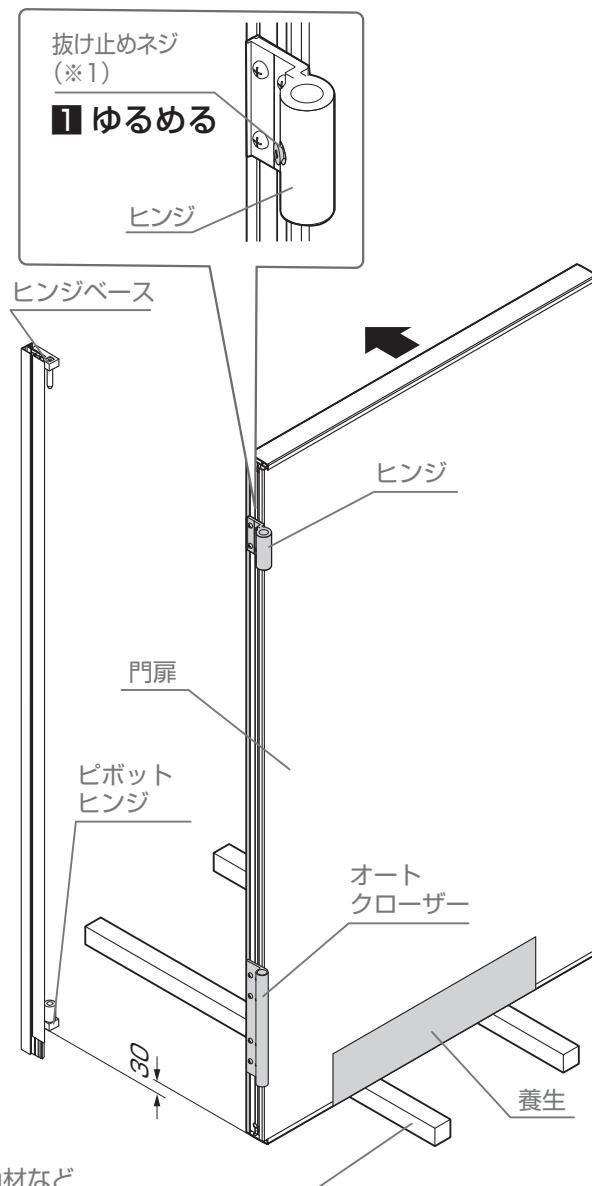
$\phi 4 \times 12$ トラスねじ
(オートクローザーに同梱)

④ 本締め



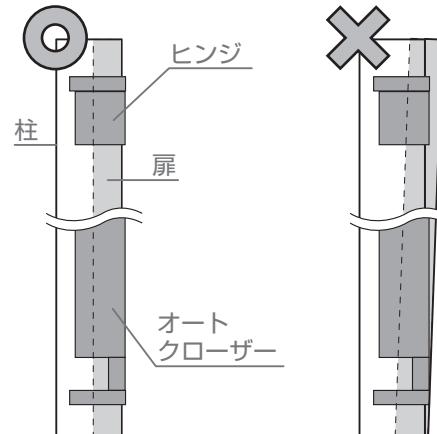
①:ヒンジの抜け止めネジ(※1)をゆるめる

②:角材などを用意し、門扉の下端とピボットヒンジの下端の間が30mmになるようにして、門扉下部に養生をして立てて載せる

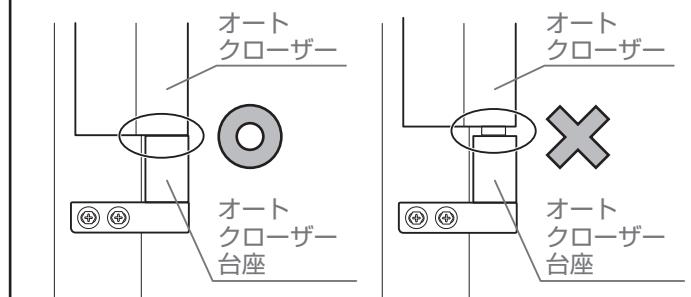
② 門扉下部に養生をして、立てて載せる
(門扉下端とピボットヒンジ下端の間を30mmにする)

施工上のお願い

- オートクローザーと扉本体が平行になるようにしてください。音鳴りの原因になります。



- オートクローザーとオートクローザー台座の間に隙間がないようにしてください。角材を抜いた後、門扉が下がってしまいます。



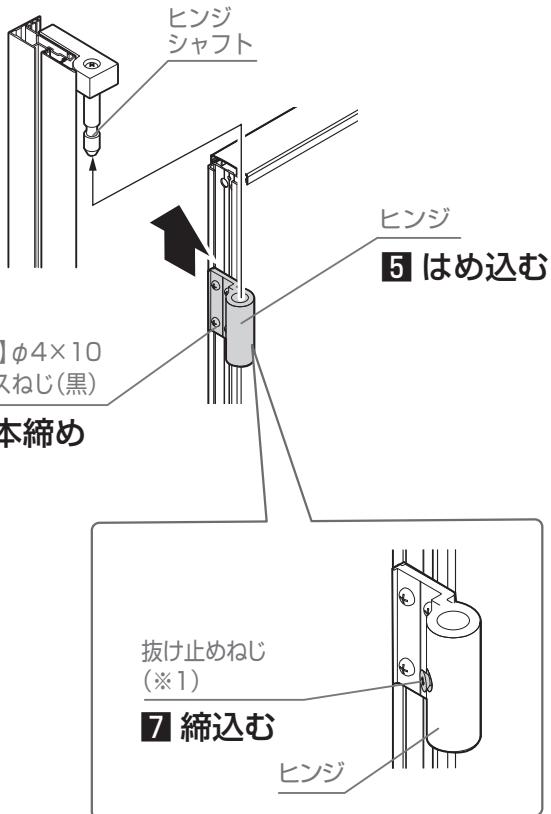
15 門扉の取付け

15-7 門扉の吊り込み（つづき）

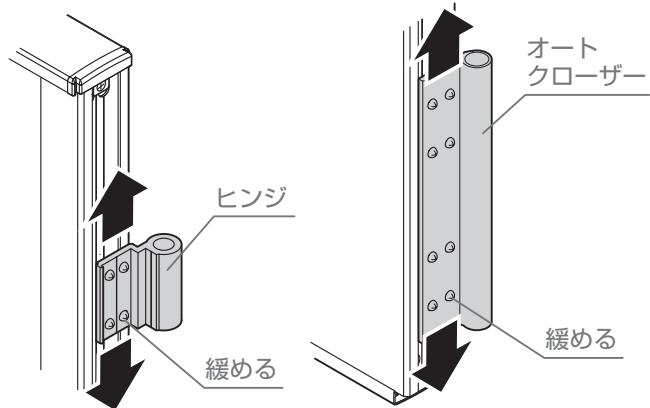
5:ヒンジを上にスライドさせ、ヒンジシャフトにはめ込む

6:ヒンジを【13d】で本締め

7:ヒンジの抜け止めねじ（※1）を締込む



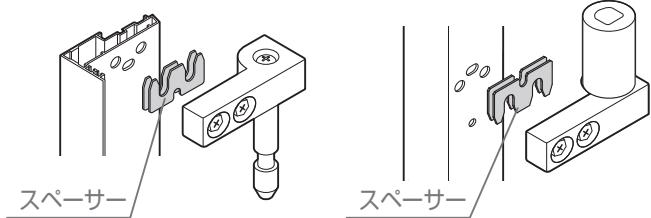
1:高さ方向は、ヒンジ、オートクローザーを固定しているねじを緩め、ヒンジ、オートクローザーをスライドさせて±2mm調整



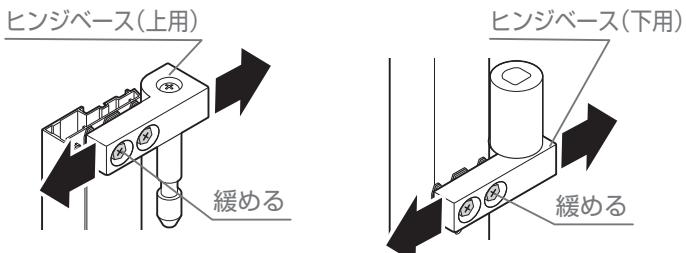
施工上のお願い

●高さの調整は、門扉の下に30mm角材を入れ、スペーサーをかませながら行ってください。

2:間口方向は、スペーサーを追加・削減して±2mm調整



3:内外方向は、ヒンジベースを固定しているねじを緩め、ヒンジベースをスライドさせて±2mm調整



オートクローザーの調整 施工上のお願い

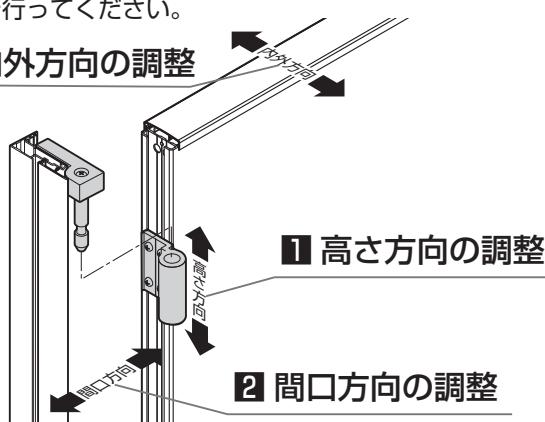
●「オートクローザー戸厚50mm用 取付説明書(EXM-182)」を参照してオートクローザーの調整を行ってください。

15-8 門扉の調整

施工上のお願い

●門扉を吊り込んだあとは、以下の手順に従って、門扉の調整を行ってください。

3 内外方向の調整

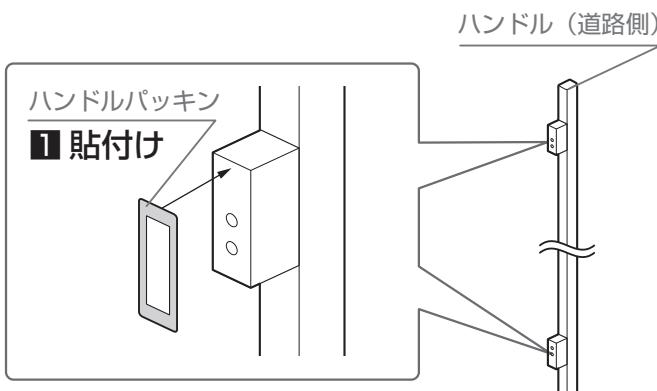


●門扉吊込み後の前後左右方向の調整は、「15-7 門扉の吊り込み」と逆の手順を行い、門扉を外して行ってください。

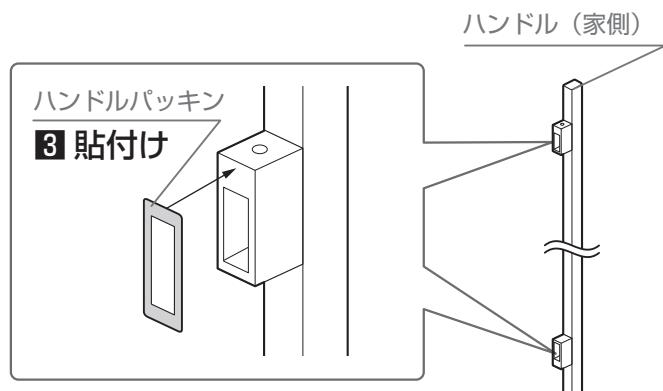
●ちり寸が5~8mmになるように調整してください。

15-9 ハンドルの取付け

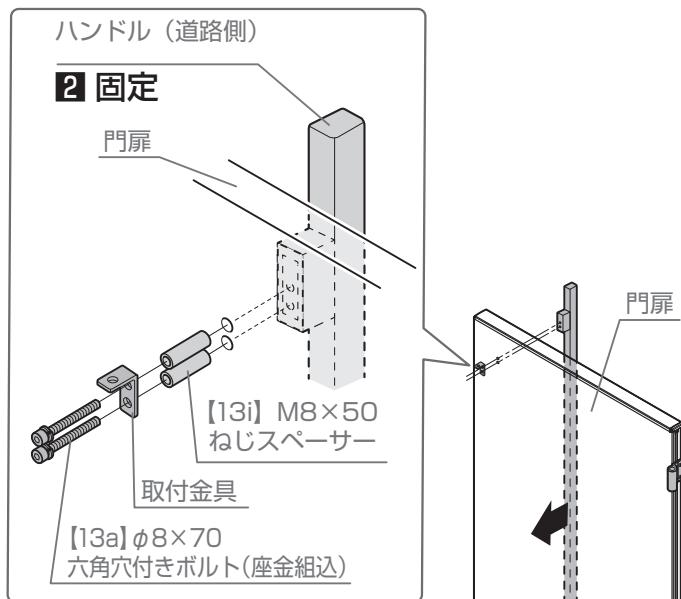
1:ハンドルパッキンのリケイ紙をはがし、ハンドル(道路側)に貼付け



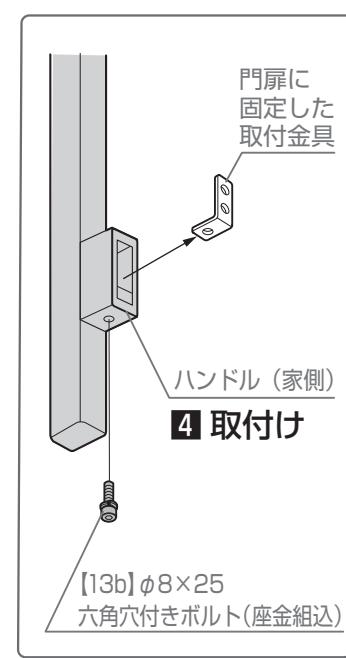
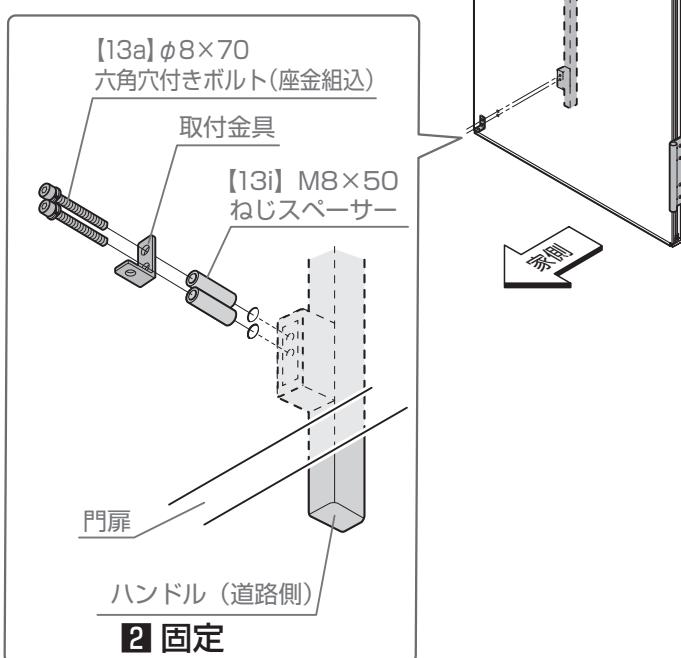
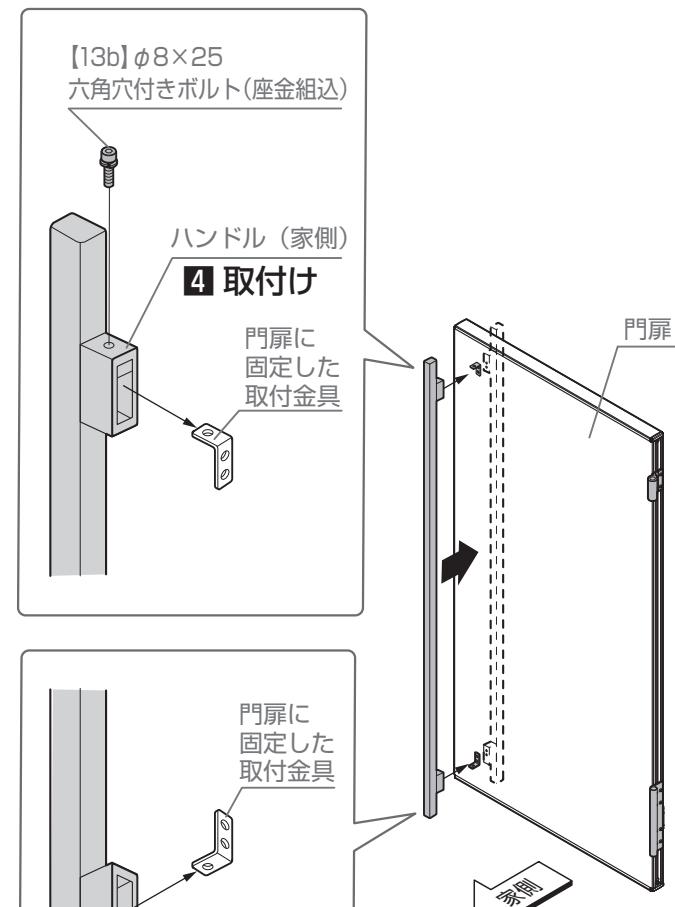
3:ハンドルパッキンのリケイ紙をはがし、ハンドル(家側)に貼付け



2:門扉を挟んで取付金具とハンドル(道路側)を【13a】で固定



4:ハンドル(家側)を取付金具に【13b】で取付け



15-10 吊元背面隙間ふさぎカバーの取付け

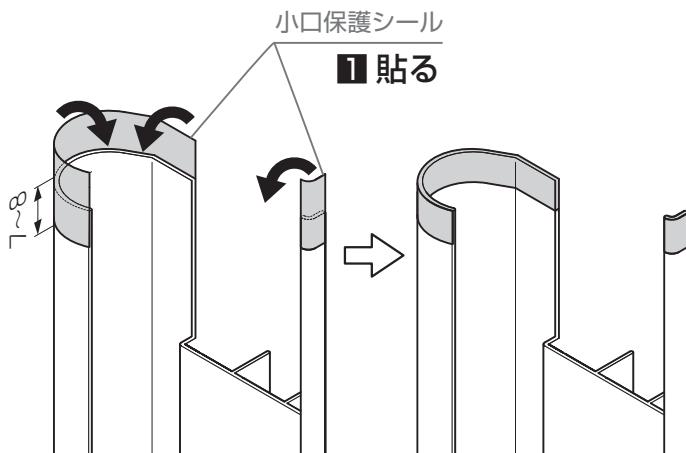
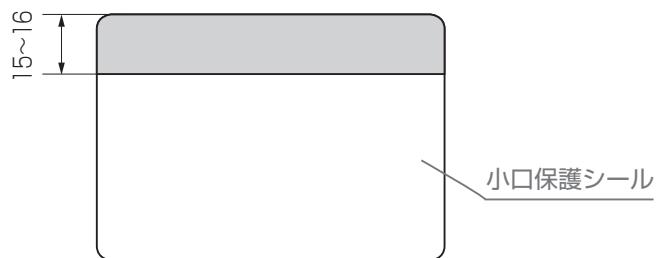
施工上のお願い

- 吊元背面隙間ふさぎカバーの取付けは門扉を開いた状態で行ってください。

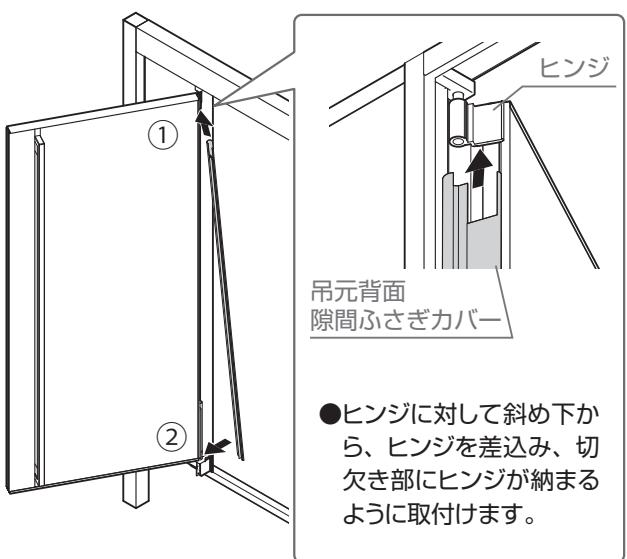
①: 吊元背面隙間ふさぎカバーの上端に小口保護シールを貼る

施工上のお願い

- 小口保護シールは切断して使用してください。



②: 吊元背面隙間ふさぎカバーを門扉の吊元框に【19f】で取付け



③

[19f] M4×30
サラドリル小ねじ

2 取付け

吊元背面隙間ふさぎカバー

[鋼板パネルの場合]

[19f] M4×30
サラドリル小ねじ

吊元背面隙間ふさぎカバー

鋼板パネル

[鋳物パネルの場合]

[19f] M4×30
サラドリル小ねじ

吊元背面隙間ふさぎカバー

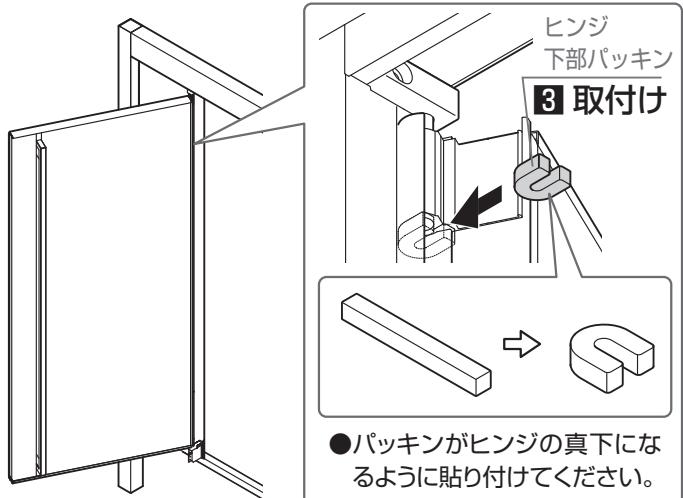
鋳物パネル

吊元框（鋳物用）

φ3.5下穴加工

鋳物パネルにも5mm程度開けてください。

③: 吊元背面隙間ふさぎカバーにヒンジ下部パッキンを取付け

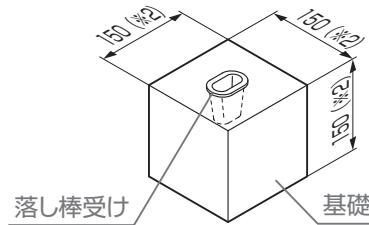


15-11 下部落し棒受けの施工

- ①受扉を閉めた状態で落し棒を収める位置に、落し棒受けを確実に固定
 ②掛扉および受扉を開いた状態で落し棒を収める位置に、落し棒受けを施工

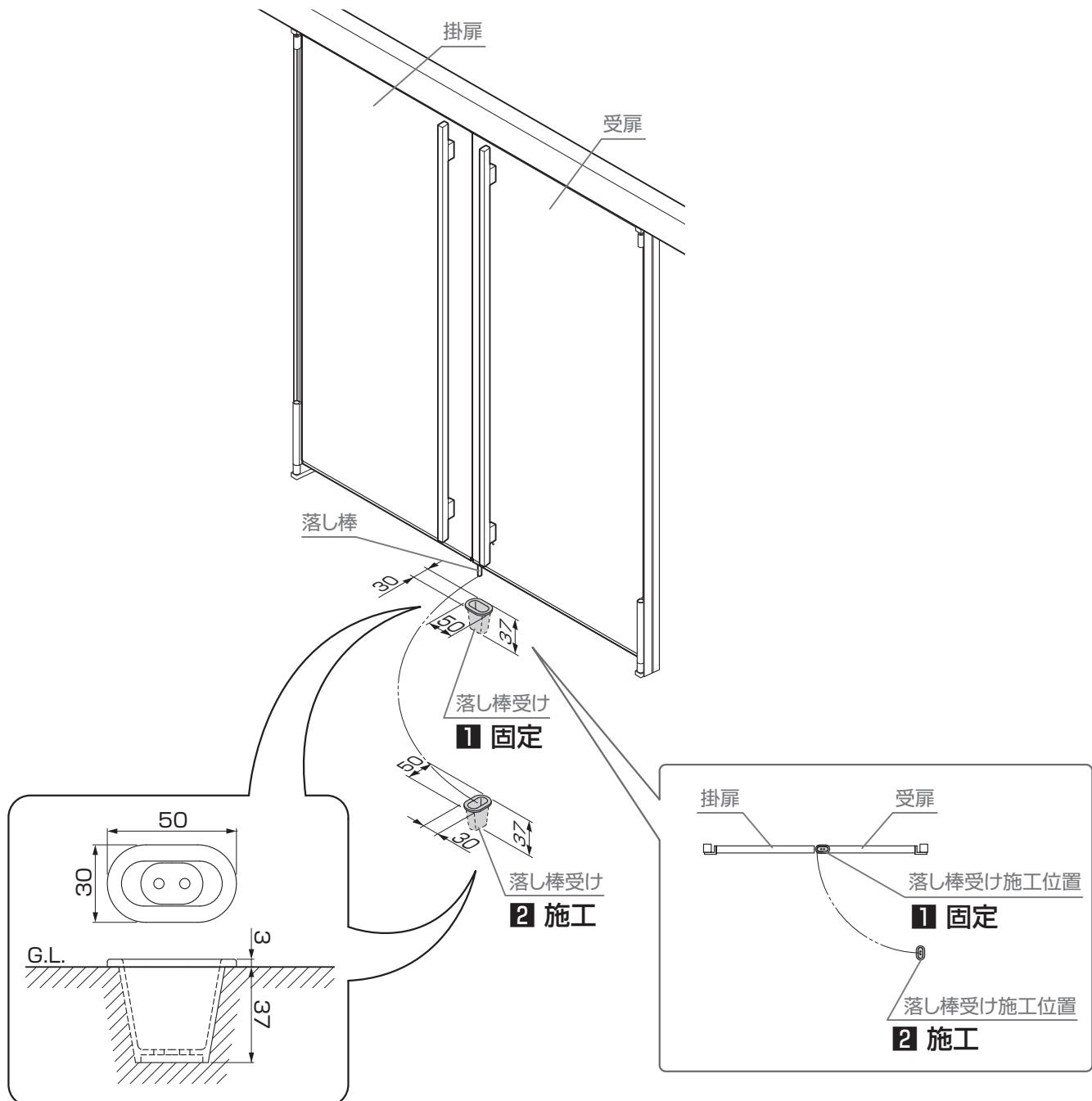
施工上のお願い

- 落し棒受けの埋込位置は、現場合わせで施工してください。
- 基礎寸法は指定寸法以上にしてください。（※2）
- 養生は、落し棒を上げた状態で行ってください。風などによる扉の振動で、落し棒受けの位置がずれるおそれがあります。
- 養生後、落し棒と落し棒受けの位置が合わない場合は、P.82を参照して、位置を合わせてください。



補 足

- 錠の取付説明書を参考に、錠を取付けてください。

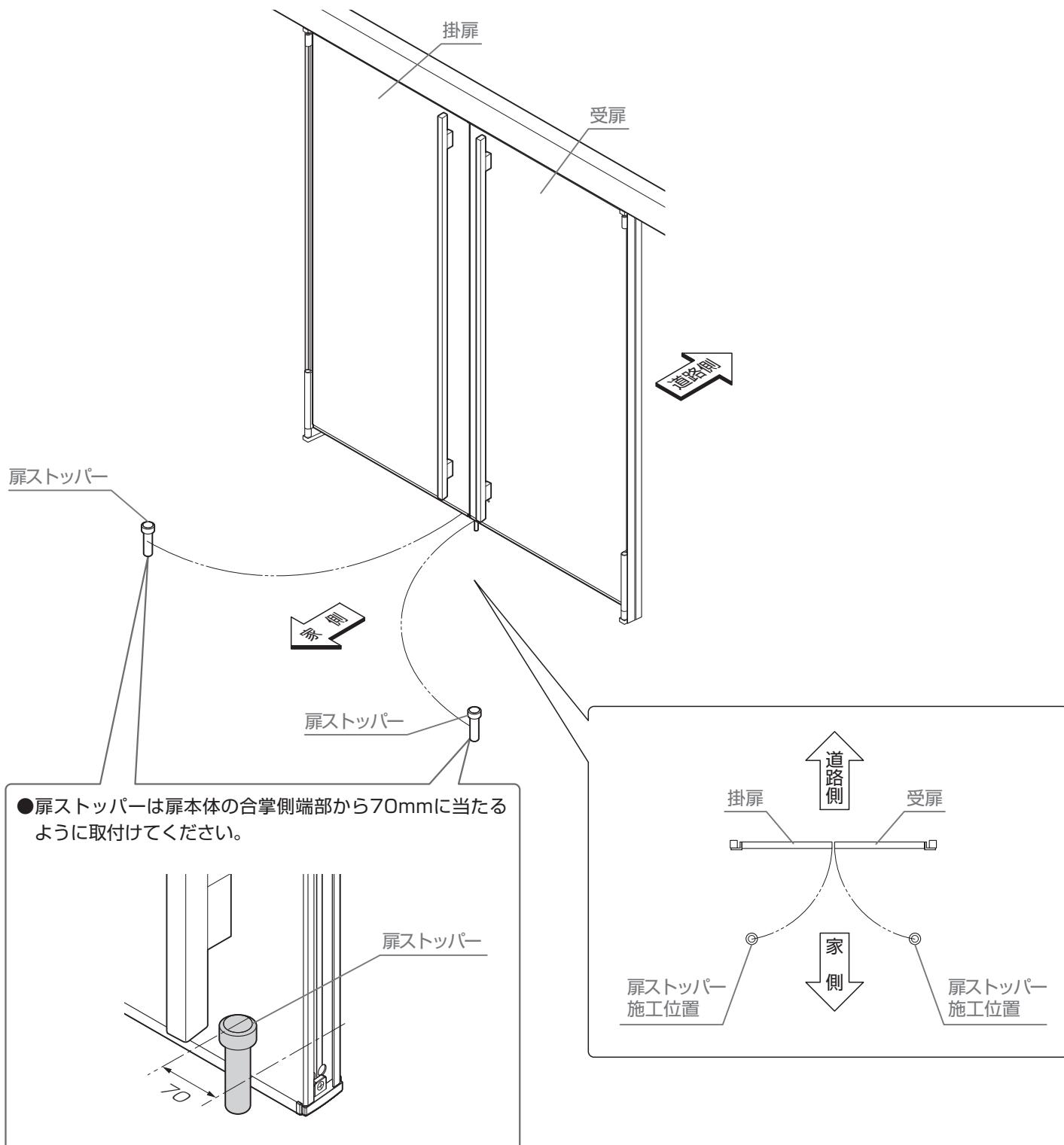


15 門扉の取付け

15-12 扉ストッパーの施工

施工上のお願い

- 扉ストッパーの施工方法は「扉ストッパー 取付説明書（A546）」を参照してください。



施工上のお願い

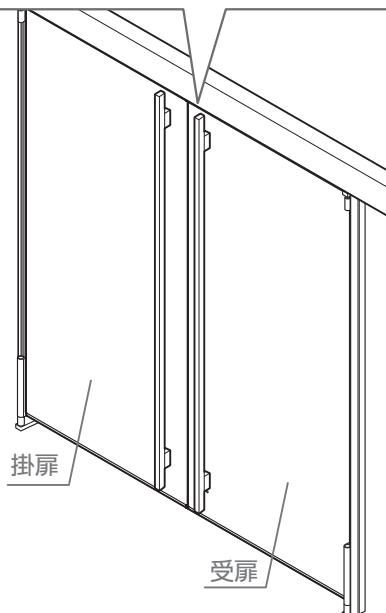
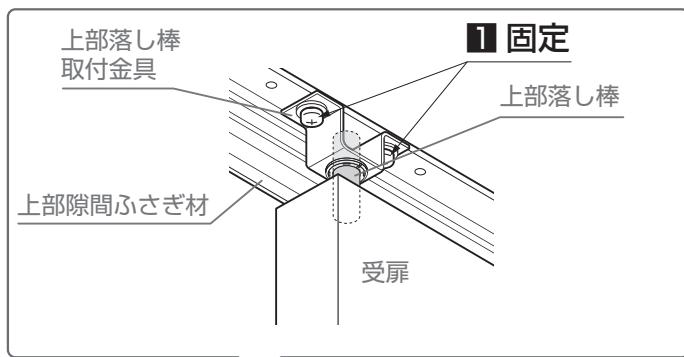
- 上図は内開きの場合です。外開きの場合は道路側に扉ストッパーを取付けてください。
- 扉ストッパーは扉が80°以上開く位置に取り付けてください。
- ハンドルがGウォールに接触しない位置に取り付けてください。
- 門袖に宅配ボックスKNを取付ける場合は、扉が宅配ボックスKNに接触しない位置に取付けてください。

15 門扉の取付け

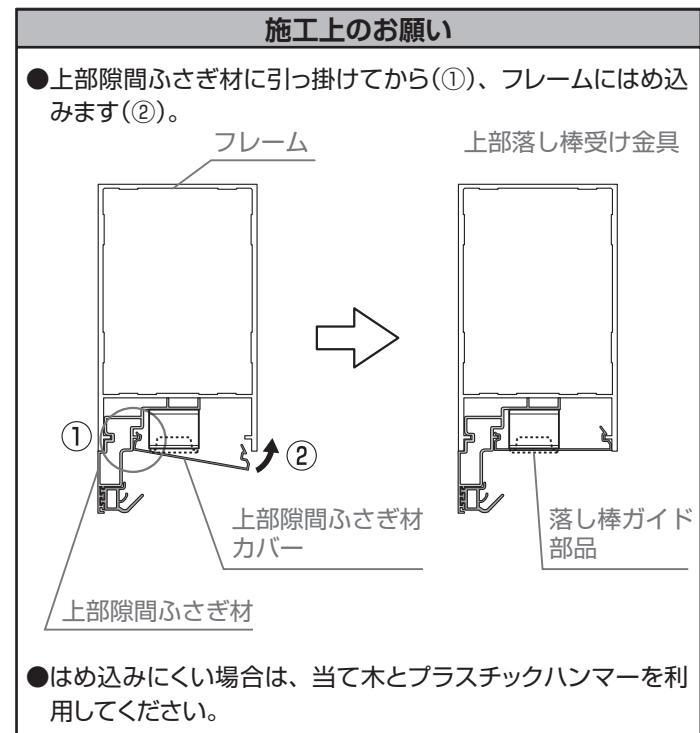
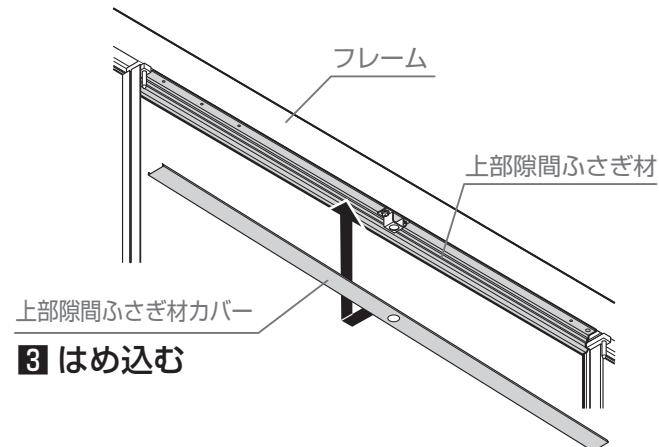
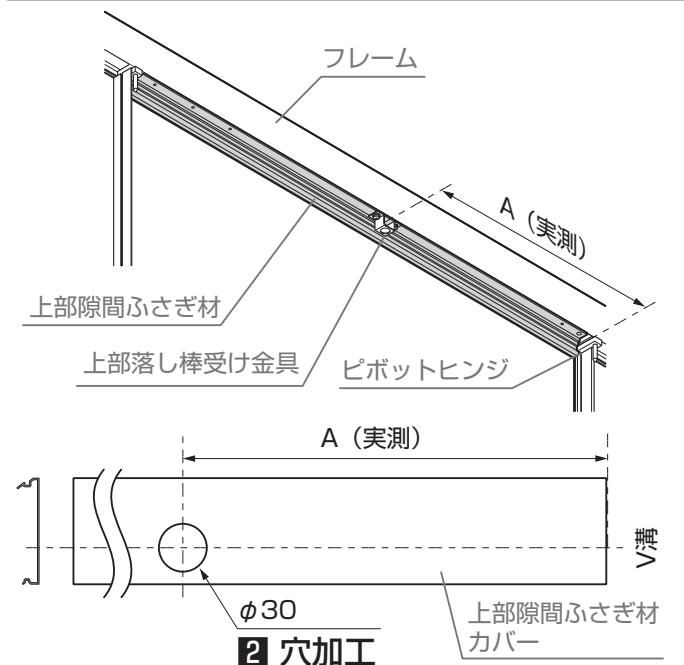
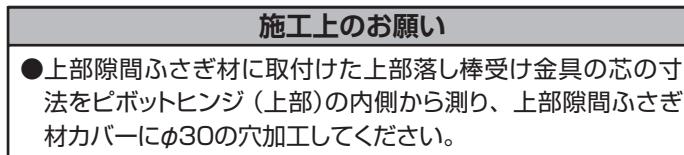
15-13 上部落し棒受けの施工

1:受扉を閉めた状態で上部落し棒を上げて、スムーズに入る位置に上部落し棒受け金具を調整して固定

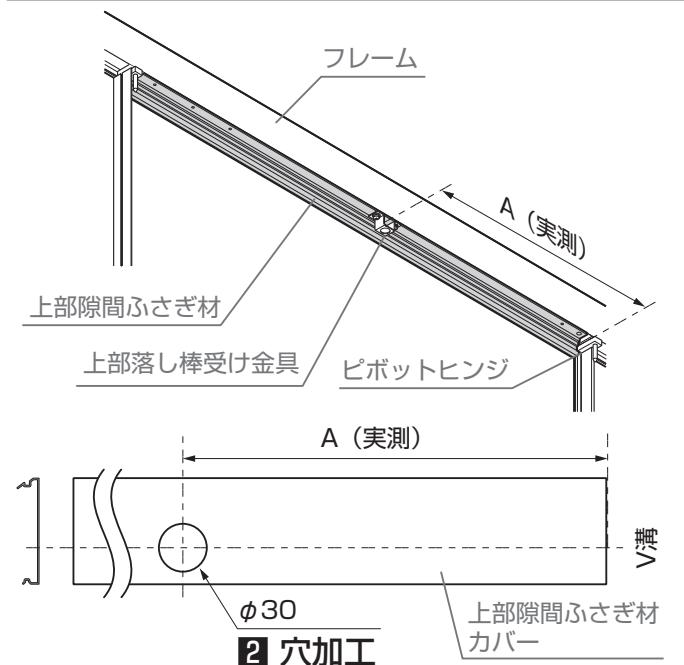
3:上部隙間ふさぎ材カバーを、フレームと上部隙間ふさぎ材にはめ込む



2:上部隙間ふさぎ材カバーの上部落し棒の位置に $\phi 30$ の穴加工



●はめ込みにくい場合は、当て木とプラスチックハンマーを利用してください。

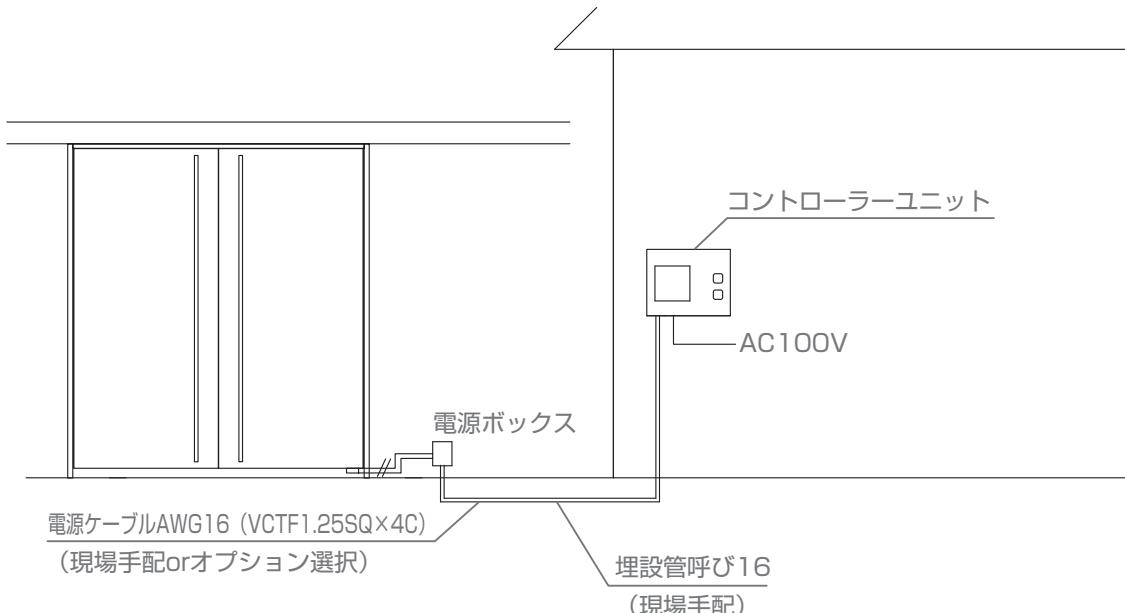


15 門扉の取付け

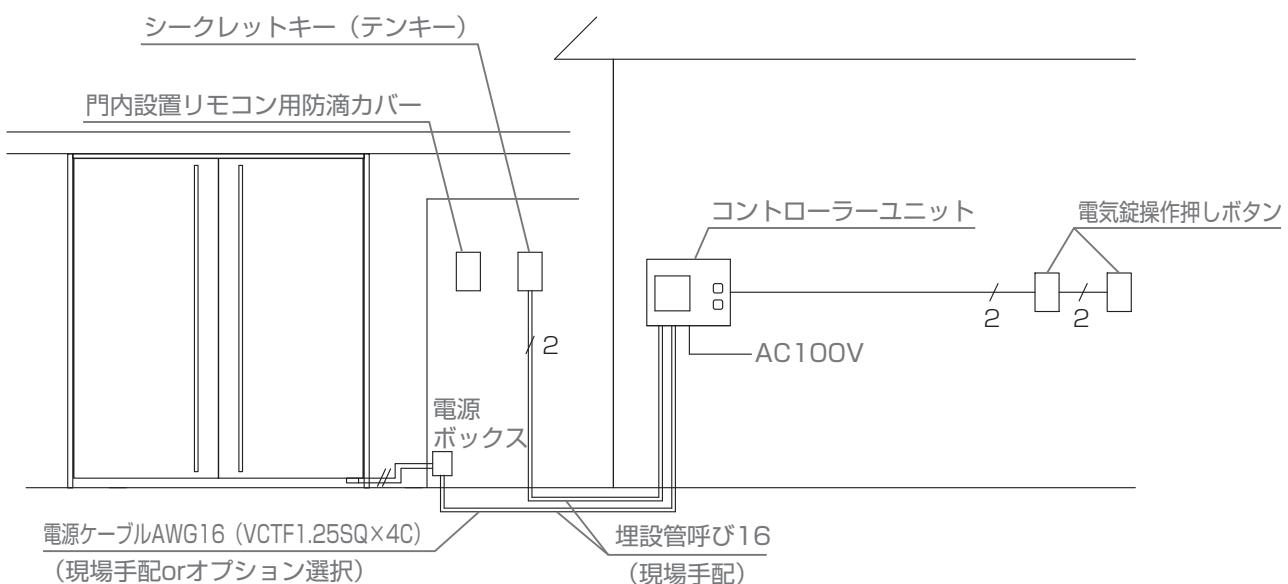
15-14 システムイメージ

15-14-1 基本接続図

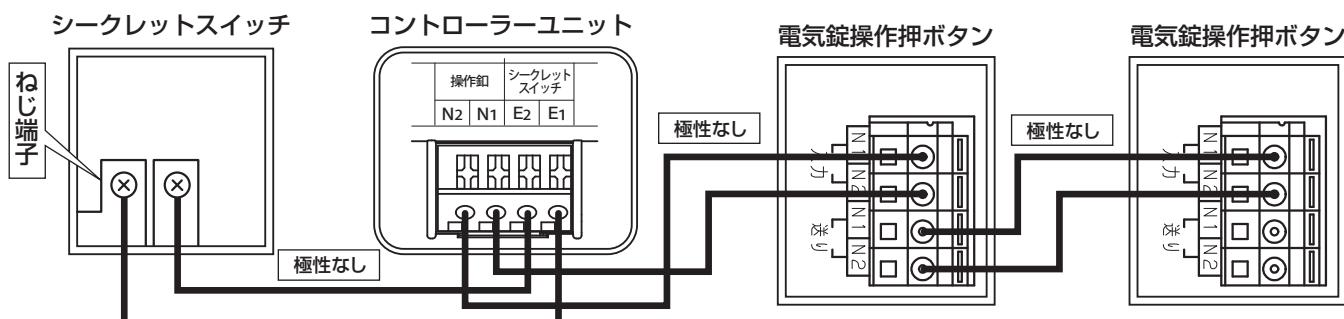
■システム拡張がない場合



■すべての増設機器を接続した場合



15-14-2 結線システム図



それぞれの配線ケーブルの合計が 50m 以内になるように設置ください。

※上記システム図の配線は現場手配品となります。

※単芯線(Φ0.65~0.9)の接続の場合の最大合計距離が50mとなるようにしてください。

15 門扉の取付け

15-15 電気錠ユニットの扉への組付け

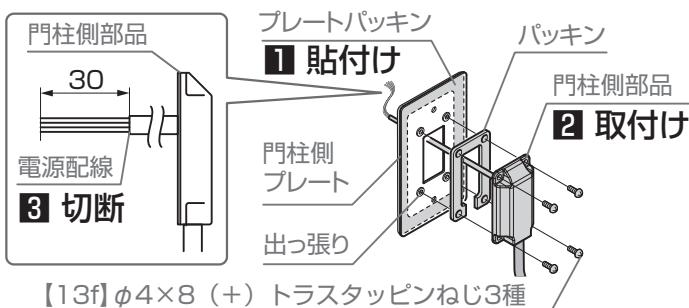
15-15-1 電源ユニットの取付け

■電源ボックス側

施工上のお願い

- 門柱側プレートには裏表があります。プレートパッキンはねじ取付部に出っ張りの無い面に取付けてください。

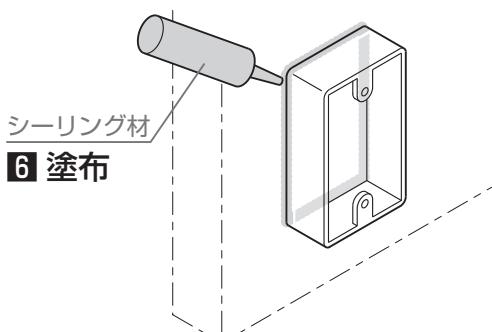
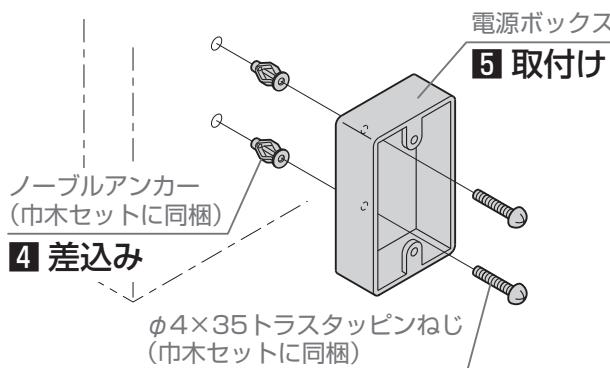
- 1:門柱側プレートにプレートパッキンを貼付け
- 2:門柱側プレートの穴に電源配線を通し、門柱側プレートと電源配線の門柱側部品の間にパッキンを挟み、【13f】で取付け
- 3:門扉から出てくる電源配線の先を、30mm程度を目安に切断（※被覆は必要ありません）



- 4:φ8電源ボックス取付穴にノーブルアンカーを差込む
- 5:電源ボックスをφ4×35トラスタッピンねじで取付け
- 6:電源ボックスの周りをシーリングを塗布

施工上のお願い

- 電源ユニットはGウォールに取付けてください。
- 電源ボックスを取付ける前に、必ずボード本体の養生シートを剥がしてください
- Gウォール内に配線する場合は、Gウォールを仕上げる前に仕上げ材に穴をあけて出しておいてください

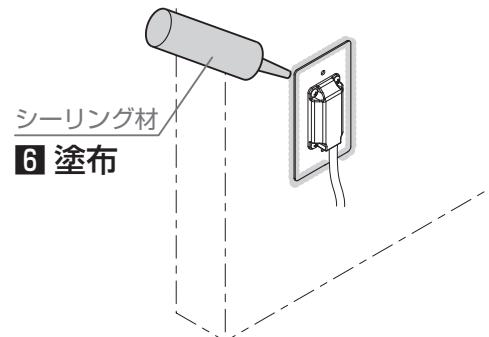
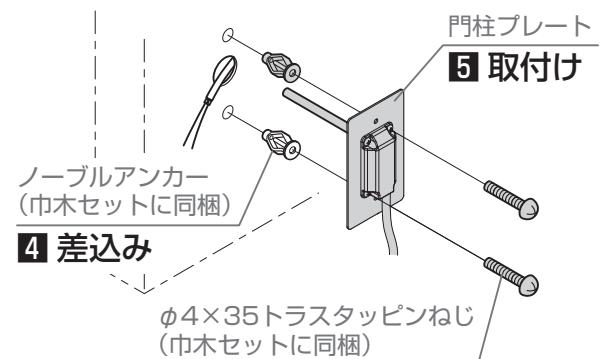


▼ 電源のボックスを使用しない場合 ▼

- 4:φ8電源ボックス取付穴にノーブルアンカーを差込む
- 5:門柱プレートをφ4×35トラスタッピンねじで取付け
- 6:門柱プレートの周りをシーリングを塗布

施工上のお願い

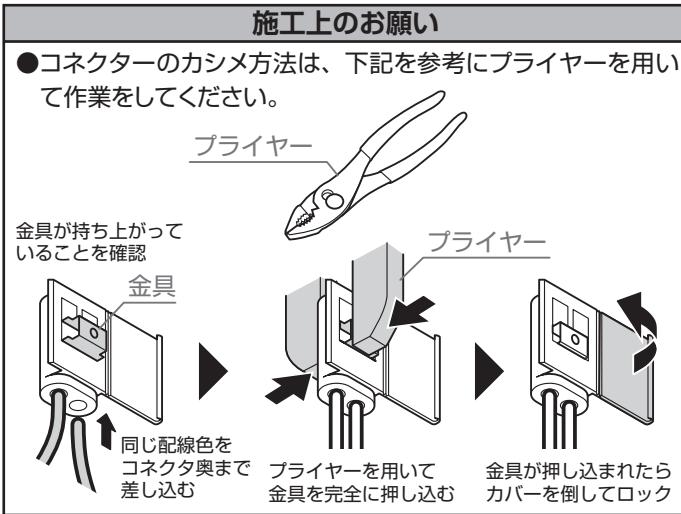
- 電源ボックスを使用しない場合は、P.90の工程を先に行ってください
- 電源ユニットはGウォールに取付けてください
- 電源ボックスを取付ける前に、必ずボード本体の養生シートを剥がしてください
- Gウォール内に配線する場合は、Gウォールを仕上げる前に仕上げ材に穴をあけて出しておいてください



15-15 電気錠ユニットの扉への組付け（つづき）

15-15-1 電源ユニットの取付け（つづき）

7: 門扉からきた電源配線とコントローラーユニットからきている同じ配線色同士を接続用コネクターを用いて結合

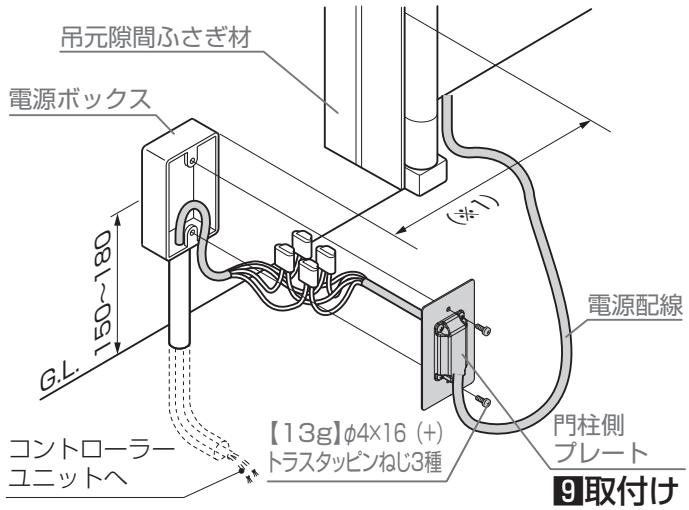


8: コネクタ部に防水テープを貼る

施工上のお願い

●コネクターの圧着は確実に行い、必ず防水テープを施してください。防水テapingをしないと作動不良の原因になります。

9: 電源ボックスに門柱側プレートを【13g】で取付け

**施工上のお願い**

●門扉の端から電源ボックスの端(内々)(※1)は、以下が推奨値となります。(内開きの場合)

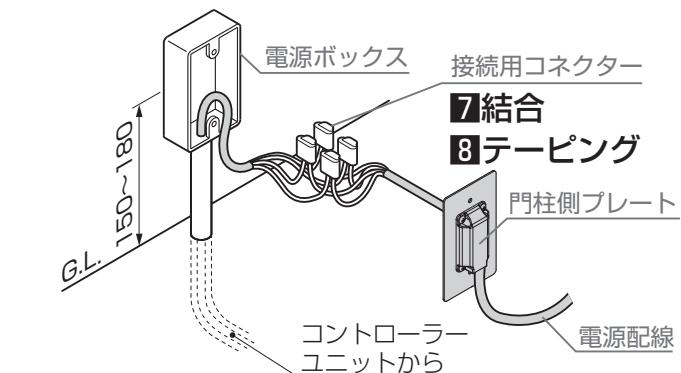
門袖がGウォールの場合: 350mm

門袖がGウォール以外の場合: 550mm

外開きの場合は、上記-50mmが推奨値となります。

■コントローラーユニット側

1: 門扉からきた電源配線とコントローラーユニットからきている同じ配線色同士を接続用コネクターを用いて結合

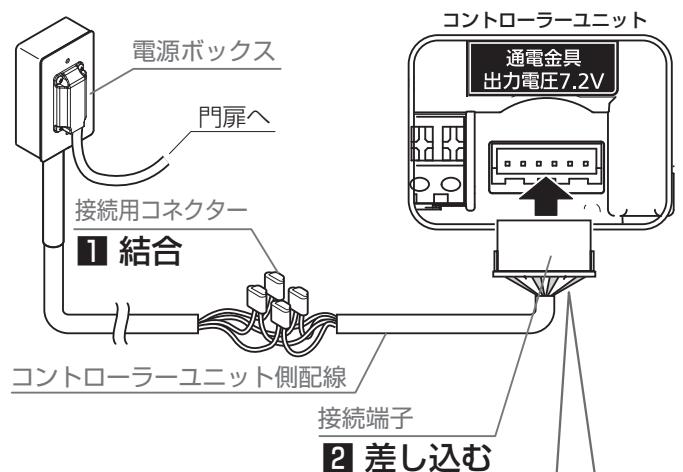
**施工上のお願い**

●電線の被覆は必要ありません。
●プライヤー等を用いてください。

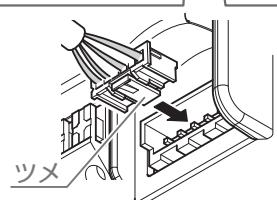
2: コントローラーユニットに接続端子を差し込む

施工上のお願い

●オプションで屋外配線(50m)を選択した場合は、コントローラーユニット側での結合作業は必要ありません。(配線に元々端子がついています)



コネクターには抜け防止のツメが付いています。
「カチッ」と鳴るまで押してください。



15 門扉の取付け

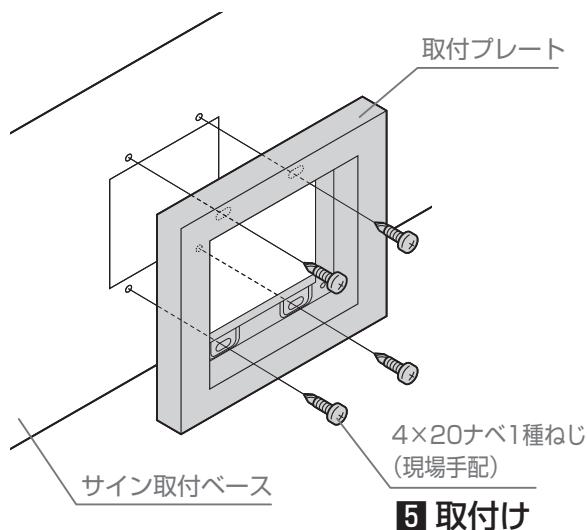
15-15 電気錠ユニットの扉への組付け（つづき）

15-15-2 コントローラーユニットの取付け

施工上のお願い

- コントローラーユニット（および電気錠操作ボタン）の接続方法等は、必ず各商品の取付・取扱説明書に従ってください。
- シークレットキーはGウォールに取付けてください。

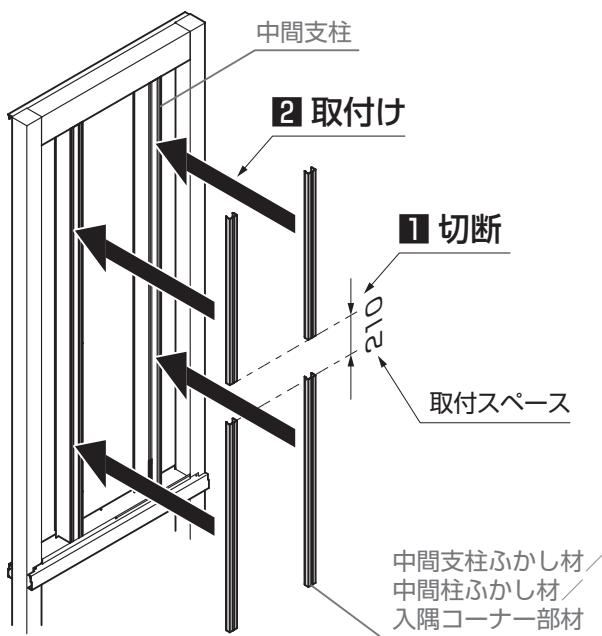
- 5: サイン取付ベースに加工した $\phi 3.5$ 孔に取付プレートを $\phi 4\times 20$ ナベ1種ねじ（現場手配）で取付け



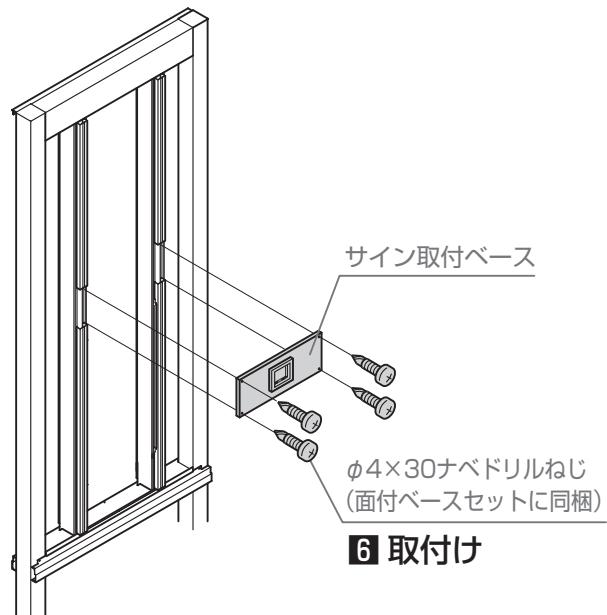
15-15-3 シークレットキー（テンキー）を使用する場合

オプション

- 1: サイン取付ベースの高さを出したら、中間支柱ふかし材または中間柱ふかし材または入隅コーナー部材を切断
- 2: サイン取付ベースが取付られるスペースを空けて各部材を取付け



- 6: サイン取付ベースを $\phi 4\times 30$ ナベドリルねじで取付け

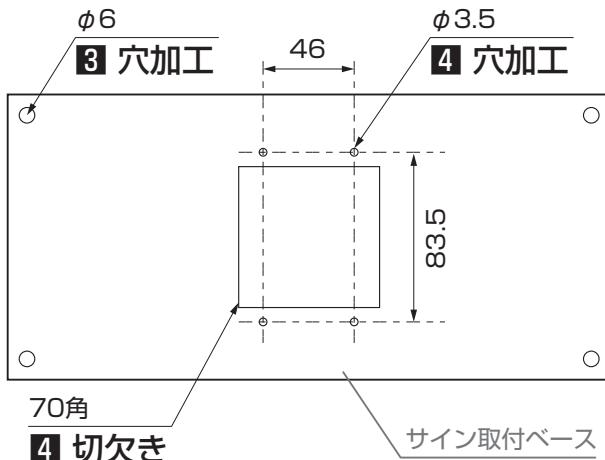


- 3: サイン取付ベースの柱固定箇所に取付ねじ用の $\phi 6$ の穴加工

施工上のお願い

- 端部から10mm以上離れた位置に穴加工を行ってください。

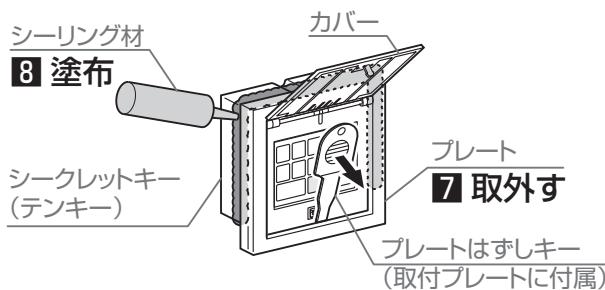
- 4: サイン取付ベースに取付プレート取付用の加工



- 施工上のお願い
- 取付プレートを取付ける前に、必ずボード本体の養生シートを剥がしてください。
 - Gウォールを仕上げる前に仕上げ材に、サイン取付ベースの70mm角穴と中心が合うように135mm角の穴をあけてください。
 - Gウォールを仕上げた後は、Gウォールと取付プレートのつなぎ目を1週シーリングしてください。
 - 配線を出しておいてください。

15-15 電気錠ユニットの扉への組付け（つづき）

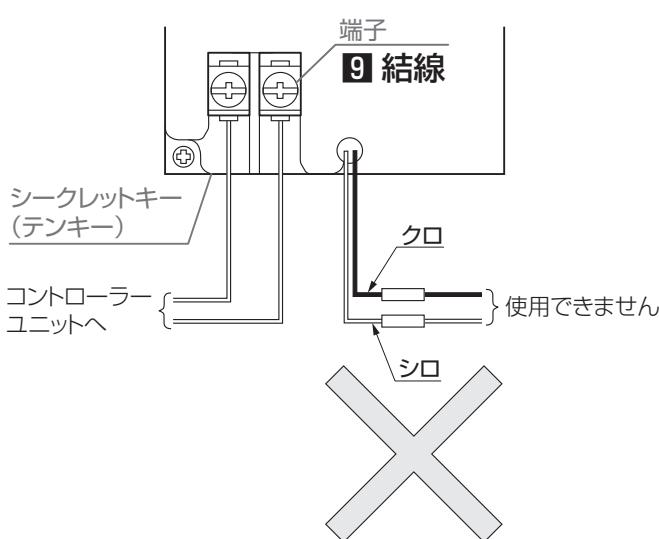
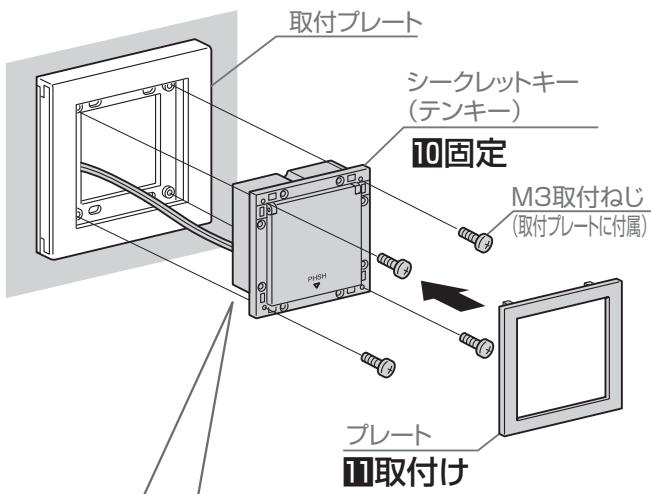
- 7:シークレットキー(テンキー)のプレートを取り外す
8:シークレットキー(テンキー)本体のつなぎ目の上面と側面にシーリング材を塗布 ※下面にはしないでください。



施工上のお願い

- 取付プレートに付属のプレートはずしキーをプレートと本体のすき間に差込みプレートを取り外してください。

- 9:コントローラーからの配線と、電気錠変換ボックスへの配線を端子に結線
10:シークレットキー(テンキー)をM3取付ねじで、取付プレートに固定
11:プレートをシークレットキー(テンキー)に取付け

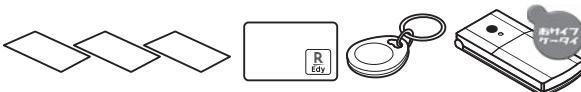


15-16 電気錠の登録および設定

15-16-1 カードキーの登録方法

■登録の前に

- 登録したいカードキー・タグキー（以下、「タグキー」は省略）をすべて集めます。（すでに登録済みの分も含みます。）
- 新たに登録するとすでに登録済みのカードキーのデータがすべて消去されますが、アプリにて「追加登録」設定を有効にするとデータを消去せずに追加登録することができます。詳しくは取扱説明書（EXM-178）をご参照ください。
- カードキーの登録だけでは、リモコンやスマートフォンの登録データは消去されません。



施工上のお願い

●【おサイフケータイの場合】

楽天Edyアプリをインストールしてください。アプリがインストールされていないと登録できません。
楽天Edyについての詳細は楽天Edyオフィシャルサイトをご確認ください。
<https://edy.rakuten.co.jp/>
※おサイフケータイ®及びおサイフケータイ®ロゴは、株式会社NTTドコモの登録商標です。
※「楽天Edy(ラクテンエディ)」は楽天グループのプリペイド型電子マネーサービスです。

■カードキーの登録方法

1:制御ユニットのフタのねじをゆるめる

施工上のお願い

●手回しドライバーをご使用ください。約10回転回します。

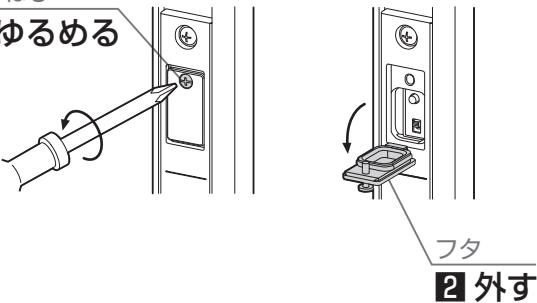
2:フタを外す

3:登録ボタンを1秒以上押す

※離すと「ピー」音が鳴り、LEDが点滅し、登録モードに入ります。

フタねじ

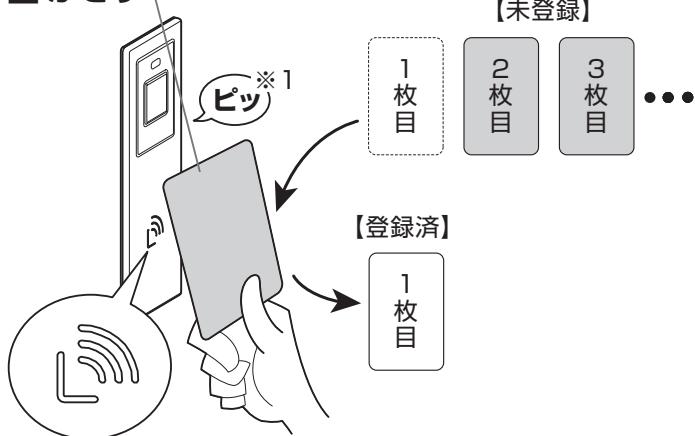
1 ゆるめる



4:1枚ずつカードキー「」マークにかざす

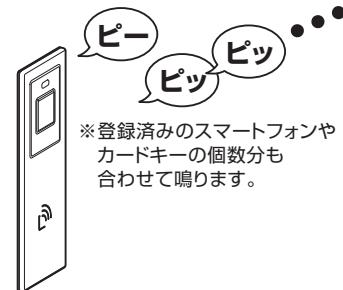
カードキー

4 かざす



補足

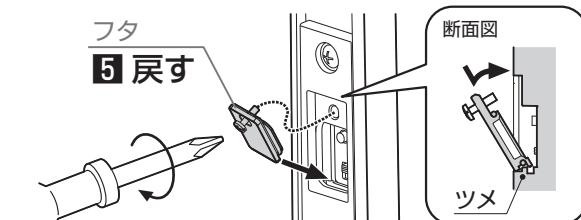
- 登録の都度、登録済み枚数分だけ「ピッ音」が鳴ります。（例：1枚目「ピッ」、2枚目「ピッ、ピッ」）（※1）
- 30秒以内に続けて登録してください。
- 最大登録枚数は10枚です。
- 続けてリモコンキーの登録もできます。詳しくは「リモコンキーの登録方法」をご参照ください。
- 1つのカードキーを複数の門扉（無制限）に登録できます。
- 約30秒待つと登録モードが終了し、「ピー音」の後、登録枚数分「ピッ音」が鳴ります。



5:フタを元に戻す

施工上のお願い

●下部のツメをひっかけてからねじを締めてください。

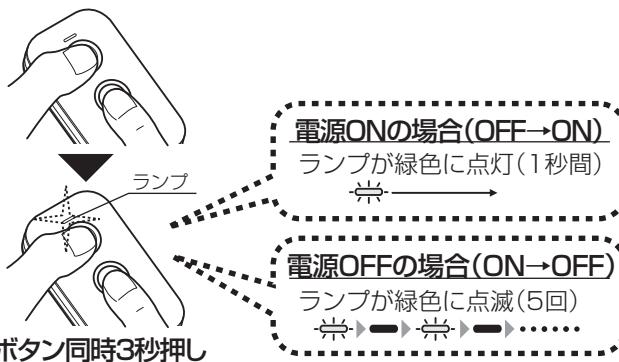


15-16 電気錠の登録および設定（つづき）

15-16-2 リモコンキーの登録方法

■リモコンの電源ON/OFFについて

- 2つのボタン同時長押しでリモコンの電源をON/OFFできます。



施工上のお願い

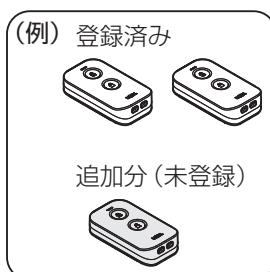
- 電源をOFFにするとリモコンは使用できなくなります。しばらく使用しないときは電源をOFFにしてください。
- 電池を入れ替えた場合も電源がOFF→ONになります。

■登録の前に

- 登録したいリモコンをすべて集めます。（すでに登録済みの分も含みます。）

*新たに登録するとすでに登録済みのリモコンのデータがすべて消去されます、アプリにて「追加登録」設定を有効にするとデータを消去せずに追加登録することができます。詳しくは取扱説明書(EXM-178)をご参照ください。

*リモコンの登録だけでは、カードキー・スマートフォンの登録データは消去されません。



- リモコンのボタンを押してランプが点灯する（電源がONになっている）事を確認します。

*OFFの場合は、リモコンの電源をONにしてください。出荷時は電源がOFFになっております。



■リモコンキーの登録方法

- 1:制御ユニットのフタのねじをゆるめる

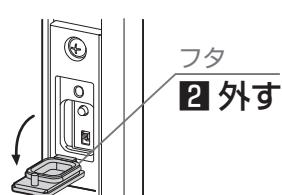
施工上のお願い

- 手回しドライバーをご使用ください。約10回転回します。

- 2:フタを外す

フタねじ

- 1 ゆるめる

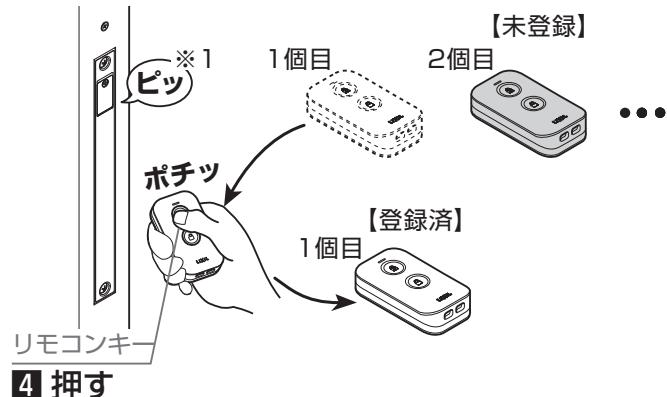


- 3:登録ボタンを1秒以上押す

*離すと「ピー」音が鳴り、LEDが点滅し、登録モードに入ります。



- 4:1個ずつリモコンキーのボタンを押す



- 4 押す

補足

- 登録の都度、登録済み個数分だけ「ピッ音」が鳴ります。（例：1個目「ピッ」、2個目「ピッ、ピッ」）（※1）
- 30秒以内に続けて登録してください。
- 最大登録個数はスマートフォンと合わせて10個です。
- 続けてカードキーの登録もできます。詳しくは「カードキーの登録方法」をご参照ください。
- 1つのリモコンに最大10台の門扉を登録できます。11台目の門扉を登録すると、リモコンから1台目の門扉登録情報が自動的に削除されます。
- 約30秒待つと登録モードが終了し、「ピー音」の後、登録個数分「ピッ音」が鳴ります。

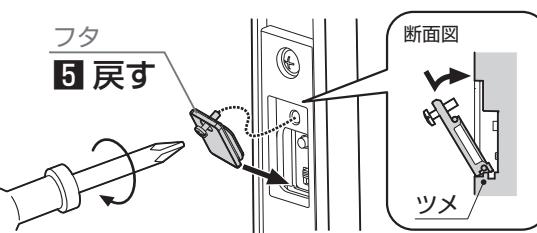


*登録済みのスマートフォンやカードキーの個数分も合わせて鳴ります。

- 5:フタを元に戻す

施工上のお願い

- 下部のツメをひっかけてからねじを締めてください。



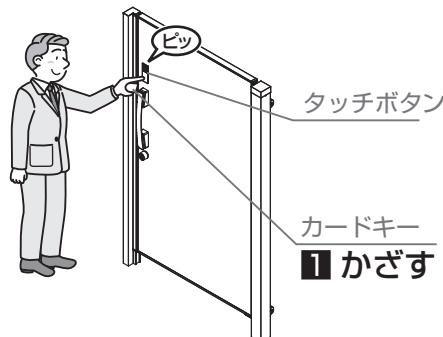
15 門扉の取付け

15-16 電気錠の登録および設定（つづき）

15-16-3 施解錠の確認

■カードキーの場合

1:タッチボタンを押し、カードキーを「」マークにかざす

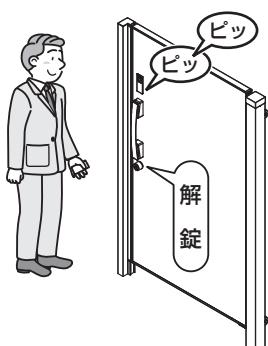


■リモコンキーの場合

1:リモコンキーを所持した状態で、タッチボタンを押す



2:カギが施解錠することを確認

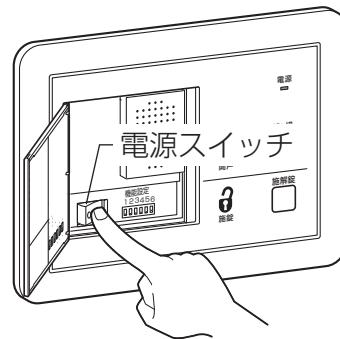


施工上のお願い

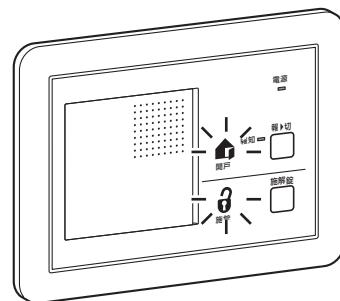
- エラー音、エラー表示が点く場合は、「15-17 門扉のブザー音と表示について」を参考に対処してください。

15-16-4 コントローラーユニットの動作確認

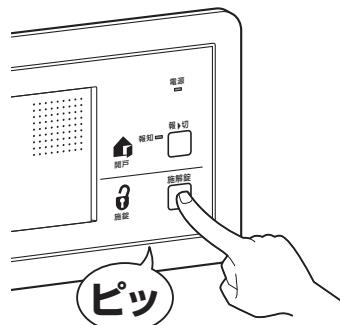
1:コントローラーユニットの電源を入れる



2:開戸表示と解錠表示が正しく点灯、消灯するか確認



3:門扉を閉め施解錠ボタンを押し、施解錠できるか確認



施工上のお願い

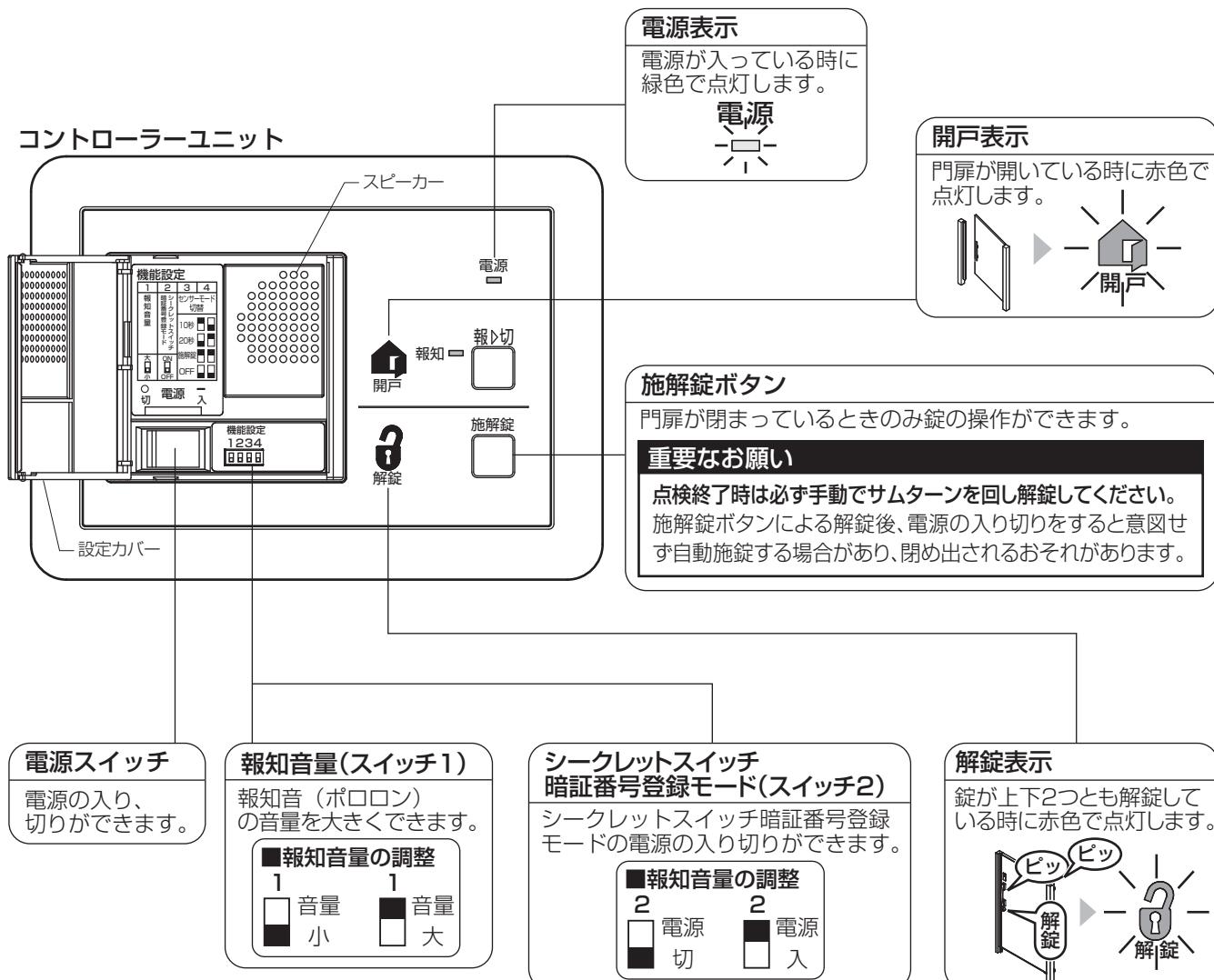
- 入荷時のコントローラーは未登録状態となっており施解錠操作できません。登録するには解錠状態で5分放置、または施解錠ボタンを押してください。

施工上のお願い

- エラー音、エラー表示が点く場合は、「15-18 コントローラーユニットのブザー音とLED表示について」を参考に対処してください。

15-16 電気錠の登録および設定（つづき）

15-16-4 コントローラーユニットの動作確認（つづき）



15 門扉の取付け

15-16 電気錠の登録および設定（つづき）

15-16-5 自動施錠ON/OFFの切替方法

1:制御ユニットのフタのねじを緩める

施工上のお願い

- 手回しドライバーをご使用ください。約10回転回します。

2:フタを外す



3:スイッチを切り替える

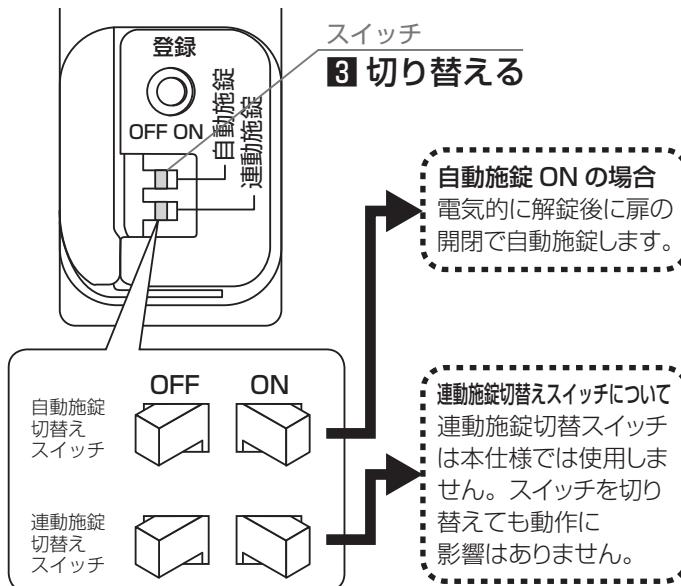
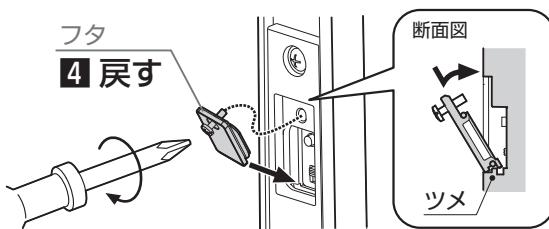
施工上のお願い

- スイッチを操作しにくい場合は、爪楊枝などを利用して優しく操作してください。
- キーを一度も登録したことがない場合、下記機能はすべて作動しません。

4:フタを元に戻す

施工上のお願い

- 下部のツメをひっかけてからねじを締めてください。

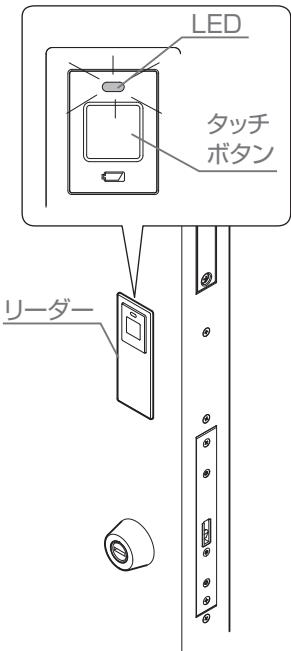


15 門扉の取付け

15-17 門扉のブザー音と表示について

15-17-1 正常時のブザー音、リーダーの表示について

ブザー音	LED 表示内容	お知らせ内容
ピッ ●	緑色で点滅（5秒間） 	施錠中にタッチボタンが押され認証モードに入りました。
	赤色で点滅（5秒間） 	解錠中にタッチボタンが押され認証モードに入りました。
	点滅一消灯 ●	認証モードが終わりました。
	緑色で点灯（1秒間） 	施錠できました。
ピッピッ ●●	赤色で点灯（1秒間） 	解錠できました。
ピー ●	緑→赤色で交互に点灯繰り返し 	登録ボタンが押され登録モードに入りました。
	点灯一消灯 ●	登録モードが終わりました。
—	緑色で点滅（アップデート終了まで） 	ファームウェアアップデート状態へ入りました。



15-17-2 異常時のブザー音、リーダーの表示について

ブザー音	LED 表示内容	お知らせ内容	対処内容
ピピピピピ ●●●●	橙色で点滅（1.5秒間） 	門扉が開いた状態で施錠操作が行われました。	門扉を閉めてください。
		施錠状態で登録ボタンが押されました。	登録の際は解錠状態で行ってください。
		電動サムターン作動途中で門扉が開けられました	手動でサムターンを回し解錠にしてから門扉を閉めてください。
ピピ × 8 ●● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ●	橙色点滅（2.5秒間） 	錠（デッドボルト）がストライクに接触しています。	門扉が確実に閉まっていることを確認し再度電気錠操作で動かしてください。それでも同様のブザー音が鳴る場合は、建付け調整を行ってください。 → (お施主さま用保存版 取扱い説明書)
ピーピ × 4 ● ● ● ● ピーピピ × 4 ● ● ● ● ピーピピピ × 4 ● ● ● ● ● ● ピーピピ、ピーピピピ × 2 ● ● ● ● ピー × 4 ● ● ピー × 8 ● ●	橙色で点灯（5分間） 	機器にエラーがありました。	LIXIL 修理受付センターもしくは、ご購入の販売店にブザー音を伝えご相談ください。
—	橙色で点滅（5秒間） 	キーが登録されていません。（出荷時）	キーの登録を行ってください。 カードキー→ (P.93) リモコンキー→ (P.94)
ピッ ●	緑色で点灯（1秒間） 	キーが登録されていません。（全末梢後／施錠時）	
	赤色で点灯（1秒間） 	キーが登録されていません。（全末梢後／解錠時）	

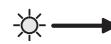
15 門扉の取付け

15-18 コントローラーユニットのブザー音とLED表示について

表示内容	お知らせ内容	コントローラーユニット
電源表示が緑色で点灯 	電源が入ってます。	電源
報知表示が緑色で点灯 	報知設定になっています。	報知
開戸表示が赤色で点灯 	ドアが開いています。	開戸
解錠表示が赤色で点灯 	カギが上下2つとも解錠しています。	解錠

ブザー音	表示内容	お知らせ内容	対処方法
ピッ		施解錠ボタンが押されました。	
ピッ、ピッ、……		暗証番号登録モード中です。	
ピー		暗証番号登録ができました。	
ポロロン、ポロロン … ※初期設定では音は鳴りません。	報知表示が緑色で点灯中に開戸表示が赤色の点灯 	ドアが開けられました。	ドアを閉めてください。
ピー、ピッピッピッ音が一度だけ鳴る	電源表示と報知表示が交互に点灯する 電源□ ← → 報知□	機器にエラーがありました。	LIXIL 修理受付センターもしくは、ご購入の販売店にご相談ください。
—	開戸表示と解錠表示、報知表示が同時に点滅する。		

15-19 リモコンキーのランプ表示について

ランプ表示内容	お知らせ内容	対処方法	リモコン
緑色で点灯(0.1秒間) 	ボタンが押されました。		ランプ
緑色で点灯(1秒間) 	電源がONになりました。		施錠ボタン
緑色で5回点滅 	電源がOFFになりました。		解錠ボタン
緑色で3回点滅 	登録が成功しました。		
上記のランプ表示が赤色で点灯・点滅	電池容量が残りわずかになりました。	電池(CR2032) × 2個を新品に交換してください。	
橙色で5分点灯 	リモコンに異常があります。	お客様相談センターに相談されるかご購入の販売店にご相談ください。	

梱包明細表

【1】柱 中間用セット

名 称	略 図	員 数
		90角柱
柱 中間用		1
中間柱取付金具		1
アンカー棒		1
【1a】φ5×16ナベドリルねじ		4
【1b】φ5×30ナベタッピンねじ 2種 D=9 G=5		4

【2】柱補強部品 中間柱用セット

名 称	略 図	員 数
中間柱補強金具		2
【2a】φ5×16ナベドリルねじ		2
【2b】φ5×10ナベ小ねじ		2

【3】フレームセット

名 称	略 図	員 数
		標準 W55
フレーム		1
フレームカバー		2
スリーブ		2
フレーム取付金具		2
【3a】φ5×16ナベドリルねじ		12
【3b】φ5×70ナベドリルねじ		10
【3c】φ6×120六角コーチスクリュー		2

【4】端部用標準フレームセット

名 称	略 図	員 数
端部用標準フレーム W20		1
スリーブ		2
フレーム取付金具		2
【4a】φ5×16ナベドリルねじ		12
【4b】φ5×70ナベドリルねじ		10
【4c】φ6×120六角コーチスクリュー		2

【5】屋根材セット

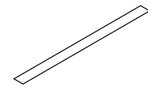
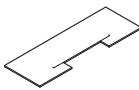
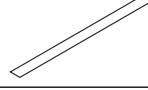
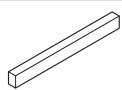
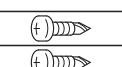
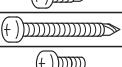
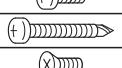
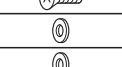
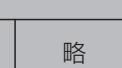
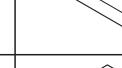
名 称	略 図	員 数
		W10 W10 1枚入 2枚入
屋根材		1 2

【6】ルーフ取付枠セット

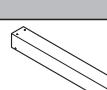
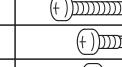
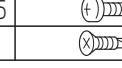
名 称	略 図	員 数
		W10 W10 1スパン 延長
屋根固定材 中間		— 1
屋根固定材 端部		2 —
屋根固定材カバー 端部		2 —
屋根固定材カバー 中間		— 1
屋根材受け1列用		1 1
屋根固定材1列用		1 1
屋根材受け1列用カバー		1 1
固定材キャップ 端部L		1 —
固定材キャップ 端部R		1 —
固定材キャップ 中間		— 1
パネル止水ビート材 W10・W20用		1 1
屋根固定材(端部)キャップ 右		1 —
屋根固定材(端部)キャップ 左		1 —
屋根固定材(中間)キャップ		— 1
屋根固定材(端部)キャップ 止水パッキン A		2 —

梱包明細表

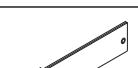
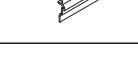
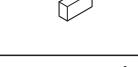
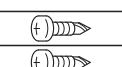
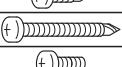
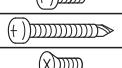
【6】ルーフ取付枠セット(つづき)

名 称	略 図	員 数	
		W10 1スパン	W10 延長
屋根固定材(中間)キャップ 止水パッキン A		—	1
シングル端部用防水テープ LR		各1	—
シングル中間用防水テープ		—	1
屋根固定材(棟木・1列用)止水材		1	1
パネル側面止水材		4	4
屋根固定端部止水材 端部用		2	—
屋根固定端部止水材 中間用		—	1
【6a】φ4×13ナベドリルねじ		8	5
【6b】φ4×19ナベドリルねじ		11	7
【6c】φ4×40ナベドリルねじ		3	3
【6d】φ4×30ナベタッピンねじ2種 G=5		4	2
【6e】φ4×30ナベドリルねじ		3	3
【6f】φ5×10サラタッピンねじ2種		2	—
【6g】防水座金M4		11	7
【6h】防水座金M5		20	—

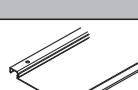
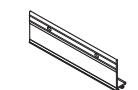
【7】中間フレームセット

名 称	略 図	員 数	
		W10	
中間フレーム		1	
中間フレーム取付金具		1	
中間フレーム用スリーブ		1	
中間フレーム接続パッキン		1	
中間フレーム水切りパッキン		1	
【7a】φ5×70ナベドリルねじ		4	
【7b】φ5×19ナベドリルねじ		6	
【7c】φ5×20ナベタッピンねじ2種 G=5		2	
【7d】φ5×16サラドリルねじ		2	

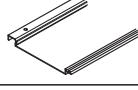
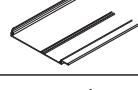
【8】雨樋セット

名 称	略 図	員 数	
		フスパン	
横樋		1	
横樋カバー		1	
横樋端部カバー 右用		1	
横樋端部カバー 左用		1	
樋端部取付材		2	
パネル端部水切り止水材 端部用		2	
パネル端部水切り止水材 中間用		6	
雪下ろし指示シール(600タイプ)		1	
【8a】φ4×13ナベドリルねじ		12	
【8b】φ4×16サラタッピンねじ2種		4	
【8c】φ4×19ナベドリルねじ		4	

【9】板張り天井材Aセット

名 称	略 図	員 数	
		W10	フスパン
天井材A		5	
天井横枠A		2	
天井横枠B		2	

【10】板張り天井材B・Cセット

名 称	略 図	員 数	
		W10	フスパン
天井材B		1	
天井材C		1	
調整天井材A		1	

梱包明細表

【10】板張り天井材B・Cセット(つづき)

名 称	略 図	員 数
		W10
		アスパン
調整天井材B		1
天井縦枠 右用		1
天井縦枠 左用		1
天井吊部材		6
天井材パッキン		18
天井材共通スペーサー		18
フレームカバー取付枠		1
【10a】φ4×8ナベタッピンねじ2種		22
【10b】φ4×13ナベドリルねじ		96
【10c】φ4×16ナベドリルねじ		18
【10d】φ4×35ナベドリルねじ		36

【11】内蔵樋・中間支柱取付部材セット(つづき)

名 称	略 図	員 数
		W10
豎樋φ40(L=2810)		4
壁上部接続金具		4
【11a】φ4×10トラスタッピンねじ3種		8
【11b】φ4×12ナベタッピンねじ3種		32
【11c】φ4×13サラドリルねじ3種 D=6		8
【11d】φ4×16ナベドリルねじ		20

【12】フレームサイドカバー端部キャップセット

名 称	略 図	員 数
		W10
キャップ		2
穴隠しシール		4
【12a】φ4×12トラスタッピンねじ3種		4
取付説明書 Gフレームサイドカバー(E293)	—	1

【13】扉本体

名 称	略 図	員 数		
		掛扉	受扉	子扉
扉本体		1	1	1
ヒンジ		2	—	—
ヒンジ裏板(※1)		4	—	—
落し棒受け		—	2	2
ケーブルカバー		4	—	—
電線保護管		1	—	—
門扉AH 注意シール		1	—	—
ハンドル取付金具		2	2	—
ハンドルパッキン		4	4	—

※1：2枚はヒンジに組み付いています。残りの2枚はオートクローザーの取付けに使用してください。

梱包明細表

【13】扉本体（つづき）

名 称	略 図	員 数		
		掛扉	受扉	子扉
FamiLockコントローラー ユニット側コネクタ配線		1	—	—
FamiLock用リモコン (1個入り)		1	—	—
カードキーSET (3枚入り)		1	—	—
接続用コネクタ		8	—	—
通電金具パッキン		1	—	—
通電金具プレート		1	—	—
電源ボックス		1	—	—
プレートパッキン		1	—	—
マグネットスペーサー		1	—	—
開閉検知マグネット		1	—	—
本締めストライク		2	—	—
本締めトロヨケ		2	—	—
子鍵		3	—	—
【13a】Φ8×70六角穴付きボルト(座金組込)		4	4	—
【13b】Φ8×25六角穴付きボルト(座金組込)		2	2	—
【13c】Φ4×10トラス小ねじ(生地)		8	—	—
【13d】Φ4×10トラスねじ(黒)		8	—	—
【13e】Φ4×10サラタッピンねじ3種		2	—	—
【13f】Φ4×8トラスタッピンねじ3種		4	—	—
【13g】Φ4×16トラスタッピンねじ3種		2	—	—
【13h】Φ4×16サラタッピンねじ3種		4	—	—
【13i】M8×50ねじスペーサー		4	4	—
取扱説明書(EXM-217)	—	1	—	—
取扱説明書(EXM-178)	—	1	—	—

【14】戸当りセット

名 称	略 図	員 数
戸当り		1
合掌框力バー		1
【14a】Φ4×14サラタッピンねじ3種		12

【15】ローラーラッチセット

名 称	略 図	員 数
調整ストライクC		1
ローラーラッチ調整ストライク		1
ストライクスペーサー		2
ローラーラッチ		1
【15a】Φ4×12サラタッピンねじ3種		4

【16】ロングバーハンドル

名 称	略 図	員 数
ハンドル（道路側）		1
ハンドル（家側）		1

【17】シークレットスイッチセット ※オプション

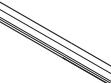
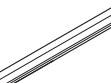
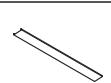
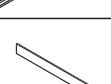
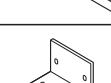
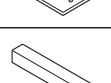
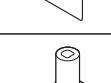
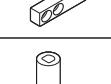
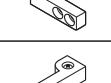
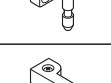
名 称	略 図	員 数
シークレットキー（テンキー）		1
取付プレート		1
2コ用スイッチボックス		1

【18】施工キット エントランスA

名 称	略 図	員 数
フレーム取付穴位置治具		1
ルーフ取付穴位置治具		1
取付説明書(EXM-219)	—	1
取扱説明書(UE067)	—	1
取扱説明書(UE071)	—	1

梱包明細表

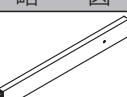
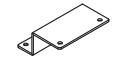
【19】 枠セット

名 称	略 図	員 数	
		W13	W20
上部隙間ふさぎ材W13		1	—
上部隙間ふさぎ材W20		—	1
吊元隙間ふさぎ材 右		1	1
吊元隙間ふさぎ材 左		1	1
上部隙間ふさぎ材カバーW13		1	—
上部隙間ふさぎ材カバーW20		—	1
吊元隙間ふさぎ材カバー		2	2
吊元背面隙間ふさぎカバー 右		1	1
吊元背面隙間ふさぎカバー 左		1	1
埋め込み施工補助部材W13		1	—
埋め込み施工補助部材W20		—	1
仮固定アングル		2	2
ヒンジ下部パッキン		2	2
小口保護シール		2	2
ピボットヒンジ(下用)右		1	1
ピボットヒンジ(下用)左		1	1
ピボットヒンジ(上用)右		1	1
ピボットヒンジ(上用)左		1	1

【19】 枠セット(つづき)

名 称	略 図	員 数	
		W13	W20
スペーサー		16	16
上部固定金具 右		1	1
上部固定金具 左		1	1
下部固定金具		2	2
上部落し棒受け金具		1	1
落し棒ガイド部品		1	1
下部ヒンジベース位置出し金具 右		1	1
下部ヒンジベース位置出し金具 左		1	1
【19a】 $\phi 4 \times 13$ ナベドリルねじ		8	8
【19b】 $\phi 5 \times 16$ ナベドリルねじ		6	6
【19c】 $\phi 4 \times 19$ ナベドリルねじ		6	6
【19d】M6×20六角穴付き ボタンボルト(座金組込)		8	8
【19e】 $\phi 4 \times 12$ トラスタッピンねじ3種		2	2
【19f】 $\phi 4 \times 30$ サラドリル小ねじ		8	8
【19g】 $\phi 5 \times 35$ セルフタッピングアンカー		4	4
【19h】M4平座金		2	2

【20】 袖パネル端部柱セット

名 称	略 図	員 数
袖パネル端部柱		1
袖パネル端部柱取付け金具		1
アンカーボルト($\phi 8 \times 200$)		1
【20a】 $\phi 5 \times 30$ ナベタッピンねじ2種		2
【20b】 $\phi 5 \times 16$ ナベドリルねじ		2
取付説明書 Gスクリーン 袖パネル (EXM049)	—	1

取説コード

EXM-219

JZZ641792A
202503_1049
202508A_1049